

維 持 管 理 年 報

富士北麓流域下水道

峡 東 流 域 下 水 道

釜 無 川 流 域 下 水 道

桂 川 流 域 下 水 道

令 和 6 年 度 版



公益財団法人 山梨県下水道公社

目 次

公 社 の 概 要	1
1 公社の概要	2
(1) 名 称	2
(2) 事務所所在地	2
(3) 設立目的	2
(4) 事 業	2
(5) 基本財産（出損金）	2
(6) 評 議 員	3
(7) 役 員	3
(8) 組織及び職員配置	3
(9) 分掌事務	4
2 事業の実施状況	5
(1) 富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道維持管理事業	5
(2) 下水道排水設備工事責任技術者認定登録等の事業	5
(3) 下水道技術の調査研究事業	5
(4) 下水道知識の普及啓発事業	5
(5) 公共下水道水質測定事業	6
(6) 公共下水道維持管理事業	6
流域下水道の維持管理	7
I 流域下水道の概要	7
II 富士北麓流域下水道	11
1 整備状況	12
(1) 全体計画及び現況	12
(2) 施設整備状況	16
① 富士北麓浄化センター	16
② 中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	27
2 施設運転管理状況	35
(1) 機械設備運転管理状況	35
① 各設備の運転状況等	35
② 未使用機器の保守	36
③ 機器故障状況	36
(2) 電気設備運転管理状況	39
① 電力使用状況	39
② 非常用発電設備運転状況	39
③ 機器故障状況	39
3 水質及び汚泥管理状況	42
(1) 水質管理状況	42
① 水質試験結果	42
② 幹線調査結果	42
③ 反応タンク試験結果及び生物試験結果	42
④ 通日試験結果	42
(2) 汚泥管理状況	42

(3) その他管理状況	43
① 放流河川調査結果	43
② 臭気測定結果	43
Ⅲ 峡東流域下水道	62
1 整備状況	63
(1) 全体計画及び現況	63
(2) 施設整備状況	67
① 峡東浄化センター	67
② 中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	80
2 施設運転管理状況	93
(1) 機械設備運転管理状況	93
① 各設備の運転状況等	93
② 未使用機器の保守	94
③ 機器故障状況	94
(2) 電気設備運転管理状況	97
① 電力使用状況	97
② 非常用発電設備運転状況	97
③ 機器故障状況	97
3 水質及び汚泥管理状況	100
(1) 水質管理状況	100
① 水質試験結果	100
② 幹線調査結果	100
③ 反応タンク試験結果及び生物試験結果	100
④ 通日試験結果	100
(2) 汚泥管理状況	100
(3) その他管理状況	101
① 放流河川調査結果	101
② 臭気測定結果	101
Ⅳ 釜無川流域下水道	121
1 整備状況	122
(1) 全体計画及び現況	122
(2) 施設整備状況	126
① 釜無川浄化センター	126
② 中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	137
2 施設運転管理状況	155
(1) 機械設備運転管理状況	155
① 各設備の運転状況等	155
② 未使用機器の保守	156
③ 機器故障状況	156
(2) 電気設備運転管理状況	159
① 電力使用状況	159
② 非常用発電設備運転状況	159
③ 機器故障状況	160

3	水質及び汚泥管理状況	164
(1)	水質管理状況	164
①	水質試験結果	164
②	幹線調査結果	164
③	反応タンク試験結果及び生物試験結果	164
④	通日試験結果	164
(2)	汚泥管理状況	164
(3)	その他管理状況	165
①	放流河川調査結果	165
②	臭気測定結果	165
V	桂川流域下水道	185
1	整備状況	186
(1)	全体計画及び現況	186
(2)	施設整備状況	190
①	桂川清流センター	190
②	中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	201
2	施設運転管理状況	210
(1)	機械設備運転管理状況	210
①	各設備の運転状況等	210
②	未使用機器の保守	211
③	機器故障状況	211
(2)	電気設備運転管理状況	214
①	電力使用状況	214
②	非常用発電設備運転状況	214
③	機器故障状況	214
3	水質及び汚泥管理状況	217
(1)	水質管理状況	217
①	水質試験結果	217
②	幹線調査結果	217
③	反応タンク試験結果及び生物試験結果	217
④	通日試験結果	217
(2)	汚泥管理状況	217
(3)	その他管理状況	217
①	放流河川調査結果	217
②	臭気測定結果	218
参 考 資 料		237
水質試験等実施要領		238

公 社 の 概 要

1 公社の概要

令和7年3月31日現在の状況について記載する。

(1) 名 称 公益財団法人山梨県下水道公社

(2) 事務所所在地 事務局・峡東浄化センター 笛吹市石和町東油川字北畑417番地
富士北麓浄化センター 富士吉田市下吉田東四丁目26番1号
釜無川浄化センター 南巨摩郡富士川町長澤1790番地
桂川清流センター 大月市梁川町塩瀬800番地

(3) 設立目的

下水道技術の調査研究、下水道知識の普及啓発、下水道施設の管理運営並びに下水道排水設備工事責任技術者の認定等を行い、もって県及び市町村の下水道行政の推進と県民の健康で文化的な生活に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全に資することを目的とする。

(4) 事業

- ①下水道技術の調査研究
- ②下水道知識の普及啓発
- ③流域下水道施設の維持管理事業及び当該事業の関連事業
- ④下水道排水設備工事責任技術者の認定、登録等
- ⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(5) 基本財産（出捐金） 74,000 千円

山 梨 県 37,000 千円

市 町 村 37,000 千円

（内 訳）

○富士北麓流域関連市町村	○峡東流域関連市	○釜無川流域関連市町
富士吉田市 1,000 千円	甲府市 1,000 千円	韮崎市 1,000 千円
忍野村 1,000 千円	山梨市 2,000 千円	南アルプス市 5,000 千円
山中湖村 1,000 千円	笛吹市 6,000 千円	甲斐市 3,000 千円
富士河口湖町 3,000 千円	甲州市 2,000 千円	中央市 2,000 千円
		市川三郷町 2,000 千円
○桂川流域関連市町		富士川町 2,000 千円
富士吉田市		昭和町 1,000 千円
都留市 1,000 千円		
大月市 1,000 千円		
上野原市 1,000 千円		
西桂町 1,000 千円		

※富士北麓流域と桂川流域の両方に関連する富士吉田市については、富士北麓流域供用開始時に
出捐している。

公社の概要

(6) 評 議 員

役 職 名	常 勤	非 常 勤	計	備 考
評 議 員		7	7	
計		7	7	

(7) 役 員

役 職 名	常 勤	非 常 勤	計	備 考
理 事 長	1		1	
専 務 理 事	1		1	
理 事		5	5	
監 事		2	2	
計	2	7	9	

(8) 組織及び職員配置

評 議 員 会

評 議 員 ——— 7名

理 事 会

理 事 長
専務理事 ——— 1名
理 事 ——— 5名

監 事

監 事 ——— 2名

事 務 局

事務局長（専務理事兼任）
総務グループ
事 務 職 ——— 3名
業務グループ
化 学 職 ——— 1名
電 気 職 ——— 1名
機 械 職 ——— 1名
臨時職員 ——— 1名

富士北麓浄化センター

所長
管理グループ
化 学 職 ——— 1名
電 気 職 ——— 1名
機 械 職（桂川機械職1名兼務）
臨時職員 ——— 1名

峡 東 浄 化 セ ン タ ー

所長
管理グループ
化 学 職 ——— 1名
電 気 職 ——— 2名
臨時職員 ——— 1名

釜無川浄化センター

所長
管理グループ
化 学 職 ——— 1名
電 気 職 ——— 1名
機 械 職 ——— 1名
臨時職員 ——— 1名

桂 川 清 流 セ ン タ ー

所長
管理グループ
化 学 職 ——— 1名
電 気 職 ——— 1名
機 械 職 ——— 1名
臨時職員 ——— 1名

(9) 分掌事務

事務局

総務グループ

- ①下水道知識の普及及び啓発に関すること。
- ②公社運営の企画に関すること。
- ③評議員会及び理事会に関すること。
- ④定款、その他規程等の制定及び改廃に関すること。
- ⑤事業計画及び事業報告に関すること。
- ⑥予算、決算及び経理に関すること。
- ⑦文書及び社印に関すること。
- ⑧職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- ⑨資産の取得、管理及び処分に関すること。
- ⑩物品の調達、管理及び処分に関すること。
- ⑪業務の受託及び委託に関すること。
- ⑫事務所及び関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑬その他、他のグループ及び事務所の所掌に属さない事務に関すること。

業務グループ

- ①下水道技術の調査研究に関すること。
- ②下水道知識の普及及び啓発に関すること。
- ③下水道施設の土木関連業務の実施に関すること。
- ④下水道の水質分析等の受託に関すること。
- ⑤流域関連公共下水道の支援に関すること。
- ⑥下水道排水設備工事責任技術者の認定、登録に関すること。
- ⑦公社業務の企画及び実施に関すること。
- ⑧下水道技術者の養成に関すること。
- ⑨事務所の技術的事項の連絡調整及び支援に関すること。
- ⑩下水処理の統計及び調査資料の作成に関すること。
- ⑪関係機関との技術的事項の連絡調整に関すること。
- ⑫その他、他のグループ及び事務所の所掌に属さない技術的業務に関すること。

事務所（浄化センター、清流センター）

管理グループ

- ①下水道技術の調査研究に関すること。
- ②下水道知識の普及及び啓発に関すること。
- ③処理施設及びポンプ施設の維持管理に関すること。
- ④各種機器の保守、点検及び調整に関すること。
- ⑤汚泥の処分に関すること。
- ⑥管路の維持管理に関すること。
- ⑦施設の小規模補修に関すること。
- ⑧水質及び汚泥の測定、分析等に関すること。
- ⑨委託業務の指導、監督に関すること。
- ⑩庁舎の管理に関すること。
- ⑪下水道台帳に関すること。
- ⑫文書及び社印に関すること。
- ⑬資産の取得、管理及び処分に関すること。
- ⑭物品の調達、管理及び処分に関すること。
- ⑮経理に関すること。
- ⑯下水道技術者の養成に関すること。
- ⑰その他流域下水道施設の維持管理に必要な業務に関すること。

2 事業の実施状況

令和6年度に実施した主な事業は次のとおりである。

(1) 富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道維持管理事業

ア) 流域下水道維持管理業務

富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道の維持管理業務を山梨県から受託し実施した。

受託期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日

受託内容 ア 富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道に係る施設（関連する施設設備を含む。）の運転操作、保守点検、小規模な補修及び改良

イ 下水量等の計量計測、水質及び汚泥成分等の分析

ウ 下水及び汚泥等の処理処分

エ 前記の受託業務に付随する業務

令和6年度各流域下水道流入下水量及び放流水質の状況

	流入下水量	放流水質/BOD	放流水質/SS
富士北麓流域下水道	8,816,695 m ³ /年	2.6mg/L	1.7mg/L
峡東流域下水道	10,951,792 m ³ /年	2.4mg/L	2.1mg/L
釜無川流域下水道	19,354,773 m ³ /年	2.6mg/L	3.4mg/L
桂川流域下水道	2,702,965 m ³ /年	1.6mg/L	1.8mg/L

イ) 流域下水道機器分解点検業務

山梨県流域下水道ストックマネジメント計画に基づく、富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道の機器分解点検業務を山梨県から受託し実施した。

受託期間 富士北麓・峡東・釜無川 令和6年5月27日から令和7年3月25日

桂川 令和6年4月26日から令和7年3月25日

受託内容 状態監視保全に位置づけられた機器の状態監視、劣化・損傷を把握するための分解点検、調査等

受託数 4件 対象機器数 14台

(2) 下水道排水設備工事責任技術者認定登録等の事業

下水道の普及促進及び技術者の養成を図るため、下水道排水設備工事責任技術者の認定試験及び更新講習を実施し、認定及び登録並びに登録更新を行った。

更新講習 令和6年6月25～27日、7月19日、8月1日 受講者 564名

試験講習 令和6年10月22日 受講者 45名

認定試験 令和6年11月21日 受験者 58名

合格者 30名

(3) 下水道技術の調査研究事業

下水処理を安定的かつ経済的に行うため、調査研究を実施した。

送風機の運用に関する調査について

下水道施設における非化石電気の活用に関する調査について

釜無川浄化センターNo.2脱水機の運転について

反応タンク更新工事に伴う処理機能の移行に関する事前調査について

(4) 下水道知識の普及啓発事業

ア) 施設見学者の案内及び説明

年間を通じて浄化センター及び清流センターを一般開放し、小学校や各種団体の依頼に対して、施設案内及び説明を行い、下水道知識の普及啓発に努めた。

公社の概要

	見学者
富士北麓浄化センター	822名
峡東浄化センター	596名
釜無川浄化センター	925名
桂川清流センター	182名
合 計	2,525名

イ) 下水道出前教室

処理場の見学に来られない小学生等を対象に実施した。

実施回数 23回 参加者 901名

ウ) 下水道まつり

下水道事業に対する地域住民の協力を感謝するとともに、今後一層の事業推進の必要性を県民に広くアピールするため、釜無川浄化センターにおいて「第36回下水道まつり」を開催した。

釜無川浄化センター 令和6年9月8日(日) 来場者数 1,400名

エ) 下水道ポスターコンクール

地域住民の下水道事業に対する認識を高め、下水道の普及拡大を推進することを目的として県内の小学生(4～6年生)を対象に下水道ポスターコンクールを実施した。

第35回下水道ポスターコンクール 応募校数 90校 応募作品数 1,641点

表彰式 令和6年11月24日(日) 入賞者 59名

オ) 講習会等

市町村の下水道担当職員の技術水準の向上に寄与するため、下水道管理担当者会議と管路内及びマンホール修繕等の現場見学会を開催した。

カ) 県及び市町村イベント等への参加協力

県及び市町村からの依頼によりイベント等への参加協力を実施した。

甲州富士川まつり実行委員会主催の甲州富士川まつり 令和6年11月10日(日)

キ) その他の普及啓発活動

公共施設等における下水道PRパネル・ポスターコンクール入賞作品の展示を実施した。

(5) 公共下水道水質測定事業

計量証明事業の登録を活用して、山梨県流域下水道維持管理要綱に基づく公共下水道接続点等の水質検査を、流域関連市町村からの受託により実施した。

各流域合計受託市町村 19市町村 測定箇所 177箇所

(6) 公共下水道維持管理事業

流域関連市町村を支援するため、公共下水道施設の維持管理業務及び技術援助業務を市町村からの受託により実施した。

笛吹市公共下水道 マンホールポンプ場技術援助業務

流域下水道の維持管理

I 流域下水道の概要

流域下水道の概要

流域下水道全体計画概要を表 1－1 に、流域下水道全体計画図を図 1－1 に、維持管理進捗状況を表 1－2 に示す。

表 1－1 流域下水道全体計画概要

流 域 名	富士北麓流域下水道	峡 東 流 域 下 水 道	釜無川流域下水道	桂 川 流 域 下 水 道
関 連 市 町 村	富 士 吉 田 市 忍 野 村 山 中 湖 村 富 士 河 口 湖 町	甲 府 市 山 梨 市 笛 吹 市 甲 州 市	韮 崎 市 南 ア ル プ ス 市 甲 斐 市 中 央 市 市 川 三 郷 町 富 士 川 町 昭 和 町	富 士 吉 田 市 都 留 市 大 月 市 上 野 原 市 西 桂 町
排 除 方 式	分 流 式	分 流 式	分 流 式	分 流 式
事 業 年 度	昭和50年～令和13年	昭和52年～令和17年	昭和61年～令和17年	平成5年～令和13年
計 画 面 積	4,466.5ha	6,343.5ha	8,047.1ha	1,692.6ha
計 画 人 口	70,450 人	106,060 人	213,090 人	43,260 人
計画処理水量	49,738 m ³ /日	74,530 m ³ /日	143,380 m ³ /日	23,759 m ³ /日
幹 線 延 長	33.5km	63.7km	77.0km	47.9km
ポ ン プ 場	3 箇所	3 箇所	8 箇所	2 箇所
全 体 事 業 費	271 億円	615 億円	953 億円	689 億円
備 考	昭和 61 年 7 月 一部供用開始	平成元年 7 月 一部供用開始	平成 5 年 4 月 一部供用開始	平成 16 年 4 月 一部供用開始

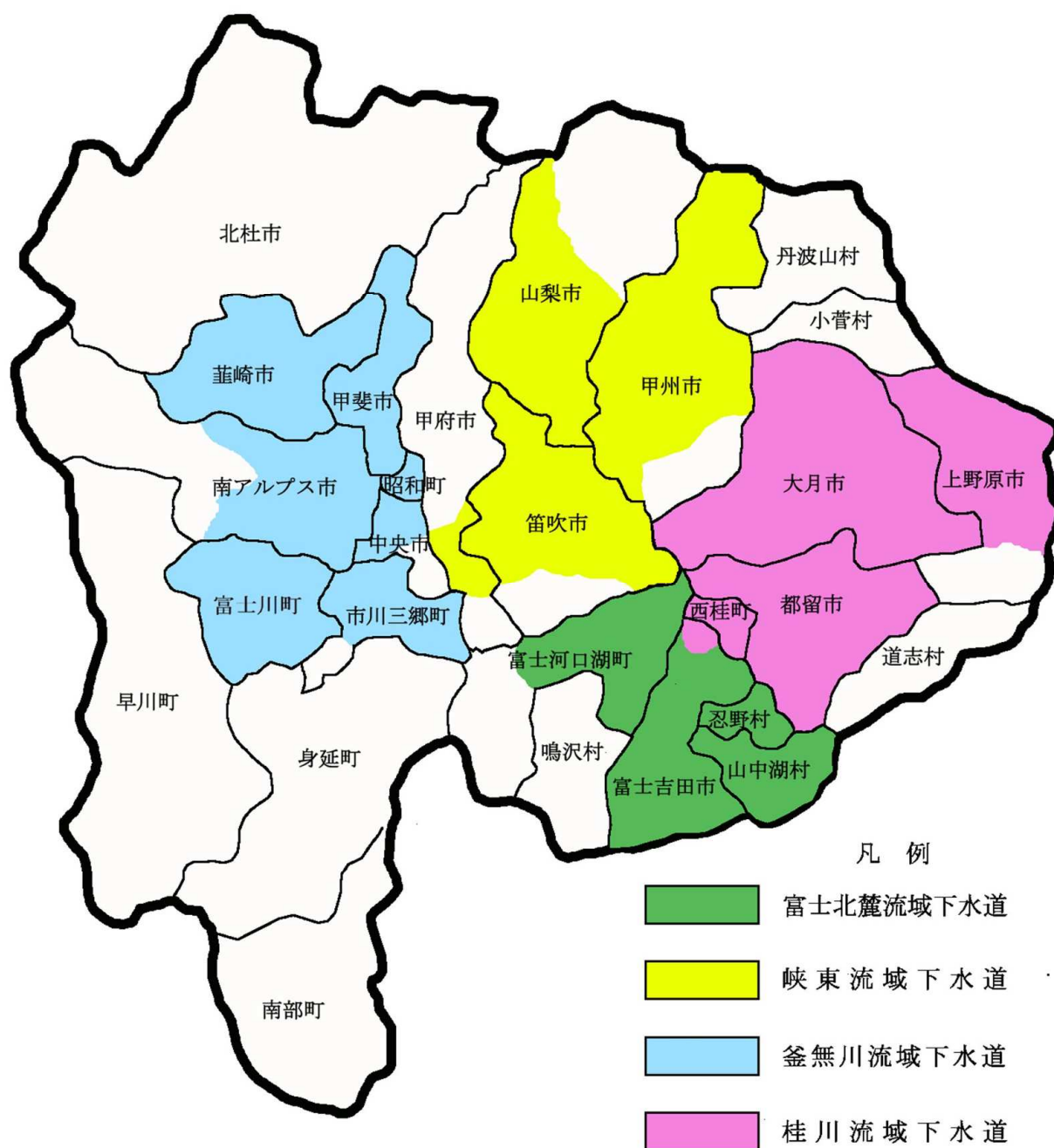


図 1 - 1 流域下水道全体計画図

表 1－2 維持管理進捗状況

流域名	年度 項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
富士北麓	供用開始市町村数	市町村	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	供用幹線延長	km	29.3	29.3	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2
	ポンプ場数	箇所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	流入下水量	m ³ /年	7,852,719	7,848,885	8,215,930	8,401,829	8,405,358	7,639,200	7,779,915	8,143,938	8,387,325	8,816,695
	電力使用量	kWh/年	2,374,962	2,460,426	2,555,262	2,552,832	2,553,930	2,335,656	2,455,128	2,483,184	2,596,416	2,541,648
	脱水ケーキ発生量	t/年	4,096	3,981	3,970	4,236	4,252	3,379	3,449	3,624	3,929	4,229
峡東	供用開始市数	市	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	供用幹線延長	km	59.5	59.5	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8
	ポンプ場数	箇所	8(5)	8(5)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)
	流入下水量	m ³ /年	10,798,873	10,629,068	10,900,948	10,876,602	10,921,284	11,019,786	10,546,212	10,572,539	10,508,115	10,951,792
	電力使用量	kWh/年	3,852,597	3,784,127	3,731,920	3,651,421	3,647,193	3,675,767	3,681,984	3,658,464	3,594,528	3,616,896
	脱水ケーキ発生量	t/年	6,933	6,690	6,859	6,883	6,804	6,654	6,966	7,049	7,314	7,222
釜無川	供用開始市町村数	市町	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	供用幹線延長	km	78.7	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	76.4
	ポンプ場数	箇所	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)
	流入下水量	m ³ /年	17,257,237	16,885,649	17,323,909	17,433,682	17,860,879	19,176,968	18,509,110	18,554,738	19,010,662	19,354,773
	電力使用量	kWh/年	4,853,232	4,966,104	4,911,384	4,789,992	4,909,848	5,092,440	4,975,560	5,051,760	5,002,632	4,946,424
	脱水ケーキ発生量	t/年	13,964	14,269	14,568	15,075	14,742	15,103	15,301	15,829	14,789	15,040
桂川	供用開始市町村数	市町	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	供用幹線延長	km	42.8	42.8	43.6	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.3
	ポンプ場数	箇所	2	2	3(1)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)
	流入下水量	m ³ /年	2,259,368	2,262,343	2,339,514	2,378,968	2,432,936	2,516,778	2,576,303	2,611,066	2,661,960	2,702,965
	電力使用量	kWh/年	1,629,048	1,620,000	1,656,552	1,661,160	1,664,040	1,675,344	1,674,816	1,670,904	1,674,288	1,690,752
	脱水ケーキ発生量	t/年	1,457	1,502	1,570	1,623	1,628	1,573	1,663	1,645	1,614	1,650

* 過去10年間のデータを記載した。

* ポンプ場数記載方法は、総ポンプ場数（マンホールポンプ場数）である。

Ⅱ 富士北麓流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

富士北麓流域下水道は、昭和61年7月の供用開始より39年目を迎えている。

全体計画処理水量は49,738 m³/日、事業計画水量は38,174 m³/日であり、幹線は32.2 kmが供用開始となっている。

供用開始区域内の面積は2,479.95ha、人口は51,263人となっており、流入下水量は令和6年度平均で24,155 m³/日である。

富士北麓流域下水道の全体計画及び現況を表2-1に、富士北麓流域下水道事業計画図を図2-1に、関連公共下水道市町村別水洗化状況を表2-2に、市町村別流入下水量を表2-3に示す。

表2-1 全体計画及び現況

市町村名	項 目	全体計画 (計画年次:昭和50年～令和13年)		事業計画 (計画年次:昭和50年～令和7年)		供用開始区域	
		計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
	富 士 吉 田 市	1, 512. 9	31, 760	829. 9	21, 490	626. 68	19, 050
	忍 野 村	611. 0	12, 370	585. 1	11, 890	458. 03	7, 882
	山 中 湖 村	508. 2	3, 040	468. 7	2, 950	473. 66	3, 639
	富士河口湖町	1, 834. 4	23, 280	1, 188. 7	17, 700	921. 58	20, 692
	合 計	4, 466. 5	70, 450	3, 072. 4	54, 030	2, 479. 95	51, 263
	計画処理水量 (日最大)	49, 738 m ³ ／日		38, 174 m ³ ／日		—	
	下水排除方式	分 流 式					
	処 理 方 式	標 準 活 性 汚 泥 法					
	幹 線 延 長	33. 5 km		33. 5 km		管理延長 32. 2 km	
	ポンプ場数	3 箇所		3 箇所		3 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和7年4月1日現在の値を示す。

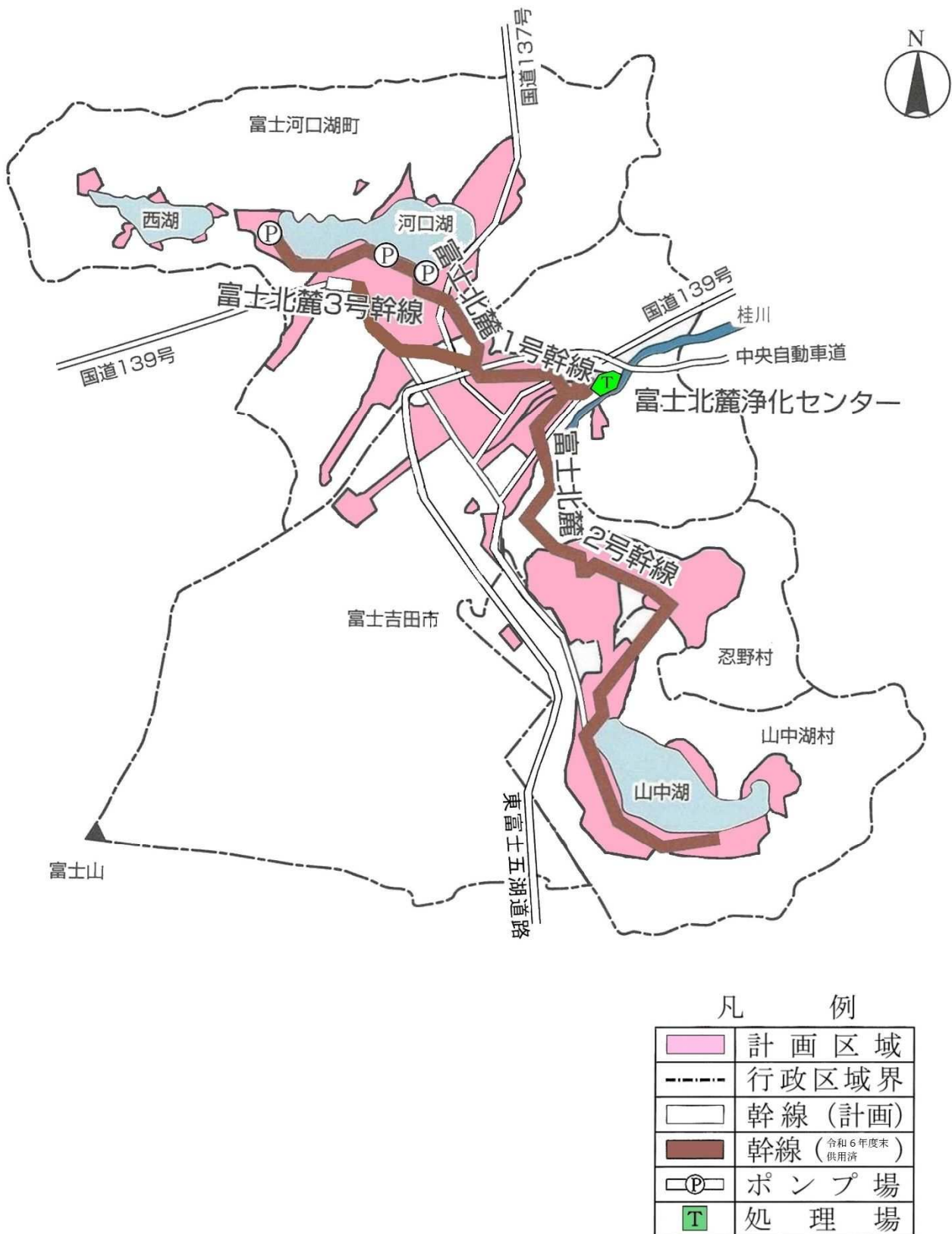


図 2 - 1 富士北麓流域下水道事業計画図

表 2－2 関連公共下水道市町村別水洗化状況

市町村名	項目	令和 6 年 度 末			普及率	水洗化率	接続戸数
		行政 人口 A (人)	処理区域 内人口 B (人)	水洗化 人口 C (人)			
富士吉田市		39,288	19,050	15,454	48.5	81.1	6,492
忍野村		9,658	7,882	6,044	81.6	76.7	3,177
山中湖村		5,796	3,639	3,457	62.8	95.0	1,371
富士河口湖町		26,152	20,692	20,122	79.1	97.2	8,435
計		80,894	51,263	45,077	63.4	87.9	19,475

注1) 行政人口は、令和 7 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 7 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 富士吉田市の行政人口については、桂川流域分を除いた人口を示す。

注4) 富士河口湖町の行政人口については、旧上九一色村南部区域を除いた人口を示す。

表 2－3 市町村別流入下水量

(単位：m³)

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
富士吉田市	169,364	162,676	179,034	198,919	198,660	198,037	209,075	202,460	224,218	229,740	200,885	203,858	2,376,926	198,077
忍野村	80,699	89,326	81,111	82,153	87,339	77,709	74,330	73,483	94,266	94,863	92,135	93,731	1,021,145	85,095
山中湖村	135,716	138,349	132,196	142,117	171,277	143,406	138,361	130,103	145,135	158,250	149,066	167,278	1,751,254	145,938
富士河口湖町	286,295	303,584	285,702	314,436	344,073	314,989	295,731	291,660	303,395	324,868	297,254	305,383	3,667,370	305,614
合 計	672,074	693,935	678,043	737,625	801,349	734,141	717,497	697,706	767,014	807,721	739,340	770,250	8,816,695	734,725
日平均	22,402	22,385	22,601	23,794	25,850	24,471	23,145	23,257	24,742	26,056	26,405	24,847	年間日平均	24,155

(2) 施設整備状況

施設整備状況については、令和 7 年 3 月までに富士北麓浄化センターにおける曝気沈砂池設備が更新され、供用開始している。

令和 6 年度末の状況については、以下のとおりである。

①富士北麓浄化センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池 2.5 / 3 池、反応タンク 5 / 6 池、最終沈殿池 2.5 / 3 池となっており、処理能力は 42,100 m³ / 日である。

富士北麓浄化センターの全体平面図を図 2-2 に、フローシートを図 2-3 に、建築構造物概要を表 2-4 に、水処理機械設備概要を表 2-5 に、汚泥処理機械設備概要を表 2-6 に、電気設備概要を表 2-7 に、単線結線図を図 2-4 に、システム系統図を図 2-5 に示す。

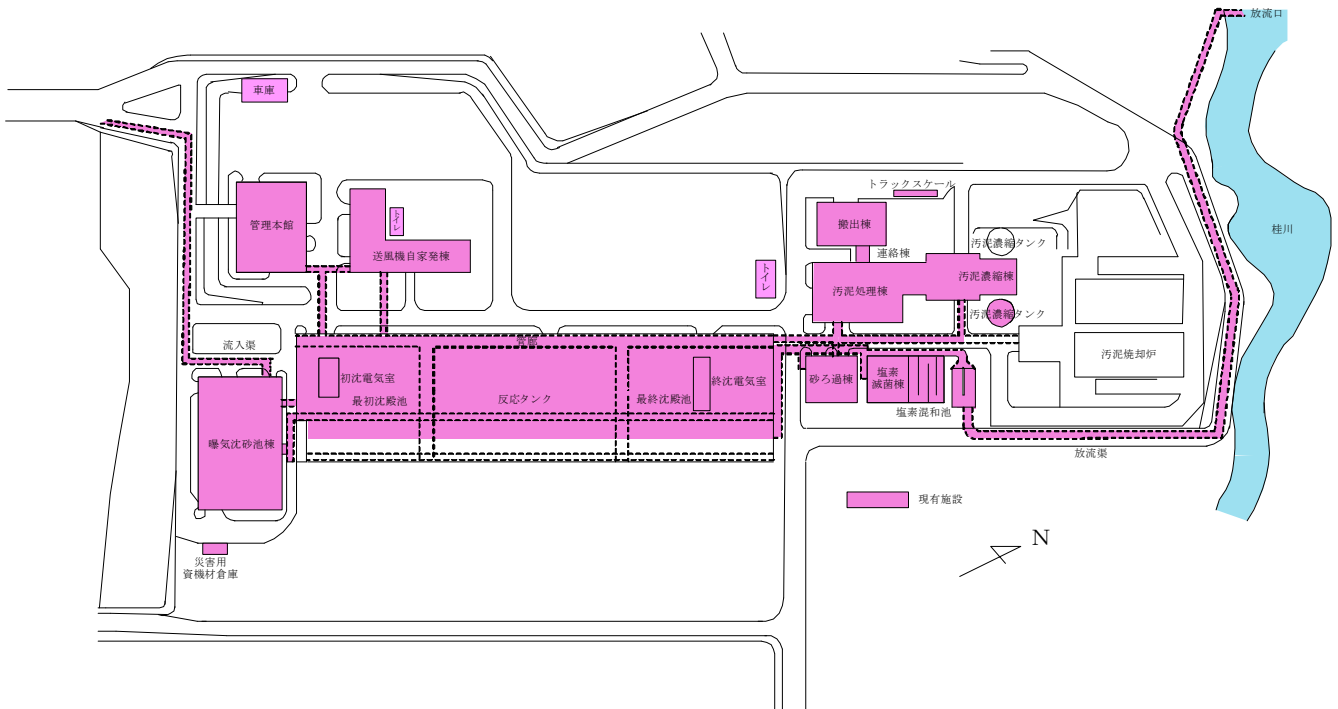


図 2-2 富士北麓浄化センター全体平面図

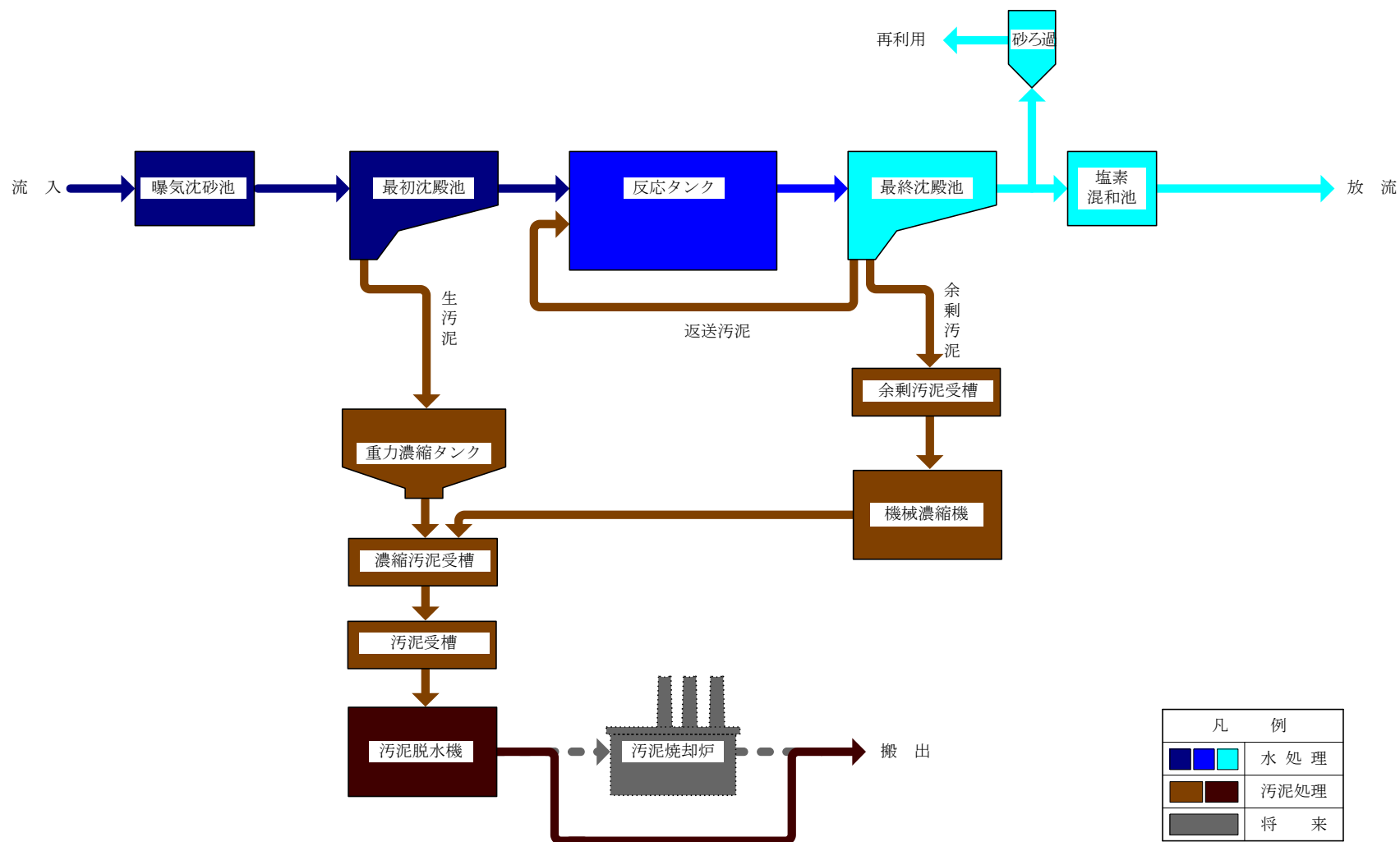


図 2 - 3 富士北麓浄化センターフローシート

表 2 - 4 富士北麓浄化センター建築構造物概要

施設	項目	構 造 及 び 概 要
管 理 本 館		R C 造 地下 1 階、地上 4 階 建築面積 936㎡ 延床面積 2,833㎡ 事務室、水質試験室、会議室、中央管理室、換気ファン室、空調機械室、設計室、その他
曝気沈砂池棟		R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 1,776㎡ 延床面積 1,939㎡ スクリーン室、曝気沈砂池室、脱臭機室、搬出作業室、電気室、その他
送 風 機 自 家 発 棟		R C 造 地下 1 階、地上 3 階 建築面積 873㎡ 延床面積 1,947㎡ 送風機室、エアフィルター室、自家発電機室、換気ファン室、電気室、ポンプ室、その他
最 初 沈 殿 池 電 気 室		R C 造 地上 1 階 建築面積 124㎡ 延床面積 122㎡ 電気室、スカム分離機室、階段室
最 終 沈 殿 池 電 気 室		R C 造 地上 1 階 建築面積 205㎡ 延床面積 192㎡ 電気室
塩 素 滅 菌 棟		R C 造 地上 1 階 建築面積 122㎡ 延床面積 122㎡ 塩素滅菌室
砂 ろ 過 棟		R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 107㎡ 延床面積 438㎡ ポンプ室、電気室、その他
汚 泥 濃 縮 棟		R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 95㎡ 延床面積 297㎡ ポンプ室、搬出室、スクリーン室、換気ファン室、脱臭機室、その他
汚 泥 処 理 棟		R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 1,380㎡ 延床面積 3,228㎡ ポンプ室、脱臭機室、スクリーン室、脱水機室、遠心濃縮機室、遠心脱水機室、コンベヤ室、換気ファン室、電気室、搬出入作業室、その他
搬 出 棟		R C 造 地上 2 階 建築面積 433㎡ 延床面積 510㎡ 搬出室、脱臭機室、その他

表 2-5 富士北麓浄化センター水処理機械設備概要

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
曝 気 沈 砂 池 設 備	幅5.3m×深3.6m×長10m 164m³ (1池当たり) スクリーン室流入ゲート (外ネジ式铸铁製) 幅0.9m×高1.2m 曝気沈砂池流入ゲート (外ネジ式铸铁製) 幅1m×高1.2m 粗目スクリーン (手掻きバースクリーン) 水路幅0.9m×水路深3m×目幅100mm 細目スクリーン自動除塵機 (間欠式前面掻揚型) 水路幅1.5m×水路深3m×目幅20mm×2.2kW 水路幅1.5m×水路深3m×目幅20mm×1.5kW No.1し渣搬出機 (傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅500mm×長17.8m 輸送量24m³/h×20m/min×1.5kW No.1沈砂搬出機 (フライト式ダブルチェーンコンベヤ) フライト幅500mm 輸送量1.22m³/h×3m/min×1.5kW し渣洗浄脱水機 (スクリュウ式脱水機) 処理量0.4m³/h×2.2kW No.1集砂装置 (エジェクター式集砂装置) 幅5.3m×長10m 揚砂ポンプ (着脱式水中渦流ポンプ) φ150×1.5m³/min×23m×22kW 集砂水ポンプ (着脱式水中汚水ポンプ) φ150×1.5m³/min×19m×11kW 沈砂分離機 (分離槽付スクリュウコンベヤ) 1.5m³/min×2.2kW 沈砂池散気装置 (散気筒型散気装置) φ80×10個/基	1 池 4 門 2 門 2 基 1 基 1 基 1 基 1 基 1 基 1 台 2 台 (予備1台) 1 基 2 基
最 初 沈 殿 池 設 備	幅7.3m×長28.5m×深3.3m×2水路 1,373m³ (1池当たり) 幅7.3m×長23.5m×深3.3m×2水路 1,132m³ (1池当たり) 初沈汚泥ポンプ (無閉塞型汚泥ポンプ) φ100×1.0m³/min×8m×5.5kW 初沈汚泥掻寄機 (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅3.0m×機長23.4m×0.6m/min×0.75kW (1水路1駆動) 幅3.0m×機長18.3m×0.6m/min×0.4kW (1水路1駆動) 初沈スカムスキマー (空気作動回転式パイプスキマー) φ250×幅3.65m/3.35m (1水路1駆動) 初沈スカムスキマー (電動回転式パイプスキマー) φ300×幅7.60m×0.2kW (1水路1駆動) スカム分離機 (回転ドラムスクリーン) 処理能力3.6m³/min×目幅3mm×1.5kW 分離液排水ポンプ φ150×1.8m³/min×8m×7.5kW	2 池 0.5 池 2 台 (予備1台) 4 基 1 基 4 基 1 基 1 基 2 台

富士北麓流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
反 応 タ ン ク 設 備	幅7.6m×長81.5m×深4.8m 2,812m ³ (1池当たり)	5 池
	No.1-1反応タンク散気装置	
	水中攪拌機	5 台
	送風量2.6Nm ³ /min×酸素供給量10kg O ₂ /h×3.7kW	
	全面式散気装置	508 枚
	散気量100L/min/枚	
	No.1-2反応タンク散気装置	
	双曲面形攪拌・曝気機	
	送風量4.3Nm ³ /min×酸素供給量20kg O ₂ /h×5.5kW	1 台
	送風量3.9Nm ³ /min×酸素供給量14.5kg O ₂ /h×3.7kW	2 台
送 風 機 設 備	全面式散気装置	783 枚
	散気量20～50L/min/枚	
	No.1-3反応タンク散気装置	
	旋回流式散気板 (固定式)	260 枚
	散気量80～100L/min/枚	
	No.1-4反応タンク散気装置	
	旋回流式散気板 (固定式)	260 枚
	散気量80～100L/min/枚	
	No.2-1反応タンク散気装置	
	双曲面形攪拌・曝気機	
最 終 沈 殿 池 設 備	送風量4.25Nm ³ /min×酸素供給量20kg O ₂ /h×5.5kW	1 台
	送風量3.08Nm ³ /min×酸素供給量14.5kg O ₂ /h×3.7kW	2 台
	全面式散気装置	783 枚
	散気量20～40L/min/枚	
	フロスブレーポンプ (片吸込渦巻ポンプ)	
	φ150/φ125×2.1m ³ /min×24m×15kW	1 台
	φ150/φ125×4.1m ³ /min×26m×30kW	1 台
	送風機 (増速単段ターボブロワ)	
	φ250/φ200×55m ³ /min×58.8kPa×90kW	2 台
	φ300/φ250×76m ³ /min×56.8kPa×110kW	1 台
塩 素 滅 菌 設 備	幅7.3m×長46.4m×深3m×2水路 2,032m ³ (1池当たり)	2.5 池
	終沈汚泥掻寄機 (フライト付ダブルチェーンコンベヤ)	
	幅3.0m×機長41.3m×0.3m/min×0.75kW (1水路1駆動)	4 基
	幅3.0m×機長41.7m×0.3m/min×0.4kW (1水路1駆動)	1 基
	終沈スカムスキマー (空気作動回転式パイプスキマー)	4 基
	φ250×幅3.65m/3.35m (1水路1駆動)	
	終沈スカムスキマー (電動回転式パイプスキマー)	1 基
	φ300×幅7.20m×0.2kW (1水路1駆動)	
	返送汚泥ポンプ (吸込スクレー式汚泥ポンプ)	
	φ200/φ150×3.0m ³ /min×6m×7.5kW	2 台
塩 素 滅 菌 設 備	φ200/φ200×5.3m ³ /min×6m×15kW	1 台
	φ250×6.0m ³ /min×6m×11kW	4 台
	余剰汚泥ポンプ (無閉塞汚泥ポンプ)	2 台
	φ100×1.0m ³ /min×9m×5.5kW	
	余剰汚泥ポンプ (吸込スクレー式汚泥ポンプ)	
	φ100×1.0m ³ /min×16m×7.5kW	2 台
	塩素混和池 幅2.5m×96m×3m 720m ³ (1池当たり)	1 池
	次亜塩注入ポンプ (プランジャ駆動ダイヤフラム式)	2 台 (予備1台)
	φ15×(0.04～0.99) L/min×1.0MPa×0.4kW	
	砂ろ過用次亜塩注入ポンプ (プランジャ駆動ダイヤフラム式)	1 台
塩 素 滅 菌 設 備	φ15×(0.008～0.097) L/min×1.0MPa×0.2kW	
	次亜塩貯留タンク 容量 3m ³	2 基

富士北麓流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
砂 ろ 過 設 備	砂ろ過水槽 幅4.5m×長3.7m×深 約3.0m 約50m ³ (1槽当たり) 幅4.5m×長7.7m×深 約3.0m 約104m ³ (1槽当たり) 砂ろ過塔 (移床式上向流砂ろ過器) 19.2m ³ /h 56.3m ³ /h 原水送水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ65/φ50×0.32m ³ /min×15m×2.2kW φ100/φ80×1.1m ³ /min×13m×5.5kW 砂ろ過送水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ125/φ100×2.2m ³ /min×10m×5.5kW φ150/φ125×3.6m ³ /min×10m×11kW 高架水槽揚水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ125/φ100×2.7m ³ /min×31m×22kW	2 槽 1 槽 2 塔 2 塔 2 台 2 台 2 台 1 台 2 台
脱 臭 設 備	曝気沈砂池棟 脱臭ファン (FRPターボファン) φ750×340m ³ /min×2.94kPa×30kW 薬液洗浄塔 (立型2液接触式充填塔) 処理風量340m ³ /min 薬液循環ポンプ φ100×1m ³ /min×19m×7.5kW 薬液供給ポンプ (流量可変定量ダイヤフラムポンプ) φ20×25~250cc/min×0.4kW (酸液用) φ20×10~100cc/min×0.2kW (アルカリ液用) 活性炭吸着塔 (無添着炭吸着塔) 処理風量340m ³ /min	1 台 1 塔 2 台 1 台 1 台 1 台

表 2 - 6 富士北麓浄化センター汚泥処理機械設備概要

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
重力濃縮設備	汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 $1 \text{ m}^3/\text{min} \times 5 \text{ mm} \times 0.4 \text{ kW}$ スクリーンかす脱水機 (スクリュウ式脱水機) 処理量 $0.25 \text{ t/h} \times 2.2 \text{ kW}$ スクリーンかすホッパー (電動式鋼鉄製) 容量 $2 \text{ m}^3 \times 0.75 \text{ kW} \times 2$ 重力濃縮タンク $\phi 8.5 \text{ m} \times \text{深} 3.0 \text{ m}$ 170 m^3 (1 槽当たり) 汚泥掻寄機 (中央駆動懸垂型) $\phi 8.5 \text{ m} \times 3 \text{ m} \times \text{周速度} 2.3 \text{ m/min} \times 0.4 \text{ kW}$ 濃縮汚泥移送ポンプ (吸込スクリュウ付汚泥ポンプ) $\phi 100 \times 1 \text{ m}^3/\text{min} \times 2 \text{ m} \times 2.2 \text{ kW}$	1 基 1 基 1 基 1 槽 1 基 1 台
機械濃縮設備	汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 $2 \text{ m}^3/\text{min} \times 4 \text{ mm} \times 0.75 \text{ kW}$ スクリーンかす脱水機 処理量 $0.26 \text{ t/h} \times 2.2 \text{ kW}$ 余剰汚泥受槽 $\text{幅} 5.5 \text{ m} \times \text{長} 3.5 \text{ m} \times \text{深} \text{ 約} 2.6 \text{ m}$ $\text{約} 50 \text{ m}^3$ (1 槽当たり) 余剰汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 7.5 kW 濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 100 \times (10 \sim 24) \text{ m}^3/\text{h} \times 20 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$ $\phi 125 \times (10 \sim 30) \text{ m}^3/\text{h} \times 20 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$ ベルト濃縮機 (ベルト型ろ過濃縮機) 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 3.6 kW 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 2.25 kW 遠心濃縮機 (横型連続遠心濃縮機) 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 (駆動用/差動用) $22/5.5 \text{ kW}$ 濃縮汚泥受槽 $\text{幅} 5.1 \text{ m} \times \text{長} 3.7 \text{ m} \times \text{深} \text{ 約} 2.5 \text{ m}$ $\text{約} 47 \text{ m}^3$ (1 槽当たり) $\text{幅} 5.5 \text{ m} \times \text{長} 4.2 \text{ m} \times \text{深} \text{ 約} 2.5 \text{ m}$ $\text{約} 58 \text{ m}^3$ (1 槽当たり) $\text{幅} 5.2 \text{ m} \times \text{長} 4.2 \text{ m} \times \text{深} \text{ 約} 2.5 \text{ m}$ $\text{約} 55 \text{ m}^3$ (1 槽当たり) 濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 7.5 kW 濃縮汚泥移送ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 100 \times 15 \text{ m}^3/\text{h} \times 20 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$ 薬品定量フィーダー (容積式定量フィーダー) $0.1 \sim 0.4 \text{ L/min} \times 0.2 \text{ kW}$ 薬品溶解タンク (鋼板製円筒立形) 有効容量 1.5 m^3 薬品溶解タンク用攪拌機 (立軸 2 段プロペラ式) 0.75 kW 薬品供給ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 20 \times (1.2 \sim 3.7) \text{ L/min} \times 20 \text{ m} \times 0.4 \text{ kW}$	1 基 1 基 2 槽 2 基 2 台 1 台 1 台 1 台 1 台 1 台 1 槽 1 槽 1 槽 3 基 2 台 (予備 1 台) 2 台 2 基 2 台 2 台 (予備 1 台)
脱 水 設 備	汚泥受槽 $\text{幅} 5.4 \text{ m} \times \text{長} 6.0 \text{ m} \times \text{深} \text{ 約} 3.7 \text{ m}$ $\text{約} 120 \text{ m}^3$ (1 槽当たり) $\text{幅} 4.9 \text{ m} \times \text{長} 4.8 \text{ m} \times \text{深} \text{ 約} 3.7 \text{ m}$ $\text{約} 87 \text{ m}^3$ (1 槽当たり) 汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 7.5 kW 脱水機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 125 \times (7.5 \sim 22.5) \text{ m}^3/\text{h} \times 22 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$ $\phi 100 \times (7.5 \sim 18.0) \text{ m}^3/\text{h} \times 40 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$ 汚泥脱水機 (ロータリープレス脱水機) 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 12.5 kW 遠心脱水機 (直胴型遠心脱水機) 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 (駆動用/差動用) $37/7.5 \text{ kW}$	1 槽 1 槽 2 基 1 台 1 台 1 基 1 基

富士北麓流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 水 設 備	No.1-1ケーキコンベヤ (水平トラフ形ベルトコンベヤ) 幅0.5m×長14m 輸送量20 t / h ×1.5kW	1 台
	No.1-2ケーキコンベヤ (傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅0.5m×長3m 輸送量24m ³ /h ×0.75kW	1 台
	No.1-3ケーキコンベヤ (水平トラフ形ベルトコンベヤ) 幅0.5m×長3.5m 輸送量24m ³ /h ×1.5kW	1 台
	No.2ケーキコンベヤ (傾斜ベルトコンベヤ) 幅0.5m×長17.7m 輸送量24m ³ /h ×1.5kW	1 台
	No.3ケーキコンベヤ (傾斜無軸スクリューコンベヤ) φ455×長8.8m 輸送量23.9m ³ /h ×7.5kW	1 台
	No.4ケーキコンベヤ (傾斜無軸スクリューコンベヤ) φ455×長6.9m 輸送量23.9m ³ /h ×11kW	1 台
	脱水ケーキホッパー (鋼板製角形カットゲート) 容量 10m ³	1 基
	容量 10m ³ 1.5kW×2台 (モートルシリンダ)	1 基
	薬品定量フィーダー (容積式定量フィーダー) 0.75~3.0L/min×0.4kW	1 台
	1.2~4.0L/min×0.4kW	1 台
	薬品溶解タンク (鋼板製立円筒タンク) 有効容量 9m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機 (立軸2段パドル形) 5.5kW	2 台
	薬品供給ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) φ50×(1.26~3.84)m ³ /h ×20m×1.5kW	1 台
	φ50×(1.3~3.8)m ³ /h ×25m×2.2kW	1 台
脱 臭 設 備	汚泥濃縮棟 脱臭ファン (F R P製片吸込ターボファン) φ320×22m ³ /min×2.2kW	2 台
	活性炭吸着塔 (F R P製上向流式) 22m ³ /min	1 塔
	生物脱臭塔 (F R P製充填式生物脱臭塔) 22m ³ /min	1 塔
	汚泥処理棟 脱臭ファン (ターボファン) φ375×50m ³ /min×5.5kW	1 台
	φ250×45m ³ /min×7.5kW	1 台
	生物脱臭塔 (F R P製充填式生物脱臭塔) 90m ³ /min	1 塔
	活性炭吸着塔 (F R P製立形2層式) 処理風量 100m ³ /min	1 塔
	汚泥搬出棟 脱臭ファン (ターボファン) φ375×35m ³ /min×3.7kW	1 台
	活性炭吸着塔 (F R P製上向流式) 処理風量 35m ³ /min	1 塔
そ の 他 設 備	分離液貯留槽 幅6.1m×長4.8m×深 約2.7m 約79m ³ (1槽当たり)	1 槽
	分離液移送ポンプ φ125/φ100×1.2m ³ /min×15.0m×7.5kW	2 台
	雑排水槽 幅2.5m×長3.7m×深 約2.2m 約20m ³ (1槽当たり)	1 槽
	雑排水圧送ポンプ φ125/φ100×1.0m ³ /min×15.0m×5.5kW	2 台
	トラックスケール (マルチロードセル方式) 秤量30t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

表 2 - 7 富士北麓浄化センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 6, 600 V / 50 Hz × 1 回 線 受 電 設 備 容 量 1, 970 kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定 格 電 圧 7, 200 V 定 格 電 流 600 A 定 格 遮 断 電 流 12. 5 kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 動力用 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 200 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 300 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 150 kVA 電灯用 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 150 kVA " 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 50 kVA " 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 20 kVA	2 台 4 台 1 台 1 台 1 台 1 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W × 6, 600 V × 150 kVA 3 φ 3 W × 6, 600 V × 50 kVA	1 台 1 台
直 流 電 源 装 置	送 風 機 棟 200 Ah × 54 セル 長 寿 命 制 御 弁 式 据 置 鉛 蓄 電 池 汚 泥 棟 100 Ah × 54 セル 長 寿 命 制 御 弁 式 据 置 鉛 蓄 電 池	1 式 1 式
交 流 無 停 電 電 源 装 置	送 風 機 棟 200 Ah × 54 セル 長 寿 命 制 御 弁 式 据 置 鉛 蓄 電 池 終 沈 電 気 室 200 Ah × 54 セル 長 寿 命 制 御 弁 式 据 置 鉛 蓄 電 池	1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 433 kW (588 PS) 3 φ 3 W × 6, 600 V × 500 kVA 430 kW (585 PS) 3 φ 3 W × 6, 600 V × 375 kVA 始動用直流電源装置 300 Ah × 12 セル 制 御 弁 式 据 置 鉛 蓄 電 池 400 Ah × 24 セル 制 御 弁 式 据 置 鉛 蓄 電 池	1 台 1 台 1 式 1 式
中 央 監 視 設 備	L C D 装 置 大型ディスプレイ プリンタ ロガーコントローラ	4 台 2 台 2 台 1 台
遠 方 監 視 制 御 設 備	入出力装置 テレメータ・テレコントロール装置 (親局) 帯域品目 3. 4 kHz × 2 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置 (親局) 帯域品目 3. 4 kHz × 2 線式 保守用電話切替式 帯域品目 3. 4 kHz × 2 線式 符号品目 50 b / s	1 台 2 台 1 台 1 台 3 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 放送設備 T V 共聴設備 避雷設備 デマンド監視設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

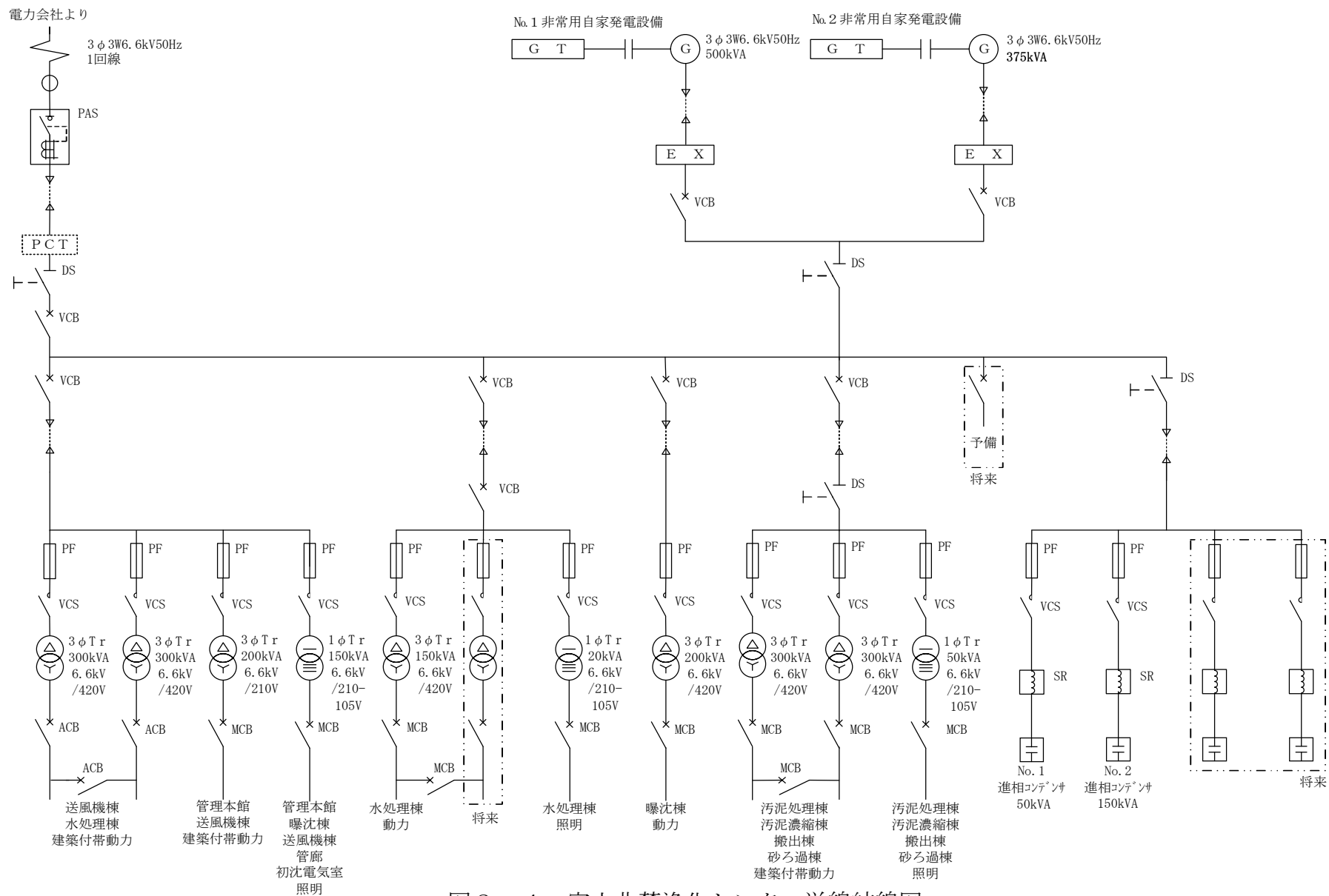


図 2-4 富士北麓浄化センター単線結線図

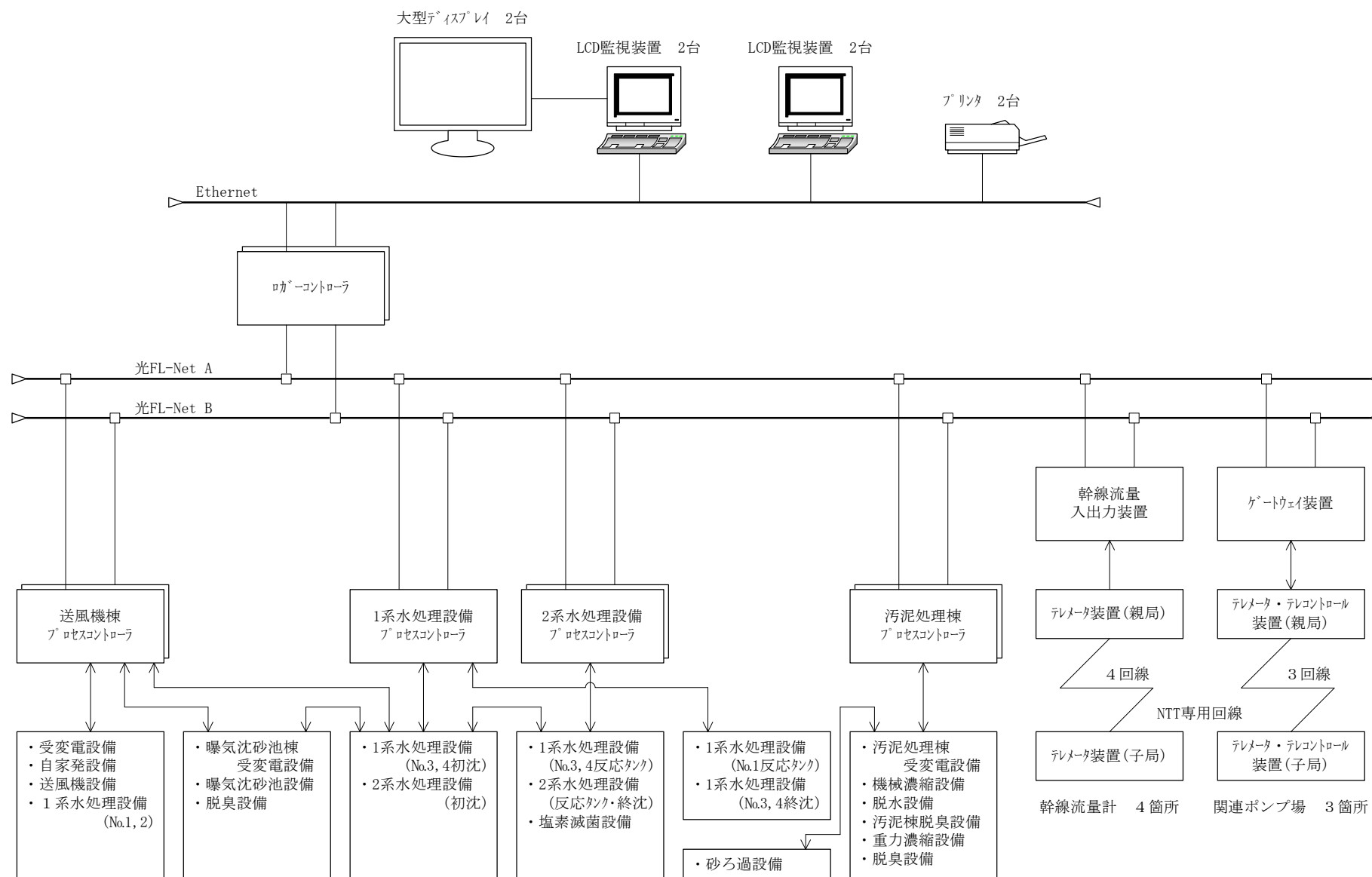


図2-5 富士北麓浄化センターシステム系統図

富士北麓流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画3箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長33.5kmの内32.2kmが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は7箇所となっている。

流域幹線系統図を図2-6に、流域関連公共下水道接続概要を表2-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表2-9に、機械設備概要を表2-10に、電気設備概要を表2-11に、単線結線図を図2-7～図2-9に、幹線概要を表2-12に、幹線付帯設備概要を表2-13に、幹線流量計測設備概要を表2-14に示す。

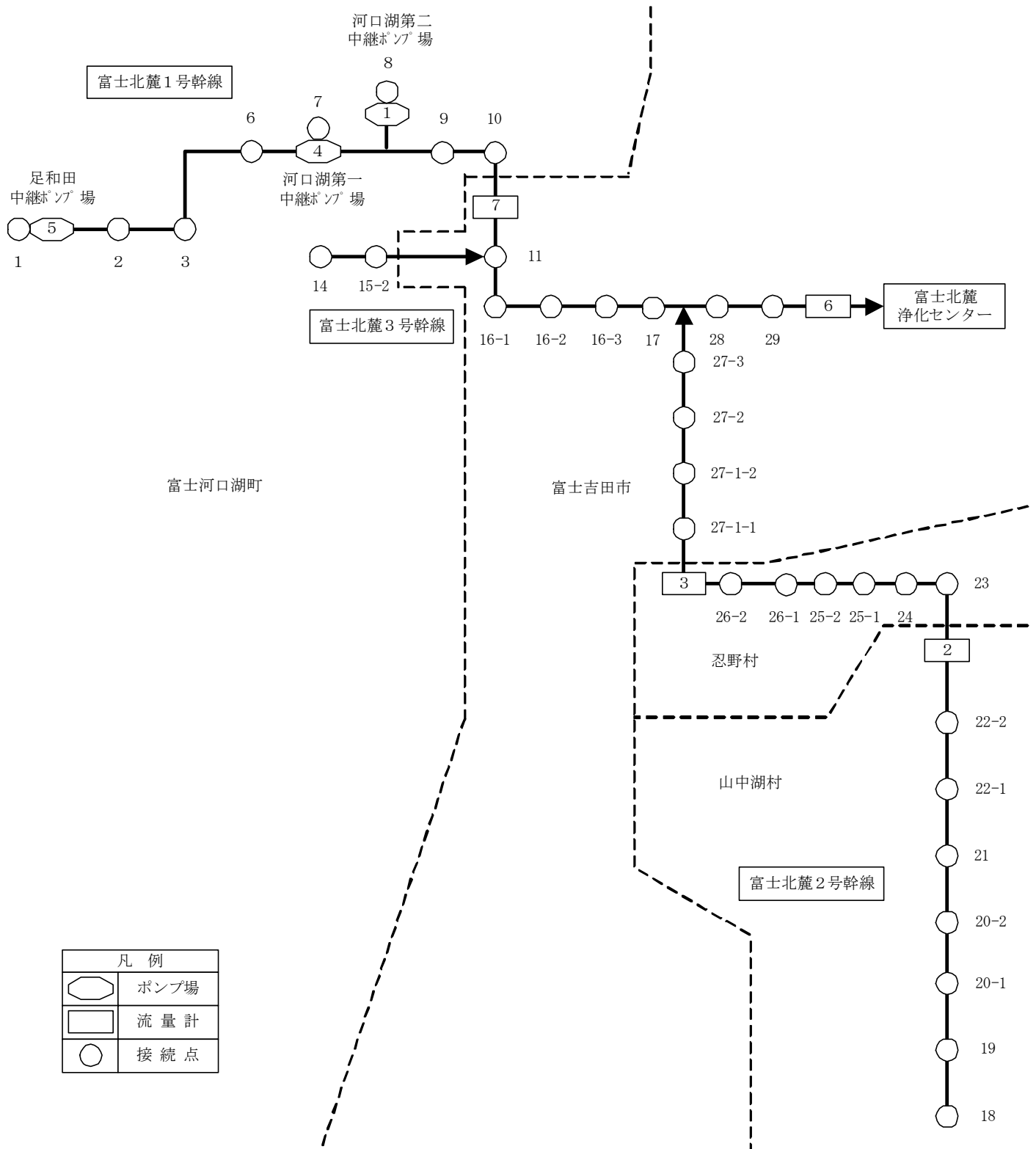


図 2 - 6 流域幹線系統図

表 2－8 流域関連公共下水道接続概要

幹 線 名	処理分区名	供用開始年月日	処 理 区 域 面 積 (ha)	処理区域内 人 口 (人)	接続市町村名
富 士 北 麓 1 号 幹 線	第 1	平成 2 年 4 月 1 日	105.43	1,121	富 士 河 口 湖 町
	第 2		79.69	1,398	
	第 3	平成 2 年 6 月 1 日	109.10	2,068	
	第 6	平成 2 年 4 月 1 日	51.50	1,173	
	第 7		96.93	2,448	
	第 8	昭和 6 3 年 1 月 1 1 日	69.44	1,534	
	第 9	昭和 6 1 年 7 月 1 日	17.51	940	
	第 10		289.26	8,934	
	第 15－1		78.24	731	
	第 11	平成 6 年 7 月 1 日	17.80	202	富 士 吉 田 市
	第 11	平成 元年 6 月 1 日	21.70	168	
	第 16－1	平成 6 年 7 月 1 日	13.52	598	
	第 16－2	平成 4 年 6 月 1 日	30.77	1,060	
	第 16－3		11.43	510	
	第 17	昭和 6 1 年 7 月 1 日	343.93	10,784	
	第 28	平成 2 年 6 月 1 日	64.21	2,091	
	第 29	平成 3 年 6 月 1 日	25.02	791	
富 士 北 麓 2 号 幹 線	第 18	平成 6 年 5 月 1 日	103.83	613	山 中 湖 村
	第 19		20.53	25	
	第 20－1	平成 3 年 5 月 10 日	36.95	191	
	第 20－2		12.50	129	
	第 21	平成 2 年 7 月 1 日	105.89	1,216	
	第 22－1	平成 元年 7 月 1 日	144.64	1,309	
	第 22－2	平成 7 年 6 月 1 日	1.20	0	
	第 23	平成 13 年 6 月 1 日	6.14	60	
	第 25	平成 11 年 6 月 1 日	41.98	96	忍 野 村
	第 23	昭和 6 3 年 8 月 20 日	35.33	779	
	第 24		77.86	1,483	
	第 25－1	平成 31 年 4 月 1 日	56.85	741	
	第 25－2	昭和 6 3 年 4 月 20 日	196.15	4,002	
	第 26－1	昭和 6 3 年 8 月 20 日	81.34	870	
	第 26－2	平成 7 年 4 月 1 日	10.50	7	
	第 27－1－1	平成 4 年 6 月 1 日	16.89	61	富 士 吉 田 市
	第 27－1－2	平成 4 年 3 月 1 日	0.03	18	
	第 27－2	平成 11 年 6 月 1 日	22.11	467	
	第 27－3	平成 4 年 6 月 1 日	77.07	2,502	
富 士 北 麓 3 号 幹 線	第 14	平成 25 年 10 月 1 日	4.66	43	富 士 河 口 湖 町
	第 15－2	令和 2 年 6 月 1 日	2.02	100	

※処理区域内面積及び人口は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※第 15－1 処理分区は第 10 処理分区に暫定流入している。

表 2－9 中継ポンプ場建築構造物概要

項目 施設	構 造 及 び 概 要
河 口 湖 第 一 中 継 ポンプ 場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 254m ² 延床面積 428m ² スクリーン室、電気室、自家発電機室、搬出室、その他
河 口 湖 第 二 中 継 ポンプ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 154m ² 延床面積 302m ² スクリーン室、ゲート弁室、電気室、自家発電機室、その他

表 2－10 中継ポンプ場機械設備概要

項目 施設	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
足 和 田 中 継 ポンプ 場	水中汚水ポンプ（フライホイール付水中スクリュウポンプ） φ150×2.8m ³ /min×30m×30kW	2 台
河 口 湖 第 一 中 継 ポンプ 場	流入ゲート（鋳物製角形制水扉） 0.6m×0.6m×0.75kW スクリーン（バースクリーン） 水路幅 1 m×水路深2.8m×目幅40mm 細目自動除塵機（間欠式前面掻揚型） 水路幅 1 m×水路深2.8m×目幅20mm×6.9m/min×1.5kW 水中汚水ポンプ（フライホイール付水中汚水ポンプ） φ200×3.0m ³ /min×18m×15kW 脱臭ファン φ200×8 m ³ /min×1.6kPa×0.75kW 活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 8 m ³ /min 水中攪拌機（昇降式水中攪拌機） 2.0kW	1 門 1 基 1 基 4 台 1 台 1 塔 2 台
河 口 湖 第 二 中 継 ポンプ 場	流入ゲート（鋳鉄製角形制水扉） 0.6m×0.6m×0.75kW スクリーン（バースクリーン） 水路幅 1 m×水路深2.7m×目幅40mm 細目自動除塵機（間欠式自動除塵機） 水路幅 1 m×水路深2.7m×目幅20mm×6.1m/min×1.5kW 水中汚水ポンプ（水中渦巻斜流ポンプ） φ200×3.5m ³ /min×13m×15kW 脱臭ファン φ225×10m ³ /min×2.0kPa×1.5kW 活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 10m ³ /min 水中攪拌機（昇降式水中攪拌機） 0.9kW	1 門 1 基 1 基 2 台 1 台 1 塔 1 台

表 2 - 1 1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
足 和 田 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 210 V / 50 Hz × 1 回 線 (動力) 契 約 電 力 36 kW 受 電 遮 断 器 M C C B 250 A F / 250 A T	1 式
		受 電 方 式 1 φ 3 W × 210 - 110 V / 50 Hz × 1 回 線 (電灯) 契 約 電 流 10 A 受 電 遮 断 器 M C C B 50 A F / 50 A T	1 式
	無 停 電 電 源 装 置	ミニ U P S 1 k V A	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 78 kW (106 PS) 3 φ 3 W × 210 V × 62.5 k V A 始動用直流電源装置 100 Ah × 4 セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
		遠 方 監 視 制 御 設 備	1 台
河 口 湖 第 一 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 6,600 V / 50 Hz × 1 回 線 受 電 設 備 容 量 100 k V A 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200 V 定格電流 500 A 定格遮断電流 12.5 k A	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W × 6,600 V / 210 V × 100 k V A	1 台
		低 圧 進 相 コンデンサ	1 台
	直 流 電 源 装 置	50 Ah × 54 セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 104 kW (142 PS) 3 φ 3 W × 210 V × 100 k V A 始動用直流電源装置 150 Ah × 12 セル シール形据置式鉛蓄電池	1 台 1 式
		遠 方 監 視 制 御 設 備	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備	1 式 1 式

富士北麓流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
河 口 湖 第 二 中 継 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回 線 受電設備容量 75kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／210V×75kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×3kVA	1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 107kW(145PS) 3 φ 3 W×210V×100kVA 始動用直流電源装置 100Ah×4セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×2線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備	1 式 1 式

富士北麓流域下水道

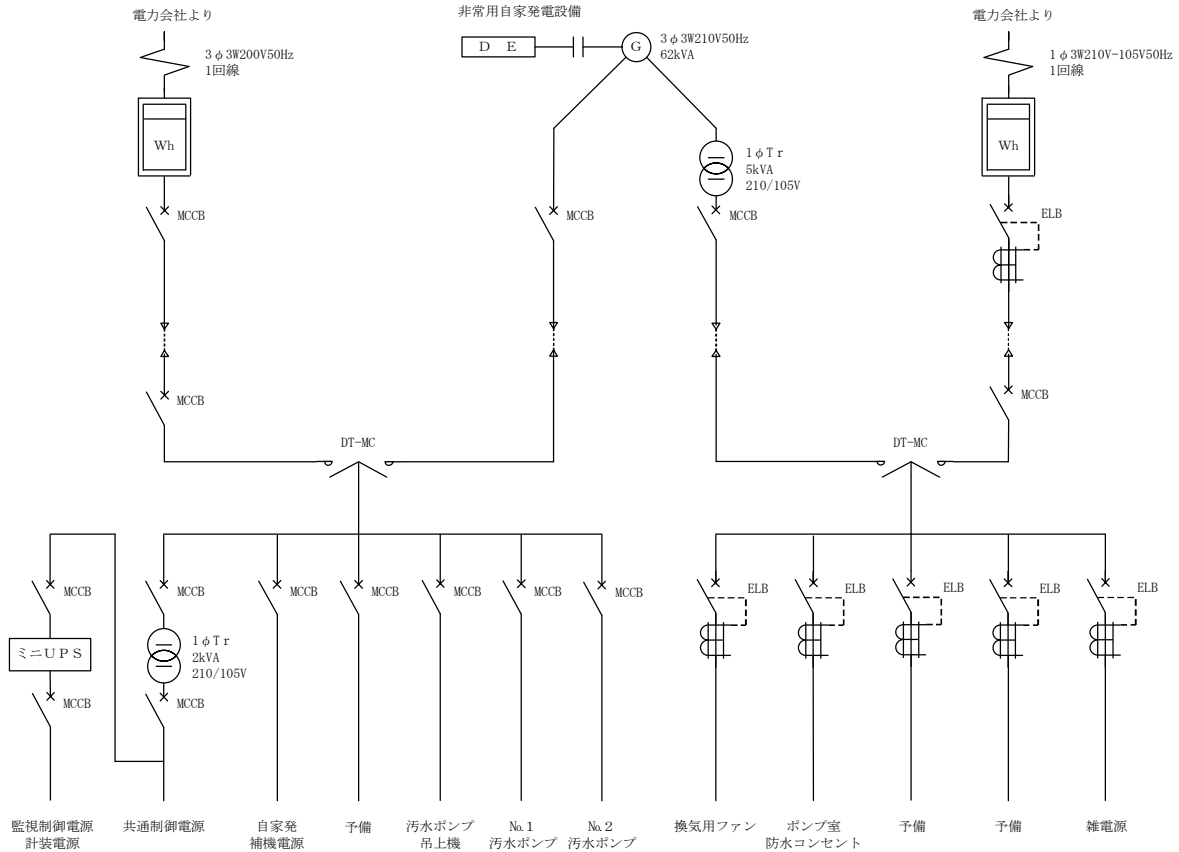


図 2 - 7 足和田中継ポンプ場単線結線図

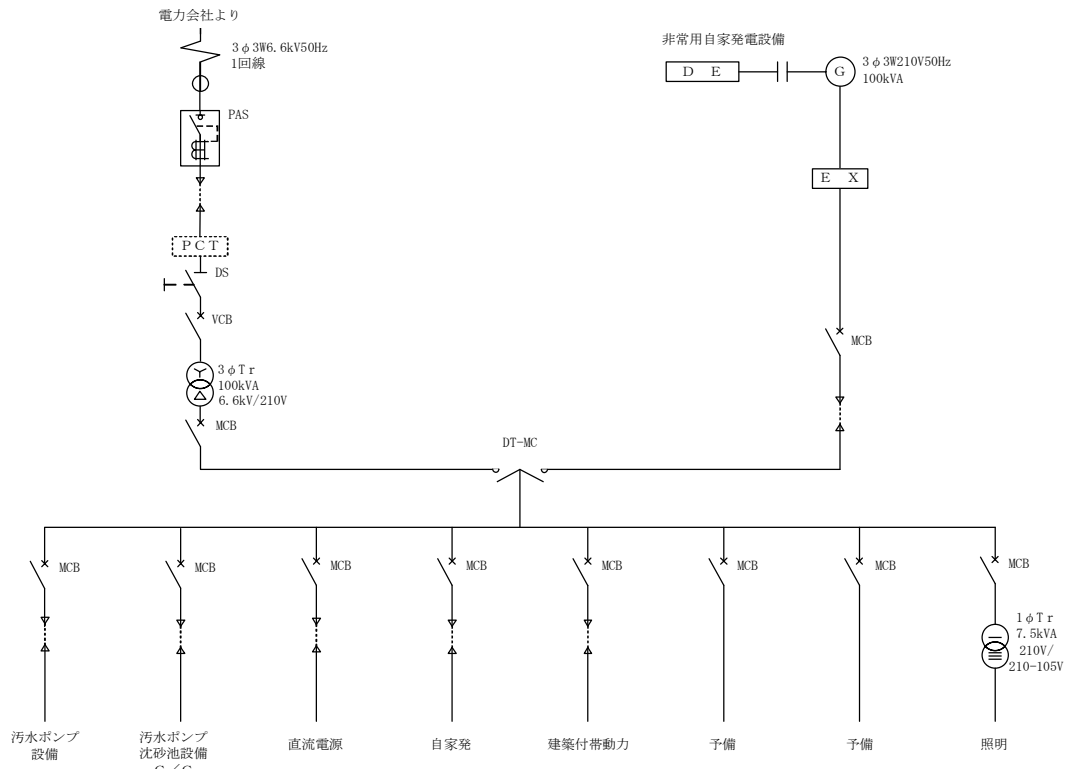


図 2 - 8 河口湖第一中継ポンプ場単線結線図

富士北麓流域下水道

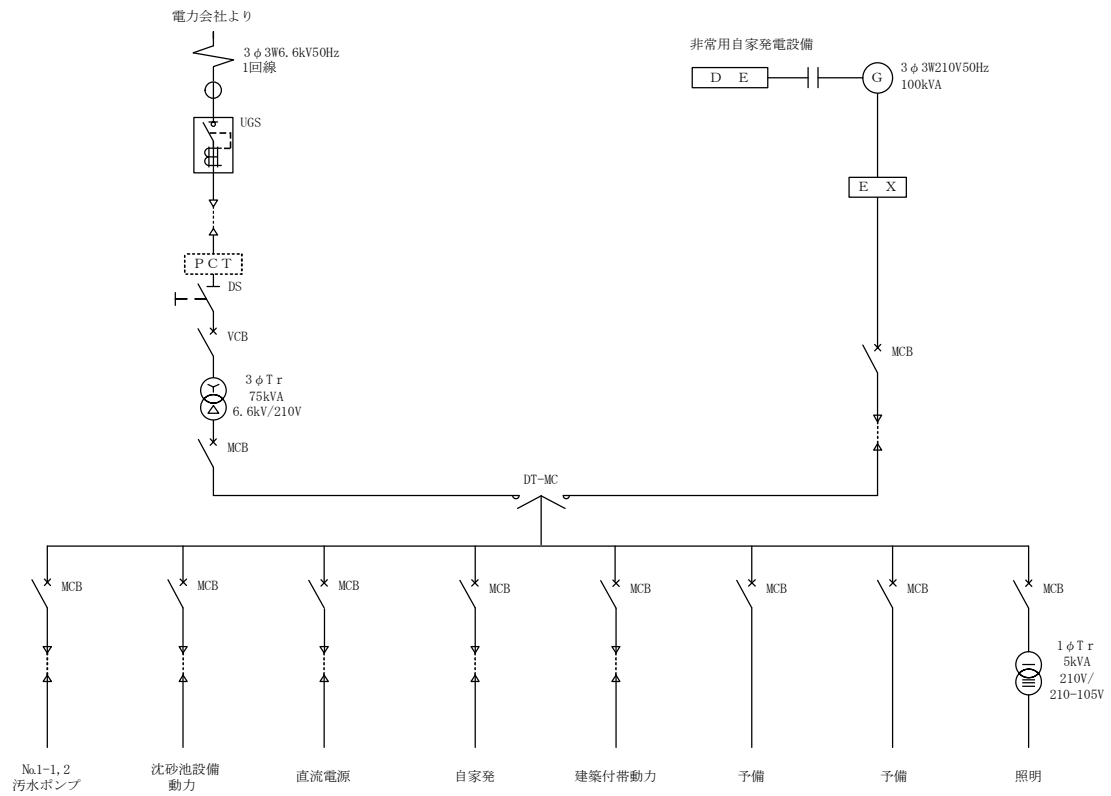


図 2 - 9 河口湖第二中継ポンプ場単線結線図

表 2－1 2 幹線概要

幹 線 名	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
富 士 北 麓 1 号 幹 線	200 ～ 2,000	12,572
富 士 北 麓 2 号 幹 線	600 ～ 1,800	16,812
富 士 北 麓 3 号 幹 線	250 ～ 800	2,826
合 計		32,210

※供用管径及び延長は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 2－1 3 幹線付帯設備概要

幹 線 名	設 備 名 称	仕 様 及 び 形 式	現 有 設 備
富 士 北 麓 1 号 幹 線	中沢川横断部伏越	中沢川横断部 管径 1,100mm 900mm	27.585m
	富士北麓 1 号幹線トンネル	馬蹄形管きよ 幅2,000mm×高2,300mm 〔汚水用水路幅 950mm〕 〔点検用通路幅 900mm〕	1,709.720m
富 士 北 麓 2 号 幹 線	桂川横断部水管橋	桂川横断部 管径 900mm	27.390m
	富士北麓 2 号幹線トンネル	上流側 管径 1,200mm 下流側 馬蹄形管きよ 幅1,800mm×高1,800mm 〔汚水用水路幅 800mm〕 〔点検用通路幅 850mm〕	241.800m 435.900m

表 2－1 4 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m ³ /h)	形 式
1	第 8 処理分区流量計 (河口湖第二中継ポンプ場)	—	200	600	電磁式
2	第 1 8 ～ 2 2 処理分区流量計	800	800	1,500	P B F、圧力式
3	第 1 8 ～ 2 6 処理分区流量計	900	900	2,000	P B F、圧力式
4	河口湖第一中継ポンプ場流量計	—	250	800	電磁式
5	足和田中継ポンプ場流量計	—	150	200	電磁式
6	第 1 ～ 3 0 処理分区流量計	1,500	1,500	6,000	超音波、圧力式
7	第 1 ～ 1 0 処理分区流量計	900	900	2,500	超音波、圧力式
備 考	流量計番号は図 2－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器運転状況を表 2-15 に、し渣及び沈砂搬出状況を表 2-16 に、薬品・給水・燃料使用状況を表 2-17 に、中継ポンプ場運転状況を表 2-18 に示す。

各設備については、下記のとおり運転を行った。

ア) 曝気沈砂池設備

流入ゲートは流入管路の滞泥防止のため、流入水量が少ない朝方にフラッシング操作を行った。

スクリーン設備についてはNo.1 またはNo.2 水路のうち 1 水路を使用し、細目スクリーン自動除塵機は 2 時間毎のタイマー設定による間欠自動運転を行った。

沈砂池設備については、No.1 沈砂池の沈砂掻き揚げ機が故障したため、機械設備がないNo.2 沈砂池を使用した。

イ) 最初沈殿池設備

使用池数は 1.0 池を基本とした。No.1-1 及びNo.2-1 池の年次点検期間は 0.5 池使用とした。

汚泥掻寄機、初沈汚泥ポンプは連続運転を行った。また、スカムスキマーはスカムの発生状況に応じて間隔を調整しながら間欠自動運転を行った。

ウ) 反応タンク設備

使用池数は 3 池とした。

送風機は吐出圧一定制御とし、状況により風量一定制御とした。また、運転号機は負荷の状況によりNo.1 及びNo.2 送風機の 1 ～ 2 台運転を基本とした。No.3 送風機はブラシ引揚装置の部品破損が確認されているため、使用を停止している。

各池の曝気風量の調整は、目標DOに合わせてDO一定制御を基本として調整を行った。

エ) 最終沈殿池設備

使用池数は 2.5 池を基本とした。年次点検及び機器分解点検により使用制限を受ける場合については 2.0 池使用とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、スカムスキマーはスカムの発生状況に応じて間隔を調整しながら間欠自動運転を行った。

返送汚泥ポンプは返送率一定制御による自動運転を行った。

余剰汚泥ポンプは余剰汚泥受槽によるレベル制御で自動運転を行った。

オ) 塩素滅菌設備

次亜塩注入ポンプは注入率一定制御により連続運転を行った。注入率は残留塩素濃度を確認しながら調整を行った。

カ) 機械汚泥濃縮設備

濃縮機はNo.1 及びNo.3 ベルト濃縮機を主機として余剰汚泥のみの処理とし、1 台間欠運転にて、濃度一定制御による自動運転により処理を行った。No.2 遠心濃縮機は予備機として 1 週間毎に実負荷運転と洗浄運転を交互に行った。

キ) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により濃縮した。

汚泥掻寄機は連続運転とした。

ク) 汚泥脱水設備

脱水機は、電力消費量削減のため、No. 1 汚泥脱水機を主機として運転し、No. 2 遠心脱水機は月 1 回程度の実負荷運転を行った。

ケ) 脱臭設備

脱臭設備は、曝気沈砂池棟、汚泥濃縮棟、汚泥処理棟、搬出棟及び各ポンプ場のいずれも 24 時間連続運転とした。

コ) 関連中継ポンプ場

足和田中継ポンプ場、河口湖第二中継ポンプ場の汚水ポンプは固定速運転でポンプ井水位による間欠運転を行った。河口湖第一中継ポンプ場の汚水ポンプは 0～20 時の間は可変速運転でポンプ井水位による間欠運転、20～24 時の間は固定速運転でポンプ井水位による間欠運転を行った。

②未使用機器の保守

未使用機器は、基本的に月次点検時に保守運転を実施した。また、予備機のある機器については、1 箇月毎を基本に交互切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 2－19 に示す。

富士北麓流域下水道

表 2－1 5 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
No. 1 初沈汚泥ポンプ	551.9	537.7	544.4	567.2	564.2	546.7	564.0	551.7	567.4	557.4	508.2	561.3	6,622.1
No. 2 初沈汚泥ポンプ	542.9	563.1	549.2	562.9	567.2	548.3	564.8	546.0	561.6	564.2	506.4	552.1	6,628.7
No. 1 送風機	720.0	743.4	719.8	744.0	744.0	720.0	744.0	694.3	744.0	740.0	671.3	744.0	8,728.8
No. 2 送風機	595.2	698.9	631.5	622.8	682.9	630.6	713.2	706.4	741.3	739.8	653.5	623.8	8,039.9
No. 3 送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 1-1 返送汚泥ポンプ	713.4	726.7	714.8	697.1	695.8	569.8	425.5	393.6	380.7	400.8	371.3	677.3	6,766.8
No. 1-2 返送汚泥ポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 1-3 返送汚泥ポンプ	10.5	26.3	35.7	53.2	66.6	204.5	387.1	387.9	453.0	480.8	426.4	82.8	2,614.8
No. 1-4 返送汚泥ポンプ	632.2	7.0	626.0	6.8	675.5	11.4	693.8	17.6	718.3	12.7	649.2	8.8	4,059.3
No. 1-5 返送汚泥ポンプ	11.9	655.9	10.4	672.1	20.5	683.0	9.9	671.4	7.7	725.6	16.2	722.3	4,206.9
No. 2-1 返送汚泥ポンプ	12.5	731.3	10.9	734.5	22.8	384.0	0.1	21.4	0.2	15.6	0.2	613.3	2,546.8
No. 2-2 返送汚泥ポンプ	710.0	9.6	710.0	9.2	734.6	14.9	13.3	0.1	15.5	0.1	14.1	0.2	2,231.6
No. 1-1 余剰汚泥ポンプ	5.4	296.3	10.1	377.3	17.4	359.3	12.7	463.2	38.0	514.4	7.6	263.6	2,365.3
No. 1-2 余剰汚泥ポンプ	289.4	15.9	259.9	6.5	386.2	10.8	434.9	20.6	461.5	26.9	293.7	4.4	2,210.7
No. 2-1 余剰汚泥ポンプ	0.1	40.8	0.6	1.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	44.1
No. 2-2 余剰汚泥ポンプ	51.8	0.1	26.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	79.2
No. 1 次亜塩注入ポンプ	0.2	2.4	0.2	0.3	7.3	0.2	0.1	0.4	138.6	0.4	149.5	15.4	315.0
No. 2 次亜塩注入ポンプ	719.3	742.8	718.9	743.7	742.5	719.8	743.9	719.6	605.7	739.8	522.5	728.6	8,447.1
No. 1 ベルト濃縮機	345.6	354.7	304.8	319.8	368.2	289.1	364.5	346.1	347.6	58.4	107.1	245.7	3,451.6
No. 2 遠心濃縮機	2.0	3.0	2.4	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.3	3.1	2.0	2.0	27.8
No. 3 ベルト濃縮機	361.4	308.7	276.6	353.2	366.4	339.0	370.6	359.5	371.1	656.8	610.4	495.5	4,869.2
No. 1 汚泥脱水機	306.1	264.4	233.4	286.4	328.0	275.6	286.8	287.5	282.0	288.2	277.9	307.8	3,424.1
No. 2 遠心脱水機	9.3	27.7	42.1	14.8	11.4	11.9	13.1	16.9	10.7	12.9	9.6	10.5	190.9
No. 1 非常用発電機	0.2	0.3	1.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6	0.2	3.8
No. 2 非常用発電機	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.3

表 2－1 6 し 渣 及 び 沈 砂 搬 出 状 況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
し 渣 搬 出 量 (水処理系) (kg)	1,183	976	941	1,168	567	1,192	2,453	1,777	3,164	3,467	1,797	986	19,671
し 渣 搬 出 量 (汚泥処理系) (kg)	1,098	645	637	946	984	1,063	763	874	923	1,034	968	1,092	11,027
沈 砂 搬 出 量 (kg)	0	0	0	0	3,035	0	0	0	0	0	0	0	3,035

表 2－1 7 薬 品 ・ 給 水 ・ 燃 料 使 用 状 況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬 品	固形塩素剤 (kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次亜塩素酸ナトリウム (L)	5,400	5,850	5,570	6,020	7,070	6,420	6,150	5,740	5,370	4,750	4,950	68,660
	高分子凝集剤(機械濃縮系) (kg)	49.3	45.9	49.0	60.0	66.2	52.5	52.9	56.7	45.2	47.0	51.3	635.5
	高分子凝集剤(脱水機系) (kg)	1,183.1	910.2	867.9	1,037.1	1,208.6	908.8	900.0	903.0	886.6	1,007.8	1,018.0	11,968.9
	消臭剤(重力濃縮系) (L)	3,371	3,540	3,508	3,942	4,954	4,365	3,778	3,391	2,702	2,376	1,934	40,201
給 水	消臭剤(脱水機系) (L)	605	565	690	828	1,104	885	796	708	416	438	425	7,912
	上水 (m³)	67	67	51	48	55	45	44	87	42	48	41	637
	砂ろ過水 (m³)	27,338	28,330	25,929	25,653	27,466	24,949	21,386	19,200	19,586	18,106	17,740	277,486
燃 料	重油 (L)	28	47	173	25	27	29	26	28	28	29	80	548

表 2－1 8 中 継 ポ ン プ 場 運 転 状 況

(単位：時間)

ポンプ場名	項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
足和田 中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	59.7	61.5	68.4	83.8	76.6	94.9	69.4	66.6	74.9	74.7	60.5	57.8	848.8
	No. 2 汚水ポンプ	61.9	63.7	71.4	87.3	79.2	98.9	69.6	67.5	77.7	77.2	62.2	59.7	876.3
	非常用発電機	0.2	0.5	1.0	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.2	4.5
河口湖第一 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.8	428.2	509.7	980.7
	No. 1-2 汚水ポンプ	0.5	0.9	0.7	1.0	2.2	31.5	0.9	0.7	0.8	1.1	0.4	0.7	41.4
	No. 2-1 汚水ポンプ	17.4	279.7	42.9	351.0	72.4	315.4	122.0	360.0	391.7	335.1	0.7	79.0	2,367.3
	No. 2-2 汚水ポンプ	335.3	80.7	302.8	16.7	317.8	32.0	243.1	0.0	0.0	46.6	124.3	8.5	1,507.8
河口湖第二 中継ポンプ場	非常用発電機	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.2	4.4
	No. 1-1 汚水ポンプ	0.5	0.6	1.0	0.5	0.5	0.6	0.4	0.5	0.7	0.4	0.6	0.5	6.8
	No. 1-2 汚水ポンプ	111.0	115.7	110.1	123.6	144.2	137.2	120.2	119.9	124.4	138.8	129.2	133.7	1,508.0
	非常用発電機	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.2	4.4

表 2－19 機器故障状況（機械関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
水処理施設 No.2－1 終沈 汚泥掻寄機	モータが空転し、駆動チェーンが動作していない状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	減速機構成部品の交換を実施した。
水処理施設 空気圧縮機	圧力計の針が固着していた。 原因は経年劣化によるものであった。	圧力計の交換を実施した。
水処理施設 アフタークーラー	放熱器の配管にピンホールが空いていた。 原因は経年劣化によるものであった。	アフタークーラーの交換を実施した。
水処理施設 初沈スカムスキマ用 電磁弁箱	スカムスキマ用エアレギュレーターよりエアーが漏れていた。 原因は経年劣化によるものであった。	エアレギュレーターの交換を実施した。
砂ろ過棟 No.2－1 空気圧縮機	運転しても圧力計の指示値が上がらない状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	圧力計の交換を実施した。
砂ろ過棟 No.2－2 原水用 散水ストレーナ	エレメントキャップより水が滲んでいる状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	Oリングの交換を実施した。
汚泥処理棟 No.2 脱水機給泥ポンプ	圧力計の針が固着していた。 原因は経年劣化によるものであった。	圧力計の交換を実施した。
生物脱臭棟 散水ストレーナ	エレメントキャップより水が滲んでいる状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	Oリングの交換を実施した。
汚泥処理棟 No.1, 2 濃縮汚泥移送 ポンプ	ポンプの軸封部のオイルポットからオイルが漏れていた。 原因は経年劣化によるものであった。	オイルポットの交換を実施した。
搬出棟 電動シャッター	電動シャッターを開けた際、正規の位置で停止せず収納ボックス内で巻き込まれた状態となった。 原因は電動開閉器の不良によるものであった。	吊元及び電動開閉器の交換を実施した。
河口湖第二中継 ポンプ場 脱臭ファン	圧力計が通常値より低い値を示していた。 原因は経年劣化によるものであった。	圧力計の交換を実施した。

注）令和6年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、富士北麓浄化センター、河口湖第一中継ポンプ場及び河口湖第二中継ポンプ場は高圧 6,600V、足和田中継ポンプ場が低圧 200V（動力）及び 200-100V（照明）である。

富士北麓浄化センター、足和田中継ポンプ場、河口湖第一中継ポンプ場及び河口湖第二中継ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表 2-20～表 2-23、図 2-10～図 2-13 に示す。

浄化センターの使用電力量は、201～225 千 kWh/月の間で推移し、年間として 2,542 千 kWh/年となり、昨年度と比較して約 2.1%の減少となった。

浄化センターの原単位電力量と最大需要電力の表とグラフをそれぞれ表 2-24、図 2-14、図 2-15 に示す。

原単位電力量は 0.270～0.314kWh/m³の間で推移した。

最大需要電力は、329～358kW の間で推移した。

デマンド監視装置によるデマンド管理の目標値は、年間を通じて 359kW に設定し、例年、需要電力のピークとなる 8 月の最大需要電力は抑制により目標値以下で抑えることが出来た。

浄化センターの契約電力は、実量制による契約電力決定方式により年間を通じて 358kW であった。

ポンプ場の契約電力は、河口湖第一及び河口湖第二中継ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、河口湖第一中継ポンプ場は 19～49kW、河口湖第二中継ポンプ場は 9～18kW の間で推移した。また、足和田中継ポンプ場は設備容量による契約電力決定方式により 36kW であった。

②非常用発電設備運転状況

浄化センターでは、保守点検として、1 箇月に 1 回約 5～10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 300kWh であった。

足和田中継ポンプ場では、保守運転として 1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 15kWh であった。また、情報処理計装設備保守点検業務委託の計装設備点検後の確認として、5 月に 1 回約 10 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量は 7kWh であった。

河口湖第一中継ポンプ場では、保守運転として 1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 6kWh であった。

河口湖第二中継ポンプ場では、保守運転として 1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 1kWh であった。

また、停電による運転として、足和田中継ポンプ場では 8 月に 2 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量は 1kWh であった。河口湖第一中継ポンプ場及び河口湖第二中継ポンプ場では 9 月に 4 分間（それぞれ 2 分間を 2 回）の実負荷運転を実施し、発電電力量は 0kWh であった。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 2-25 に示す。

富士北麓流域下水道

表 2-20 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	210,816	215,880	206,064	217,704	225,096	201,864	203,400	204,960	218,208	218,112	200,616	218,928	2,541,648	211,804
流入下水量	672,074	693,935	678,043	737,625	801,349	734,141	717,497	697,706	767,014	807,721	739,340	770,250	8,816,695	734,725

表 2-21 使用電力量と流入下水量（足和田中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	3,586	3,387	3,498	4,861	4,130	5,170	4,150	3,642	3,476	4,930	3,851	3,485	48,166	4,014
流入下水量	16,429	17,536	18,658	21,953	22,309	24,155	18,614	17,898	19,026	18,371	14,769	14,868	224,586	18,716

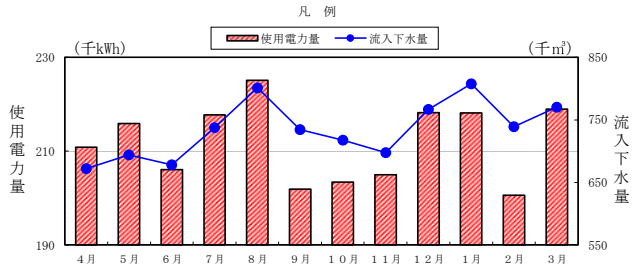


図 2-10 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

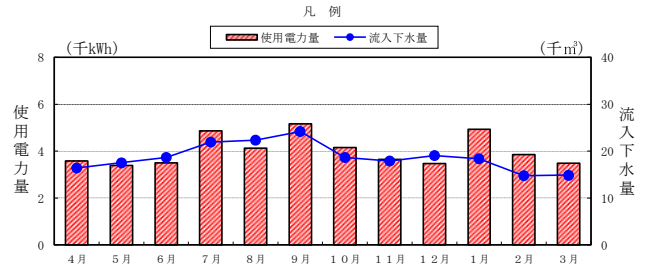


図 2-11 使用電力量と流入下水量（足和田中継ポンプ場）

表 2-22 使用電力量と流入下水量（河口湖第一中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	7,407	7,487	7,563	8,188	8,327	7,702	7,807	7,507	8,673	8,284	6,794	7,298	93,037	7,753
流入下水量	86,439	88,819	86,642	92,508	99,043	92,484	90,042	88,195	97,058	101,355	92,221	93,296	1,108,102	92,342

表 2-23 使用電力量と流入下水量（河口湖第二中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	3,753	3,808	3,788	4,296	4,432	4,020	3,947	4,006	4,412	4,768	4,109	4,294	49,633	4,136
流入下水量	29,964	31,009	29,329	33,124	36,268	34,016	31,432	31,429	32,006	35,251	32,428	32,935	389,191	32,433

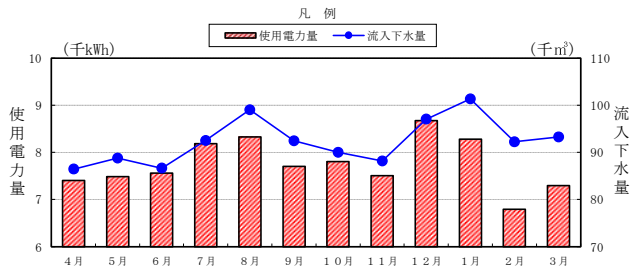


図 2-12 使用電力量と流入下水量（河口湖第一中継ポンプ場）

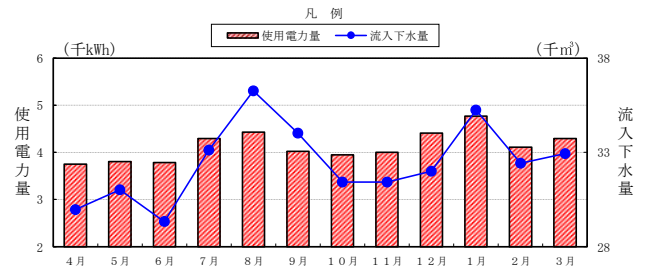


図 2-13 使用電力量と流入下水量（河口湖第二中継ポンプ場）

表 2-24 原単位電力量と最大需要電力（浄化センター）

(単位: 上段 kWh/m³, 下段 kW)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
原単位電力量	0.314	0.311	0.304	0.295	0.281	0.275	0.283	0.294	0.284	0.270	0.271	0.284	0.289
最大需要電力	350	346	353	353	355	350	329	348	353	358	358	358	351

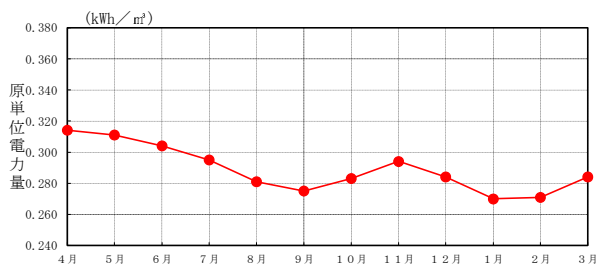


図 2-14 原単位電力量（浄化センター）

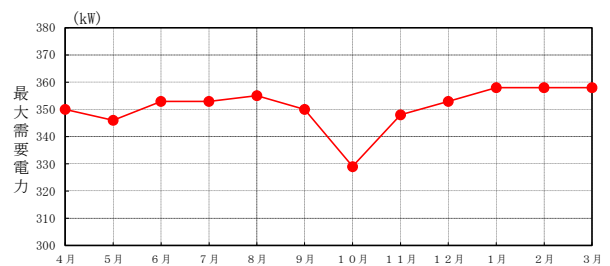


図 2-15 最大需要電力（浄化センター）

表 2－25 機器故障状況（電気関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
送風機自家発棟 拡声設備	スピーカから放送音が聞こえない状況であった。 原因は、経年劣化によるものであった。	スピーカの交換を実施した。
送風機自家発棟 ポンプ室動力制御盤	排風機の運転を行った際に故障が発生した。 原因はマグネットスイッチの経年劣化によるものであった。	マグネットスイッチの交換を実施した。
水処理施設 No.1 初沈汚泥濃度計	濃度が下がり、ホールドした。測定画面ではなく、初期画面表示となり、計測不可となった。 原因は変換器の不良によるものであった。	変換器の交換を実施した。
No.1 搬出棟 No.3 ケーキコンベヤ 現場操作盤	電流指示値が通常より高い値となっていた。また、機器停止時に電流指示値が4 Aを指示していた。 原因は、電流計の経年劣化によるものであった。	電流計の交換を実施した。
汚泥処理棟 No.1 脱水機給泥ポンプ インバータ	「VVVF故障」警報が発生し脱水機が停止した。 原因は、インバータの不良によるものであった。	インバータの交換を実施した。
汚泥処理棟 電灯分電盤	照明の一部が点灯しない状況となっていた。 原因は、リモコンリレーの経年劣化によるものであった。	リモコンリレーの交換を実施した。

注）令和6年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質試験結果を表 2-26～表 2-29、図 2-16～図 2-17 に示す。

流入水質については、年間平均 BOD が 140mg/L、SS が 140mg/L であった。汚濁濃度は冬期に凍結防止水の影響により低下する傾向を示した。

放流水については、年間を通し良好で安定した水質であった。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表 2-30 に示す。

幹線調査では、全地点でふっ素及びその化合物が検出されたが、いずれも下水道排除基準未満であった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表 2-31～表 2-34 に、反応タンクの管理状況を図 2-18～図 2-19 に示す。

反応タンクは使用可能な 5 池のうち、通常使用として 3 池を使用した。処理方式としては、No. 1-1 池、No. 1-2 池及び No. 2-1 池の使用時は二段式嫌気好気法で、No. 1-3 池、No. 1-4 池の使用時は疑似嫌気好気法による運転とした。

返送汚泥率は、最終沈殿池での汚泥界面や処理水窒素濃度に応じ、約 56～80% の範囲で調整した。

SVI は 94～290mL/g で推移し、年間平均値は 180mL/g であり、冬期に上昇傾向を示したが沈降性は年間を通し概ね良好であった。

BOD-SS 負荷は 0.15～0.38kg/kg・日で推移し、年間平均値は 0.21kg/kg・日であった。

活性汚泥中の微生物は、概ね年間を通して種類も多く、良好な状況であった。

④通日試験結果

通日試験結果を表 2-35～表 2-38、図 2-20～図 2-35 に示す。

流入水負荷は、年間を通して 10:00～24:00 頃が高く、4:00～6:00 頃に急激に低下する傾向を示した。

放流水は、年 4 回のいずれの試験においても水質変動が小さく、安定した良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表 2-39 に、汚泥試験測定結果を表 2-40～表 2-42 に示す。

生汚泥は、連続的に引き抜きを行い重力濃縮槽に投入した。また、重力濃縮槽は年間を通し安定した処理ができた。

余剰汚泥は、MLSS の状況に合わせて引き抜きを行い、機械濃縮機により濃縮を行った。目標濃縮濃度は汚泥性状に応じ 4.0% 前後とした。

脱水は電力消費量削減のため、No. 1 汚泥脱水機（ロータリープレス脱水機）を主機として運転し、No. 2 汚泥脱水機（遠心脱水機）は週 1 回の実負荷運転又は洗浄運転とした。

脱水ケーキの発生量は年間 4,228.53 t、含水率は年間平均で 70.6% と良好に推移した。なお、脱水ケーキは、22% をセメント原料、78% を肥料原料として全量有効利用した。

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表 2-43～表 2-44 に示す。

浄化センター放流口の上流域及び下流域とも、ほぼ同程度の水質であった。

②臭気測定結果

臭気測定結果を表 2-45 に示す。

敷地境界における臭気指数はすべて検出下限値未満であった。

富士北麓流域下水道

表 2－2 6 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.0	21.0	22.5	24.0	25.0	24.5	24.0	21.5	20.0	17.0	16.0	18.0	25.0
	最小	17.0	19.0	21.0	22.0	23.5	23.0	21.0	19.5	17.0	15.5	15.5	15.0	15.0
	平均	18.6	20.3	21.6	23.1	24.5	23.8	22.5	20.9	18.3	16.2	15.6	16.3	20.1
水素イオン濃度	最大	7.33	7.33	7.31	7.29	7.22	7.37	7.29	7.33	7.35	7.40	7.35	7.38	7.40
	最小	7.17	7.13	7.15	7.12	7.10	7.11	7.14	7.10	7.14	7.27	7.20	7.22	7.10
	平均	7.24	7.23	7.22	7.18	7.16	7.20	7.21	7.23	7.26	7.31	7.29	7.30	7.24
透 視 度 (cm)	最大	6.0	6.0	7.0	6.0	7.0	7.0	6.0	6.0	6.0	7.0	6.0	7.0	7.0
	最小	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.0	5.0
	平均	5.4	5.4	5.9	5.7	5.7	6.0	5.8	5.3	5.6	6.0	6.0	6.0	5.7
浮遊物質 (mg/L)	最大	170	180	160	160	150	140	170	170	150	140	140	170	180
	最小	120	130	110	130	120	120	120	130	120	110	110	110	110
	平均	150	150	150	140	140	130	140	150	130	120	120	140	140
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	160	160	150	140	140	130	140	150	160	140	130	160	160
	最小	140	130	120	130	130	120	120	130	130	130	120	110	110
	平均	150	150	140	130	140	130	130	140	150	130	130	140	140
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	85	83	81	74	80	72	81	77	75	70	70	84	85
	最小	66	70	59	65	55	52	59	65	64	59	58	60	52
	平均	76	76	74	70	72	64	69	71	70	63	64	69	70
大腸菌群数 (千個/cm ³)	最大	160	190	200	140	320	210	140	130	230	92	79	110	320
	最小	110	140	120	100	110	100	100	97	97	70	75	57	57
	平均	130	160	150	120	220	160	120	110	130	79	77	88	130

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 2－2 7 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.0	22.0	23.5	25.5	26.0	25.5	25.0	22.5	20.5	17.5	17.0	18.5	26.0
	最小	18.5	20.0	22.0	23.5	24.0	24.0	22.0	20.5	17.5	16.5	16.0	16.0	16.0
	平均	19.6	21.4	22.6	24.4	25.6	24.8	23.4	21.7	19.1	17.1	16.5	17.1	21.1
水素イオン濃度	最大	6.87	6.98	6.85	6.90	6.96	7.01	6.96	6.99	6.97	6.85	6.78	6.89	7.01
	最小	6.52	6.70	6.66	6.71	6.61	6.75	6.67	6.61	6.61	6.51	6.62	6.50	6.50
	平均	6.73	6.84	6.79	6.79	6.80	6.87	6.79	6.82	6.77	6.75	6.71	6.74	6.78
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	平均	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
浮遊物質 (mg/L)	最大	4.1	4.6	3.2	3.2	3.6	6.1	2.2	4.4	1.6	1.7	1.6	2.7	6.1
	最小	1.3	1.9	1.3	1.1	1.1	1.3	1.0	1.1	<1.0	<1.0	<1.0	1.3	<1.0
	平均	2.5	3.1	2.3	2.2	1.9	2.4	1.5	1.8	1.2	<1.0	<1.0	2.0	1.7
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	5.1	4.7	3.7	3.3	3.1	3.5	2.7	3.0	4.3	1.9	2.8	3.6	5.1
	最小	2.2	3.2	2.3	2.5	1.9	1.6	1.6	1.7	1.7	1.0	2.0	2.1	1.0
	平均	3.2	3.7	3.0	2.8	2.4	2.6	2.1	2.1	2.5	1.6	2.3	2.8	2.6
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	9.5	10	8.4	8.1	7.9	9.0	7.8	8.0	8.1	6.6	6.9	8.5	10
	最小	6.9	7.6	5.8	6.7	5.6	5.5	5.6	6.7	6.5	5.3	5.8	6.5	5.3
	平均	8.3	8.6	7.7	7.4	7.2	7.2	6.9	7.2	7.2	6.1	6.2	7.5	7.3
大腸菌群数 (個/cm ³)	最大	0	1	1	6	2	0	0	0	37	0	0	0	37
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	0	0	0	4	0	0	0	0	9	0	0	0	1

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

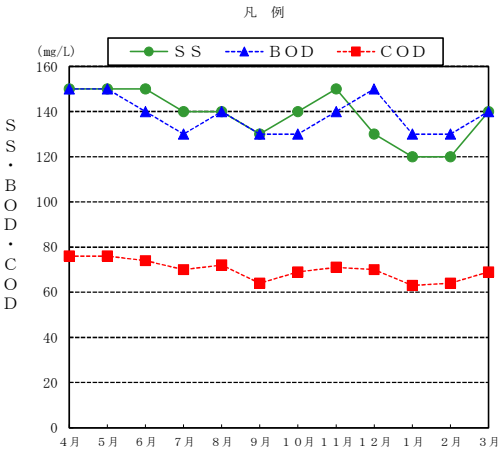


図 2－1 6 流入水の水質変化

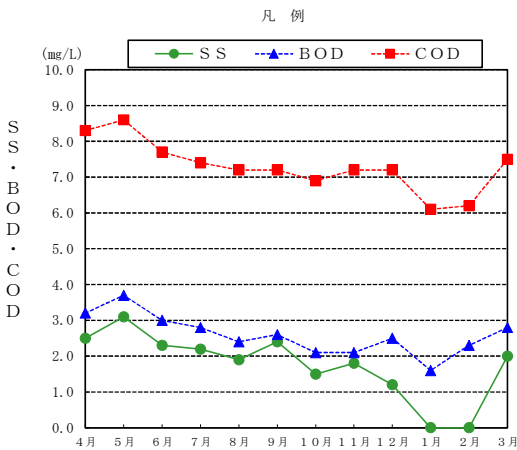


図 2－1 7 放流水の水質変化

富士北麓流域下水道

表 2－2 8 （ 1 ） 精密試験分析結果（流入水－1）

測 定 項 目	単位	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—	4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃	18.0	19.0	19.0	20.5	21.0	21.5	23.0	23.0	24.0	25.0	24.0	24.0	24.0	22.5
透視度	c m	5.0	5.0	6.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
水素イオン濃度	—	7.28	7.28	7.27	7.23	7.23	7.31	7.24	7.19	7.15	7.13	7.27	7.14	7.17	7.29
蒸発残留物	mg/L	390	390	350	400	410	400	400	430	400	420	370	430	420	390
強熱残留物	mg/L	180	190	160	170	180	230	170	200	200	210	190	170	210	210
溶解性物質	mg/L	260	260	200	250	270	260	270	270	270	250	240	250	270	260
浮遊物質量	mg/L	140	160	140	160	160	130	140	140	140	150	120	130	130	150
アルカリ度	mg/L	133	137	119	134	133	128	129	130	133	138	128	130	134	134
生物化学的酸素要求量	mg/L	150	160	130	150	150	120	140	130	140	140	120	130	130	120
化学的酸素要求量	mg/L	78	74	72	77	78	70	72	69	72	73	64	68	68	73
アンモニア性窒素含有量	mg/L	16.1	15.0	14.9	17.4	17.4	15.8	13.5	14.7	17.4	18.9	14.3	15.8	16.2	16.7
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.34	0.32	0.39	0.32	0.40	0.33	0.33	0.32	0.31	0.33	0.25	0.28	0.31	0.27
有機性窒素含有量	mg/L	10.8	11.5	11.7	10.2	8.29	9.73	12.8	9.54	9.88	11.1	9.60	9.77	10.4	9.69
窒素含有量	mg/L	27.1	26.9	27.0	27.9	26.1	25.9	26.6	24.5	27.6	30.4	24.2	25.8	27.0	26.7
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	1.12	1.25	0.90	1.19	1.24	1.08	1.10	1.00	1.16	1.32	0.97	1.08	1.09	1.06
燐含有量	mg/L	2.93	3.08	2.75	3.15	3.18	2.60	2.93	2.76	2.89	3.07	2.69	3.00	3.03	2.76
大腸菌群数	千個/c m ³	110	110	140	190	140	130	140	100	110	320	100	200	140	110
よう素消費量	mg/L	9	7	13	13	11	13	13	13	13	17	16	16	11	11
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	7	8	8	9	9	6	9	8	7	12	9	10	9	7
シアン化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L	0.18	0.11	0.31	0.16	0.14	0.18	0.17	0.21	0.21	0.17	0.20	0.16	0.17	0.12
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.12	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	—	—	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.13	0.17	0.16	0.18	0.20	0.17	0.13	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.17	0.18
アモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	16.4	15.3	15.3	17.7	17.8	16.1	13.8	15.0	17.7	19.2	14.6	16.1	16.5	17.0
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	<0.05	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

富士北麓流域下水道

表 2-28 (2) 精密試験分析結果 (流入水-2)

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃	21.0	20.5	19.0	18.0	16.0	16.5	15.5	15.5	15.5	15.5	25.0	15.5	20.1
透視度	c m	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.9
水素イオン濃度	—	7.18	7.22	7.32	7.22	7.33	7.31	7.33	7.33	7.25	7.36	7.36	7.13	7.25
蒸発残留物	mg/L	400	380	370	330	330	370	340	330	330	340	430	330	380
強熱残留物	mg/L	230	200	200	160	160	200	180	190	160	190	230	160	190
溶解性物質	mg/L	240	270	230	240	240	220	210	220	220	220	270	200	250
浮遊物質量	mg/L	140	140	140	120	110	120	120	110	120	120	160	110	130
アルカリ度	mg/L	134	138	139	122	116	117	122	118	112	125	139	112	128
生物化学的酸素要求量	mg/L	150	130	160	140	130	130	130	120	110	140	160	110	140
化学的酸素要求量	mg/L	68	69	71	68	66	66	64	61	61	64	78	61	69
アンモニア性窒素含有量	mg/L	17.5	16.4	16.9	13.4	12.8	14.7	14.3	13.8	13.6	15.4	18.9	12.8	15.5
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.30	0.15	0.20	0.05	0.13	0.12	0.13	0.30	<0.02	0.05
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.31	0.31	0.36	0.33	0.44	0.46	0.28	0.62	0.65	0.41	0.65	0.25	0.36
有機性窒素含有量	mg/L	10.1	9.20	10.1	10.5	8.97	7.48	9.76	7.49	8.18	7.85	12.8	7.48	9.78
窒素含有量	mg/L	27.8	25.9	27.4	24.5	22.3	22.8	24.4	22.1	22.6	23.8	30.4	22.1	25.7
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	1.09	1.03	1.06	0.98	0.89	0.98	1.00	0.97	0.87	1.00	1.32	0.87	1.06
燐含有量	mg/L	2.96	2.84	2.90	2.58	2.41	2.53	2.66	2.43	2.20	2.74	3.18	2.20	2.79
大腸菌群数	千個/cm ³	97	100	100	97	75	70	75	75	57	88	320	57	120
よう素消費量	mg/L	11	10	11	10	8	10	14	7	9	7	17	7	11
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	8	8	10	8	8	10	10	8	8	10	12	6	9
シアン化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	<0.10	0.18	<0.10	0.11	<0.10	0.13	<0.10	0.12	0.11	0.13	0.31	<0.10	0.14
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.12	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.15	0.21	0.17	0.17	0.17	0.19	0.19	0.19	0.17	0.19	0.21	0.13	0.17
アモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	17.8	16.7	17.3	14.0	13.4	15.4	14.6	14.6	14.4	15.9	19.2	13.4	15.9
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

富士北麓流域下水道

表 2－2 9 （1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃		19.0	20.0	20.0	21.5	22.0	23.0	24.0	24.0	25.5	26.0	25.0	25.0	25.0	24.0
透視度	c m		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.74	6.65	6.70	6.89	6.70	6.84	6.77	6.83	6.70	6.80	6.78	6.81	6.82	6.75
蒸発残留物	mg/L		250	230	210	240	260	260	270	300	270	240	250	250	280	270
強熱残留物	mg/L		180	180	150	200	170	210	190	200	190	200	170	180	210	220
溶解性物質	mg/L		240	230	190	230	250	260	260	290	270	240	240	250	270	250
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	1.4	2.7	3.1	3.3	2.8	1.6	3.2	2.0	1.4	1.1	1.3	2.0	1.2	1.3
アルカリ度	mg/L		59	55	52	63	52	55	58	63	56	62	58	66	61	55
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	2.2	3.2	3.4	4.7	3.7	2.9	2.7	2.8	1.9	3.1	1.6	3.5	2.7	1.9
化学的酸素要求量	mg/L		7.8	8.6	8.7	8.8	8.4	7.2	7.9	7.3	7.6	7.6	7.1	7.7	7.1	7.1
アンモニア性窒素含有量	mg/L		0.66	0.42	0.28	2.77	<0.16	0.34	0.40	<0.16	0.33	2.16	0.25	1.81	1.72	0.85
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.06	0.07	0.03	0.11	<0.02	0.04	0.05	<0.02	0.04	0.13	<0.02	0.11	0.11	0.06
硝酸性窒素含有量	mg/L		4.27	4.42	5.32	5.55	5.88	4.78	4.86	4.66	6.28	6.49	5.78	4.43	5.98	6.04
有機性窒素含有量	mg/L		0.85	0.82	1.11	1.05	1.17	0.79	1.05	0.80	0.78	0.74	0.75	0.85	0.79	0.66
窒素含有量	mg/L	120(60)	5.84	5.73	6.73	9.48	7.05	5.95	6.35	5.46	7.44	9.52	6.79	7.20	8.61	7.61
燐酸イオン態燐含有量	mg/L		0.36	0.65	1.02	0.21	1.28	0.33	0.43	0.24	0.88	0.23	1.85	0.20	0.26	0.75
燐含有量	mg/L	16(8)	0.40	0.81	1.17	0.37	1.50	0.43	0.61	0.34	0.98	0.34	2.08	0.34	0.36	0.84
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.12	0.15	0.16	0.19	0.12	0.16	<0.10	<0.10	<0.10	0.12	0.12	0.12	0.15	0.18
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	4.59	4.66	5.46	6.77	5.88	4.96	5.07	4.66	6.45	7.48	5.88	5.26	6.78	6.44
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

富士北麓流域下水道

表 2-29 (2) 精密試験分析結果 (放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—		7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃		22.0	22.0	20.5	19.0	17.0	17.5	16.5	16.0	16.5	16.0	26.0	16.0	21.1
透視度	c m		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.99	6.78	6.80	6.64	6.74	6.77	6.78	6.64	6.50	6.68	6.99	6.50	6.75
蒸発残留物	mg/L		240	270	230	230	220	230	200	210	210	210	300	200	240
強熱残留物	mg/L		180	200	200	190	200	210	180	180	150	160	220	150	190
溶解性物質	mg/L		240	260	230	220	220	230	190	200	190	210	290	190	240
浮遊物質質量	mg/L	40 (30)	1.4	4.4	<1.0	1.2	<1.0	1.1	1.0	1.3	1.9	1.4	4.4	<1.0	1.8
アルカリ度	mg/L		80	60	58	55	55	57	56	53	55	65	80	52	59
生物化学的酸素要求量	mg/L	15 (15)	1.7	3.0	1.7	2.4	1.9	1.6	2.1	2.8	2.1	2.9	4.7	1.6	2.6
化学的酸素要求量	mg/L		6.8	7.4	7.8	7.6	6.2	6.3	5.9	6.2	6.5	7.8	8.8	5.9	7.4
アンモニア性窒素含有量	mg/L		6.10	0.33	2.11	1.49	0.83	1.87	1.22	0.93	0.69	2.47	6.10	<0.16	1.25
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.13	0.03	0.15	0.13	0.07	0.10	0.09	0.10	0.09	0.19	0.19	<0.02	0.08
硝酸性窒素含有量	mg/L		3.61	6.55	5.86	5.02	4.50	4.20	4.88	4.24	4.17	4.00	6.55	3.61	5.07
有機性窒素含有量	mg/L		0.70	1.06	0.78	0.84	0.65	0.63	0.58	0.71	0.72	0.30	1.17	0.30	0.80
窒素含有量	mg/L	120 (60)	10.5	7.97	8.90	7.48	6.05	6.80	6.77	5.97	5.67	6.95	10.5	5.46	7.20
燐酸イオン態燐含有量	mg/L		0.87	1.71	0.76	0.66	0.20	0.82	0.30	1.03	0.88	0.33	1.85	0.20	0.68
燐含有量	mg/L	16 (8)	1.02	2.02	0.86	0.83	0.30	1.08	0.37	1.15	1.01	0.45	2.08	0.30	0.82
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.13	0.14	0.12	0.14	0.16	0.14	<0.10	0.14	0.12	0.16	0.19	<0.10	0.12
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	6.18	6.71	6.85	5.75	4.90	5.05	5.46	4.71	4.54	5.18	7.48	4.54	5.65
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

富士北麓流域下水道

表 2 - 3 0 幹線調査分析結果

測定項目		単位	排除基準	①	②	③	④	⑤	⑥
採水月日						5月8日	5月8日	5月8日	5月8日
採水時刻						10:20	10:50	9:55	9:30
政 令 で 理 定 め る 物 質	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出			<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	シアン化合物	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	有機燐化合物	mg/L	不検出			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	六価クロム化合物	mg/L	0.05			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05			<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン	mg/L	0.2			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	四塩化炭素	mg/L	0.02			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04			<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4			<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3			<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06			<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	チウラム	mg/L	0.06			<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	シマジン	mg/L	0.03			<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	チオベンカルブ	mg/L	0.2			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	ベンゼン	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	ほう素及びその化合物	mg/L	10			<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1			0.24	0.20	0.15	0.13
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5			<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	フェノール類含有量	mg/L	1			<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
	銅含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	亜鉛含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	溶解性鉄含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	クロム含有量	mg/L	0.5			<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
条 例 で 理 可 能 な 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380			24.1	21.5	21.5	17.6
	生物化学的酸素要求量	mg/L	600			230	200	170	140
	浮遊物質質量	mg/L	600			180	230	140	120
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30			17	12	9	10
	水素イオン濃度	—	5～9			7.42	7.31	7.40	7.38
	水温	℃	45			21.0	20.5	19.0	18.5
	よう素消費量	mg/L	220			21	14	10	10
そ の 他	色	—				黄濁	黄濁	微黄濁	微黄濁
	化学的酸素要求量	mg/L				110	110	91	74
備 考	番号 幹線名 上流市町村名								
	① 富士北麓1号幹線 (欠番)								
	② 富士北麓1号幹線 (欠番)								
	③ 富士北麓1号幹線 富士河口湖町								
	④ 富士北麓1号幹線 全市町村								
	⑤ 富士北麓2号幹線 山中湖村、忍野村								
	⑥ 富士北麓2号幹線 山中湖村								
※①、②は、市町村合併により欠番としている。									

表 2 - 3 1 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	29,882	27,330	35,876	26,558	38,676	28,901	26,845	28,101	28,645	27,353	27,918	27,234	38,676
	最小	20,695	20,045	20,262	22,210	23,075	22,123	22,044	22,390	22,195	24,662	24,931	23,750	20,045
	平均	22,402	22,385	22,601	23,794	25,850	24,471	23,145	23,257	24,742	26,056	26,405	24,847	24,155
反応タンク 流入水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	31,370	28,690	37,140	27,890	39,790	30,050	28,210	29,240	29,630	28,390	29,090	28,350	39,790
	最小	22,100	21,690	21,870	23,540	24,350	23,280	23,250	23,540	23,300	25,690	25,950	24,840	21,690
	平均	23,827	23,781	23,901	25,108	27,251	25,778	24,332	24,390	25,859	27,128	27,580	26,002	25,404
返 送 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	21,720	18,420	24,140	19,780	26,220	19,940	17,540	20,570	18,400	18,130	18,080	18,990	26,220
	最小	13,910	13,690	13,310	14,710	15,110	14,340	14,330	14,600	14,480	14,630	16,280	15,810	13,310
	平均	15,035	14,996	15,166	17,290	17,217	16,605	15,128	15,390	16,125	16,949	17,119	17,296	16,192
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	72.0	70.2	72.8	70.9	66.4	80.4	64.1	70.3	64.5	64.9	63.9	68.6	80.4
	最小	61.1	61.1	60.9	62.1	61.5	61.2	60.0	62.0	61.0	55.6	60.8	61.3	55.6
	平均	63.1	63.0	63.3	68.8	63.1	64.4	62.2	63.1	62.4	62.5	62.1	66.5	63.7
余 剩 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	395	399	319	364	419	384	382	364	473	390	489	393	489
	最小	283	232	244	295	156	192	308	299	289	259	257	311	156
	平均	351	317	286	323	347	310	350	345	339	338	380	350	336
送 風 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	85,541	88,898	82,690	79,635	84,943	85,598	94,605	110,020	98,079	84,061	82,807	83,879	110,020
	最小	65,905	65,955	64,229	67,395	66,311	60,884	73,491	70,814	71,368	63,334	69,417	60,523	60,523
	平均	74,657	74,825	72,910	73,573	77,031	73,404	83,503	95,744	79,275	73,234	76,939	68,984	76,983
送 風 倍 率 (倍)	最大	3.6	3.7	3.7	3.2	3.1	3.4	4.0	4.6	4.1	3.0	3.1	3.3	4.6
	最小	2.1	2.5	1.8	2.6	1.7	2.2	2.7	2.9	2.7	2.3	2.4	2.2	1.7
	平均	3.1	3.2	3.1	2.9	2.9	2.9	3.4	3.9	3.1	2.7	2.8	2.6	3.0
滞 留 時 間 (H r)	最大	9.2	9.3	9.3	8.6	8.3	10.1	8.7	8.6	8.7	7.9	7.8	8.2	10.1
	最小	6.5	7.1	5.6	7.3	5.5	7.4	7.2	6.9	6.8	7.1	7.0	7.1	5.5
	平均	8.5	8.5	8.6	8.1	7.7	8.2	8.3	8.3	7.9	7.5	7.4	7.8	8.1

富士北麓流域下水道

表 2-32 反応タンク試験結果 (1)

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.5	22.5	24.0	25.5	26.0	25.5	25.0	23.0	21.0	18.0	17.5	19.0	26.0
	最小	19.0	21.0	22.0	24.0	24.0	24.5	22.0	21.0	18.0	17.0	16.5	16.5	16.5
	平均	20.0	21.7	23.0	24.5	25.7	25.1	23.8	22.2	19.6	17.5	16.8	17.6	21.5
p H	ML	最大	6.60	6.62	6.61	6.58	6.62	6.74	6.66	6.66	6.59	6.60	6.60	6.74
		最小	6.41	6.47	6.45	6.46	6.40	6.46	6.45	6.49	6.35	6.38	6.37	6.31
		平均	6.50	6.54	6.54	6.52	6.53	6.57	6.54	6.54	6.48	6.48	6.47	6.52
	RS	最大	6.66	6.71	6.67	6.65	6.71	6.84	6.73	6.78	6.63	6.68	6.67	6.84
		最小	6.50	6.54	6.53	6.52	6.43	6.60	6.54	6.50	6.50	6.45	6.48	6.43
		平均	6.57	6.62	6.60	6.59	6.63	6.66	6.63	6.56	6.57	6.57	6.57	6.60
D O (mg/L)	最大	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0
	最小	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
	平均	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
M L S S (mg/L)	最大	2,140	1,940	1,960	2,000	2,070	1,780	1,970	2,110	1,870	2,180	2,140	2,070	2,180
	最小	1,710	1,430	1,710	1,730	1,440	1,580	1,680	1,840	1,470	2,040	2,000	1,840	1,430
	平均	1,940	1,720	1,850	1,860	1,890	1,680	1,860	1,990	1,780	2,100	2,060	1,950	1,890
M L V S S (mg/L)	最大	1,800	1,650	1,660	1,690	1,680	1,500	1,660	1,810	1,630	1,880	1,820	1,770	1,880
	最小	1,460	1,250	1,480	1,500	1,190	1,330	1,390	1,540	1,250	1,720	1,720	1,600	1,190
	平均	1,650	1,480	1,590	1,590	1,550	1,400	1,560	1,680	1,540	1,790	1,770	1,660	1,610
MLVSS/MLSS (%)	最大	86.8	88.3	87.6	87.8	84.4	85.5	85.7	86.9	88.8	86.9	87.9	87.2	88.8
	最小	83.3	83.9	84.6	83.6	78.9	81.6	81.7	83.2	83.0	83.9	84.6	83.2	78.9
	平均	85.1	86.4	85.9	85.7	82.1	83.5	83.7	84.8	86.0	85.3	85.9	85.4	85.0
S V 3 0 (%)	ML	最大	34	19	19	23	30	39	46	47	55	60	49	60
		最小	17	14	17	17	22	29	37	35	29	46	41	14
		平均	26	17	18	20	25	36	41	41	44	52	44	34
	RS	最大	97	79	72	81	96	98	94	94	95	96	96	98
		最小	50	38	39	31	63	88	90	84	89	90	93	31
		平均	84	63	62	57	83	93	92	91	92	94	94	83
S V I (mL/g)	ML	最大	160	110	100	120	170	240	240	240	290	290	230	290
		最小	100	96	94	95	110	180	200	190	200	220	200	94
		平均	140	100	98	110	140	210	220	210	250	250	220	180
	RS	最大	260	190	170	210	270	330	320	300	330	320	290	330
		最小	160	120	120	110	180	260	260	250	280	250	260	110
		平均	220	160	150	160	210	300	290	280	300	270	270	240
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.24	0.35	0.22	0.21	0.38	0.22	0.19	0.22	0.21	0.20	0.21	0.25	0.38
	最小	0.19	0.20	0.17	0.18	0.19	0.19	0.15	0.15	0.20	0.18	0.18	0.19	0.15
	平均	0.22	0.26	0.20	0.20	0.25	0.20	0.17	0.18	0.20	0.19	0.19	0.24	0.21
S R T (日)	平均	12.2	12.2	13.7	13.9	11.7	14.5	14.0	14.9	14.6	15.2	13.1	13.9	13.7

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 2-33 反応タンク試験結果 (2)

項 目		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
酸素利用速度 Rr (mg/L・h)	—	31.0	23.5	27.0	31.4	26.0	29.8	50.4	25.0	55.1	63.6	40.5	56.9	34.9	25.3	29.8	23.4	14.6	23.9	25.9	30.8	19.3	27.8	16.7	27.5	63.6	14.6	31.7
	ATU	21.8	15.0	16.3	18.8	15.0	22.1	34.2	20.8	22.0	32.0	22.0	32.4	17.5	16.3	19.7	17.9	11.7	14.9	15.8	19.1	13.0	17.7	11.8	14.1	34.2	11.7	19.2
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・h)	—	14.6	9.5	17.5	19.3	14.1	16.6	26.8	13.4	26.7	30.7	23.0	33.9	19.5	12.8	14.5	10.0	8.2	13.5	12.2	14.3	8.9	12.8	8.2	14.2	33.9	8.2	16.5
	ATU	10.3	6.1	10.6	11.5	8.1	12.3	18.2	11.1	10.7	15.5	12.5	19.3	9.8	8.3	9.6	7.6	6.6	8.4	7.4	8.9	6.0	8.2	5.8	7.3	19.3	5.8	10.0
備 考		A T U 添加量10mg/L、酸素利用速度係数はM L S S による。																										

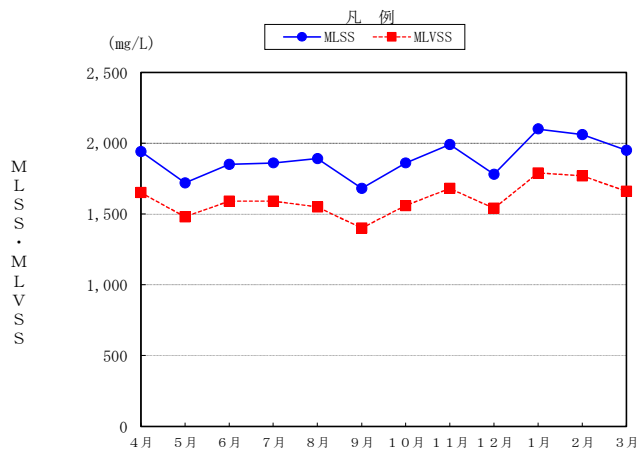


図 2-18 反応タンクの管理状況 (1)

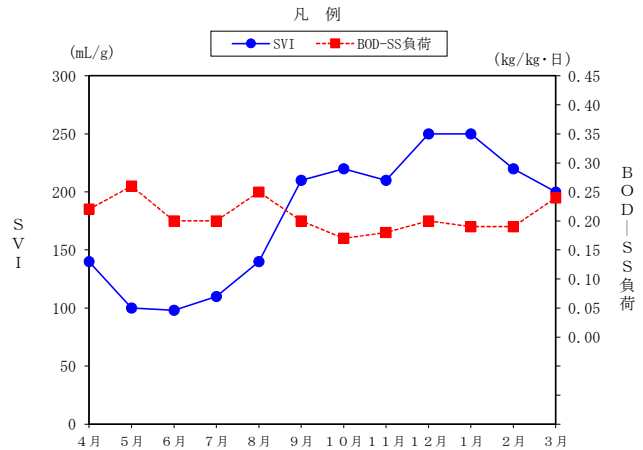


図 2-19 反応タンクの管理状況 (2)

表 2-34 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分類及び生物名			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	最大	最小	平均		
原	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas	50	60	10	50	30		50	30		70	40	10	70	0	33	
		植物性	Peranema	60	120	60	240	70	120	120	250	90	120	20	60	250	20	111	
			Entosiphon	40	250	860	1,290	80	210	170	90	80	220	120	790	1,290	40	350	
生	絨毛虫類	原口目	Prorodon			10		10	30	40	10		10		40	40	0	13	
		異毛目	Spirostomum	50	70	50	130	180	650	50	50	30	50		20	650	0	111	
		膜口目	Paramecium				50	10								50	0	5	
		裸口目	Litonotus			70									20	70	0	8	
	Amphileptus			70	10	70	70	90	80	120	60	70	20	80	120	0	62		
	Coleps		100	60	80	60	80	40	40	40	80	30	60	60	100	30	61		
	Trachelophyllum		140	40		130	90	100	260	60	60	30	100	60	260	0	89		
	下毛目	Aspidisca	850	230	150	720	1,570	780	1,610	1,580	690	170	690	420	1,610	150	788		
		Euplotes		10						20					20	0	3		
	動	類	ナスラ目	Drepanomonas		20	40	10	30		30	10		20		30	40	0	16
			緑毛目	Vorticella	6,270	2,640	2,970	1,680	1,830	1,390	830	3,470	1,610	3,370	2,570	5,190	6,270	830	2,818
				Epistylis	2,250	2,430	1,530	2,660	3,080	950	1,740	1,020	1,610	3,440	3,840	1,190	3,840	950	2,145
吸虫			管目	Acineta	20				10	10	50	30	30	60	20	40	60	0	23
	Multifasciculatum											20			20	0	2		
物	類	有殻	Tokophrya	60	80	50	60	80	70	90	100	40	160	110	60	160	40	80	
			Arcella	850	1,430	980	900	360	1,760	960	690	1,160	1,230	1,810	1,250	1,810	360	1,115	
			Euglypha	330	200	230	140	220	430	50	70	190	70	100	160	430	50	183	
		Pyxidicula	910	270	130	80	160	440	130	290	560	400	200	530	910	80	342		
無殻	Amoeba	330	650	380	600	290	220	390	310	280	330	380	280	650	220	370			
後動	輪虫類	Lecane	20	60	30	10		10	20	30	50				60	0	19		
		Lepadella	650	1,080	1,440	580	260	260	90	300	200	260	480	410	1,440	90	501		
		Rotaria	50	280	150	80	50	30	50	100	90	90	80	100	280	30	96		
		Philodina	10												10	0	1		
	腹毛類	Chaetonotus		20	20	30			10	130	40				130	0	21		
		緩歩類	Macrobiotus						20		10	20				20	0	4	
生	線虫類	Dyplogaster	10		10	30	10	10	20			10	30	10	30	0	12		
その他の生物数															0	0	0		
総生物数			13,050	10,070	9,260	9,600	8,570	7,620	6,880	8,810	6,970	10,230	10,670	10,810	10,810	6,880	9,378		
活性汚泥生物数			12,460	9,200	8,730	8,550	8,080	7,170	6,040	8,160	6,540	9,670	10,100	10,370	10,370	6,040	8,756		
活性汚泥性生物(%)			95.5	91.4	94.3	89.1	94.3	94.1	87.8	92.6	93.8	94.5	94.7	95.9	95.9	87.8	93.2		

富士北麓流域下水道

表 2-3 5 流入水及び放流水の経時変化 (4/16~4/18)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/16 10:00	2,240	170	381	180	403	93	208
12:00	2,160	160	346	170	367	86	186
14:00	1,920	170	326	170	326	88	169
16:00	1,740	180	313	170	296	84	146
18:00	1,700	170	289	160	272	92	156
20:00	2,100	170	357	150	315	80	168
22:00	2,580	170	439	150	387	82	212
4/17 0:00	2,380	170	405	140	333	80	190
2:00	1,500	120	180	130	195	62	93
4:00	960	97	93	100	96	50	48
6:00	820	63	52	55	45	37	30
8:00	1,700	160	272	160	272	81	138

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/17 10:00	2,220	3.0	6.7	2.3	5.1	8.3	18.4
12:00	2,080	5.5	11.4	2.4	5.0	8.8	18.3
14:00	1,920	5.2	10.0	2.6	5.0	9.1	17.5
16:00	1,720	3.6	6.2	2.7	4.6	8.8	15.1
18:00	1,660	3.8	6.3	2.8	4.6	9.7	16.1
20:00	2,100	3.5	7.4	3.0	6.3	9.3	19.5
22:00	2,500	3.8	9.5	2.9	7.3	9.2	23.0
4/18 0:00	2,280	3.9	8.9	2.7	6.2	9.3	21.2
2:00	1,560	4.2	6.6	2.9	4.5	9.2	14.4
4:00	980	3.3	3.2	1.9	1.9	8.6	8.4
6:00	900	3.4	3.1	2.4	2.2	8.9	8.0
8:00	1,500	3.2	4.8	2.5	3.8	8.4	12.6

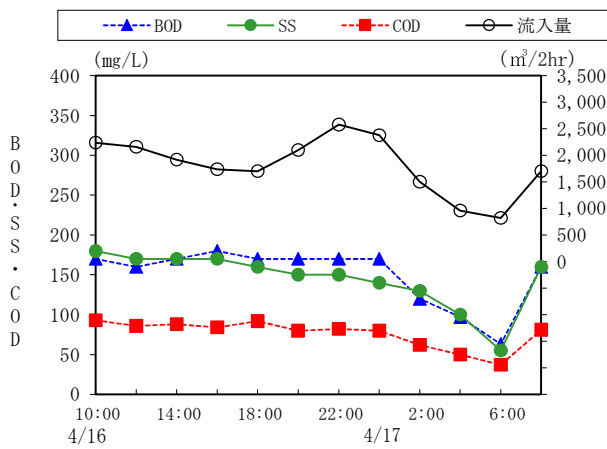


図 2-2 0 流入水濃度の経時変化 (4/16~4/17)

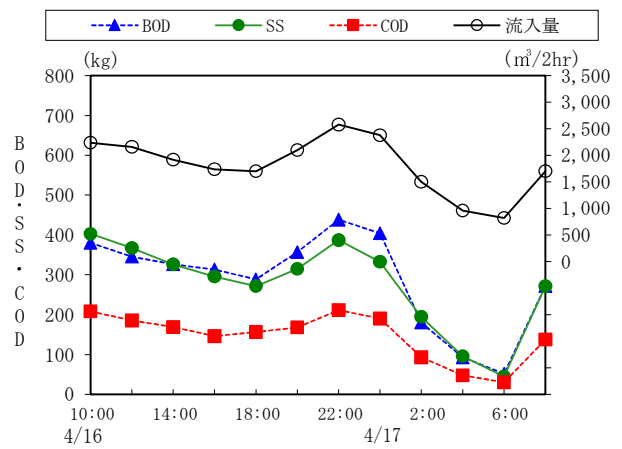


図 2-2 1 流入水負荷量の経時変化 (4/16~4/17)

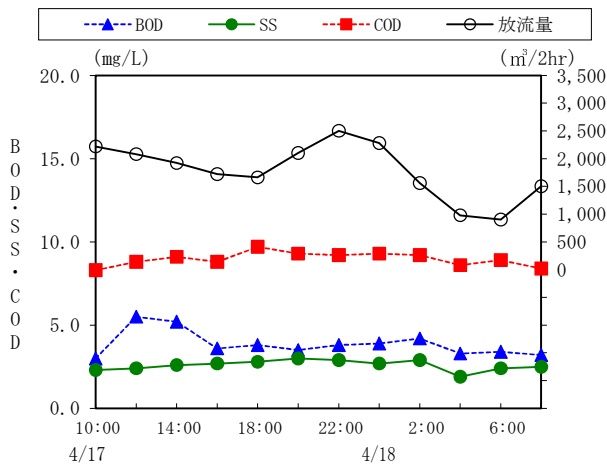


図 2-2 2 放流水濃度の経時変化 (4/17~4/18)

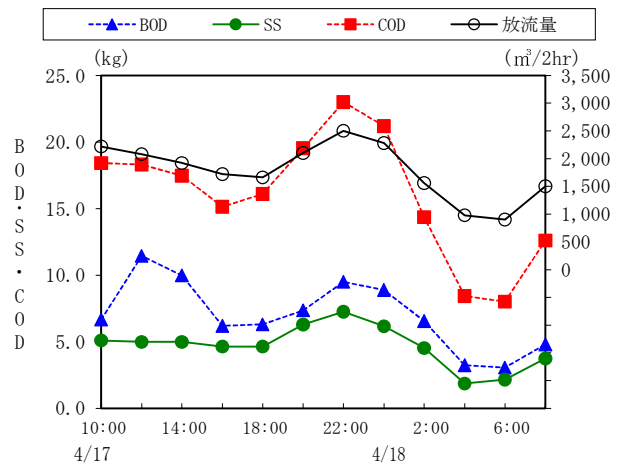


図 2-2 3 放流水負荷量の経時変化 (4/17~4/18)

富士北麓流域下水道

表 2-3 6 流入水及び放流水の経時変化(8/6~8/8)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/6 10:00	2,400	190	456	180	432	91	218
12:00	2,300	160	368	170	391	87	200
14:00	2,220	180	400	180	400	79	175
16:00	2,860	180	515	180	515	94	269
18:00	2,440	150	366	170	415	78	190
20:00	2,440	140	342	130	317	70	171
22:00	2,820	170	479	160	451	76	214
8/7 0:00	2,600	160	416	150	390	73	190
2:00	1,740	110	191	110	191	55	96
4:00	1,120	68	76	76	85	40	45
6:00	960	68	65	76	73	40	38
8:00	1,620	140	227	160	259	75	122

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/7 10:00	2,240	2.9	6.5	1.7	3.8	6.5	14.6
12:00	2,260	3.5	7.9	1.8	4.1	6.9	15.6
14:00	2,160	4.0	8.6	1.8	3.9	7.7	16.6
16:00	2,440	3.6	8.8	2.1	5.1	7.1	17.3
18:00	2,720	3.5	9.5	2.1	5.7	7.9	21.5
20:00	2,420	3.3	8.0	2.0	4.8	7.7	18.6
22:00	2,760	3.2	8.8	2.1	5.8	7.6	21.0
8/8 0:00	2,540	3.2	8.1	2.3	5.8	7.7	19.6
2:00	1,760	3.1	5.5	1.8	3.2	7.7	13.6
4:00	1,100	3.8	4.2	2.0	2.2	7.2	7.9
6:00	1,000	3.7	3.7	1.9	1.9	7.2	7.2
8:00	1,640	2.8	4.6	1.8	3.0	6.7	11.0

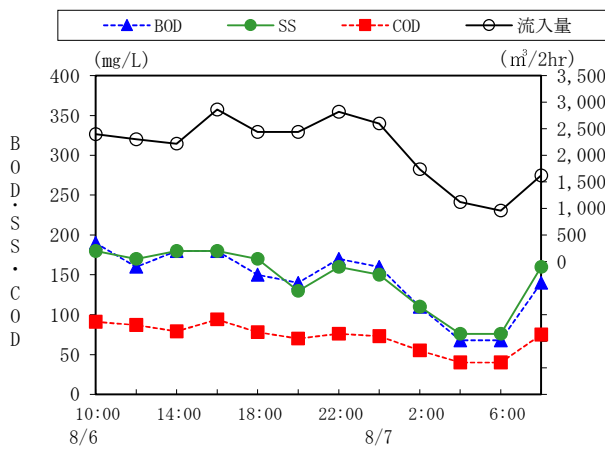


図 2-2 4 流入水濃度の経時変化 (8/6~8/7)

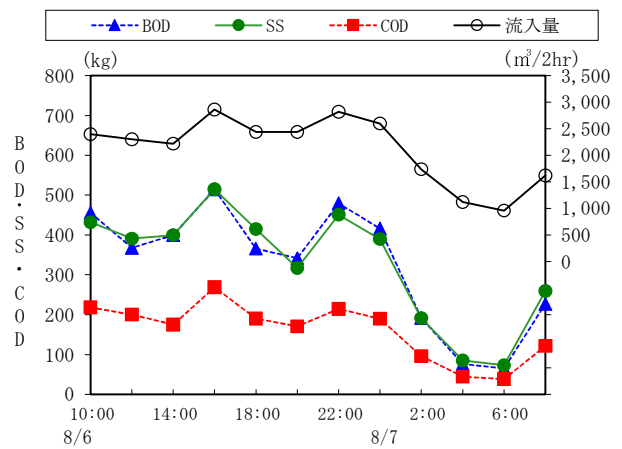


図 2-2 5 流入水負荷量の経時変化 (8/6~8/7)

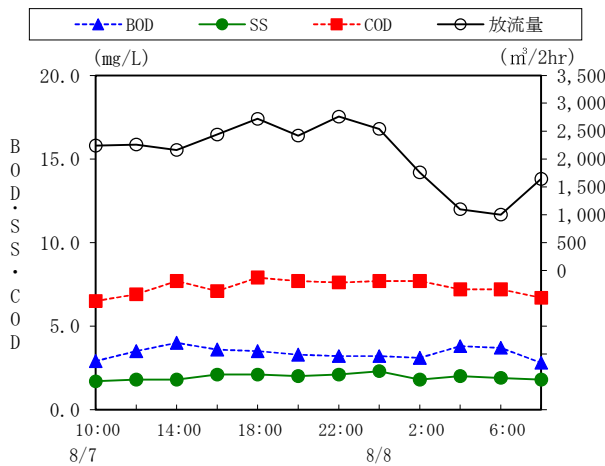


図 2-2 6 放流水濃度の経時変化 (8/7~8/8)

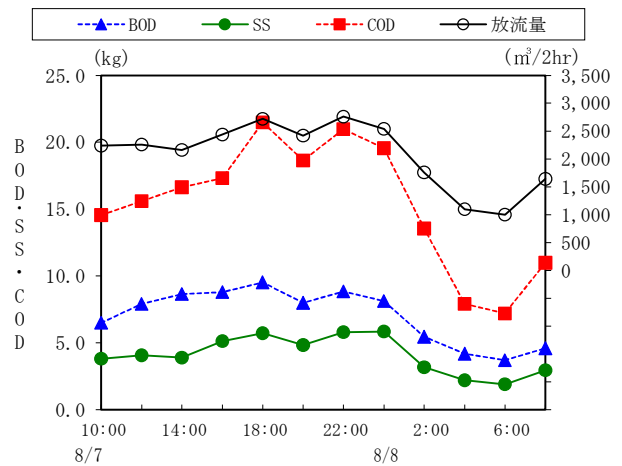


図 2-2 7 放流水負荷量の経時変化 (8/7~8/8)

富士北麓流域下水道

表 2-3 7 流入水及び放流水の経時変化(11/12～11/14)

流入水								放流水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD		採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)			濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	2,340	160	374	190	445	95	222	11/13 10:00	2,280	1.6	3.6	1.3	3.0	7.0	16.0
12:00	2,240	130	291	160	358	80	179	12:00	2,040	1.7	3.5	1.6	3.3	7.3	14.9
14:00	2,060	160	330	170	350	88	181	14:00	1,920	1.7	3.3	1.2	2.3	7.1	13.6
16:00	1,840	150	276	160	294	83	153	16:00	1,680	2.0	3.4	1.4	2.4	7.5	12.6
18:00	1,880	160	301	160	301	84	158	18:00	1,760	2.0	3.5	1.6	2.8	7.1	12.5
20:00	2,200	160	352	160	352	80	176	20:00	1,980	2.1	4.2	1.3	2.6	7.4	14.7
22:00	2,700	160	432	160	432	81	219	22:00	2,640	2.2	5.8	1.7	4.5	7.4	19.5
11/13 0:00	2,380	160	381	160	381	72	171	11/14 0:00	2,420	2.3	5.6	1.3	3.1	7.4	17.9
2:00	1,520	96	146	100	152	57	87	2:00	1,580	2.5	4.0	1.5	2.4	7.4	11.7
4:00	900	68	61	72	65	42	38	4:00	920	2.8	2.6	1.4	1.3	7.2	6.6
6:00	880	52	46	60	53	37	33	6:00	940	2.8	2.6	2.0	1.9	7.1	6.7
8:00	1,660	140	232	140	232	75	125	8:00	1,520	3.0	4.6	1.8	2.7	7.0	10.6

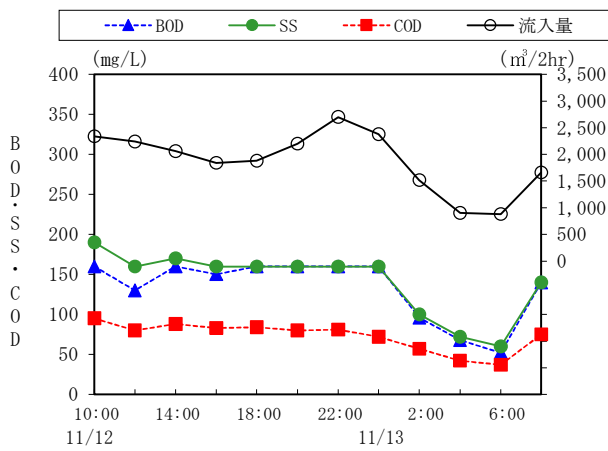


図 2-2 8 流入水濃度の経時変化 (11/12～11/13)

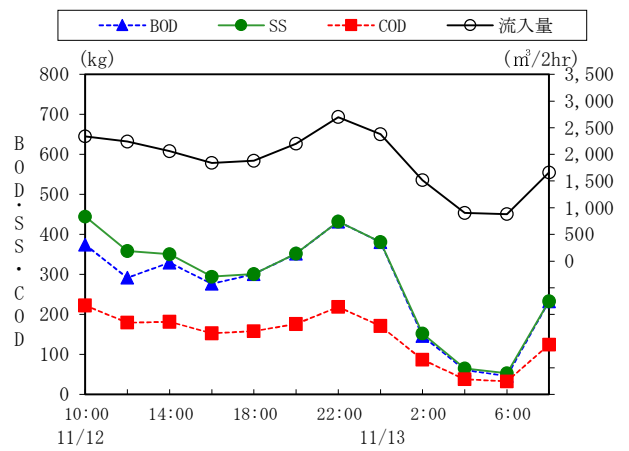


図 2-2 9 流入水負荷量の経時変化 (11/12～11/13)

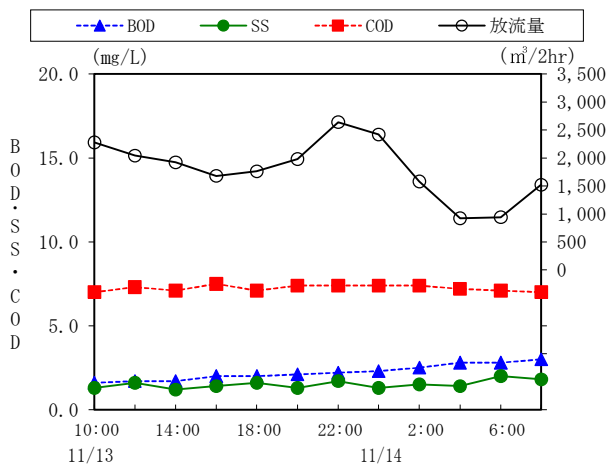


図 2-3 0 放流水濃度の経時変化 (11/13～11/14)

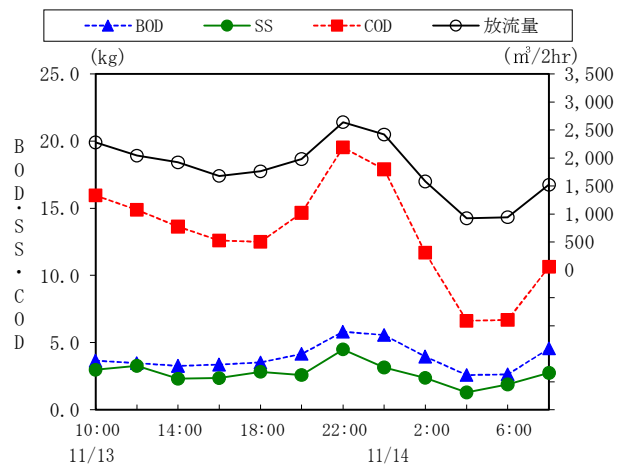


図 2-3 1 放流水負荷量の経時変化 (11/13～11/14)

富士北麓流域下水道

表 2-3 8 流入水及び放流水の経時変化 (2/18~2/20)

流入水								放流水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD		採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)			濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/18 10:00	2,560	120	307	170	435	79	202	2/19 10:00	2,500	4.6	11.5	1.1	2.8	7.1	17.8
12:00	2,400	140	336	150	360	82	197	12:00	2,340	4.1	9.6	0.7	1.6	6.6	15.4
14:00	2,020	170	343	170	343	87	176	14:00	2,160	4.1	8.9	0.9	1.9	6.7	14.5
16:00	2,060	140	288	160	330	77	159	16:00	2,040	3.9	8.0	0.8	1.6	7.2	14.7
18:00	1,980	170	337	180	356	78	154	18:00	2,060	3.9	8.0	0.9	1.9	7.1	14.6
20:00	2,540	140	356	120	305	78	198	20:00	2,480	3.8	9.4	1.1	2.7	7.1	17.6
22:00	2,920	160	467	150	438	79	231	22:00	2,860	4.0	11.4	1.1	3.1	7.7	22.0
2/19 0:00	2,580	140	361	120	310	65	168	2/20 0:00	2,600	4.5	11.7	1.5	3.9	7.5	19.5
2:00	1,840	82	151	89	164	45	83	2:00	1,980	3.6	7.1	1.6	3.2	7.3	14.5
4:00	1,400	59	83	59	83	34	48	4:00	1,500	3.3	5.0	1.0	1.5	6.9	10.4
6:00	1,380	44	61	38	52	23	32	6:00	1,420	3.0	4.3	1.0	1.4	6.9	9.8
8:00	2,060	120	247	100	206	60	124	8:00	2,020	3.0	6.1	0.9	1.8	6.2	12.5

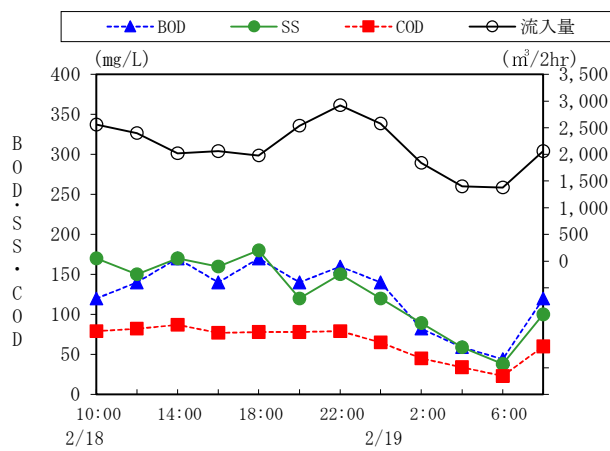


図 2-3-2 流入水濃度の経時変化 (2/18~2/19)

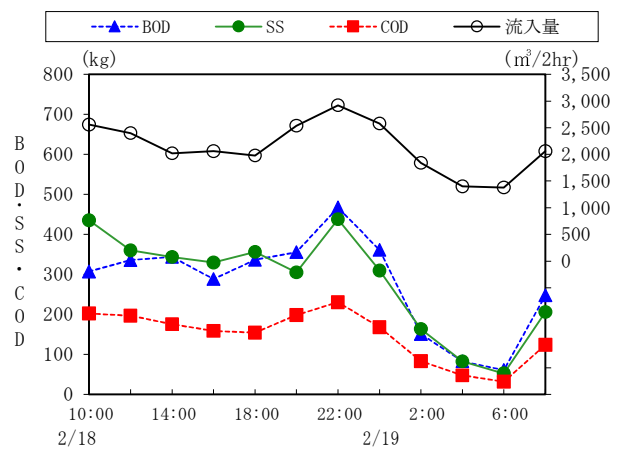


図 2-3-3 流入水負荷量の経時変化 (2/18~2/19)

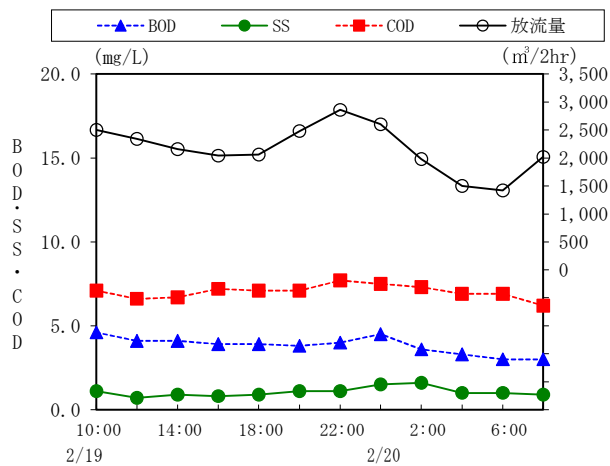


図 2-3-4 放流水濃度の経時変化 (2/19~2/20)

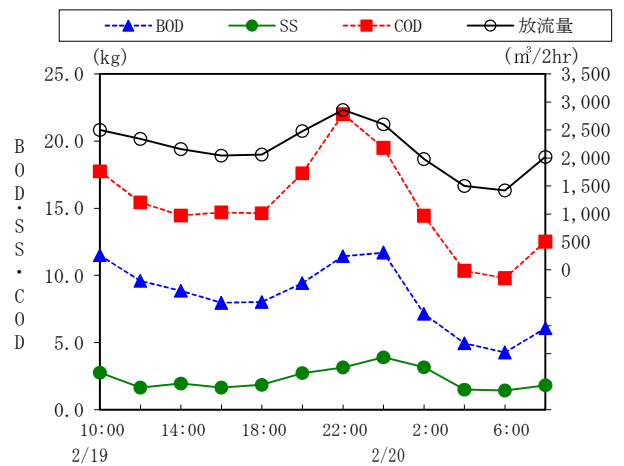


図 2-3-5 放流水負荷量の経時変化 (2/19~2/20)

表 2－3 9 汚泥処理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生汚泥	固 形 分 (%)	0.41	0.51	0.48	0.53	0.60	0.49	0.47	0.46	0.49	0.47	0.40	0.43	0.60	0.40	0.48	—
	引 拔 量 (m³)	19,248.1	18,108.8	18,656.8	19,483.9	20,601.2	19,905.5	20,166.4	19,202.6	19,835.7	18,728.8	17,382.1	17,771.5	20,601.2	17,382.1	19,091.0	229,091.4
	固形物量 (kg)	79,653	93,061	89,956	103,040	124,088	98,352	95,391	88,631	97,704	88,102	68,765	77,266	124,088	68,765	92,001	1,104,009
重縮力汚泥	固 形 分 (%)	4.24	3.74	3.75	3.61	3.45	3.59	3.53	3.58	3.64	3.62	3.87	3.90	4.24	3.45	3.71	—
	引 拔 量 (m³)	2,168.5	2,382.1	1,985.2	2,321.8	2,740.7	2,548.1	2,440.0	2,378.0	2,434.0	2,238.0	1,851.7	2,089.6	2,740.7	1,851.7	2,298.1	27,577.7
	固形物量 (kg)	91,846	88,983	74,508	83,812	94,452	91,573	86,205	85,110	88,556	80,950	71,690	81,405	94,452	71,690	84,924	1,019,090
余剰汚泥	固 形 分 (%)	0.44	0.41	0.53	0.44	0.43	0.40	0.44	0.40	0.32	0.49	0.57	0.56	0.57	0.32	0.45	—
	引 拔 量 (m³)	10,532.6	9,830.3	8,586.2	10,004.3	10,747.7	9,304.8	10,838.5	10,362.0	10,504.0	10,476.7	10,627.2	10,852.8	10,852.8	8,586.2	10,222.3	122,667.1
	固形物量 (kg)	46,178	40,461	45,886	44,046	46,483	36,965	47,963	41,559	34,020	50,885	60,210	60,268	60,268	34,020	46,244	554,924
濃縮機	固 形 分 (%)	0.44	0.38	0.44	0.36	0.46	0.38	0.41	0.56	0.49	0.46	0.47	0.47	0.56	0.36	0.44	—
	供 給 量 (m³)	10,522.2	9,879.0	8,637.9	10,027.2	10,853.0	9,365.3	10,959.5	10,512.6	10,684.9	10,615.6	10,648.4	11,032.1	11,032.1	8,637.9	10,311.5	123,737.7
	固形物量 (kg)	46,097	37,831	38,025	36,107	49,485	35,935	44,965	58,966	52,444	48,830	49,793	51,613	58,966	35,935	45,841	550,091
高分子凝集剤（濃縮）	濃 度 (%)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	—
	供 給 量 (m³)	49.33	46.13	48.81	60.31	66.17	52.80	53.23	56.85	45.16	47.09	51.05	59.88	66.17	45.16	53.07	636.81
	薬注率(%)濃縮機	0.11	0.12	0.13	0.17	0.13	0.15	0.12	0.10	0.09	0.10	0.10	0.12	0.17	0.09	0.12	—
	供給量(No.1)	24.74	24.83	25.81	26.46	30.90	22.60	24.06	23.98	22.07	3.38	7.22	19.48	30.90	3.38	21.29	255.52
	薬注率(No.1)	0.11	0.12	0.13	0.15	0.12	0.13	0.11	0.09	0.07	0.09	0.10	0.11	0.15	0.07	0.11	—
	供給量(No.3)	24.59	21.30	22.99	33.85	35.27	30.21	29.18	32.88	23.09	43.71	43.83	40.40	43.83	21.30	31.77	381.28
脱水機	濃 度 (%)	0.11	0.12	0.13	0.18	0.14	0.16	0.13	0.10	0.11	0.10	0.10	0.12	0.18	0.10	0.13	—
	固 形 分 (%)	3.80	3.63	3.72	3.65	3.46	3.34	3.43	3.36	3.29	3.44	3.54	3.68	3.80	3.29	3.53	—
	供 給 量 (m³)	3,326.8	3,184.4	2,837.2	3,234.4	3,939.0	3,375.2	3,375.6	3,416.0	3,307.5	3,313.5	2,953.8	3,138.8	3,939.0	2,837.2	3,283.5	39,402.2
高(分)子凝集剤	固形物量 (kg)	126,375	115,561	105,506	118,212	136,145	112,835	115,863	114,656	108,828	114,004	104,692	115,523	136,145	104,692	115,683	1,388,200
	濃 度 (%)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	—
	供 給 量 (m³)	394.44	303.45	289.35	345.62	402.83	302.96	300.01	300.93	295.55	335.95	339.32	379.26	402.83	289.35	332.47	3,989.67
	薬注率(%)No.1脱水機	0.94	0.79	0.84	0.88	0.89	0.81	0.78	0.79	0.82	0.89	0.97	0.99	0.99	0.78	0.87	—
脱水ケイキ	薬注率(%)No.2脱水機	0.82	0.73	0.73	0.71	0.78	0.68	0.63	0.74	0.77	0.78	0.95	0.77	0.95	0.63	0.76	—
	含 水 率 (%)	70.6	70.1	70.4	70.1	70.3	69.7	70.2	70.8	71.3	71.1	71.8	71.1	71.8	69.7	70.6	—
	ケーキ量(t)	382.78	325.56	314.26	350.66	408.09	324.47	336.72	361.90	341.20	360.14	353.23	369.52	408.09	314.26	352.38	4,228.53
	固形物量 (kg)	112,537	97,342	93,021	104,847	121,203	98,314	100,343	105,675	97,924	104,080	99,611	106,791	121,203	93,021	103,474	1,241,688

表 2－40 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.62	5.68	5.62	5.14	5.18	6.03	5.53	5.58	5.68	5.94	5.66	5.68	6.03	5.14	5.61
		固形分（％）	4.07	3.75	3.85	3.88	3.52	2.95	3.81	3.26	3.52	3.56	3.86	3.67	4.07	2.95	3.64
		有機分（％）	93.4	93.3	92.9	93.3	93.1	92.4	92.6	93.5	93.6	93.3	94.1	93.0	94.1	92.4	93.2
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.45	6.54	6.57	6.46	6.38	6.38	6.50	6.55	6.57	6.60	6.48	6.52	6.60	6.38	6.50
		固形分（％）	4.86	4.88	4.31	4.17	4.32	4.41	4.07	4.20	4.02	4.28	4.44	4.60	4.88	4.02	4.38
		有機分（％）	83.8	85.1	85.0	84.8	81.8	82.5	82.6	84.9	86.3	85.0	86.4	85.5	86.4	81.8	84.5
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	5.87	5.77	5.44	5.42	5.20	5.30	5.47	5.31	5.67	5.95	5.86	5.77	5.95	5.20	5.59
		固形分（％）	3.86	3.64	3.75	3.80	3.39	3.16	3.50	3.35	3.20	3.36	3.60	3.63	3.86	3.16	3.52
		有機分（％）	89.1	90.1	89.7	90.0	88.3	88.4	89.7	90.1	91.2	91.0	91.9	90.8	91.9	88.3	90.0
	脱水ケーキ	含水率（％）	71.5	70.7	71.0	71.7	70.9	70.2	71.2	71.0	70.7	71.2	72.3	71.5	72.3	70.2	71.2
		有機分（％）	93.3	93.4	92.7	93.4	92.8	92.9	93.7	93.5	94.2	94.2	94.1	93.3	94.2	92.7	93.5
汚泥返流水試験	重力分離濃縮	水素イオン濃度	6.63	6.64	6.66	6.27	6.15	6.77	6.50	6.50	6.80	6.80	6.72	6.70	6.80	6.15	6.60
		アルカリ度（mg/L）	136	140	127	138	131	131	147	148	123	111	114	123	148	111	131
		浮遊物質（mg/L）	140	140	130	180	190	120	140	180	130	110	130	150	190	110	150
		生物化学的酸素要求量（mg/L）	300	290	250	380	400	230	280	330	230	210	250	270	400	210	290
		化学的酸素要求量（mg/L）	95	100	94	110	110	81	100	120	84	74	80	89	120	74	95
	機械分離濃縮	水素イオン濃度	7.04	6.97	7.03	6.99	6.94	7.25	7.04	6.99	7.02	7.13	7.16	7.03	7.25	6.94	7.05
		アルカリ度（mg/L）	53	49	56	63	110	72	55	66	57	57	53	53	110	49	62
		浮遊物質（mg/L）	160	140	100	92	140	130	130	140	160	210	210	150	210	92	150
		生物化学的酸素要求量（mg/L）	140	130	110	110	110	130	100	150	160	200	190	160	200	100	140
		化学的酸素要求量（mg/L）	69	63	57	53	57	60	61	61	68	90	81	63	90	53	65
	脱水分離濃縮	水素イオン濃度	5.95	5.77	5.40	5.36	5.18	5.41	5.32	5.29	5.73	5.97	5.93	5.76	5.97	5.18	5.59
		アルカリ度（mg/L）	860	690	570	550	460	530	520	450	550	600	660	750	860	450	599
		浮遊物質（mg/L）	920	790	690	700	730	710	840	880	650	660	730	750	920	650	750
		生物化学的酸素要求量（mg/L）	4,300	3,800	4,500	4,000	4,900	3,600	4,200	3,900	2,900	2,700	3,300	4,900	4,900	2,700	3,900
		化学的酸素要求量（mg/L）	1,200	1,000	1,000	1,000	990	750	940	960	800	790	920	1,000	1,200	750	950

表 2－4 1 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機燐化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	<0.005	0.009	0.005	0.006	0.009	<0.005	0.005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.20	0.18	0.16	0.12	0.20	0.12	0.17
鉄	mg/L	0.44	2.4	1.5	0.74	2.4	0.44	1.3
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 2－4 2 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.46	0.21	0.32	0.53	0.53	0.21	0.38
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	3.0	5.9	5.1	2.6	5.9	2.6	4.2
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	1.3	2.3	1.8	1.5	2.3	1.3	1.7
水銀	mg/kg	0.12	0.18	0.12	0.11	0.18	0.11	0.13
銅	mg/kg	84	98	91	92	98	84	91
ニッケル	mg/kg	3.8	4.2	3.9	2.2	4.2	2.2	3.5
亜鉛	mg/kg	200	260	200	150	260	150	200
鉄	mg/kg	1,400	2,100	1,600	1,300	2,100	1,300	1,600
マンガン	mg/kg	24	24	27	22	27	22	24
クロム	mg/kg	6.2	5.5	5.4	5.7	6.2	5.4	5.7

表 2－4 3 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 深山橋[放流口下流約600m]）

項 目		単 位	4/11	5/9	6/13	7/3	8/8	9/12	10/10	11/14	12/12	1/16	2/13	3/13	最大	最小	平均
一般	採水時刻		9:10	9:15	9:10	9:15	9:15	9:10	9:15	9:15	9:15	8:50	9:10	9:15	－	－	－
	水温	℃	12.0	12.0	14.0	16.0	18.5	19.0	14.0	12.5	10.5	9.5	10.5	12.0	19.0	9.5	13.4
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
生活環境項目	水素イオン濃度	－	7.76	7.75	7.74	7.69	7.74	7.86	7.86	7.80	7.79	7.75	7.62	7.76	7.86	7.62	7.76
	溶存酸素量	mg/L	10	10	9.6	9.4	9.0	9.0	9.9	10	11	11	10	10	11	9.0	9.9
	生物化学的酸素要求量	mg/L	2.2	3.0	2.4	1.1	2.4	3.1	1.9	4.2	1.6	3.2	3.2	3.6	4.2	1.1	2.7
	化学的酸素要求量	mg/L	2.3	2.0	2.1	1.9	1.7	1.9	1.2	1.8	1.6	1.3	2.1	2.3	2.3	1.2	1.9
	浮遊物質量	mg/L	4.8	2.1	1.6	1.5	1.7	1.3	1.5	1.1	1.2	1.7	2.3	3.1	4.8	1.1	2.0
	大腸菌群数	個/c m ³	18	41	37	50	38	29	39	19	15	26	21	12	50	12	29
	窒素含有量	mg/L	1.33	1.33	1.26	1.35	1.35	1.01	1.07	1.34	1.27	1.20	1.49	1.37	1.49	1.01	1.28
	磷含有量	mg/L	0.28	0.22	0.23	0.19	0.16	0.15	0.14	0.18	0.18	0.22	0.22	0.26	0.28	0.14	0.20
特殊項目	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.17	<0.16	0.17	<0.16	<0.16
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.03	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.01	1.06	1.06	1.15	1.06	0.81	1.07	1.16	0.99	0.98	1.15	1.05	1.16	0.81	1.05
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	0.17	0.17	0.17	0.15	0.13	0.11	0.13	0.14	0.14	0.18	0.17	0.16	0.18	0.11	0.15

表 2－4 4 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 小明見橋[放流口上流約900m]）

項 目		単 位	4/11	5/9	6/13	7/3	8/8	9/12	10/10	11/14	12/12	1/16	2/13	3/13	最大	最小	平均
一般	採水時刻		9:05	9:05	9:05	9:05	9:10	9:05	9:05	9:05	9:05	8:40	9:05	9:05	－	－	－
	水温	℃	12.0	12.0	14.0	16.0	17.0	17.0	13.5	12.0	10.0	8.5	10.0	11.5	17.0	8.5	12.8
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
生活環境項目	水素イオン濃度	－	8.05	8.03	8.05	8.00	8.06	8.08	8.08	7.95	8.08	8.00	8.14	8.08	8.14	7.95	8.05
	溶存酸素量	mg/L	11	10	10	9.8	9.5	9.5	10	10	11	11	11	11	11	9.5	10
	生物化学的酸素要求量	mg/L	1.3	2.0	1.3	0.6	1.9	2.8	1.6	2.8	1.0	2.4	2.1	2.6	2.8	0.6	1.9
	化学的酸素要求量	mg/L	1.7	1.3	1.1	1.0	1.1	1.3	0.7	0.5	0.6	0.9	0.8	1.0	1.7	0.5	1.0
	浮遊物質量	mg/L	5.1	2.3	1.6	1.6	1.2	1.3	1.5	1.1	<1.0	1.9	1.3	2.6	5.1	<1.0	1.8
	大腸菌群数	個/c m ³	12	35	22	47	33	28	31	18	19	19	23	18	47	12	25
	窒素含有量	mg/L	0.84	0.74	0.79	0.81	0.77	0.76	0.84	0.81	0.70	0.75	0.77	0.78	0.84	0.70	0.78
	磷含有量	mg/L	0.13	0.15	0.13	0.14	0.13	0.11	0.11	0.13	0.13	0.14	0.15	0.15	0.15	0.11	0.13
特殊項目	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	0.84	0.74	0.79	0.81	0.77	0.76	0.84	0.81	0.70	0.75	0.77	0.78	0.84	0.70	0.78
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	0.11	0.12	0.12	0.11	0.12	0.10	0.11	0.12	0.12	0.12	0.14	0.13	0.14	0.10	0.12

表 2－4 5 臭気測定結果

項 目	敷地境界		
	令和6年8月13日	令和7年2月6日	規制値
採取年月日			
採取時刻	10:50	10:40	
臭気指数	<10	<10	15

Ⅲ 峽東流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

峡東流域下水道は、平成元年7月の供用開始より36年目を迎えている。

全体計画処理水量は74,530 m³/日、事業計画水量は69,134 m³/日(水洗化水量は55,873 m³/日)であり、幹線は61.8 kmが供用開始となっている。

供用開始区域内の面積は3,929.19ha、人口は83,771人となっており、流入下水量は令和6年度平均で30,005 m³/日である。

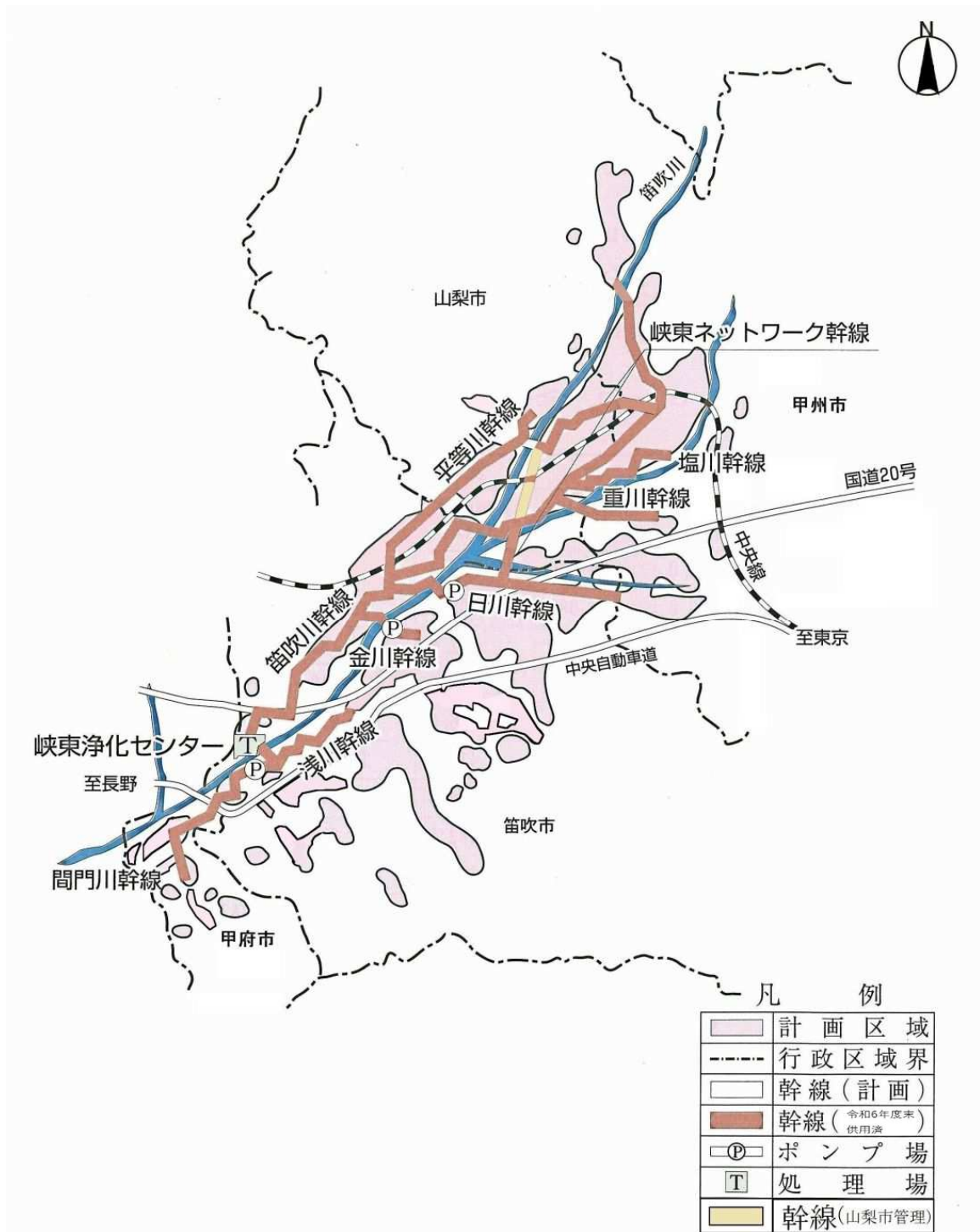
峡東流域下水道の全体計画及び現況を表3-1に、峡東流域下水道事業計画図を図3-1に、関連公共下水道市別水洗化状況を表3-2に、市別流入下水量を表3-3に示す。

表3-1 全体計画及び現況

市町村名	項 目	全体計画 (計画年次:昭和52年～令和17年)		事業計画 (計画年次:昭和52年～令和10年)		供用開始区域	
		計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
甲 府 市		424.8	2,890	379.4	3,740	261.82	4,257
山 梨 市		1,352.8	27,210	1,099.7	25,440	890.31	19,566
笛 吹 市		3,279.9	61,530	2,589.2	56,260	2,080.66	43,241
甲 州 市		1,286.0	14,430	947.9	15,100	696.40	16,707
合 計		6,343.5	106,060	5,016.2	100,540	3,929.19	83,771
計画処理水量 (日最大)		74,530 m ³ /日		69,134 m ³ /日 (水洗化水量 55,873 m ³ /日)		—	
下水排除方式		分流式					
処 理 方 式		標準活性汚泥法					
幹 線 延 長		63.7 km		63.7 km		管理延長 61.8 km	
ポンプ場数		3 箇所		3 箇所		3 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和7年4月1日現在の値を示す。

※供用開始区域の幹線延長は、県への管理移管を計画している公共管を含まない。



※峡東ネットワーク幹線の一部は山梨市から移管される予定。

図3-1 峡東流域下水道事業計画図

表 3－2 関連公共下水道市別水洗化状況

市名	項目	令和 6 年 度 末			普及率	水洗化率	接続戸数
		行政人口	処理区域内人口	水洗化人口			
		A (人)	B (人)	C (人)			
甲府市		4,720	4,257	3,580	90.2	84.1	1,359
山梨市		32,512	19,566	15,828	60.2	80.9	6,973
笛吹市		66,656	43,241	31,360	64.9	72.5	14,588
甲州市		27,987	16,707	13,683	59.7	81.9	5,705
計		131,875	83,771	64,451	63.5	76.9	28,625

注1) 行政人口は、令和 7 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 7 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 甲府市の行政人口については、旧中道町行政人口分の人口を示す。

注4) 甲州市の行政人口については、旧大和村行政人口分を除いた人口を示す。

表 3－3 市別流入下水水量

(単位：m³)

市 名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
甲府市	67, 120	66, 885	72, 127	70, 550	72, 965	67, 577	69, 291	68, 147	64, 436	62, 277	56, 870	64, 166	802, 411	66, 868
山梨市	232, 294	252, 364	280, 900	334, 543	318, 496	320, 751	296, 310	272, 051	250, 151	218, 854	202, 615	225, 278	3, 204, 607	267, 051
笛吹市	435, 315	460, 410	463, 871	453, 298	475, 558	439, 738	432, 509	409, 552	429, 633	429, 778	386, 483	434, 940	5, 251, 085	437, 590
甲州市	128, 224	143, 587	165, 144	173, 458	155, 189	161, 092	154, 854	142, 743	126, 977	119, 907	105, 749	116, 765	1, 693, 689	141, 141
合 計	862, 953	923, 246	982, 042	1, 031, 849	1, 022, 208	989, 158	952, 964	892, 493	871, 197	830, 816	751, 717	841, 149	10, 951, 792	912, 649
日平均	28, 765	29, 782	32, 735	33, 285	32, 974	32, 972	30, 741	29, 750	28, 103	26, 801	26, 847	27, 134	年間日平均	30, 005

(2) 施設整備状況

施設整備状況については、令和7年3月までに峡東浄化センターにおける管理本館受変電設備が更新され、供用開始している。

令和6年度末の状況については、以下のとおりである。

① 峡東浄化センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池6／10池、反応タンク6／10池、最終沈殿池6／10池となっており、処理能力は46,350 m³／日である。

峡東浄化センターの全体平面図を図3-2に、フローシートを図3-3に、建築構造物概要を表3-4に、水処理機械設備概要を表3-5に、汚泥処理機械設備概要を表3-6に、電気設備概要を表3-7に、単線結線図を図3-4に、システム系統図を図3-5に示す。

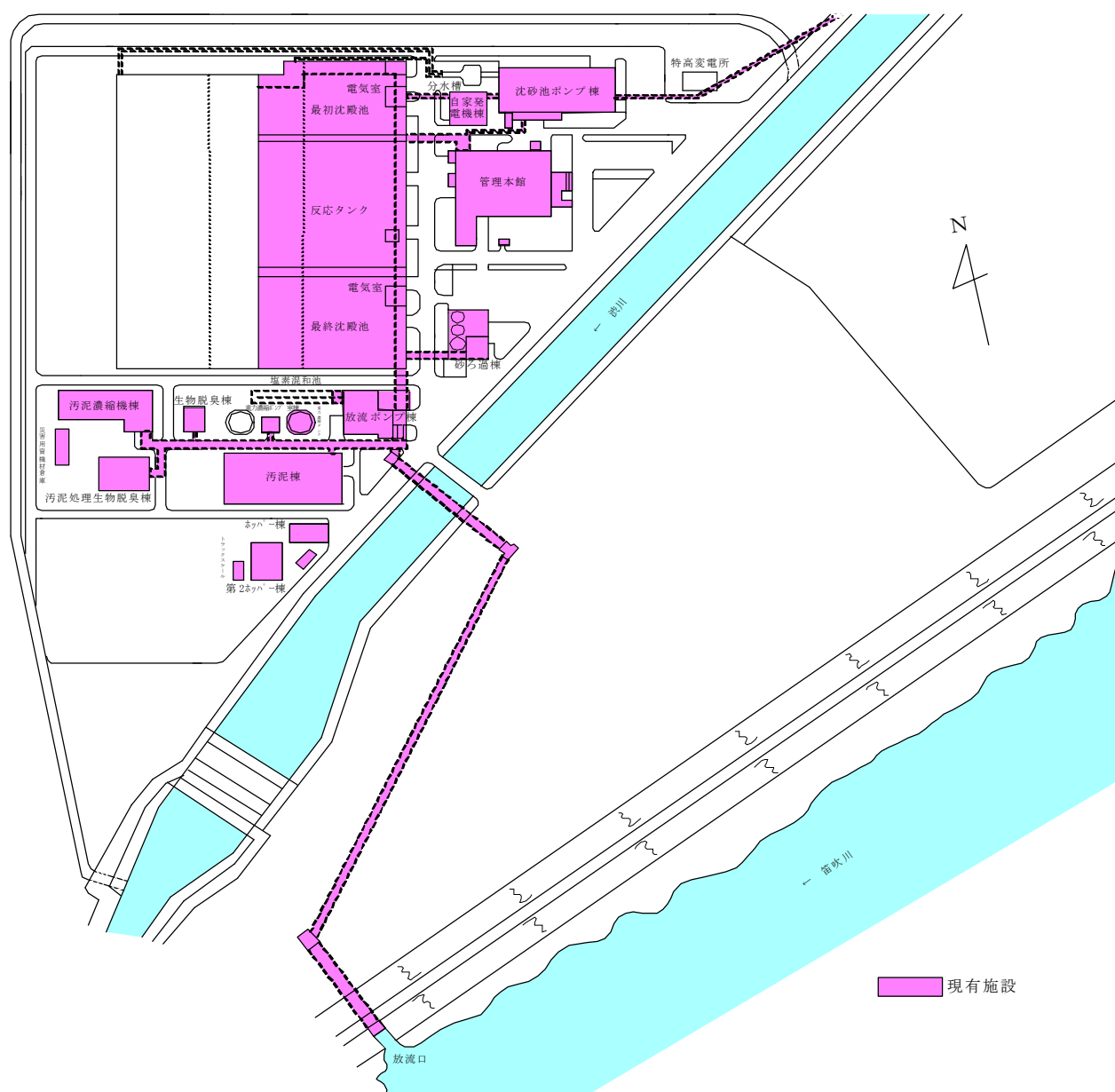


図3-2 峡東浄化センター全体平面図

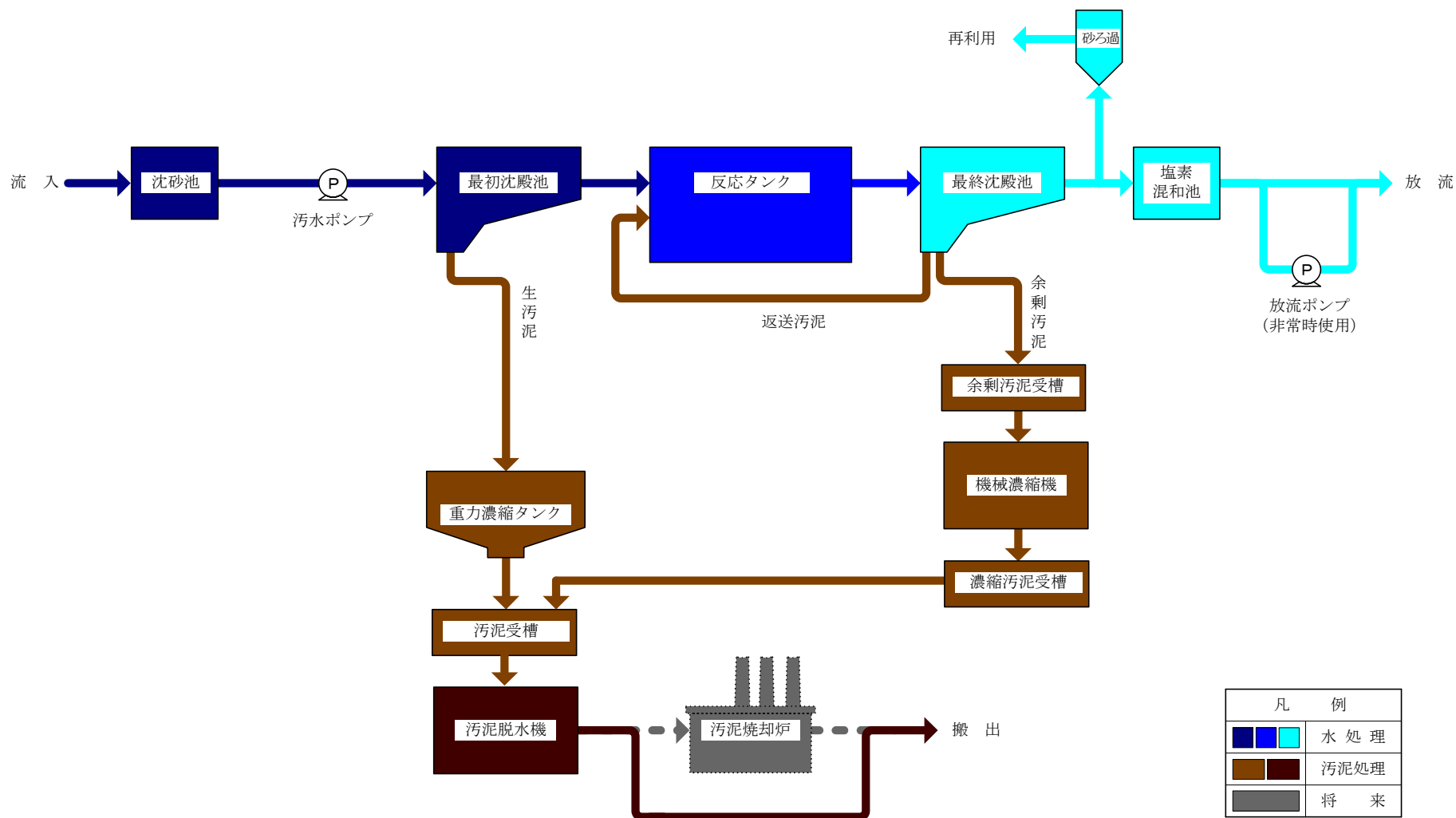


図 3 - 3 峡東浄化センターフローシート

表 3 - 4 峡東浄化センター建築構造物概要

項目 施設	構 造 及 び 概 要
管 理 本 館	R C造 地下1階、地上3階 建築面積 1,947㎡ 延床面積 3,727㎡ ブロー室、自家発電機室、電気室、水質試験室、中央監理室、事務室、会議室、その他
沈 砂 池 ポ ン プ 棟	R C造 地下2階、地上1階（一部中2階） 建築面積 1,388㎡ 延床面積 2,790㎡ 沈砂池スクリーン室、ポンプ室、ポンプモーター室、搬出作業室、電気室、脱臭機室、その他
最 初 沈 殿 池 電 気 室	R C造 地上1階 建築面積 106㎡ 延床面積 106㎡ 電気室
最 終 沈 殿 池 電 気 室	R C造 地上1階 建築面積 178㎡ 延床面積 178㎡ 電気室
砂 ろ 過 棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 146㎡ 延床面積 355㎡ ポンプ室、電気室
汚 泥 棟	R C造 地下1階、地上3階 建築面積 1,111㎡ 延床面積 2,431㎡ ポンプ室、脱水機室、監視室、薬品注入機室、脱臭機室、電気室、その他
ホ ッ パ ー 棟	R C造 地上1階 建築面積 94㎡ 延床面積 94㎡ 搬出室
第2ホッパー棟	R C造 地上2階 建築面積 79㎡ 延床面積 138㎡ 搬出室
汚泥濃縮機棟	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 559㎡ 延床面積 1,309㎡ ポンプ室、濃縮機室、脱臭機室、電気室、搬出室、換気ファン室、ホッパー室、その他
放流ポンプ棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 458㎡ 延床面積 475㎡ ポンプ室、滅菌室、電気室、換気ファン室、その他
重 力 濃 縮 ポ ン プ 室 棟	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 59㎡ 延床面積 172㎡ ポンプ室、その他
生 物 脱 臭 棟	R C造 地上1階 建築面積 72㎡ 延床面積 91㎡ 生物脱臭室
汚 泥 処 理 生 物 脱 臭 棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 260㎡ 延床面積 311㎡ 生物脱臭室
自家発電機棟	R C造 地上1階 建築面積 124㎡ 延床面積 121㎡ 発電機室

表 3 - 5 峡東浄化センター水処理機械設備概要

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
沈 砂 池 ポンプ設備	幅2.0m×深3.4m×長14.4m (1池当たり)	2 池
	流入ゲート (外ネジ式鋳鉄製)	2 門
	幅0.8m×高1.5m×2.2kW	
	粗目スクリーン	2 基
	水路幅1.4m×水路深4.3m×目幅100mm	
	細目スクリーンかすかき上げ機 (単一レーキ間欠式自動除塵機)	2 基
	水路幅1.4m×水路深4.5m×目幅20mm×1.5kW	
	スクリーンかす搬出機 (トラフ型ベルトコンベヤ)	1 台
	幅600mm×1.5kW×2	
	スクリーンかす破砕機 (二軸せん断式)	1 基
	処理量 $1.0\text{m}^3/\text{h} \times 7.5\text{kW}$	
	スクリーンかす移送タンク (ステンレス鋼板製)	1 基
	容量 1.5m^3	
	スクリーンかす移送機 (ジェットポンプ式)	1 台
	$\phi 80 \times 0.7\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m}$	
	スクリーンかす分離機 (連続かき上げ式)	1 基
	処理量 $1.0\text{m}^3/\text{h} \times 0.75\text{kW}$	
	スクリーンかす脱水機 (スクリュウ式)	1 基
	処理量 $1.0\text{m}^3/\text{h} \times 3.7\text{kW}$	
	スクリーンかすホッパー (電動カットゲート式)	1 基
	容量 $3\text{m}^3 \times 0.75\text{kW} \times 2$	
	スカム分離機 (回転ドラムスクリーン)	1 基
	処理能力 $4\text{m}^3/\text{min} \times \text{目幅 } 3\text{mm} \times 1.5\text{kW}$	
	沈砂かき上げ機 (Vバケットダブルチェーンコンベヤ)	1 基
	池寸法幅2m×高さ5.1m×長さ14.1m	
	かき寄量 $1.5\text{m}^3/\text{h} \times 2.2\text{kW}$	
	水中サンドポンプ (据置型)	2 台
	$\phi 100 \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 24\text{m} \times 11\text{kW}$	
	沈砂流出トラフ (U型流水トラフ式)	1 基
	トラフ幅600mm	
	沈砂移送タンク (ステンレス鋼板製)	1 基
	容量 1.5m^3	
	沈砂移送機 (ジェットポンプ式)	1 台
	$\phi 80 \times 0.9\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m}$	
	沈砂分離機 (スクリュウコンベヤ式)	1 基
	処理量 $1.6\text{m}^3/\text{h} \times 3.7\text{kW}$	
	沈砂ホッパー (電動カットゲート式)	1 基
	容量 $3\text{m}^3 \times 0.75\text{kW} \times 2$	
	圧力水移送ポンプ (片吸込渦巻ポンプ)	1 台
	$\phi 125 \times \phi 100 \times 2.2\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 11\text{kW}$	
	圧力水ポンプ (片吸込多段渦巻ポンプ)	1 台
	$\phi 150 \times 2.2\text{m}^3/\text{min} \times 70\text{m} \times 45\text{kW}$	
	ポンプ井水中攪拌機 (フリクト水中ミキサー)	1 台
	攪拌能力約 150m^3	
	汚水ポンプ (立軸斜流渦巻ポンプ (三床式))	3 台
	$\phi 500 \times 30\text{m}^3/\text{min} \times 13\text{m} \times 100\text{kW}$	

峡東流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
最 初 沈 殿 池 設 備	幅8.3m×長31.1m×深3.3m 約852m³ (1池当たり) 幅8.3m×長20.3m×深3.3m 約556m³ (1池当たり) 初沈汚泥ポンプ (無閉塞型汚泥ポンプ) φ100×1m³/min×14m×7.5kW 初沈汚泥掻寄機 (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅3.55m×機長25.5m×0.6m/min×0.75kW (2水路1駆動) 幅3.55m×機長15.25m×0.6m/min×0.4kW (2水路1駆動) 初沈スカムスキマー (空気作動回転式パイプスキマー) φ250×水路幅4.15m (2水路1駆動) 初沈スカムスキマー (電動回転式パイプスキマー) φ250×水路幅4.15m×0.2kW (2水路1駆動)	4 池 2 池 2 台 (予備 1 台) 4 基 2 基 2 基 4 基
反 応 タ ン ク 設 備	幅8.6m×長60.1m×深5.6m 約2,894m³ (1池当たり) No.1-1反応タンク散気装置 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量3.5N m³/min×酸素供給量17kg O₂/h×5.5kW 全面式散気装置 酸素供給量29kg O₂/h No.1-2反応タンク散気装置 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量8.2S m³/min×酸素供給量30kg O₂/h×7.5kW 全面式散気装置 酸素供給量29kg O₂/h No.1-3反応タンク散気装置 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量6.25N m³/min×酸素供給量24kg O₂/h×5.5kW 全面式散気板 散気量30~50L/min/枚 No.1-4反応タンク散気装置 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量6.25N m³/min×酸素供給量24kg O₂/h×5.5kW 全面式散気板 散気量30~50L/min/枚 No.2-1反応タンク散気装置 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量6.4S m³/min×酸素供給量23kg O₂/h×5.5kW 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量8.0S m³/min×酸素供給量34kg O₂/h×11kW 全面式散気装置 酸素供給量33kg O₂/h 酸素供給量50kg O₂/h No.2-2反応タンク散気装置 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量6.4S m³/min×酸素供給量23kg O₂/h×5.5kW 水中攪拌機 (水中エアレーター) 送風量8.0S m³/min×酸素供給量34kg O₂/h×11kW 全面式散気装置 酸素供給量33kg O₂/h 酸素供給量50kg O₂/h	6 池 2 台 62 枚 2 台 62 枚 2 台 336 枚 2 台 336 枚 1 台 1 台 26 枚 38 枚 1 台 1 台 26 枚 38 枚

峡東流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
反応タンク 設 備	フロスプレーポンプ（渦巻ポンプ） φ100×1.6m ³ /min×25m×11kW φ100×2.0m ³ /min×26m×15kW φ150/φ100×3.2m ³ /min×24m×22kW	1 台 1 台 1 台
送風機設備	初期用送風機（ロータリーブロワ） φ150×20m ³ /min×61.8kPa×37kW 送風機（単段ターボブロワ） φ200×55m ³ /min×61.8kPa×90kW φ300/φ250×80m ³ /min×68.6kPa×132kW φ300×120m ³ /min×63.7kPa×180kW	2 台 2 台（予備1台） 1 台 1 台
最終沈殿池 設 備	幅8.3m×長43.7m×深3.4m 約1,233m ³ （1池当たり） 終沈汚泥掻寄機（ノッチチェーン型フライト式） 幅3.55m×機長38.7m×0.3m/min×0.4kW（2水路1駆動） 終沈汚泥掻寄機（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅3.55m×機長38.3m×0.3m/min×0.75kW（2水路1駆動） 幅3.55m×機長38.3m×0.3m/min×0.4kW（2水路1駆動） 終沈スカムスキマー（電動回転式パイプスキマー） φ250×水路幅3.8m×0.1kW（1水路1駆動） φ250×水路幅3.8m×0.2kW（2水路1駆動） φ250×水路幅4.15m×0.2kW（2水路1駆動） 返送汚泥ポンプ（吸込スクリー式汚泥ポンプ） φ250×5.4m ³ /min×4m×11kW φ200/φ250×7.0m ³ /min×4m×11kW φ250×5.9m ³ /min×4m×11kW 余剰汚泥ポンプ（無閉塞汚泥ポンプ） φ100×1.0m ³ /min×15m×7.5kW φ100×1.1m ³ /min×14m×7.5kW	6 池 2 基 2 基 2 基 4 基 2 基 2 基 2 台（予備1台） 1 台 2 台（予備1台） 2 台（予備1台） 2 台（予備1台） 2 台（予備1台）
塩素滅菌 設 備	塩素混和池 幅2.0m×長32.0m×深3.0m 約192m ³ （1池当たり） 次亜塩注入ポンプ（一軸偏心ねじマグネットカップリング式ポンプ） φ15×（0.0181～1.77）L/min×0.2MPa×0.4kW 次亜塩注入ポンプ（可変定量ダイヤフラムポンプ） φ25×1.56L/min×0.5MPa×0.2kW 砂ろ過用次亜塩注入ポンプ（可変定量ダイヤフラムポンプ） φ15×（0.0184～0.092）L/min×0.5MPa×0.2kW 次亜塩貯留タンク 容量 3.5m ³ 容量 6.0m ³	1 池 1 台 2 台 1 台 1 基 1 基

峡東流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
砂ろ過設備	砂ろ過水槽 幅5.4m×長6.0m×深 約3.7m 約120m ³ （1槽当たり） 砂ろ過塔（移動床式上向流砂ろ過器） 41.7m ³ /h 50m ³ /h 原水送水ポンプ（渦巻ポンプ） φ80/φ65×1.1m ³ /min×23m×7.5kW φ100/φ80×1.3m ³ /min×20m×7.5kW 汚泥処理棟送水ポンプ（渦巻ポンプ） φ200×4.8m ³ /min×13m×18.5kW 高架水槽揚水ポンプ（渦巻ポンプ） φ150/φ125×3m ³ /min×28m×30kW	4 槽 2 塔 1 塔 3 台 2 台 2 台 2 台
放 流 設 備	放流ポンプ（立軸斜流渦巻ポンプ） φ500×30m ³ /min×6m×45kW 川表ゲート（鋼板製スライドゲート） 幅1.6m×高1.6m×1.5kW	3 台 1 門
脱 臭 設 備	沈砂池ポンプ棟脱臭ファン（FRPターボファン） φ375×66m ³ /min×2.5kPa×5.5kW 沈砂池ポンプ棟活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量66m ³ /min	1 台 1 塔

表 3 - 6 峡東浄化センター汚泥処理機械設備概要

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
重力濃縮設備	重力濃縮槽 φ 11.0m×深 約3.0m 約280m ³ (1槽当たり)	1 槽
	重力濃縮槽用汚泥掻寄機 (円形中央駆動懸垂型) 2.4m/min×0.75kW	1 基
	初沈汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	スクリーンかす脱水機 (スクリュース式脱水機) 処理量0.25 t/h×2.2kW/0.4kW	1 基
	スクリーンかすホッパー (電動開閉式ホッパー) 2 m ³ ×0.75kW×2	1 基
	濃縮汚泥ポンプ (吸込スクリュース付汚泥ポンプ) φ 100×1 m ³ /min×9 m×3.7kW	2 台 (予備 1 台)
機械濃縮設備	余剰汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 2 m ³ /min×0.75kW	1 基
	スクリーンかす脱水機 (スクリュース式脱水機) 処理量0.25 t/h×2.2kW/0.4kW	1 基
	スクリーンかすホッパー (油圧開閉式ホッパー) 2 m ³ ×0.75kW	1 基
	遠心濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 150×(12.5~37.5) m ³ /h×15m×15kW	2 台 (予備 1 台)
	ベルト濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 125×(12.5~37.5) m ³ /h×20m×11kW	1 台
	遠心濃縮機 (横型連続遠心濃縮機) 処理能力25m ³ /h×44.9kW	1 台
	遠心濃縮機 (横型連続遠心濃縮機) 処理能力25m ³ /h×30.75kW	1 台
	ベルト濃縮機 (ベルト型ろ過濃縮機) 処理能力25m ³ /h×5.4kW	1 台
	余剰汚泥受槽 幅5.0m×長5.5m×深 約4.0m 約90m ³	1 槽
	余剰汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 5.5kW	1 基
	濃縮汚泥受槽 幅5.0m×長7.1m×深 約4.0m 約100m ³ (1槽当たり)	2 槽
	濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 幅5.0m×長5.8m×深 約3.5m 約100m ³ 11kW	1 槽 3 基
	機械濃縮汚泥移送ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 150×24m ³ /h×49m×7.5kW	2 台 (予備 1 台)
	定量フィーダー (容積式定量フィーダー) 0.1~0.4 L/min×0.2kW	2 台
	薬品溶解タンク (鋼板製円筒立型) 有効容量 1.5m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機 (立軸 2 段プロペラ形) 0.75kW	2 台
	薬品供給ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 20×1.5~4.5 L/min×20m×0.4kW	2 台 (予備 1 台)

峡東流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 水 設 備	汚泥受槽 幅5.6m×長6.0m×深 約3.0m 約100m ³	1 槽
	幅5.8m×長6.0m×深 約4.8m 約160m ³	1 槽
	汚泥受槽攪拌機（立軸2段パドル形攪拌機） 7.5kW	2 基
	給泥ポンプ（一軸ネジ式定量ポンプ） φ100×（5～17）m ³ /h×20m×5.5kW	1 台
	φ100×（5～15）m ³ /h×20m×5.5kW	2 台
	汚泥脱水機（二重円筒加圧脱水機） 77.0kg-DS/m ² ・h×ろ過面積5m ² 動力（総合）9.2kW	1 基
	汚泥脱水機（遠心脱水機横型） 10m ³ /h 動力（駆動用／差動用）55kW／22kW	2 基
	No.1 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長17.8m 輸送量35m ³ /h×1.5kW	1 台
	No.2 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長17.8m 輸送量28t/h×1.5kW	1 台
	No.3 ケーキコンベヤ（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長39.6m 輸送量36m ³ /h×3.7kW／0.4kW	1 台
	No.4 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長8.9m 輸送量35m ³ /h×1.5kW	1 台
	No.5 ケーキコンベヤ（スクリュコンベヤ（傾斜式）） φ350×長5.2m 輸送量3.6t/h×2.2kW	1 台
	No.6 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長7.0m 輸送量30.0t/h×0.75kW	1 台
	No.7 ケーキコンベヤ（スクリュコンベヤ（傾斜式）） φ315×長5.4m 輸送量4.5m ³ /h×2.2kW	1 台
	脱水ケーキホッパー（鋼板製角形カットゲート） 容量 8m ³	1 基
	容量 10m ³	1 基
	脱水機洗浄水ポンプ（片吸込渦巻ポンプ） φ50×0.2m ³ /min×45m×3.7kW	2 台（予備1台）
	定量フィーダー（容積式定量フィーダー） 1～4L/min×0.4kW	2 台
	薬品溶解タンク（鋼板製円筒立型） 有効容量 11m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機（立軸2段パドル形） 5.5kW	2 台
	薬品供給ポンプ（一軸ネジ式定量ポンプ） φ50×（1～3）m ³ /h×20m×1.5kW	1 台
	φ50×（1～3）m ³ /h×25m×1.5kW	2 台

峡東流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 臭 設 備	汚泥濃縮機棟 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 300×30m ³ /min×3.7kW φ 300×20m ³ /min×1.5kW 活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量 60m ³ /min	1 台 1 台 1 塔
	汚泥棟 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 500×45m ³ /min×3.7kW 活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量 90m ³ /min	1 台 1 塔
	生物脱臭棟（重力濃縮系） 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 250×20m ³ /min×2.2kW 生物脱臭塔（カートリッジ式） 処理風量 20m ³ /min	1 台 1 塔
	脱塩素設備（チオ硫酸ナトリウム注入設備）	1 式
	汚泥処理生物脱臭棟 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 400×45m ³ /min×2.2kW 生物脱臭塔（カートリッジ式） 処理風量 90m ³ /min	1 台 1 塔
そ の 他 設 備	トラックスケール（マルチロードセル方式） 秤量30 t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

表 3 - 7 峡東浄化センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 6, 600 V / 50 Hz × 1 回 線 受 電 設 備 容 量 4, 466 kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定 格 電 圧 7, 200 V 定 格 電 流 600 A 定 格 遮 断 電 流 12. 5 kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 動力用 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 500 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 400 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 300 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V × 200 kVA 電灯用 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 150 kVA " 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 50 kVA	6 台 1 台 1 台 1 台 1 台 1 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W × 6, 600 V × 106 kvar 3 φ 3 W × 6, 600 V × 79. 8 kvar 3 φ 3 W × 6, 600 V × 53. 2 kvar 3 φ 3 W × 6, 600 V × 26. 6 kvar	1 台 1 台 1 台 1 台
交流無停電電源装置	管理本館 200Ah × 54セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形) 水 処 理 100Ah × 54セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形) 汚 泥 棟 150Ah × 54セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形)	1 式 1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 661kW (900PS) 3 φ 3 W × 6, 600 V × 750 kVA 588kW (800PS) 3 φ 3 W × 6, 600 V × 625 kVA 始動用直流電源装置 600Ah × 12セル 制御弁式据置鉛蓄電池 (長寿命形) 600Ah × 12セル 制御弁式据置鉛蓄電池 (長寿命形)	1 台 1 台 1 式 1 式
中 央 監 視 設 備	L C D 装 置 大型スクリーン 大型スクリーンコントローラ プリンタ ハードコピー オフライン処理装置	4 台 1 式 1 台 4 台 1 台 1 式
遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (親局) 帯域品目 3. 4 kHz × 4 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置 (親局) 帯域品目 3. 4 kHz × 2 線式 保守用電話切替式 符号品目 50 b / s	3 台 12 台 2 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 非常放送設備 T V 共聴設備 避雷設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

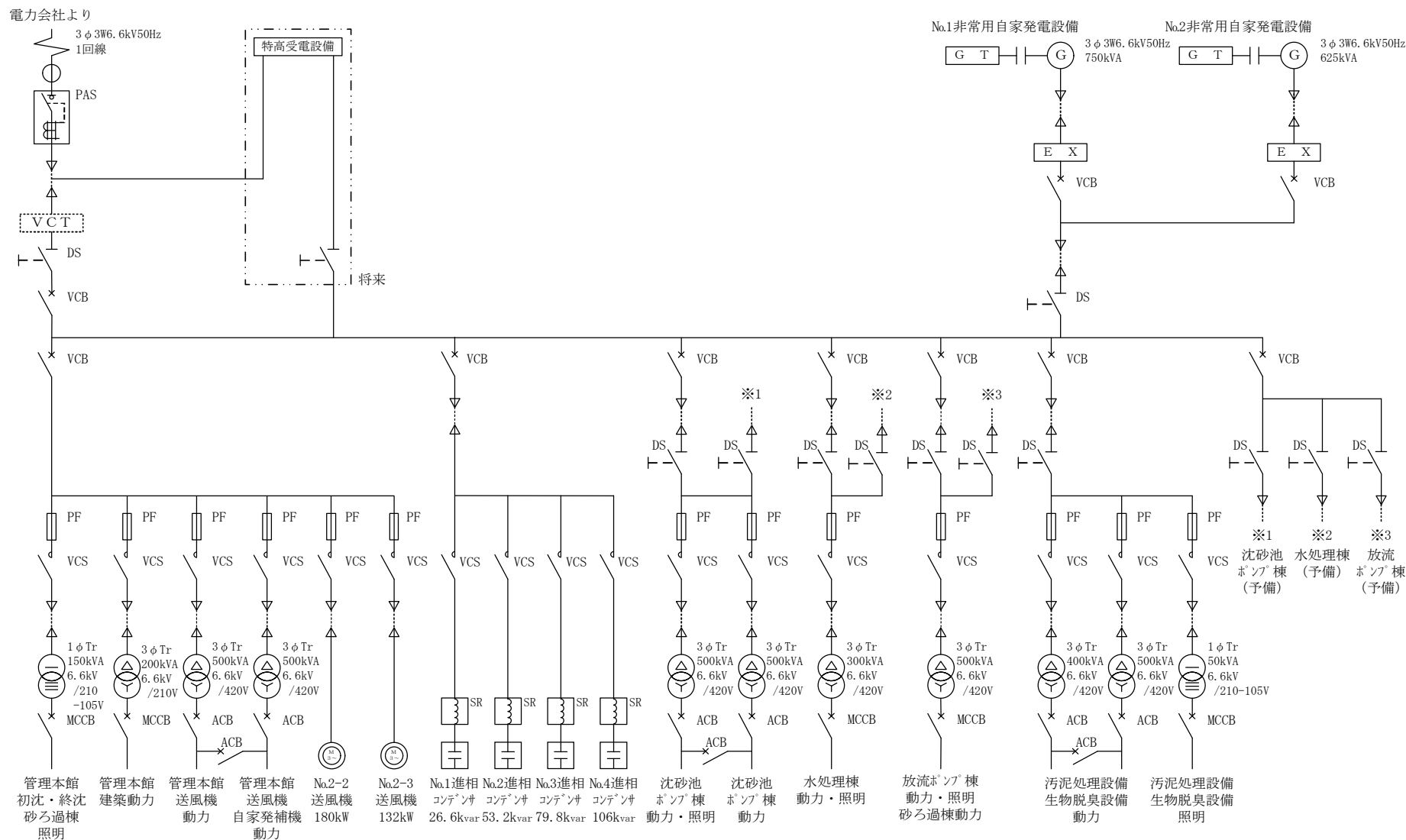


図3-4 峡東浄化センター単線結線図

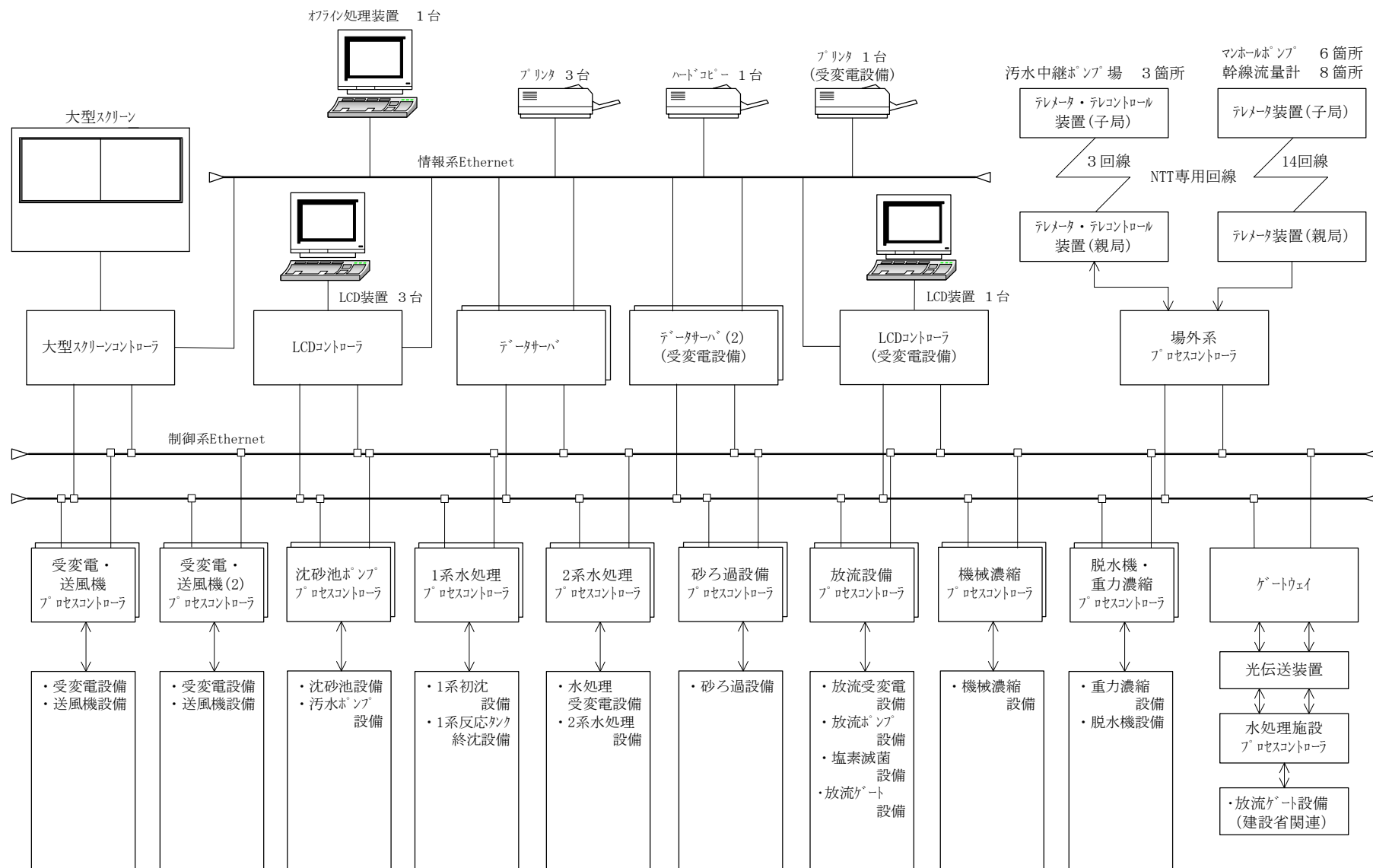


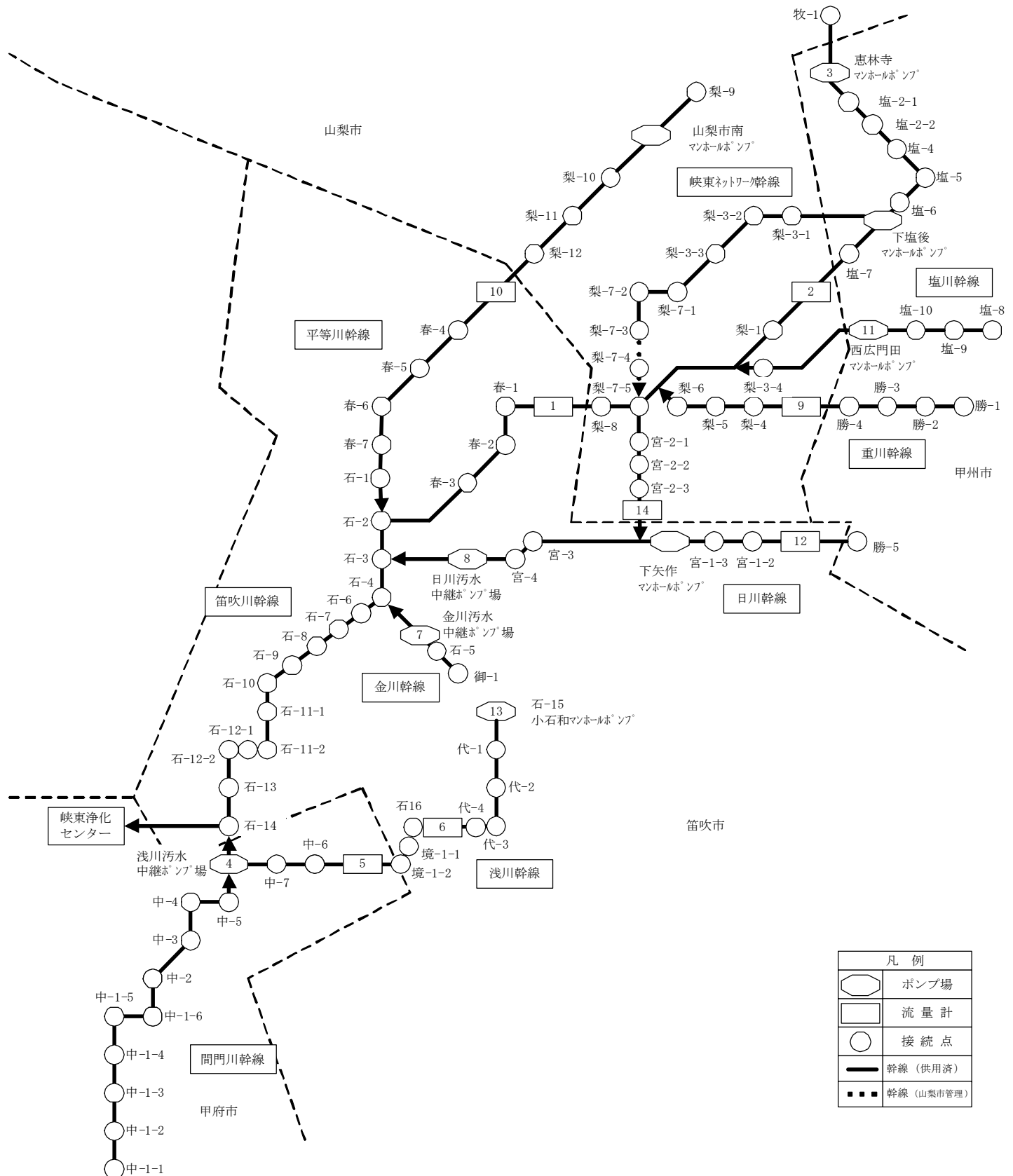
図 3-5 峡東浄化センターシステム系統図

峡東流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画3箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長 63.7 kmの内 61.8 kmが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は14箇所となっている。

流域幹線系統図を図3-6に、流域関連公共下水道接続概要を表3-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表3-9に、機械設備概要を表3-10に、電気設備概要を表3-11に、単線結線図を図3-7～図3-9に、幹線概要を表3-12に、幹線付帯設備概要を表3-13に、幹線流量計測設備概要を表3-14に示す。



※峡東ネットワーク幹線の一部は山梨市から移管される予定。

図3-6 流域幹線系統図

表 3 - 8 流域関連公共下水道接続概要

幹 線 名	処理分区名	供用開始年月日	処 理 区 域 面 積 (ha)	処理区域内 人 口 (人)	接続市町名
笛吹川幹線	塩-2-1	平成22年 3月31日	6.16	134	甲州市
	塩-2-2	平成22年 3月31日	9.56	148	
	塩-4	平成 元年 7月 1日	5.87	174	
	塩-5	平成 元年 7月 1日	84.62	2,277	
	塩-6	平成 元年 7月 1日	85.70	3,270	
	塩-7	平成 元年 7月 1日	136.51	2,791	
	梨-1	平成 8年 4月 1日	21.34	807	山梨市
	梨-7-5	平成 元年 7月 1日	102.18	2,539	
	梨-8	平成 元年 7月 1日	109.61	2,448	
	牧-1	平成10年 4月 1日	120.66	1,496	笛吹市
	春-1	平成 5年 3月31日	19.78	419	
	春-2	平成20年 7月31日	22.82	464	山梨市
		平成 5年 3月31日	18.09	331	笛吹市
	春-3	平成 元年 4月 1日	129.38	3,257	笛吹市
	石-2	平成23年 3月31日	5.16	379	
	石-3	平成 4年 7月31日	17.50	386	
	石-4	平成 3年 4月30日	43.70	1,478	
	石-6	平成 元年 7月 1日	70.27	2,061	
	石-7	平成 元年 7月 1日	55.12	1,296	
	石-8	平成 5年11月16日	84.70	1,526	
	石-9	平成18年 3月31日	20.16	0	
	石-10	平成17年 3月31日	44.07	510	
	石-11-1	平成17年 3月31日	8.87	418	
	石-11-2	平成17年 3月31日	21.17	651	
	石-12-1	平成19年 3月31日	19.55	785	
	石-12-2	平成 4年12月29日	20.49	979	
	石-13	平成 2年 7月31日	23.60	592	
	石-14	平成12年 6月14日	3.43	60	
浅川幹線	石-15	平成17年 3月31日	29.97	857	笛吹市
	石-16	平成31年 3月31日	1.20	0	
	代-1	平成 8年 4月 1日	147.03	2,465	
	代-2	平成 8年 4月 1日	80.34	1,901	
	代-3	平成 6年 4月 1日	23.42	590	
	代-4	平成 6年 4月 1日	94.39	2,021	
	境-1-1	平成19年 3月31日	8.02	0	
	境-1-2	平成 5年 7月 1日	210.34	3,359	甲府市
	中-6	平成 5年 7月 1日	20.37	396	
重川幹線	中-7	平成 5年 7月 1日	3.20	54	山梨市
	梨-4	平成 7年10月 1日	26.14	474	
	梨-5	平成 7年 4月 1日	7.25	118	
	梨-6	平成14年 3月30日	2.94	0	
	勝-1	平成13年 4月 1日	41.88	1,061	
	勝-2	平成10年 4月 1日	23.91	358	
	勝-3	平成 5年 4月 1日	120.15	2,859	甲州市
日川幹線	勝-4	平成 5年 4月 1日	5.80	6	
	勝-5	平成 6年 4月 1日	44.32	1,024	甲州市
	宮-1-2	平成10年 4月 1日	42.34	794	笛吹市
	宮-1-3	平成 9年 4月 1日	44.09	582	
	宮-3	平成 5年 7月 1日	82.42	1,430	
金川幹線	宮-4	平成 5年 7月 1日	248.19	3,557	笛吹市
	御-1	平成 6年 4月 1日	286.35	6,564	
	石-5	平成21年 3月31日	17.04	454	

峡東流域下水道

幹線名	処理分区名	供用開始年月日	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	接続市町名
間門川幹線	中－１－１	平成 ８年 ６月 １日	74.80	1,309	甲府市
	中－１－２	平成 ８年 ６月 １日	6.53	105	
	中－１－３	平成 10年 ７月 １日	7.83	75	
	中－１－４	平成 ９年 ６月 １日	8.44	73	
	中－１－５	平成 ７年 ４月 １日	70.34	744	
	中－１－６	平成 ７年 ４月 １日	8.44	118	
			36.80	425	笛吹市
	中－２	平成 ９年 ６月 １日	12.50	392	甲府市
			1.30	11	笛吹市
	中－３	平成 ８年 ４月 １日	7.81	156	甲府市
	中－４	平成 ８年 ４月 １日	11.38	192	
	中－５	平成 ５年 ７月 １日	30.18	643	甲府市
			6.20	2	笛吹市
平等川幹線	梨－９	平成 16年 ３月 31日	33.84	720	山梨市
	梨－10	平成 ７年 10月 １日	60.09	278	
	梨－11	平成 ７年 ４月 １日	60.37	1,043	
	梨－12	平成 ７年 ４月 １日	29.43	855	
	春－４	令和 ３年 ３月 31日	2.40	23	笛吹市
		平成 ９年 ３月 31日	14.84	557	
	春－５	平成 ９年 ３月 31日	27.19	694	
	春－６	平成 ８年 ３月 31日	20.58	505	
	春－７	平成 ６年 ３月 31日	49.73	1,264	
	石－１	平成 25年 ３月 31日	3.84	81	
塩川幹線	塩－８	平成 元年 ７月 １日	74.98	1,569	甲州市
	塩－９	平成 元年 ７月 １日	44.53	878	
	塩－10	平成 元年 ７月 １日	12.41	158	
	梨－３－４	平成 10年 ４月 １日	11.86	274	山梨市
峡東ネットワーク幹線	梨－３－１	平成 11年 ８月 １日	8.92	190	山梨市
	梨－３－２	平成 11年 ８月 １日	21.58	696	
	梨－３－３	平成 11年 ８月 １日	19.22	702	
	梨－７－１	平成 11年 ８月 １日	40.36	1,256	
	梨－７－２	平成 ９年 12月 １日	31.59	1,253	
	梨－７－３※１	平成 ９年 ４月 １日	32.80	970	
	梨－７－４※１	平成 ９年 ４月 １日	30.28	708	
	宮－２－１	平成 25年 ３月 31日	4.12	85	
	宮－２－２	平成 11年 12月 15日	26.70	756	
	宮－２－３	平成 11年 12月 15日	63.81	1,411	

※処理区域内面積及び人口は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※１ 峡東ネットワーク幹線の一部は山梨市から移管される予定。

表 3－9 中継ポンプ場建築構造物概要

項目 施設	構 造 及 び 概 要
日 川 汚 水 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 241m ² 延床面積 474m ² ポンプ室、電気室、ゲート機械室、自家発電機室、換気機械室、その他
金 川 汚 水 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 240m ² 延床面積 377m ² 機械室、発電機室、搬出入室、電気室、換気機械室、その他
浅 川 汚 水 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 357m ² 延床面積 775m ² スクリーン・脱臭機室、ゲート室、電気室、自家発電機室、搬出室、 換気ファン室、その他

表 3 - 1 0 中継ポンプ場機械設備概要

項 目 施設	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
日 川 汚 水 中継ポンプ場	流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.5m×高0.6m×0.75kW	2 門
	ポンプ井連絡ゲート（鋳鉄製手動角形） 幅0.6m×高0.6m	1 門
	粗目スクリーン（手掻きバースクリーン） 幅1m×高2.1m×目幅100mm	2 基
	細目スクリーン（裏掻式自動スクリーン） 幅1m×高2.5m×目幅20mm×0.4kW	1 基
	し渣洗浄機（機械攪拌式） 処理能力0.4m ³ /h×目幅10mm×2.2kW+0.75kW	1 基
	し渣搬出機（ベルトコンベヤ） 幅0.6m×機長4.5m×1.5kW	1 基
	し渣脱水機（スクリー式） 処理能力0.4m ³ /h×2.2kW+0.4kW	1 基
	給水装置（圧力タンク付自動給水ユニット） φ40×0.15m ³ /min×4.0kg/cm ² ×3.7kW×2	1 基
	活性炭吸着塔 処理風量20m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×20m ³ /min×1.96kPa×2.2kW	1 台
	汚水ポンプ（吸込スクリー付水中汚水ポンプ） φ200×4m ³ /min×20m×22kW	1 台
	φ200×7m ³ /min×19.5m×37kW	1 台
金 川 汚 水 中継ポンプ場	主流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.8m×高0.6m×0.75kW	1 門
	流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.5m×高0.5m×0.4kW	2 門
	ポンプ井連絡ゲート（鋳鉄製手動角形） 幅0.5m×高0.5m	1 門
	バイパススクリーン（手掻き式バースクリーン） 幅0.8m×高2.0m×目幅20mm	1 基
	自動除塵機（脱水機構付ドラム状スクリーン） 幅0.8m×高2.0m×目幅20mm×1.5kW	1 基
	給水装置（圧力タンク付自動給水ユニット） φ32×0.1m ³ /min×20m×1.5kW×2	1 基
	活性炭吸着塔 処理風量12m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ225×12m ³ /min×2kPa×1.5kW	1 台
	汚水ポンプ（吸込スクリー式着脱装置付水中汚水ポンプ） φ150×2.8m ³ /min×20m×18.5kW	2 台

峡東流域下水道

項目 施設	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
浅 川 汚 水 中継ポンプ場	流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.5m×高0.5m×0.75kW	2 門
	ポンプ井連絡ゲート（鋳鉄製手動角形） 幅0.5m×高0.5m	1 門
	バイパススクリーン（手掻き式バースクリーン） 幅0.8m×高3.2m×目幅100mm	1 基
	細目自動除塵機（間欠式前面掻き揚げ形） 幅0.8m×高3.2m×目幅20mm×0.75kW	1 基
	し渣洗浄機（機械攪拌式） 処理能力0.5m ³ /h×目幅6mm×2.2kW+0.75kW	1 基
	し渣搬送機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.5m×機長5.0m×0.75kW	1 基
	し渣脱水機（スクリーン式） 処理能力0.5m ³ /h×2.2kW	1 基
	給水装置（圧力タンク付自動給水ユニット） φ40×0.165m ³ /min×0.755MPa×2.2kW×2	1 基
	活性炭吸着塔 処理風量24m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×24m ³ /min×3.5kPa×5.5kW	1 台
	汚水ポンプ（吸込スクリーン式着脱装置付水中汚水ポンプ） φ200×5m ³ /min×30m×45kW	3 台

表 3 - 1 1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
日 川 汚 水 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 6, 600 V / 50 Hz × 1 回 線 受電設備容量 250kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 250kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W × 440 V × 20kvar 3 φ 3 W × 440 V × 10kvar	1 台 1 台
	交流無停電 電 源 設 備	ミニUPS 2kVA	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 180kW(245PS) 3 φ 3 W × 420 V × 200kVA 始動用直流電源装置 200Ah × 12セル 陰極吸収式シール形鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3. 4kHz × 4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 防犯設備	1 式 1 式
金 川 汚 水 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 6, 600 V / 50 Hz × 1 回 線 受電設備容量 150kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V × 150kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W × 210 V × 20kvar 3 φ 3 W × 210 V × 10kvar	1 台 1 台
	交流無停電 電 源 設 備	ミニUPS 3kVA	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 125kW(170PS) 3 φ 3 W × 210 V × 125kVA 始動用直流電源装置 150Ah × 12セル 制御弁式鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3. 4kHz × 4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 防犯設備	1 式 1 式

峡東流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現有設備
浅 川 汚 水 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1回線 受電設備容量 400kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 16kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／420V×400kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×15kvar 3 φ 3 W×420V×10kvar 3 φ 3 W×420V×5kvar	1 台 1 台 1 台
	交流無停電 電 源 設 備	50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 353kW(480PS) 3 φ 3 W×420V×300kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池（長寿命形）	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	自動火災警報設備 インターホン設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

峡東流域下水道

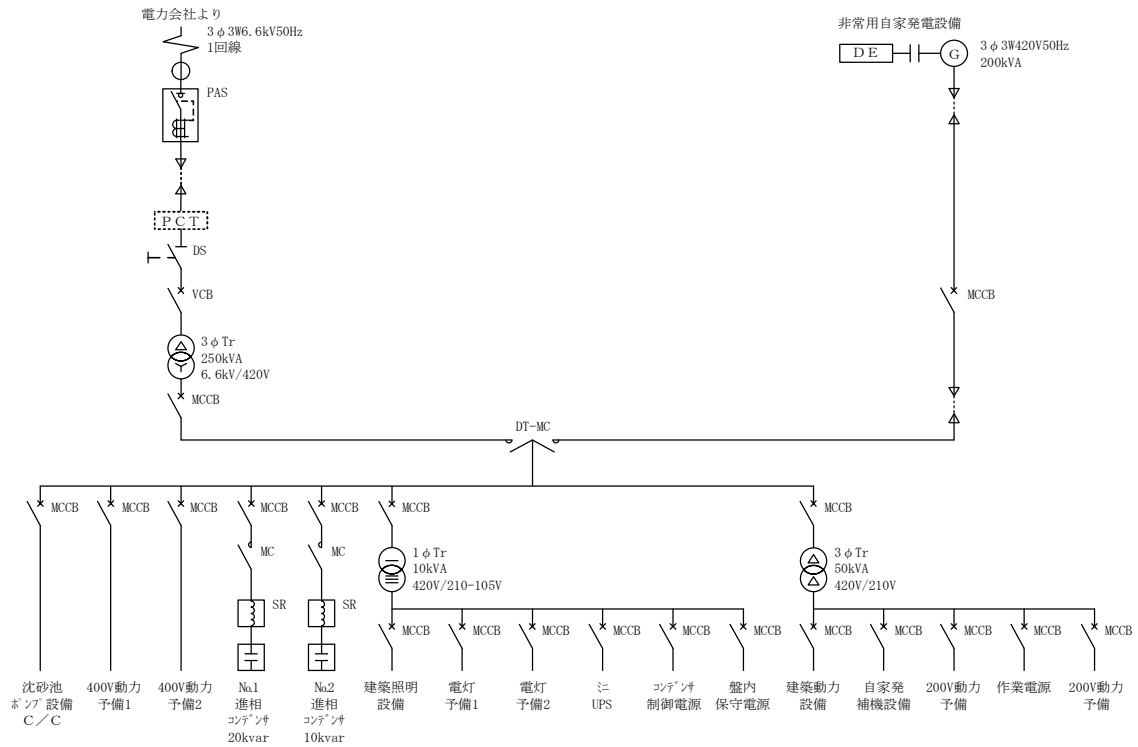


図 3 - 7 日川汚水中継ポンプ場単線結線図

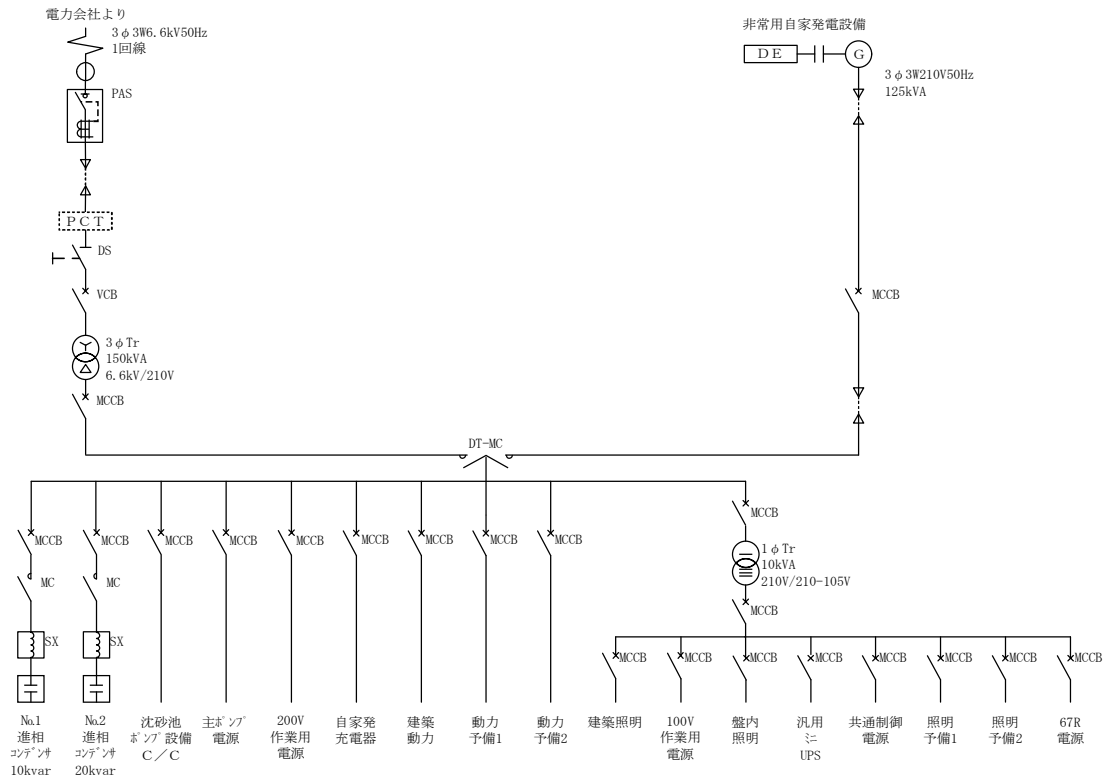


図 3 - 8 金川汚水中継ポンプ場単線結線図

峽東流域下水道

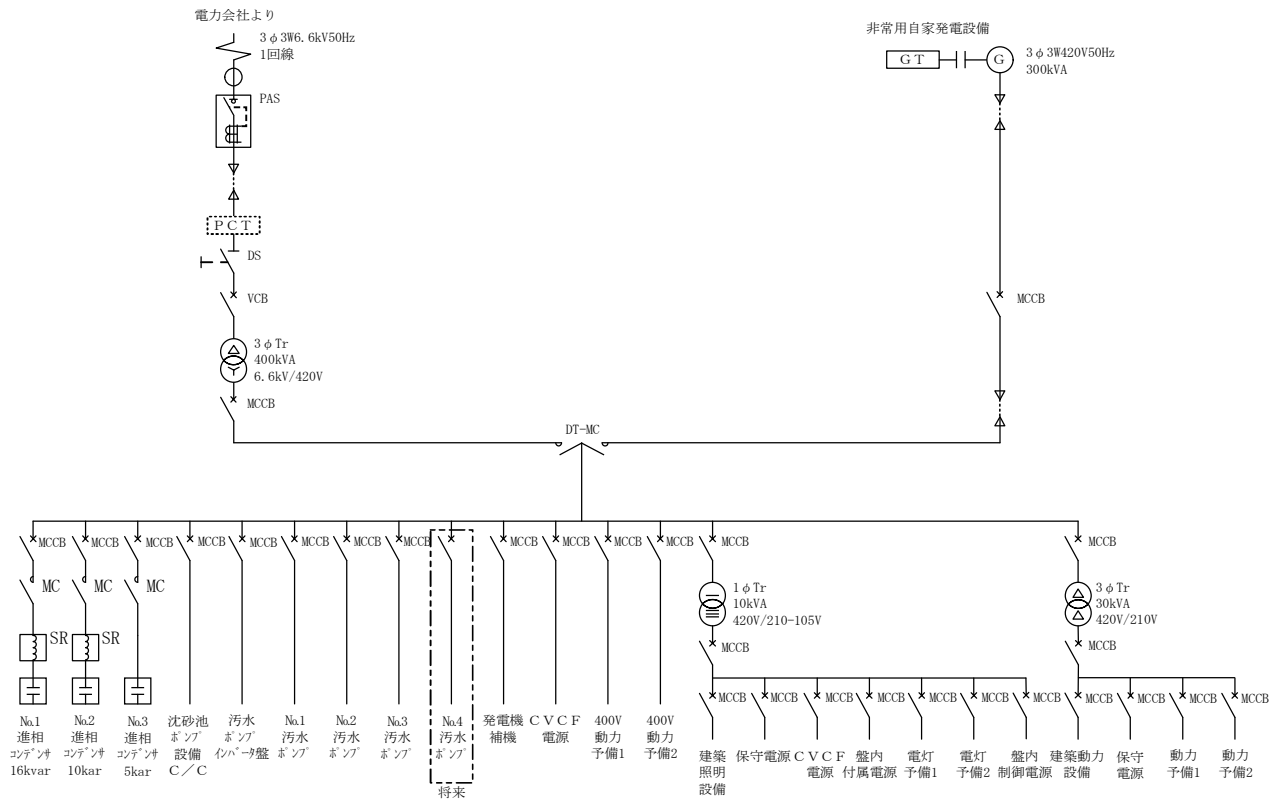


図 3-9 浅川汚水中継ポンプ場単線結線図

表 3－1 2 幹線概要

幹 線 名	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
笛 吹 川 幹 線	200 ～ 1,800	21,661
浅 川 幹 線	150 ～ 800	6,832
重 川 幹 線	350 ～ 600	3,004
日 川 幹 線	200 ～ 1,650	7,548
金 川 幹 線	250 ～ 800	1,716
間 門 川 幹 線	300 ～ 1,000	4,733
平 等 川 幹 線	200 ～ 1,000	6,356
塩 川 幹 線	200 ～ 600	3,419
峡 東 ネットワーク 幹 線	250 ～ 500	6,551
合 計		61,820

※供用管径及び延長は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※供用延長は、県への管理移管を計画している公共管を含まない。

表 3 - 1 3 幹線付帯設備概要

幹線名	設備名称	仕様及び形式	現有設備
笛吹川幹線	恵林寺マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 100 \times 1.2 \text{ m}^3 / \text{min} \times 10 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$	2 台
	鍛冶屋橋水管橋	笛吹川横断部 管径 350mm	72.569m
	緊急時切替ゲート	幅1.1m×高さ1.1m	1 門
	桑戸橋制水ゲート設備	右岸 幅1.4m×高さ1.3m 左岸 幅1.4m×高さ1.3m	1 門 1 門
浅川幹線	白井河原橋水管橋	笛吹川横断部 管径 350mm×2条	279.858m
	御成橋水管橋	渋川横断部 管径 350mm×2条	23.565m
	稲子田橋水管橋	藤沢川横断部 管径 200mm	4.40 m
	舟形橋水管橋	天川横断部 管径 150mm	65.16 m
	小石和マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 3.2 \text{ m}^3 / \text{min} \times 22 \text{ m} \times 22 \text{ kW}$	2 台
重川幹線	鴨居寺橋伏越	重川横断部 管径 600mm	125.111m
日川幹線	笛吹橋水管橋	笛吹川横断部 管径 350mm×2条	178.650m
	下田川水管橋	下田川横断部 管径 350mm×2条	10.367m
	下矢作マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 3.72 \text{ m}^3 / \text{min} \times 16 \text{ m} \times 22 \text{ kW}$	2 台
金川幹線	鶴飼橋水管橋	笛吹川横断部 管径 250mm×2条	237.000m
	長塚橋水管橋	下平井川横断部 管径 250mm×2条	7.900m
平等川幹線	山梨市南 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 2.280 \text{ m}^3 / \text{min} \times 14 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$	2 台
塩川幹線	西広門田 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 1.885 \text{ m}^3 / \text{min} \times 15 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$	2 台
峡東ネットワーク幹線	下塩後マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 100 \times 2.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 11.5 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$	2 台
	重川橋水管橋	重川横断部 管径 400mm×1条	158.380m
	分水ゲート	管径 300mm 管径 350mm	1 門 1 門
	日川橋伏越 ルート切替ゲート	日川横断部 管径 350mm 管径 500mm 幅0.8m×高さ1.3m	158.498m 1 門

表 3－1 4 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管 径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m ³ /h)	形 式
1	山梨市 1 流量計	900	900	1,000	超音波式
2	塩山 1 流量計	700	594	400	超音波式
3	牧丘町流量計 (恵林寺マンホールポンプ)	—	150	200	電磁式
4	中道町流量計 (浅川汚水中継ポンプ場)	—	350	1,000	電磁式
5	境川村流量計	700	700	250	超音波式
6	八代町流量計	600	600	250	超音波式
7	御坂町流量計 (金川汚水中継ポンプ場)	—	250	500	電磁式
8	一宮町流量計 (日川汚水中継ポンプ場)	—	350	1,400	電磁式
9	勝沼 1 流量計	400	400	200	超音波式
1 0	山梨市 2 流量計	350	350	250	P B F、圧力式
1 1	塩山 2 流量計 (西広門田マンホールポンプ)	—	200	300	電磁式
1 2	勝沼 2 流量計	300	300	90	P B F、圧力式
1 3	石和町流量計 (小石和マンホールポンプ)	—	150	480	電磁式
1 4	山梨市 3 流量計	500	500	800	面速式
備 考	流量計番号は図 3－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器の運転状況を表3-15に、し渣及び沈砂搬出状況を表3-16に、薬品・給水・燃料使用状況を表3-17に示す。また、中継ポンプ場運転状況を表3-18に示す。

各設備については、下記のとおり運転を行った。

ア) 沈砂池ポンプ設備

沈砂池、スクリーンについてはNo.2水路を使用し、除塵設備は1日5回の運転を行った。除砂設備は通常運転せず、1週間～1箇月毎の定期点検運転のみとした。

汚水ポンプについては流入水量にあわせて揚水量を設定し、一定流量にて運転を行った。揚水量は汚水ポンプ1台運転で2,000 m³/hを通常時の上限とし、No.2, 3汚水ポンプはインバータの故障により7月25日から可変速運転が不可能となったため、No.1汚水ポンプを主機として運転を行った。

イ) 最初沈殿池設備

使用池数は5月20日まで3池とし、5月20日以降は2池とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、初沈汚泥ポンプは1時間に1回の定期的な汚泥引き抜き運転を行った。また、スカムスキマーは1日2回の定期運転を行った。No.1-3～No.2-2最初沈殿池のスカムスキマーは故障のため、当該池を使用する際は1週間毎に人力でスカムをスカムスキマーに流し込む対応を行った。

ウ) 反応タンク設備

使用池数は5池とした。

使用各池に設置されている水中攪拌機は連続運転とした。

反応タンクは曝気倍率(DO補正)制御とし、送風機は1台で吐出圧一定制御による運転を行った。なお、No.1-1送風機は振動計の不良のため、予備機とした。

エ) 最終沈殿池設備

使用池数は7月8日まで6池とし、7月8日以降は5池使用とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、返送汚泥ポンプは返送率一定制御による連続運転とした。余剰汚泥ポンプはMLSSの状況をみながらタイマーによる自動引き抜き運転を行った。また、スカムスキマーは1時間毎の定期運転を行った。

オ) 塩素滅菌設備

次亜塩注入ポンプは注入率一定制御により1台連続運転を行った。

カ) 放流ポンプ設備

放流河川水位が上昇したときの非常設備であり、通常はバイパスさせて自然流下による放流を行った。

キ) 機械汚泥濃縮設備

No.3ベルト濃縮機を主機とし、No.2遠心濃縮機と組み合わせて1～2台で運転を行った。また、No.2遠心濃縮機を使用しない期間は隔週1回の低速洗浄による管理運転を行った。

投入汚泥は余剰汚泥のみとし、給泥量一定制御で余剰汚泥引き抜き量に合わせて運転を行った。

No.1遠心濃縮機はNo.1濃縮汚泥受槽攪拌機の故障により隔週1回の低速洗浄による管理運転を

行った。

ク) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により重力濃縮を行った。

ケ) 汚泥脱水設備

脱水機は3台のうちNo.1 汚泥脱水機を主機とし、No.3 遠心脱水機は月2回程度の実負荷による管理運転と隔週1回の低速洗浄による管理運転を行った。No.4 遠心脱水機は9月6日に差速機インバータの故障が復旧して以降は月2回程度の実負荷による管理運転と隔週1回の低速洗浄による管理運転を行った。

なお、No.3 遠心脱水機は4月30日から5月10日まで差速装置の故障により使用不可能な状態となった。また、No.1 汚泥脱水機は12月24日からNo.1 薬品供給ポンプのコンバータの故障により使用不可能な状態となったが、1月10日にNo.4 薬品供給ポンプのコンバータと入れ替えを行い、No.4 遠心脱水機が使用不可能な状態となる代わりに主機であるNo.1 汚泥脱水機を使用可能な状態とした。

コ) 脱臭設備

沈砂池ポンプ棟、汚泥棟、汚泥濃縮機棟、生物脱臭棟及び汚泥処理生物脱臭棟のいずれも24時間連続運転とした。

サ) 関連中継ポンプ場

日川汚水中継ポンプ場はNo.1 汚水ポンプを主機とし、ポンプ井水位による間欠運転を行った。

浅川及び金川汚水中継ポンプ場は汚水ポンプの可変速運転によるポンプ井水位一定制御の運転を行った。

各マンホールポンプはポンプ井水位による間欠運転を行った。

シ) 伏越設備

鴨居寺橋伏越設備は1箇月に1回のフラッシング及び1年に1回の清掃を行った。

日川橋伏越設備は1年に1回の清掃を行った。

②未使用機器の保守

未使用機器は定期点検時に保守運転を実施した。また、予備機のある機器については1週間から1箇月毎の周期で切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表3-19に示す。

峡東流域下水道

表 3－1 5 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
No. 1 汚水ポンプ	341.6	164.5	326.1	329.5	715.4	662.0	739.4	714.9	740.9	740.7	665.5	743.1	6,883.6
No. 2 汚水ポンプ	203.4	305.0	180.7	220.8	0.6	0.8	1.8	0.2	0.2	0.4	0.4	0.1	914.4
No. 3 汚水ポンプ	179.5	273.8	228.5	184.2	42.1	55.1	0.4	4.4	0.2	0.8	2.2	0.2	971.4
No. 1 初沈汚泥ポンプ	282.4	531.1	565.0	571.7	599.8	592.6	625.0	602.0	613.3	623.2	557.9	617.4	6,781.4
No. 2 初沈汚泥ポンプ	0.1	3.6	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	4.9
No. 1 初期用送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 2 初期用送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 1-1 送風機	0.6	1.1	4.1	0.3	0.4	0.4	0.8	0.3	0.2	0.4	0.2	0.3	9.1
No. 1-2 送風機	701.1	742.1	715.6	111.9	414.8	713.3	742.0	719.4	739.0	742.3	668.2	743.4	7,753.1
No. 2-2 送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4
No. 2-3 送風機	18.3	0.3	0.3	622.4	326.8	0.3	1.1	0.3	2.6	0.4	1.0	0.3	974.1
No. 1-1 返送汚泥ポンプ	508.2	743.7	409.2	727.7	532.7	699.6	696.8	718.1	668.9	702.7	541.5	724.1	7,673.2
No. 1-2 返送汚泥ポンプ	716.2	478.5	701.1	393.1	736.8	313.8	736.5	661.9	732.4	613.1	648.3	627.0	7,358.7
No. 1-3 返送汚泥ポンプ	208.0	259.7	342.8	339.9	202.1	438.0	48.1	0.0	0.0	0.0	6.7	10.1	1,855.4
No. 2-1 返送汚泥ポンプ	15.6	733.6	66.1	725.1	63.8	684.9	21.6	709.7	49.9	611.5	74.0	685.6	4,441.4
No. 2-2 返送汚泥ポンプ	706.0	10.3	661.4	44.2	731.8	95.1	732.2	60.9	706.3	141.0	611.1	62.9	4,563.2
No. 1-1 余剰汚泥ポンプ	5.5	230.3	16.8	230.8	4.4	211.5	4.4	205.8	9.4	157.2	15.1	230.4	1,321.6
No. 1-2 余剰汚泥ポンプ	259.7	4.7	215.5	4.6	234.1	9.9	220.6	3.0	217.4	32.0	172.6	19.3	1,393.4
No. 2-1 余剰汚泥ポンプ	2.0	110.7	7.7	111.3	1.9	101.1	1.9	105.5	4.9	80.4	7.3	120.4	655.1
No. 2-2 余剰汚泥ポンプ	124.5	2.1	106.5	2.3	115.3	4.4	100.9	1.3	104.5	15.0	82.8	8.4	668.0
No. 1 次亜塩注入ポンプ	717.7	741.7	719.1	731.7	740.0	713.1	741.4	718.6	741.7	742.1	669.3	744.0	8,720.4
No. 2-1 次亜塩注入ポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 2-2 次亜塩注入ポンプ	0.1	0.2	0.1	2.0	0.1	1.0	1.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	5.5
No. 1 放流ポンプ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
No. 2 放流ポンプ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
No. 3 放流ポンプ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
No. 1 遠心濃縮機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	94.2	32.0	136.0
No. 2 遠心濃縮機	360.9	111.0	121.0	168.4	155.6	153.4	106.2	96.6	155.2	50.5	0.0	245.3	1,724.1
No. 3 ベルト濃縮機	590.3	722.3	688.1	717.1	717.1	688.6	691.5	695.2	691.9	692.6	660.8	728.5	8,284.0
No. 1 汚泥脱水機	495.3	559.3	527.7	536.0	511.5	484.8	496.9	372.2	190.9	311.0	348.0	506.0	5,339.6
No. 3 遠心脱水機	75.3	9.4	11.6	22.5	42.8	12.2	17.5	93.9	303.0	195.1	142.0	10.8	936.1
No. 4 遠心脱水機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	23.3	60.2	20.5	0.0	0.0	111.4
No. 1 非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	1.0	0.2	0.2	4.5
No. 2 非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.1	2.8	0.2	0.2	0.2	0.5	1.0	0.2	0.2	7.0

表 3－1 6 し渣及び沈砂搬出状況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
し渣搬出量(水処理系) (kg)	117	98	111	101	93	169	159	91	143	122	127	42	1,373
し渣搬出量(汚泥処理系) (kg)	1,372	1,668	1,903	1,690	1,460	1,841	1,941	2,325	2,580	2,640	2,084	2,258	23,762
沈砂搬出量 (kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 3－1 7 薬品・給水・燃料使用状況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬品	固形塩素剤 (kg)	0	0	0	4	0	4	3	1	0	0	0	12
	次亜塩素酸ナトリウム (L)	16,546	17,349	17,665	17,990	18,253	17,593	17,129	16,134	15,751	14,711	13,099	196,342
	高分子凝集剤(機械濃縮系) (kg)	140.3	163.3	167.9	220.8	253.0	227.7	186.3	225.4	223.1	248.4	243.8	2,527.7
	高分子凝集剤(脱水機系) (kg)	2,220.0	2,025.0	1,815.0	2,010.0	1,980.0	1,875.0	1,755.0	1,710.0	2,205.0	2,130.0	1,755.0	23,235.0
	消臭剤 1 液(重力濃縮系) (L)	870	870	840	850	870	810	850	850	850	780	640	9,760
	消臭剤 2 液(脱水機系1) (L)	936	975	1,187	1,423	1,541	1,371	1,302	1,084	722	427	475	11,846
	消臭剤 3 液(脱水機系2) (L)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給水	上水 (m³)	98	139	99	138	129	131	182	115	113	106	104	1,445
	砂ろ過水 (m³)	47,370	35,493	29,528	28,054	34,751	34,412	37,660	37,440	44,375	45,190	38,951	453,910
燃料	重油 (L)	81	50	52	402	706	51	50	81	1,487	2,063	1,933	8,161

表 3－1 8 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名	項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
日川汚水中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	233.8	246.2	250.1	258.8	256.9	253.4	264.3	248.2	243.4	239.4	216.0	233.5	2,944.0
	No. 2 汚水ポンプ	0.0	0.9	0.4	0.5	0.4	1.4	0.5	0.7	1.0	0.7	0.4	0.4	7.3
	非常用発電機	0.1	1.0	0.1	0.1	0.8	0.1	0.1	1.1	0.1	0.2	0.1	0.1	3.9
金川汚水中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	276.5	221.5	244.1	191.3	278.4	305.5	231.2	241.8	206.7	280.0	205.3	264.3	2,946.6
	No. 2 汚水ポンプ	227.9	322.4	292.3	384.8	278.8	213.9	327.8	289.7	359.4	258.4	290.1	264.9	3,510.4
	非常用発電機	0.1	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.0	0.1	0.3	0.1	0.1	3.2
浅川汚水中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	170.9	298.7	124.7	276.9	198.0	327.9	218.0	250.7	258.8	234.5	232.2	159.4	2,750.7
	No. 2 汚水ポンプ	191.4	185.6	276.9	224.1	289.9	193.2	296.6	116.0	303.6	191.2	218.7	275.6	2,762.8
	No. 3 汚水ポンプ	333.0	242.5	317.3	221.2	250.6	173.6	205.5	327.6	133.7	264.1	178.5	268.0	2,915.6
	非常用発電機	0.2	1.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	1.1	0.2	0.3	0.2	0.2	4.5

表 3－19 機器故障状況（機械関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
管理本館 受水槽	満水の警報が発生した。 原因はボールタップの動作不良によるものであった。	ボールタップの交換を実施した。
水処理施設 No.1-4 終沈汚泥引抜弁	過負荷の警報が発生した。 原因は電動弁の故障によるものであった。	電動弁の交換を実施した。
水処理施設 No.1-3 返送汚泥ポンプ	異音及び軸部からの漏水が発生した。 原因はポンプ部の経年劣化によるものであった。	ポンプ部の交換を実施した。
砂ろ過棟 No. 1 高架水槽揚水ポンプ	高架水槽水位異常低の警報が発生した。 原因は逆止弁の破損によるものであった。	逆止弁の交換を実施した。
重力濃縮棟 No. 2 濃縮汚泥移送ポンプ	封水断の警報が発生した。 原因はフローゲージの近接スイッチの動作不良によるものであった。	フローゲージの交換を実施した。
汚泥濃縮機棟 濃縮機室西側 電動シャッター	シャッターの動作不良が確認された。 原因は逆走防止リレーの誤動作によるものであった。	逆走防止リレーの調整を実施した。
生物脱臭棟 生物脱臭塔 No. 3 ユニット	pH 計の指示値が低い状況が確認された。 原因はガラス電極チップ及び液絡部チップの異常によるものであった。	ガラス電極チップ及び液絡部チップの交換を実施した。
汚泥棟 No. 3 ケーキコンベヤ	電動機ブラケット固定用のボルト及びワッシャの脱落を確認した。 原因は振動によるものであった。	ボルト及びワッシャの交換を実施した。
第 2 ホッパー棟 No. 2 油圧ユニット制御盤	油圧ポンプが動作しない状況が確認された。 原因はブレーカーの故障によるものであった。	ブレーカーの交換を実施した。
下矢作 マンホールポンプ No. 1 汚水ポンプ	圧力計の指針の破損が確認された。 原因は圧力計の経年劣化によるものであった。	圧力計の交換を実施した。

注）令和 6 年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、峡東浄化センター、日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場は高圧 6,600V、恵林寺、下矢作、西広門田、山梨市南、小石和及び下塩後マンホールポンプは、低圧 200V（動力）及び 100V（照明）である。

峡東浄化センター、日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表 3-20～表 3-23、図 3-10～図 3-13 に示す。

浄化センターの使用電力量は、273～325 千 kWh/月の間で推移し、年間として 3,617 千 kWh/年となり、昨年度と比較してほとんど変化がなかった。

浄化センターの原単位電力量と最大需用電力の表とグラフをそれぞれ表 3-24、図 3-14、図 3-15 に示す。

原単位電力量は 0.301～0.371kWh/m³の間で推移した。

最大需要電力は、478～523kW の間で推移した。

浄化センターの契約電力は、電力会社との協議による契約電力決定方式により、年間を通じて 550kW であった。

ポンプ場の契約電力は、日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、それぞれ 32～52kW、36～47kW 及び 127～143kW で推移した。

マンホールポンプの契約電力は、設備容量による契約電力決定方式により、恵林寺、下矢作、西広門田、山梨市南、小石和及び下塩後マンホールポンプは、それぞれ 14kW、25kW、25kW、25kW、46kW 及び 17kW である。

②非常用発電設備運転状況

浄化センターでは、保守点検として、1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 50 分間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 520kWh であった。

また、8 月に落雷による停電があり、発電機 1 台で 2 時間 39 分間の運転を行い、総発電電力量は 1,040kWh であり、12 月に受変電設備更新工事に伴う作業があり、発電機 2 台合計で 39 分間の運転を行い、総発電電力量は 20kWh であった。

日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場では、保守点検として、1 箇月に 1 回約 5～10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 60 分間の実負荷運転を実施し、総発電電力量はそれぞれ 46kWh、23.5kWh 及び 117kWh であった。

なお、日川汚水中継ポンプ場では 8 月に停電があり発電電力量は 15kWh であった。また、浅川汚水中継ポンプ場では 6 月、8 月に停電があったが瞬時停電のため発電機給電に切り替わらなかった。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 3-25 に示す。

峡東流域下水道

表 3-20 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	293,232	294,408	295,992	324,648	322,440	302,064	298,680	289,968	313,464	308,136	272,544	301,320	3,616,896	301,408
流入下水量	862,953	923,246	982,042	1,031,849	1,022,208	989,158	952,964	892,493	871,197	830,816	751,717	841,149	10,951,792	912,649

表 3-21 使用電力量と流入下水量（日川汚水中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	8,616	10,253	10,219	10,316	10,535	10,209	10,653	8,937	9,049	8,984	8,140	8,907	114,818	9,568
流入下水量	82,850	87,675	88,519	92,046	91,958	90,542	93,296	87,516	85,721	84,089	75,682	82,122	1,042,016	86,835

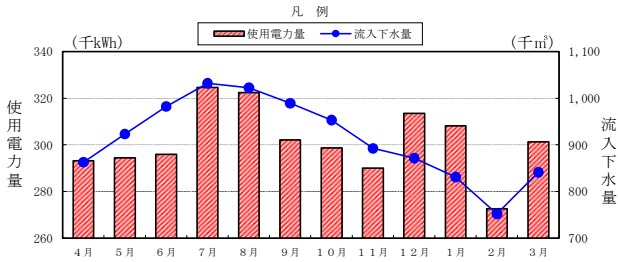


図 3-10 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

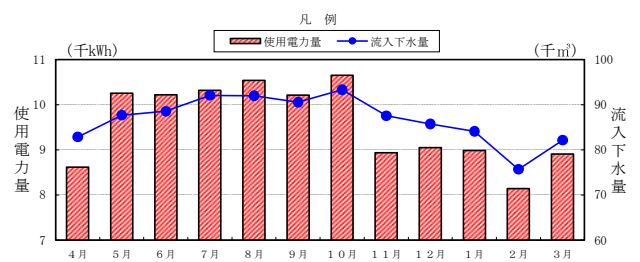


図 3-11 使用電力量と流入下水量（日川汚水中継ポンプ場）

表 3-22 使用電力量と流入下水量（金川汚水中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	5,342	7,068	6,978	7,340	7,296	6,859	7,198	5,430	5,764	5,600	5,260	5,740	75,875	6,323
流入下水量	40,153	41,980	42,674	43,121	42,658	41,453	42,806	41,741	43,147	42,634	38,597	41,389	502,353	41,863

表 3-23 使用電力量と流入下水量（浅川汚水中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	27,015	32,123	33,230	32,879	33,449	31,186	32,840	28,905	26,385	26,229	23,639	26,480	354,360	29,530
流入下水量	168,735	175,942	179,446	175,735	180,459	168,048	174,577	170,709	165,352	162,186	146,660	164,837	2,032,686	169,391

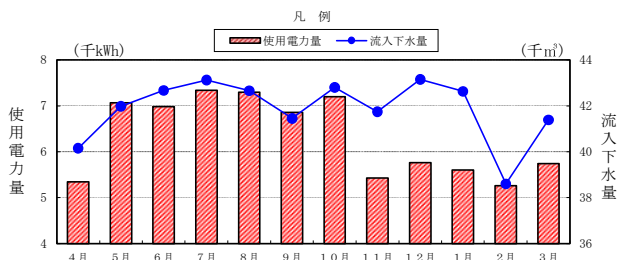


図 3-12 使用電力量と流入下水量（金川汚水中継ポンプ場）

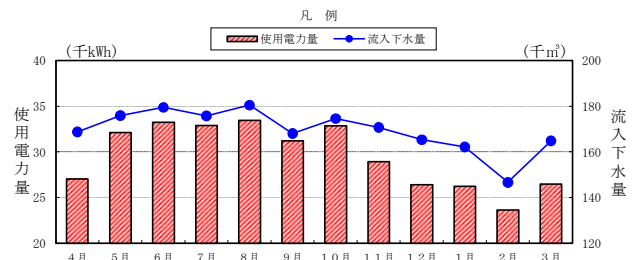


図 3-13 使用電力量と流入下水量（浅川汚水中継ポンプ場）

表 3-24 原単位電力量と最大需要電力（浄化センター）

(単位: 上段 kWh/m³, 下段 kW)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
原単位電力量	0.340	0.319	0.301	0.315	0.315	0.305	0.313	0.325	0.360	0.371	0.363	0.358	0.332
最大需要電力	499	482	502	523	516	506	478	502	504	497	499	485	499

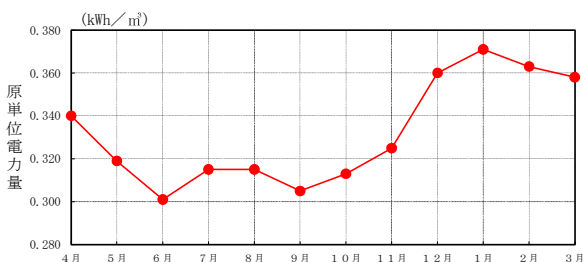


図 3-14 原単位電力量（浄化センター）

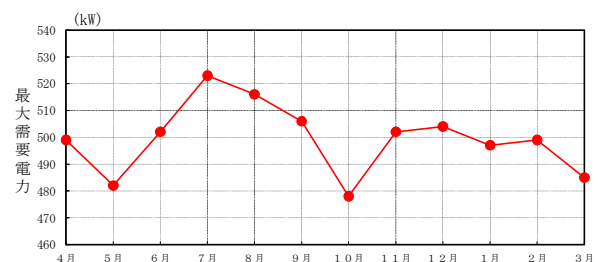


図 3-15 最大需要電力（浄化センター）

表 3－25 機器故障状況（電気関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
汚泥棟 No.1 ケーキコンベヤ	過負荷が発生した。 原因はコントロールセンタのマルチリレー構成部品 （C V変換器）の不良であった。	C V変換器の交換を実施した。
下矢作マンホールポンプ 動力制御盤	テレメータが停電後に復帰しなかった。 原因はテレメータ装置の電源基板の故障であった。	電源基板の交換を実施した。
恵林寺マンホールポンプ 汚水流量計	幹線流量センサ異常が発生した。 原因は流量計変換器の故障であった。	流量計変換器の修理を実施した。
金川汚水中継ポンプ場 子局テレメータ	年次点検中に子局異常が発生した。 原因はミニUPS電源消失による子局テレメータの電 源モジュールの故障であった。	電源モジュールの交換を実施した。

注）令和6年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質試験結果を表 3-26～表 3-29、図 3-16～図 3-17 に示す。

流入水質は、年間平均 BOD が 160mg/L、SS が 160mg/L であった。

放流水は、年間を通じて安定して良好な水質で推移した。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表 3-30 に示す。

地点⑭で砒素及びその化合物が、地点①で亜鉛含有量が、地点⑫で溶解性鉄含有量が検出されたが、下水道排除基準を超過することはなかった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表 3-31～表 3-34 に、反応タンクの管理状況を図 3-18～図 3-19 に示す。

反応タンクは最終沈殿池の脱室による沈殿汚泥の浮上対策、活性汚泥のグラニュール化対策、送風機の省エネルギー運転を目的として年間を通じて単段式嫌気好気法による硝化抑制運転を行った。

SVI は、110～260mL/g の間で推移し、数値の高い時期において固液分離障害が生ずることはなかった。

BOD-SS 負荷は、0.08～0.18kg/kg・日の間で推移した。

活性汚泥微生物は微生物の種類も多く、活性汚泥微生物の割合も高く良好な状態であった。

④通日試験結果

通日試験結果を表 3-35～表 3-38、図 3-20～図 3-35 に示す。

流入負荷は、12:00 頃と 22:00 から 0:00 頃にピークが見られ、2:00 から 6:00 頃にかけて減少する傾向が見られた。

放流水は、水質変動が小さく安定して良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表 3-39 に、汚泥試験測定結果を表 3-40～表 3-42 に示す。

最初沈殿池で発生する生汚泥は重力濃縮槽へ投入し、最終沈殿池で発生する余剰汚泥はベルト型濃縮機を主機として濃縮し、両者を合わせた混合濃縮汚泥の濃度は年間平均で 3.04% となった。

脱水は、二重円筒加圧型脱水機を主機として処理を行った。

脱水ケーキ発生量は、年間 7,222.04 t、含水率は年間平均値で 74.3% となった。なお、脱水ケーキは 56% をセメント原料、44% を肥料原料として全量有効活用した。

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表 3-43～表 3-44 に示す。

浄化センター放流口の直上流にあたる白井河原橋地点、直下流にあたる中道橋地点ともにほぼ同程度の水質であった。

②臭気測定結果

臭気測定結果（敷地境界）を表 3-45 に示す。

敷地境界においては、規制値以下の結果であった。

峡東流域下水道

表 3－2 6 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.0	22.5	23.5	25.5	26.5	26.5	26.0	23.5	21.0	18.5	18.0	20.0	26.5
	最小	18.5	21.0	22.0	23.0	25.5	25.5	24.0	21.0	18.5	17.0	17.0	18.0	17.0
	平均	19.7	21.7	22.9	24.3	26.2	26.1	24.9	22.3	19.7	17.6	17.5	18.4	21.8
水素イオン濃度	最大	7.08	7.18	7.07	7.06	7.18	7.10	7.10	7.10	7.19	7.15	7.27	7.14	7.27
	最小	6.85	6.89	6.78	6.81	6.81	6.85	6.80	6.78	6.94	6.83	6.94	6.86	6.78
	平均	6.97	6.99	6.95	6.90	6.97	6.97	6.92	6.99	7.05	7.06	7.06	6.96	6.98
透 視 度 (cm)	最大	4.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0
	最小	3.0	3.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	平均	3.8	4.0	4.3	4.3	4.5	4.4	4.2	4.0	4.1	4.0	3.9	3.8	4.1
浮遊物質量 (mg/L)	最大	220	220	200	180	220	170	190	200	190	220	200	210	220
	最小	150	130	120	120	120	110	110	120	140	140	130	130	110
	平均	180	170	160	150	150	130	150	150	160	170	170	170	160
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	210	200	230	150	150	170	140	160	200	170	170	230	230
	最小	150	150	140	120	110	130	110	140	120	150	150	160	110
	平均	180	170	180	130	130	150	130	150	150	160	160	180	160
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	120	100	94	93	99	83	89	95	88	100	98	100	120
	最小	80	77	66	65	63	65	66	70	74	76	72	81	63
	平均	91	86	78	77	78	71	76	79	81	86	85	90	82
大腸菌群数 (千個/cm³)	最大	190	230	410	500	130	120	180	220	210	160	360	190	500
	最小	120	110	61	130	70	75	81	100	56	80	140	110	56
	平均	150	180	220	270	100	100	140	160	130	100	230	160	160

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 3－2 7 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.5	23.0	24.0	26.5	27.0	27.0	26.5	24.0	21.0	18.5	18.0	20.0	27.0
	最小	19.0	21.5	22.5	23.5	26.0	26.0	24.0	21.0	18.0	17.5	17.0	17.5	17.0
	平均	20.2	22.2	23.5	25.2	26.8	26.6	25.2	22.7	19.7	18.0	17.6	18.6	22.2
水素イオン濃度	最大	6.93	7.04	6.97	6.94	7.02	6.93	6.99	6.90	6.96	6.92	6.93	6.93	7.04
	最小	6.83	6.79	6.70	6.74	6.74	6.77	6.63	6.68	6.71	6.65	6.71	6.63	6.63
	平均	6.87	6.89	6.80	6.81	6.86	6.87	6.76	6.78	6.80	6.81	6.78	6.75	6.82
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	100	>100	>100	100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	100
	平均	100	>100	>100	100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	100
浮遊物質量 (mg/L)	最大	4.3	2.5	2.2	3.6	2.7	2.8	3.0	3.2	2.6	2.6	3.3	3.5	4.3
	最小	<1.0	1.2	1.2	1.4	<1.0	1.3	1.4	<1.0	<1.0	1.4	1.4	1.6	<1.0
	平均	2.4	1.8	1.6	2.6	1.6	2.1	2.2	2.2	1.8	2.0	2.2	2.3	2.1
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	2.3	2.5	3.2	3.5	4.7	3.0	3.1	2.4	1.9	2.6	2.5	2.6	4.7
	最小	2.1	1.6	1.5	2.8	2.1	2.0	1.9	1.3	1.5	1.8	1.7	1.6	1.3
	平均	2.2	2.0	2.3	3.1	3.2	2.7	2.5	2.0	1.7	2.2	2.1	2.2	2.4
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	10	10	8.9	9.7	10	9.1	10	9.2	9.4	9.5	10	10	10
	最小	9.0	8.2	7.6	7.7	7.3	7.6	8.2	7.9	7.8	8.5	8.6	8.9	7.3
	平均	9.7	9.4	8.3	8.7	8.6	8.2	9.1	8.5	8.6	9.0	9.3	9.6	8.9
大腸菌群数 (個/cm³)	最大	0	1	1	2	2	2	3	0	0	0	0	0	3
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

凡 例

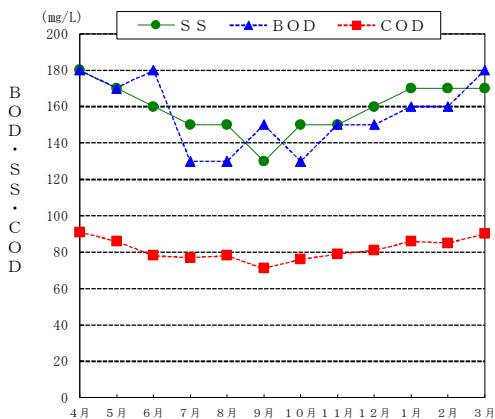


図 3－1 6 流入水の水質変化

凡 例

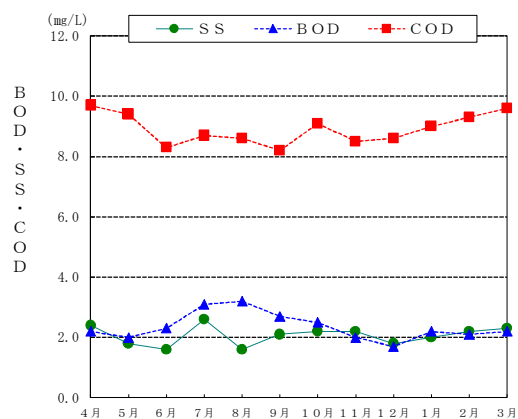


図 3－1 7 放流水の水質変化

峡東流域下水道

表 3－28（1） 精密試験分析結果（流入水－1）

測定項目	単位	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
実施日	—	4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃	19.0	20.0	21.0	22.0	22.5	23.0	24.0	24.0	25.5	26.0	26.0	26.5	26.0	25.0
透視度	c m	3.0	4.0	3.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
水素イオン濃度	—	7.02	6.93	6.91	6.94	6.93	6.89	6.90	6.90	6.81	6.94	7.00	6.85	6.87	6.89
蒸発残留物	mg/L	630	710	460	690	600	540	580	560	630	580	580	740	680	670
強熱残留物	mg/L	270	290	200	300	300	270	260	260	300	290	280	330	300	280
溶解性物質	mg/L	470	510	210	490	460	410	470	430	490	430	470	540	570	490
浮遊物質	mg/L	170	200	200	190	160	140	150	150	140	140	130	130	120	150
アルカリ度	mg/L	138	138	138	133	129	123	123	120	131	133	115	128	133	133
生物化学的酸素要求量	mg/L	190	150	190	200	140	140	150	130	140	150	130	150	140	130
化学的酸素要求量	mg/L	93	91	90	98	81	75	77	70	76	81	66	72	69	73
アンモニア性窒素含有量	mg/L	15.4	14.6	15.9	14.2	13.7	11.8	12.2	11.8	13.1	14.6	10.7	12.0	13.2	13.7
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.06	0.06	0.04	0.06	0.04	0.04	0.04	0.03	<0.02	0.03	0.05	0.03	0.03	0.04
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.85	0.56	0.76	0.52	0.57	0.63	0.48	0.47	0.44	0.28	0.26	0.38	0.37	0.41
有機性窒素含有量	mg/L	13.3	11.3	15.5	13.8	10.3	9.56	10.3	9.66	10.6	10.8	9.52	11.0	9.68	11.4
窒素含有量	mg/L	29.6	26.5	32.2	28.5	24.6	22.1	23.0	22.0	24.2	25.7	20.5	23.4	23.3	25.6
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	2.96	3.33	4.17	3.06	2.78	2.46	3.18	1.93	3.17	3.35	2.39	2.34	3.12	2.18
燐含有量	mg/L	6.21	6.02	6.97	6.41	4.91	4.29	5.00	4.85	4.98	5.15	3.82	4.20	4.54	3.81
大腸菌群数	千個/cm ³	120	130	110	190	410	190	500	230	120	130	110	96	120	160
よう素消費量	mg/L	14	12	11	15	15	7	15	13	17	17	16	14	15	13
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	8	10	9	13	10	7	9	6	8	8	7	7	9	8
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L	0.36	0.28	0.53	0.43	0.32	0.29	0.31	0.21	0.24	0.24	0.29	0.26	0.25	0.22
溶解性鉄含有量	mg/L	0.13	0.10	0.11	<0.10	0.12	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	0.12	0.12
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.013	0.007	0.012	0.012	0.010	0.008	0.009	0.008	0.010	0.011	0.010	0.011	0.010	0.011
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.14	0.17	<0.10	0.12	0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.15	0.12	<0.10	0.11	0.11	0.13
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	16.3	15.2	16.7	14.8	14.3	12.5	12.7	12.3	13.5	14.9	11.0	12.4	13.6	14.2
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

峡東流域下水道

表 3－28（2） 精密試験分析結果（流入水－2）

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃	23.0	22.0	21.0	19.5	18.0	18.0	17.5	17.5	18.0	18.0	26.5	17.5	21.8
透視度	c m	4.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	5.0	3.0	4.0
水素イオン濃度	—	6.89	6.98	7.00	7.00	7.15	6.96	7.05	7.00	6.91	6.99	7.15	6.81	6.95
蒸発残留物	mg/L	610	690	720	720	690	810	730	700	780	690	810	460	660
強熱残留物	mg/L	350	330	390	340	320	440	430	430	350	320	440	200	320
溶解性物質	mg/L	480	530	580	510	510	650	570	570	580	570	650	210	500
浮遊物質量	mg/L	150	140	160	190	190	150	180	140	180	160	200	120	160
アルカリ度	mg/L	132	130	130	133	138	134	137	130	139	134	139	115	131
生物化学的酸素要求量	mg/L	150	140	140	200	170	170	170	150	180	160	200	130	160
化学的酸素要求量	mg/L	76	78	74	84	83	83	78	72	97	97	98	66	81
アンモニア性窒素含有量	mg/L	11.9	14.1	14.6	15.4	17.3	16.8	16.5	16.8	15.5	18.0	18.0	10.7	14.3
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.03	0.07	0.05	0.04	0.05	0.04	0.06	0.13	0.06	0.05	0.13	<0.02	0.05
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.35	0.43	0.46	0.64	0.65	0.69	0.53	0.70	0.52	0.43	0.85	0.26	0.52
有機性窒素含有量	mg/L	10.2	10.8	9.00	14.0	11.2	10.6	11.6	10.8	10.2	10.9	15.5	9.00	11.1
窒素含有量	mg/L	22.4	25.5	24.1	30.1	29.2	28.1	28.7	28.4	26.2	29.4	32.2	20.5	26.0
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	2.88	3.15	2.72	3.02	3.49	3.25	3.58	3.15	2.38	4.83	4.83	1.93	3.04
燐含有量	mg/L	5.05	5.36	4.80	5.52	5.86	5.23	5.92	5.27	4.74	7.03	7.03	3.81	5.25
大腸菌群数	千個/cm ³	120	220	110	210	80	160	200	360	180	190	500	80	190
よう素消費量	mg/L	11	10	13	11	12	13	10	11	8	7	17	7	13
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	6	6	10	13	12	13	12	12	13	11	13	6	9
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.20	0.19	0.23	0.25	0.24	0.22	0.13	0.14	0.24	0.24	0.53	0.13	0.26
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	0.13	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.011	0.012	0.012	0.013	0.013	0.014	0.011	0.013	0.013	0.012	0.014	0.007	0.011
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.14	0.12	0.16	0.17	0.16	0.17	0.18	0.17	0.12	0.14	0.18	<0.10	0.11
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	12.3	14.6	15.1	16.1	18.0	17.5	17.1	17.6	16.1	18.5	18.5	11.0	14.9
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

峡東流域下水道

表 3－2 9（1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃		19.5	21.0	21.5	22.0	23.0	23.5	25.0	25.5	26.0	27.0	26.5	27.0	26.5	25.5
透視度	c m		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.88	6.87	6.81	6.88	6.84	6.70	6.80	6.77	6.86	6.84	6.89	6.93	6.79	6.72
蒸発残留物	mg/L		430	470	220	450	440	400	420	380	440	390	450	510	560	500
強熱残留物	mg/L		230	260	180	260	280	240	270	240	320	290	280	300	290	280
溶解性物質	mg/L		420	450	210	450	430	400	410	360	430	380	440	490	550	480
浮遊物質量	mg/L	40(30)	3.5	2.1	2.2	2.0	1.4	2.1	2.4	2.7	2.3	1.1	2.1	1.9	1.7	2.3
アルカリ度	mg/L		143	142	140	143	135	113	124	122	126	132	105	125	128	116
生物化学的酸素要求量	mg/L	10(10)	2.3	2.1	2.5	2.0	1.5	2.4	2.8	2.8	2.6	2.7	3.0	2.0	2.3	1.9
化学的酸素要求量	mg/L		9.6	9.4	9.7	9.8	8.3	8.4	7.8	8.5	8.4	7.8	8.1	8.1	8.7	9.2
アンモニア性窒素含有量	mg/L		16.6	15.5	17.6	16.1	14.6	9.70	11.2	9.73	12.0	12.7	7.34	11.3	12.0	11.3
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.11	0.04	0.03	<0.02	0.11	0.76	0.13	0.28	0.39	0.20	0.69	0.15	0.24	1.03
硝酸性窒素含有量	mg/L		0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.17	0.23	0.28	<0.16	<0.16	<0.16	0.20	0.21	0.58
有機性窒素含有量	mg/L		1.88	2.09	0.94	1.09	0.89	1.00	0.53	0.60	0.66	0.79	1.79	0.49	0.89	0.76
窒素含有量	mg/L		18.7	17.6	18.5	17.2	15.7	11.6	12.1	10.9	13.2	13.9	9.85	12.1	13.4	13.7
磷酸イオン態燐含有量	mg/L		0.12	0.29	0.22	1.02	0.56	0.92	3.16	0.27	0.43	0.47	1.88	0.32	0.81	1.00
燐含有量	mg/L		0.35	0.45	0.40	1.19	0.70	1.02	3.43	0.40	0.59	0.55	2.11	0.44	1.01	1.18
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0
よう素消費量	mg/L		7	<5	7	7	7	6	8	5	9	6	6	6	6	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	0.011	0.005	0.009	0.009	0.009	0.007	0.008	0.008	0.008	0.010	0.009	0.010	0.009	0.010
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.11	0.11	<0.10	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	0.12	<0.10	<0.10	<0.10	0.11
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	6.91	6.24	7.07	6.44	5.95	4.81	4.84	4.45	5.19	5.28	3.63	4.87	5.25	6.13
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

峡東流域下水道

表 3-29 (2) 精密試験分析結果 (放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—		7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃		23.5	22.0	20.5	19.5	17.5	18.0	17.5	17.5	18.0	17.5	27.0	17.5	22.1
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.69	6.76	6.73	6.81	6.84	6.79	6.75	6.78	6.65	6.80	6.93	6.65	6.80
蒸発残留物	mg/L		500	480	580	470	490	650	580	560	530	520	650	220	480
強熱残留物	mg/L		290	320	380	310	270	400	400	410	320	320	410	180	300
溶解性物質	mg/L		480	450	550	400	490	650	540	560	520	510	650	210	460
浮遊物質質量	mg/L	40 (30)	2.8	1.9	1.4	2.2	2.2	2.2	2.5	3.3	2.2	3.3	3.5	1.1	2.2
アルカリ度	mg/L		120	120	115	133	133	139	133	133	138	138	143	105	129
生物化学的酸素要求量	mg/L	10 (10)	2.4	1.9	1.6	1.9	2.6	2.4	2.0	2.3	2.1	2.6	3.0	1.5	2.3
化学的酸素要求量	mg/L		8.3	8.4	8.2	9.0	9.3	9.4	9.1	9.3	9.6	10	10	7.8	8.9
アンモニア性窒素含有量	mg/L		10.9	11.3	10.6	13.9	16.6	14.3	14.9	15.3	14.7	16.2	17.6	7.34	13.2
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.26	0.17	0.16	0.07	0.11	0.27	0.23	0.22	0.21	0.26	1.03	<0.02	0.26
硝酸性窒素含有量	mg/L		1.12	2.20	2.03	0.33	0.35	0.48	0.29	0.27	0.20	0.20	2.20	<0.16	0.39
有機性窒素含有量	mg/L		0.92	1.26	1.29	0.77	1.48	1.50	1.24	0.92	0.78	1.55	2.09	0.49	1.09
窒素含有量	mg/L		13.2	14.9	14.0	15.1	18.5	16.5	16.7	16.7	15.8	18.2	18.7	9.85	14.9
磷酸イオン態燐含有量	mg/L		1.02	0.68	0.28	0.27	0.89	1.08	0.91	0.44	0.40	0.24	3.16	0.12	0.74
燐含有量	mg/L		1.29	0.82	0.41	0.42	1.05	1.21	1.04	0.60	0.57	0.41	3.43	0.35	0.90
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
よう素消費量	mg/L		6	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	5	<5	9	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	0.010	0.011	0.010	0.010	0.012	0.013	0.012	0.012	0.012	0.012	0.013	0.005	0.010
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.11	0.11	0.12	0.17	0.14	0.15	0.13	0.15	0.12	<0.10	0.17	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	5.74	6.89	6.43	5.96	7.10	6.47	6.48	6.61	6.29	6.94	7.10	3.63	5.92
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

峡東流域下水道

表 3－3 0 （ 1 ） 幹線調査分析結果－ 1

測定項目		単位	排除基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
採水月日				5月8日	5月8日	5月8日	5月9日	5月9日	5月8日	5月8日	
採水時刻				9:30	9:55	10:15	9:05	9:50	10:40	11:05	
政 令 処 理 定 め 難 る 物 質 質 量 条 例 で 定 め る 物 質 其 他	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	有機燐化合物	mg/L	不検出	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	チウラム	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
	シマジン	mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
	フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	
	銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	亜鉛含有量	mg/L	1	0.12	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
条 例 で 定 め る 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	13.8	25.8	15.8	17.4	27.3	13.7	11.8	
	生物化学的酸素要求量	mg/L	600	150	260	210	160	250	190	110	
	浮遊物質質量	mg/L	600	130	250	180	160	260	180	100	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	21	18	27	13	8	17	8	
	水素イオン濃度	—	5～9	6.85	7.05	6.96	7.04	7.07	6.87	6.83	
	水温	℃	45	20.0	19.5	23.5	20.0	19.0	21.0	19.5	
	よう素消費量	mg/L	220	10	16	14	16	21	7	10	
其 他	色	—		微白濁	微黄濁	微黄濁	微黄濁	微白濁	微黄濁	微白濁	
	化学的酸素要求量	mg/L		87	120	110	86	140	110	70	
備 考	番号 幹線名	上流市名									
	① 笛吹川幹線	山梨市									
	② 笛吹川幹線	山梨市、甲州市									
	③ 塩川幹線	甲州市									
	④ 平等川幹線	山梨市									
	⑤ 笛吹川幹線	山梨市、甲州市									
	⑥ 重川幹線	甲州市									
	⑦ 日川幹線	甲州市									
	⑧ 笛吹川幹線	(欠番)									
	※⑧は、市町村合併により欠番としている。										

峡東流域下水道

表 3－3 0 （ 2 ） 幹線調査分析結果－ 2

測定項目			単位	排除基準	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
採水月日								5月9日	5月9日	5月8日	5月9日		
採水時刻								10:55	11:20	8:30	10:20		
政 令 処 理 定 め 難 る 物 質 質 条 例 で 定 め る 可 能 な 物 質 そ の 他	政 令 処 理 定 め 難 る 物 質 質 条 例 で 定 め る 可 能 な 物 質 そ の 他	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出				<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
		シアン化合物	mg/L	0.1				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		有機燐化合物	mg/L	不検出				<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
		鉛及びその化合物	mg/L	0.1				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		六価クロム化合物	mg/L	0.05				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		砒素及びその化合物	mg/L	0.05				<0.005	<0.005	0.015	<0.005		
		水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005				<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
		アルキル水銀化合物	mg/L	不検出				<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
		ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003				<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
		トリクロロエチレン	mg/L	0.1				<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
		テトラクロロエチレン	mg/L	0.1				<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
		ジクロロメタン	mg/L	0.2				<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
		四塩化炭素	mg/L	0.02				<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
		1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04				<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		
		1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1				<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
		シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4				<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
		1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3				<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
		1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06				<0.006	<0.006	<0.006	<0.006		
		1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02				<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
		チウラム	mg/L	0.06				<0.006	<0.006	<0.006	<0.006		
		シマジン	mg/L	0.03				<0.003	<0.003	<0.003	<0.003		
		チオベンカルブ	mg/L	0.2				<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
		ベンゼン	mg/L	0.1				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		セレン及びその化合物	mg/L	0.1				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		ほう素及びその化合物	mg/L	10				<1.0	<1.0	<1.0	<1.0		
		ふっ素及びその化合物	mg/L	1				<0.10	<0.10	<0.10	<0.10		
		1,4-ジオキサン	mg/L	0.5				<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
		フェノール類含有量	mg/L	1				<0.50	<0.50	<0.50	<0.50		
		銅含有量	mg/L	1				<0.10	<0.10	<0.10	<0.10		
		亜鉛含有量	mg/L	1				<0.10	<0.10	<0.10	<0.10		
		溶解性鉄含有量	mg/L	1				0.18	<0.10	<0.10	<0.10		
		溶解性マンガン含有量	mg/L	1				<0.10	<0.10	<0.10	<0.10		
		クロム含有量	mg/L	0.5				<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
		条 例 で 定 め る 物 質	条 例 で 定 め る 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380				23.7	19.9	23.5	24.4
				生物化学的酸素要求量	mg/L	600				190	200	140	410
				浮遊物質質量	mg/L	600				220	310	140	220
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L			30				9	7	12	30		
水素イオン濃度	—			5～9				7.08	7.18	7.03	7.12		
水温	℃			45				20.0	20.0	21.5	19.5		
よう素消費量	mg/L			220				26	27	12	30		
そ の 他	そ の 他	色	—					微黄濁	微白濁	微白濁	微黄濁		
		化学的酸素要求量	mg/L					120	160	80	220		
備 考	備 考	番号 幹線名	上流市名										
		⑨ 日川幹線	(欠番)										
		⑩ 金川幹線	(欠番)										
		⑪ 浅川幹線	(欠番)										
		⑫ 浅川幹線	笛吹市										
		⑬ 浅川幹線	笛吹市、甲府市										
		⑭ 笛吹川幹線	全市										
		⑮ 峡東ネットワーク幹線	山梨市										
※⑨～⑮は、市町村合併により欠番としている。													

表 3-3-1 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	35,798	34,457	42,572	36,036	50,462	38,134	37,878	35,033	29,572	28,145	28,827	29,221	50,462
	最小	26,668	27,182	28,753	30,600	29,459	29,047	27,853	27,093	26,651	25,357	25,018	25,639	25,018
	平均	28,765	29,782	32,735	33,285	32,974	32,972	30,741	29,750	28,103	26,801	26,847	27,134	30,005
反応タンク 流入水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	39,069	37,684	45,618	38,766	53,448	41,583	41,218	38,302	33,135	31,554	32,434	32,665	53,448
	最小	30,251	30,421	31,848	33,707	32,626	32,528	31,176	30,472	30,000	28,887	28,417	28,926	28,417
	平均	32,141	33,063	35,922	36,302	36,212	36,255	34,086	33,130	31,669	30,321	30,325	30,650	33,353
返 送 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	20,036	19,446	23,322	20,019	27,439	21,515	20,457	19,441	17,009	16,379	16,777	16,792	27,439
	最小	15,735	15,761	16,558	17,518	16,966	16,918	16,489	15,787	15,566	14,970	14,783	15,024	14,783
	平均	16,709	17,168	18,586	18,777	18,779	18,768	17,728	17,143	16,393	15,724	15,714	15,908	17,290
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	52.4	52.1	52.0	52.4	52.0	52.2	53.2	52.1	52.0	52.4	52.4	52.0	53.2
	最小	51.3	50.9	49.6	51.2	50.8	51.1	49.6	50.8	51.2	50.7	50.4	51.4	49.6
	平均	52.0	51.9	51.7	51.7	51.9	51.8	52.0	51.7	51.8	51.9	51.8	51.9	51.8
余 剩 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	911	642	711	665	658	660	810	657	648	602	615	848	911
	最小	348	437	400	330	398	375	299	321	389	309	388	430	299
	平均	601	525	530	548	542	545	505	515	519	445	474	591	529
送 風 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	81,711	78,658	81,762	85,942	90,845	79,640	83,898	90,290	89,920	76,691	74,037	77,141	90,845
	最小	68,429	64,111	63,642	65,374	67,597	66,242	70,810	70,962	68,977	65,569	63,607	43,819	43,819
	平均	75,986	72,189	75,099	76,903	77,971	75,847	79,275	79,688	75,967	71,194	68,997	65,240	74,552
送 風 倍 率 (倍)	最大	2.6	2.5	2.5	2.4	2.6	2.4	2.6	2.9	2.9	2.6	2.4	2.6	2.9
	最小	2.1	1.8	1.6	1.7	1.4	1.8	1.7	2.0	2.2	2.2	2.1	1.5	1.4
	平均	2.4	2.2	2.1	2.1	2.2	2.1	2.3	2.4	2.4	2.3	2.3	2.1	2.2
滞 留 時 間 (H r)	最大	11.1	11.0	10.6	10.0	10.3	10.3	10.8	11.0	11.2	11.6	11.8	11.6	11.8
	最小	8.6	8.9	7.4	8.7	6.3	8.1	8.2	8.8	10.1	10.6	10.4	10.3	6.3
	平均	10.5	10.2	9.4	9.3	9.4	9.3	9.9	10.2	10.6	11.1	11.1	11.0	10.2

峡東流域下水道

表3-32 反応タンク試験結果(1)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	22.0	23.5	24.5	26.5	27.0	27.0	26.5	24.0	21.0	18.5	18.0	20.0	27.0
	最小	19.0	21.0	23.0	24.0	26.0	26.0	24.0	21.5	18.5	18.0	17.5	18.0	17.5
	平均	20.3	22.4	23.7	25.1	26.7	26.6	25.2	22.7	19.8	18.0	17.8	18.6	22.2
p H	ML	最大	6.83	6.87	6.87	6.82	6.92	6.85	6.82	6.75	6.81	6.76	6.83	6.92
		最小	6.75	6.68	6.56	6.59	6.64	6.67	6.48	6.57	6.58	6.57	6.62	6.55
		平均	6.80	6.80	6.70	6.68	6.75	6.76	6.67	6.66	6.69	6.68	6.66	6.71
	RS	最大	6.83	6.88	6.86	6.88	6.94	6.89	6.82	6.85	6.95	6.89	6.85	6.95
		最小	6.67	6.70	6.62	6.61	6.66	6.64	6.56	6.61	6.63	6.69	6.65	6.56
		平均	6.76	6.78	6.73	6.71	6.79	6.76	6.70	6.75	6.77	6.75	6.73	6.75
DO (mg/L)	最大	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
	最小	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	平均	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
MLSS (mg/L)	最大	1,620	1,640	1,520	1,580	1,530	1,520	1,480	1,520	1,710	1,960	1,820	1,650	1,960
	最小	1,460	1,370	1,350	1,350	1,320	1,350	1,290	1,350	1,450	1,750	1,650	1,420	1,290
	平均	1,510	1,500	1,440	1,470	1,450	1,450	1,400	1,440	1,570	1,830	1,730	1,540	1,530
MLVSS (mg/L)	最大	1,300	1,280	1,190	1,290	1,210	1,210	1,190	1,220	1,350	1,600	1,470	1,330	1,600
	最小	1,110	1,060	1,060	1,070	1,040	1,080	1,040	1,070	1,140	1,360	1,320	1,120	1,040
	平均	1,190	1,170	1,130	1,190	1,140	1,160	1,120	1,140	1,250	1,450	1,390	1,220	1,210
MLVSS/MLSS (%)	最大	80.7	78.9	80.6	81.8	80.3	81.7	81.6	81.1	80.7	81.7	82.6	80.8	82.6
	最小	76.0	77.1	77.5	78.8	77.9	78.5	77.3	77.7	76.9	78.0	79.3	77.1	76.0
	平均	78.8	78.0	78.7	80.6	79.2	80.0	79.9	79.4	79.5	79.4	80.4	79.4	79.4
SV30 (%)	ML	最大	21	27	34	36	34	36	34	31	35	38	36	38
		最小	16	18	28	30	30	32	28	25	28	33	32	16
		平均	18	24	31	34	32	34	31	29	32	35	34	30
	RS	最大	91	95	98	98	97	98	98	98	97	98	98	98
		最小	79	83	88	92	87	94	92	89	88	90	94	79
		平均	85	91	95	97	95	97	96	94	94	96	97	94
SVI (mL/g)	ML	最大	130	200	230	250	230	260	240	220	220	200	220	260
		最小	110	120	200	210	210	220	200	190	180	180	190	110
		平均	120	160	220	230	220	240	220	200	200	190	200	200
	RS	最大	260	330	360	360	340	310	290	300	270	240	260	360
		最小	190	200	240	220	220	230	210	200	220	190	150	150
		平均	220	240	270	280	280	260	260	250	250	210	210	250
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.17	0.14	0.15	0.13	0.14	0.16	0.15	0.15	0.18	0.14	0.17	0.18	0.18
	最小	0.13	0.12	0.12	0.10	0.11	0.12	0.12	0.13	0.16	0.08	0.12	0.10	0.08
	平均	0.14	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13	0.14	0.14	0.16	0.12	0.14	0.15	0.14
SR T (日)	平均	8.4	11.5	9.8	9.4	9.8	7.0	7.3	6.4	7.7	9.1	8.6	7.1	8.5

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表3-33 反応タンク試験結果(2)

項 目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均	
酸素利用速度 Rr (mg/L・H)	—	30.3	20.8	19.5	22.8	14.3	19.2	22.6	18.0	20.8	30.0	28.0	25.0	19.3	22.2	16.5	16.6	15.4	16.4	14.2	25.0	18.3	23.9	28.0	19.5	30.3	14.2	21.1	
	ATU	23.7	18.6	18.5	21.8	13.0	14.2	25.6	12.1	16.7	16.2	17.1	17.8	10.7	16.3	12.8	13.0	8.4	13.7	8.5	19.2	15.0	19.4	15.7	15.8	25.6	8.4	16.0	
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・H)	—	17.9	13.7	10.9	15.6	11.2	12.5	15.7	12.0	13.3	30.0	23.2	15.6	13.2	14.0	10.2	10.9	9.6	9.1	7.4	13.0	9.1	12.9	10.5	11.8	30.0	7.4	13.5	
	ATU	14.1	12.2	10.3	15.0	10.2	9.2	17.8	8.1	10.6	11.1	14.1	11.1	7.3	10.2	7.9	8.5	5.2	7.6	4.4	10.0	7.5	10.5	10.0	9.6	17.8	4.4	10.1	
備 考		ATU添加量10mg/L、酸素利用速度係数はMLSSによる。																											

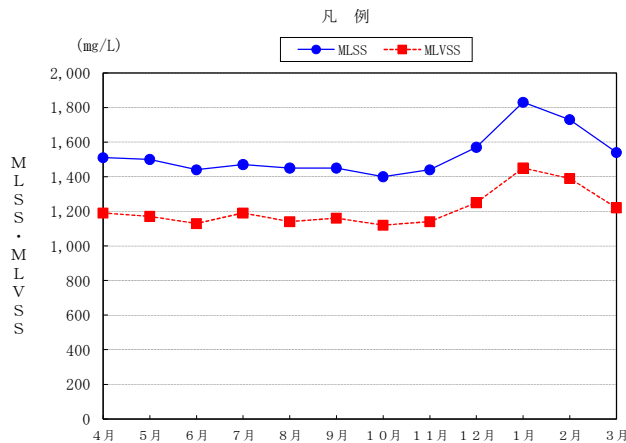


図3-18 反応タンクの管理状況(1)

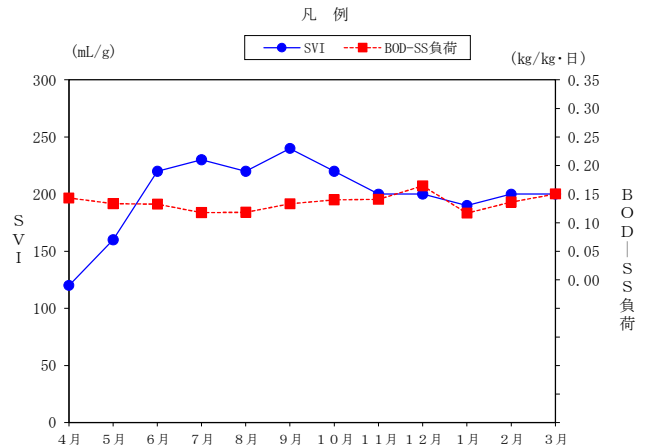


図3-19 反応タンクの管理状況(2)

表 3-34 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分類及び生物名			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	最大	最小	平均		
原生動物	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas		10		10			10					10	0	3		
		植物性	Peranema		80		40								80	0	10		
	繊毛虫類	原口目	Prorodon				10	30	40		30	20	10			40	0	12	
		異毛目	Spirostomum	90	70	70	340	160	170	250	30	150	390	170	10	390	10	158	
			Stentor				10			10						10	0	2	
			Blepharisma					10			10					10	0	2	
			Metopus					10						10		10	0	2	
		膜口目	Uronema			10										10	0	1	
			Colpidium	160	240	440	180	780	330	330	240	190	650	220	130	780	130	324	
			Paramecium				80									80	0	7	
			裸口目	Chilodonella			10								10		10	0	2
		Amphileptus		10	270		50			10	20		10			270	0	31	
		Trachelophyllum					130	50	30	30	60	70	60	30	10	130	0	39	
		Colepus										20				20	0	2	
		Litonotus		270	180	160	20	40	50	250	410	90	100	200	60	410	20	153	
		虫類	下毛目	Aspidisca	200	260	780	410	970	390	120	750	810	890	720	540	970	120	570
	縁毛目		Vorticella	780	480	70	90	110	110	80	390	910	1,550	1,090	1,270	1,550	70	578	
			Epistylis	1,280	1,240		200				270	510	90	1,370	20	1,370	0	415	
			Carchesium								60				60	60	0	10	
			Opercuralia									60			1,220	1,220	0	107	
	吸管虫目		Vaginicola			70		20	30			50				70	0	14	
			Podophrya					10								10	0	1	
			Tokophrya								10	20				20	0	3	
			Acineta	30		10						10		40	10	40	0	8	
			Multifasciculatum	30	20	40	40	20		20			40	80		80	0	24	
			Trochilia											170		170	0	14	
	根足虫類		有殻	Arcella	210	300	1,340	630	560	790	2,330	1,460	1,060	490	40	470	2,330	40	807
				Euglypha					10								10	0	1
				torinama								10					10	0	1
		無殻	Amoeba	20	20	30		80			10	10		90		90	0	22	
Vahlkampfia													10	10	0	1			
後生動物	輪虫類	Lepadella	40	30	100	270	180	260	220	120	330	230	270	110	330	30	180		
		Rotaria					10			10					10	0	2		
	腹毛類	Chaetonotus	40	30	60	120	100	70	150	30	40	70		80	150	0	66		
	線虫類	Diplogaster			10					10			10	10	10	0	3		
その他の生物数			10					20						20	0	3			
総生物数			3,170	3,140	3,290	2,580	3,200	2,290	3,800	3,940	4,350	4,580	4,520	4,010	4,580	2,290	3,573		
活性汚泥生物数			2,710	2,700	2,540	2,250	2,190	1,860	3,190	3,200	3,990	3,770	3,950	3,790	3,990	1,860	3,012		
活性汚泥性生物(%)			85.5	86.0	77.2	87.2	68.4	81.2	83.9	81.2	91.7	82.3	87.4	94.5	94.5	68.4	83.9		

峡東流域下水道

表 3-3 5 流入水及び放流水の経時変化(4/9~4/11)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/9 10:00	4,501	160	720	230	1035	98	441
12:00	4,428	210	930	320	1417	160	708
14:00	3,335	150	500	240	800	90	300
16:00	2,730	130	355	160	437	83	227
18:00	2,687	120	322	170	457	78	210
20:00	3,165	130	411	170	538	87	275
22:00	3,833	160	613	170	652	84	322
4/10 0:00	3,619	160	579	170	615	82	297
2:00	2,576	120	309	140	361	70	180
4:00	1,961	100	196	110	216	59	116
6:00	1,520	72	109	76	116	43	65
8:00	2,237	200	447	310	693	120	268

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/10 10:00	2,616	3.6	9.4	2.0	5.2	10	26.2
12:00	2,628	3.1	8.1	2.8	7.4	10	25.8
14:00	2,872	3.4	9.8	2.8	8.0	10	27.3
16:00	3,008	4.0	12.0	3.2	9.6	10	30.1
18:00	2,583	3.8	9.8	3.3	8.5	10	25.8
20:00	2,226	3.8	8.5	3.2	7.1	11	24.5
22:00	2,649	3.1	8.2	2.7	7.2	10	25.7
4/11 0:00	2,615	2.8	7.3	3.0	7.8	10	26.2
2:00	2,314	3.2	7.4	3.2	7.4	11	25.5
4:00	1,968	3.7	7.3	2.0	3.9	10	19.3
6:00	1,876	2.7	5.1	3.3	6.2	10	18.4
8:00	2,247	2.8	6.3	2.7	6.1	10	22.2

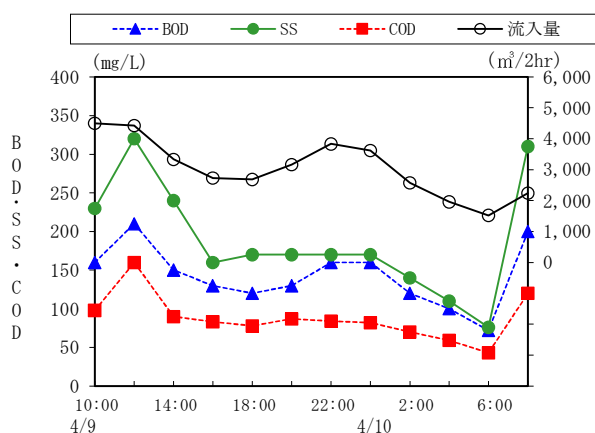


図 3-2 0 流入水濃度の経時変化 (4/9~4/10)

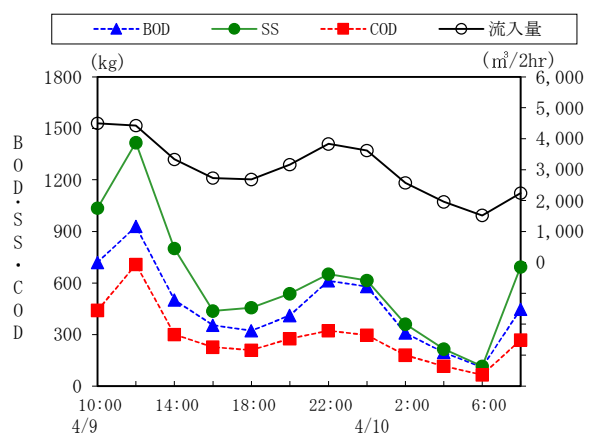


図 3-2 1 流入水負荷量の経時変化 (4/9~4/10)

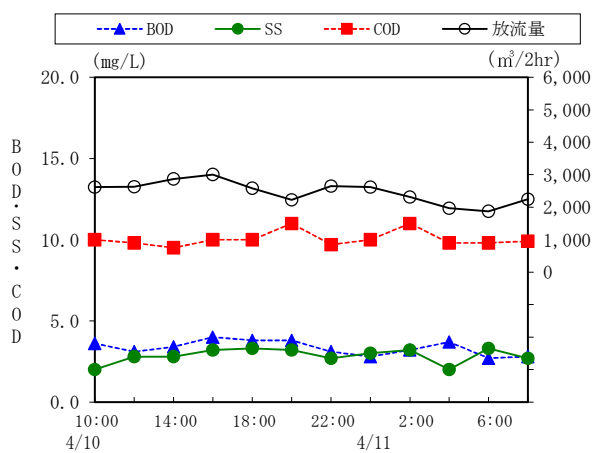


図 3-2 2 放流水濃度の経時変化 (4/10~4/11)

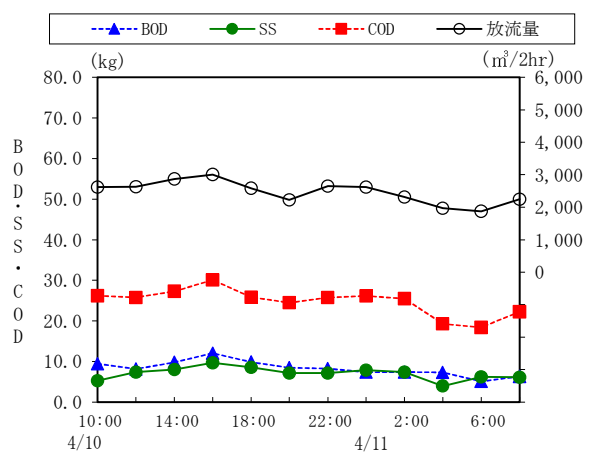


図 3-2 3 放流水負荷量の経時変化 (4/10~4/11)

峡東流域下水道

表 3-3 6 流入水及び放流水の経時変化(8/6～8/8)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/6 10:00	3,585	130	466	170	609	94	337
12:00	3,512	180	632	190	667	97	341
14:00	2,938	140	411	170	499	83	244
16:00	3,306	140	463	150	496	74	245
18:00	5,764	170	980	290	1672	99	571
20:00	3,575	160	572	190	679	78	279
22:00	3,881	140	543	140	543	70	272
8/7 0:00	3,855	140	540	160	617	76	293
2:00	2,664	91	242	120	320	69	184
4:00	2,048	86	176	98	201	50	102
6:00	1,746	78	136	76	133	45	79
8:00	2,513	89	224	100	251	50	126

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/7 10:00	2,967	3.4	10.1	1.7	5.0	10	29.7
12:00	3,142	4.0	12.6	2.3	7.2	11	34.6
14:00	2,772	3.7	10.3	1.5	4.2	10	27.7
16:00	3,064	4.9	15.0	1.3	4.0	8.3	25.4
18:00	2,824	4.6	13.0	1.7	4.8	8.7	24.6
20:00	2,741	4.0	11.0	1.7	4.7	9.1	24.9
22:00	4,118	4.7	19.4	2.0	8.2	9.5	39.1
8/8 0:00	3,390	3.8	12.9	1.5	5.1	9.0	30.5
2:00	4,301	4.5	19.4	2.5	10.8	8.8	37.8
4:00	2,274	4.0	9.1	2.0	4.5	8.5	19.3
6:00	2,571	4.2	10.8	1.8	4.6	8.9	22.9
8:00	2,839	4.2	11.9	2.0	5.7	8.9	25.3

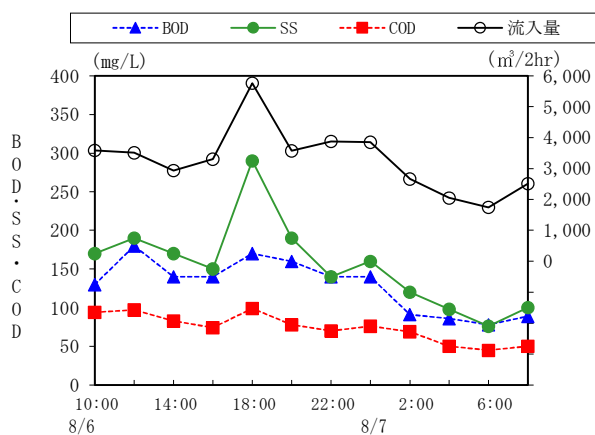


図 3-2 4 流入水濃度の経時変化 (8/6～8/7)

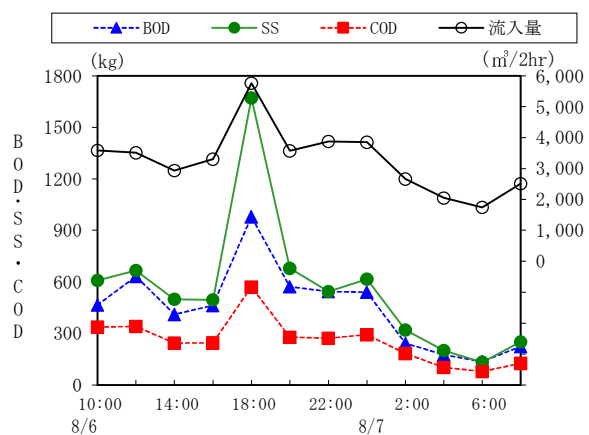


図 3-2 5 流入水負荷量の経時変化 (8/6～8/7)

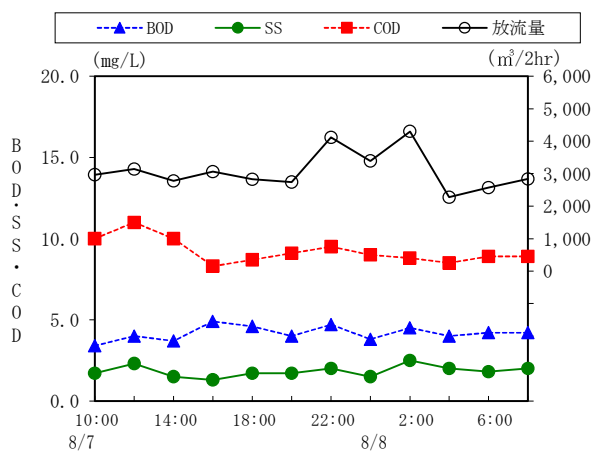


図 3-2 6 放流水濃度の経時変化 (8/7～8/8)

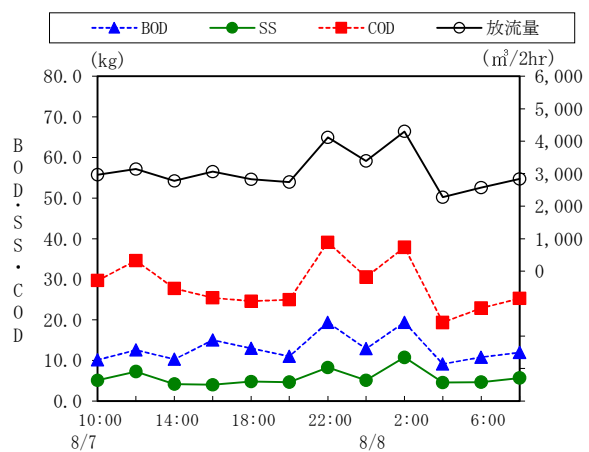


図 3-2 7 放流水負荷量の経時変化 (8/7～8/8)

峡東流域下水道

表 3-3 7 流入水及び放流水の経時変化(11/12~11/14)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	3,415	150	512	170	581	82	280
12:00	3,609	170	614	210	758	98	354
14:00	2,834	140	397	170	482	83	235
16:00	2,560	130	333	150	384	74	189
18:00	2,647	120	318	150	397	69	183
20:00	3,067	140	429	170	521	77	236
22:00	3,560	150	534	170	605	78	278
11/13 0:00	3,404	140	477	150	511	76	259
2:00	2,394	120	287	140	335	68	163
4:00	1,742	100	174	93	162	49	85
6:00	1,366	76	104	68	93	41	56
8:00	2,155	78	168	97	209	54	116

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/13 10:00	2,761	3.1	8.6	2.2	6.1	8.1	22.4
12:00	3,003	4.0	12.0	2.3	6.9	8.7	26.1
14:00	3,016	3.8	11.5	2.5	7.5	8.6	25.9
16:00	2,859	3.8	10.9	2.7	7.7	8.5	24.3
18:00	2,410	3.0	7.2	2.3	5.5	9.4	22.7
20:00	2,675	2.0	5.4	3.0	8.0	9.0	24.1
22:00	2,655	3.7	9.8	2.7	7.2	9.2	24.4
11/14 0:00	2,545	3.6	9.2	2.8	7.1	10	25.2
2:00	2,696	2.9	7.8	3.2	8.6	10	26.2
4:00	2,450	2.9	7.1	3.2	7.8	10	23.8
6:00	1,878	2.9	5.4	3.3	6.2	9.4	17.7
8:00	1,915	2.5	4.8	2.7	5.2	9.1	17.4

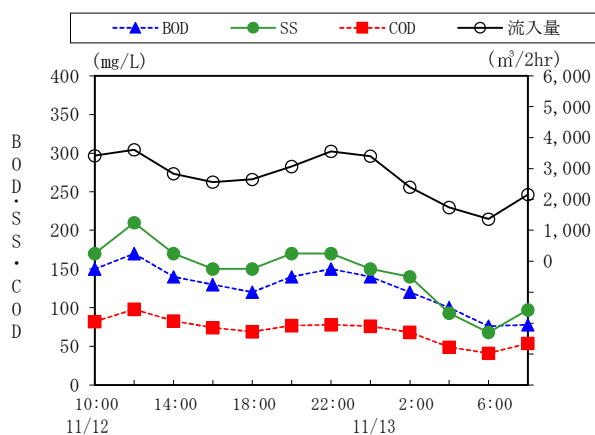


図 3-2 8 流入水濃度の経時変化 (11/12~11/13)

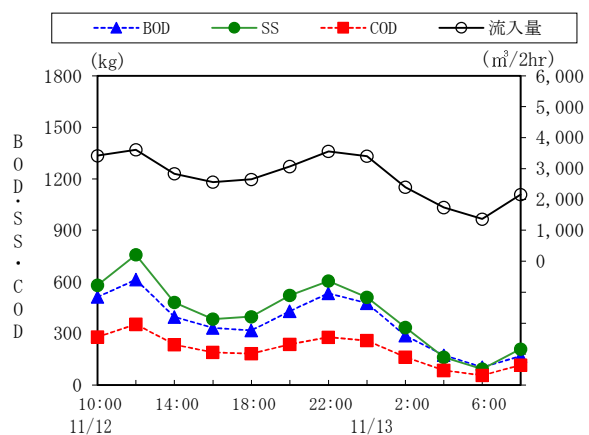


図 3-2 9 流入水負荷量の経時変化 (11/12~11/13)

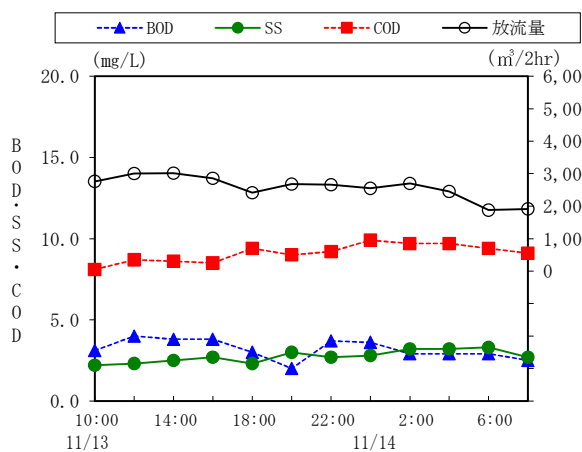


図 3-3 0 放流水濃度の経時変化 (11/13~11/14)

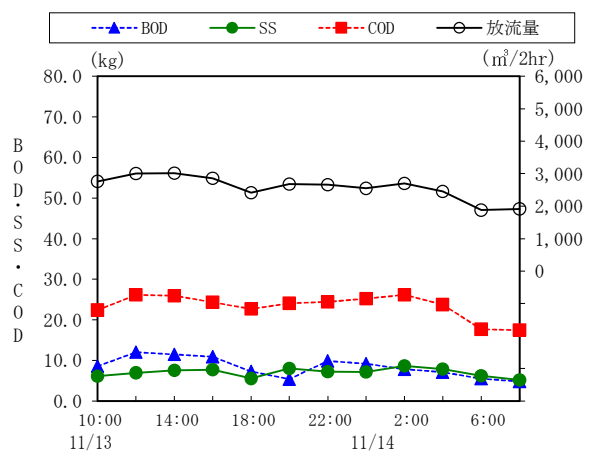


図 3-3 1 放流水負荷量の経時変化 (11/13~11/14)

峡東流域下水道

表 3-3 8 流入水及び放流水の経時変化(2/18~2/20)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/18 10:00	3,166	180	570	220	697	100	317
12:00	3,242	250	811	320	1037	130	421
14:00	2,621	180	472	220	577	100	262
16:00	2,420	170	411	170	411	94	227
18:00	2,421	180	436	200	484	92	223
20:00	2,989	200	598	190	568	91	272
22:00	3,446	170	586	200	689	96	331
2/19 0:00	3,416	190	649	190	649	86	294
2:00	2,292	140	321	150	344	72	165
4:00	1,651	95	157	110	182	55	91
6:00	1,311	84	110	83	109	50	66
8:00	1,694	140	237	130	220	94	159

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/19 10:00	2,056	4.0	8.2	2.3	4.7	9.3	19.1
12:00	2,970	3.9	11.6	3.3	9.8	9.1	27.0
14:00	2,856	3.7	10.6	3.2	9.1	9.0	25.7
16:00	2,278	3.3	7.5	3.0	6.8	9.3	21.2
18:00	2,333	3.2	7.5	2.2	5.1	9.3	21.7
20:00	2,240	2.9	6.5	2.7	6.0	9.4	21.1
22:00	2,367	3.0	7.1	2.8	6.6	9.2	21.8
2/20 0:00	2,223	2.9	6.4	3.3	7.3	9.4	20.9
2:00	2,206	2.7	6.0	3.0	6.6	9.4	20.7
4:00	1,890	2.7	5.1	3.2	6.0	9.4	17.8
6:00	1,813	2.7	4.9	2.5	4.5	9.4	17.0
8:00	2,007	3.2	6.4	2.8	5.6	8.9	17.9

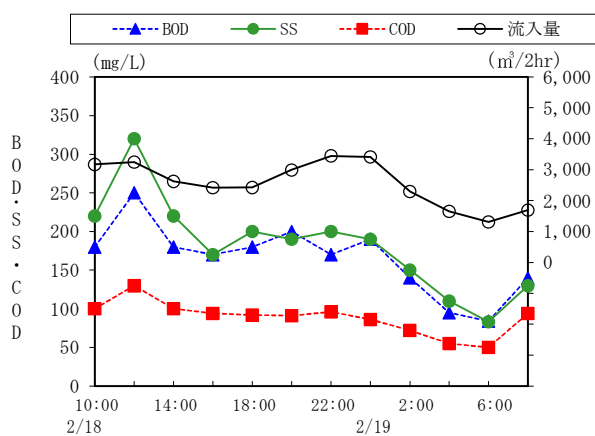


図 3-3 2 流入水濃度の経時変化 (2/18~2/19)

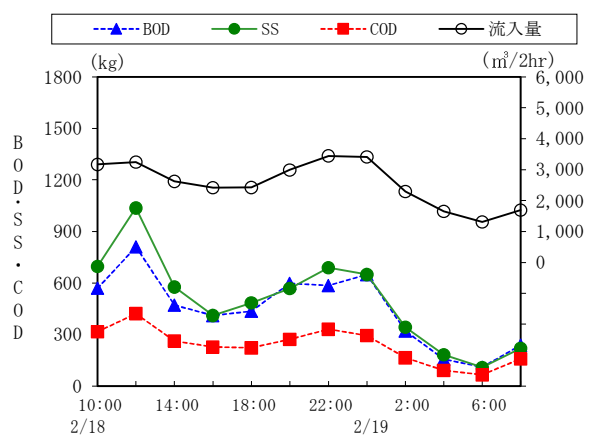


図 3-3 3 流入水負荷量の経時変化 (2/18~2/19)

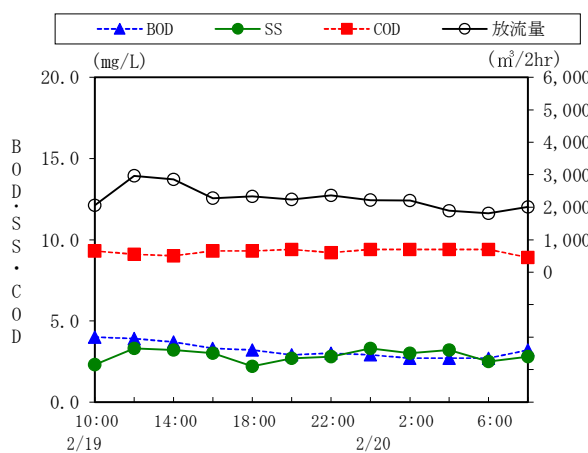


図 3-3 4 放流水濃度の経時変化 (2/19~2/20)

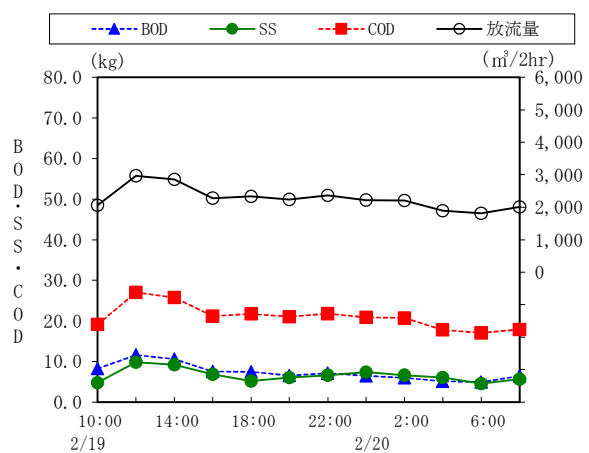


図 3-3 5 放流水負荷量の経時変化 (2/19~2/20)

表 3－3 9 污泥处理运转状况

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生 污 泥	固 形 分 (%)	1.08	0.54	0.50	0.48	0.46	0.42	0.42	0.43	0.44	0.43	0.42	0.41	1.08	0.41	0.50	—
	引 拔 量 (m³)	12,301	25,462	27,229	27,344	28,567	28,185	29,788	28,740	29,660	29,682	26,700	29,504	29,788	12,301	26,930	323,162
	固形物量 (kg)	133,279	138,482	136,122	131,290	130,724	118,766	126,242	124,238	129,524	126,352	111,028	122,125	138,482	111,028	127,348	1,528,172
重縮 力汚 濃泥	固 形 分 (%)	2.41	2.49	2.47	2.27	2.11	2.35	2.35	2.46	2.76	2.88	2.58	2.75	2.88	2.11	2.49	—
	引 拔 量 (m³)	4,837.5	4,883.0	4,782.9	5,066.2	5,029.7	4,296.2	4,367.4	3,874.7	4,050.3	3,835.5	3,605.7	3,529.8	5,066.2	3,529.8	4,346.6	52,158.9
	固形物量 (kg)	116,415	121,723	118,111	115,115	106,319	101,008	102,447	95,416	111,939	110,626	93,033	97,194	121,723	93,033	107,446	1,289,347
余 剩 汚 泥	固 形 分 (%)	0.39	0.40	0.37	0.37	0.39	0.41	0.36	0.40	0.39	0.46	0.46	0.36	0.46	0.36	0.40	—
	引 拔 量 (m³)	18,022	16,287	15,910	16,992	16,797	16,360	15,661	15,454	16,074	13,796	13,283	18,315	18,315	13,283	16,079	192,951
	固形物量 (kg)	69,544	64,922	59,008	62,576	66,289	66,583	56,806	61,278	62,731	63,950	61,395	66,004	69,544	56,806	63,424	761,087
機縮 械汚 濃泥	固 形 分 (%)	4.21	4.33	3.84	4.22	3.91	4.25	4.12	4.14	4.04	4.02	4.21	4.15	4.33	3.84	4.12	—
	引 拔 量 (m³)	1,515.1	1,406.2	1,431.8	1,364.6	1,534.7	1,323.4	1,269.3	1,290.0	1,454.3	1,486.7	1,290.7	1,452.1	1,534.7	1,269.3	1,401.6	16,818.9
	固形物量 (kg)	63,767	60,904	54,954	57,575	60,031	56,208	52,345	53,346	58,784	59,765	54,320	60,271	63,767	52,345	57,689	692,270
高 分 子 凝 集 剤	濃 度 (%)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	—
	供 給 量 (m³)	122.04	144.88	153.69	193.78	220.33	192.64	159.92	199.54	200.90	195.35	186.34	169.40	220.33	122.04	178.23	2,138.80
	薬注率(%)No.3濃縮機	0.39	0.45	0.45	0.55	0.64	0.41	0.33	0.37	0.43	0.38	0.40	0.39	0.64	0.33	0.43	—
脱 水 機	固 形 分 (%)	2.98	3.05	2.97	2.84	2.72	2.94	2.85	3.04	3.16	3.36	3.21	3.32	3.36	2.72	3.04	—
	供 給 量 (m³)	6,045.3	5,985.2	5,831.4	6,072.3	6,122.2	5,349.5	5,425.0	4,889.7	5,394.6	5,074.9	4,592.7	4,739.6	6,122.2	4,592.7	5,460.2	65,522.4
	固形物量 (kg)	180,182	182,627	173,065	172,690	166,350	157,216	154,792	148,762	170,723	170,391	147,353	157,465	182,627	147,353	165,135	1,981,617
高 分 子 凝 集 剤	濃 度 (%)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	—
	供 給 量 (m³)	701.27	637.46	571.10	635.17	618.15	593.18	546.89	541.18	698.23	666.18	558.32	552.74	701.27	541.18	609.99	7,319.87
	薬注率(%)No.1脱水機	1.16	1.05	0.99	1.10	1.12	1.13	1.06	1.08	1.18	1.16	1.11	1.05	1.18	0.99	1.10	—
	薬注率(%)No.3脱水機	1.25	1.10	1.05	1.14	1.08	1.01	1.11	1.14	1.24	1.20	1.21	1.14	1.25	1.01	1.14	—
	薬注率(%)No.4脱水機	—	—	—	—	—	1.16	—	1.09	1.30	1.19	—	—	1.30	1.09	1.19	—
脱 水 ケ ー キ	含 水 率 (%)	74.5	74.4	73.9	74.5	74.0	74.3	73.1	73.9	75.0	74.9	75.0	74.5	75.0	73.1	74.3	—
	ケーキ量(t)	652.12	652.86	612.02	622.15	585.27	563.85	539.41	549.73	639.41	626.78	576.20	602.24	652.86	539.41	601.84	7,222.04
	固形物量 (kg)	166,291	167,132	159,737	158,648	152,170	144,909	145,101	143,480	159,853	157,322	144,050	153,571	167,132	143,480	154,355	1,852,264

表 3 - 4 0 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.03	5.17	5.17	4.95	5.14	4.95	5.01	5.21	5.41	5.49	5.61	5.29	5.61	4.95	5.20
		固形分 (%)	2.68	2.82	2.90	2.33	2.49	2.72	2.87	2.96	3.05	3.11	3.02	3.52	3.52	2.33	2.87
		有機分 (%)	91.4	89.4	90.4	90.4	91.0	90.7	90.4	91.8	91.0	91.8	92.2	92.2	92.2	89.4	91.1
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.28	5.93	5.95	5.81	5.87	5.92	5.66	5.90	5.93	5.90	6.08	5.78	6.28	5.66	5.92
		固形分 (%)	4.48	4.28	3.83	4.25	4.02	4.40	4.27	4.12	4.23	4.42	4.60	4.87	4.87	3.83	4.31
		有機分 (%)	78.8	78.2	77.8	79.9	79.1	79.9	80.3	78.7	79.2	79.3	79.9	78.4	80.3	77.8	79.1
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	5.31	5.29	5.31	5.78	5.24	5.04	5.46	5.24	5.28	5.68	5.93	5.09	5.93	5.04	5.39
		固形分 (%)	3.23	3.03	3.03	2.85	2.58	3.05	2.99	3.11	3.19	3.49	3.44	3.31	3.49	2.58	3.11
		有機分 (%)	86.7	85.3	85.9	86.9	87.7	86.7	86.8	86.7	87.2	86.8	87.8	85.9	87.8	85.3	86.7
	脱水ケーキ	含水率 (%)	74.7	74.8	74.8	74.7	73.3	75.1	74.1	73.1	75.2	73.9	74.5	74.4	75.2	73.1	74.4
		有機分 (%)	91.5	90.5	90.5	91.5	91.8	91.2	91.3	91.3	92.1	91.8	92.2	91.8	92.2	90.5	91.5
汚泥返流水試験	重力分離濃縮	水素イオン濃度	6.09	6.41	6.35	6.30	6.28	6.24	6.33	6.16	6.29	6.53	6.55	6.43	6.55	6.09	6.33
		アルカリ度 (mg/L)	157	136	141	156	132	152	152	149	142	146	128	139	157	128	144
		浮遊物質 (mg/L)	240	160	160	190	180	130	140	140	190	130	130	160	240	130	160
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	470	330	310	360	280	320	310	330	300	260	210	300	470	210	320
		化学的酸素要求量 (mg/L)	160	120	120	120	96	110	100	110	120	110	84	120	160	84	110
	機械分離濃縮	水素イオン濃度	7.16	7.27	7.29	7.01	7.20	7.21	7.04	7.07	7.02	7.12	6.95	7.19	7.29	6.95	7.13
		アルカリ度 (mg/L)	380	140	130	130	110	120	110	130	130	130	130	140	380	110	148
		浮遊物質 (mg/L)	740	220	190	240	250	380	230	540	900	250	630	470	900	190	420
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	380	130	160	230	210	290	290	340	580	210	420	290	580	130	290
		化学的酸素要求量 (mg/L)	230	77	70	86	68	120	99	140	230	100	180	150	230	68	130
	脱水分離濃縮	水素イオン濃度	5.20	6.04	5.41	5.20	5.12	5.18	5.26	5.04	5.26	5.81	5.45	5.29	6.04	5.04	5.36
		アルカリ度 (mg/L)	530	230	290	320	270	310	330	460	270	310	190	320	530	190	319
		浮遊物質 (mg/L)	650	300	360	650	500	340	440	790	1,400	580	450	430	1,400	300	570
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	2,200	1,500	1,600	1,000	1,500	1,600	1,500	2,600	1,600	1,500	1,400	3,000	3,000	1,000	1,800
		化学的酸素要求量 (mg/L)	600	370	420	330	380	450	380	860	1,900	500	420	800	1,900	330	620

表 3－4 1 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機燐化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	0.013	0.054	0.013	0.053	0.054	0.013	0.033
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.49	0.29	0.25	0.29	0.49	0.25	0.33
鉄	mg/L	2.7	2.3	2.9	0.45	2.9	0.45	2.1
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	0.13	<0.10	0.13	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 3－4 2 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.41	0.39	0.33	0.29	0.41	0.29	0.36
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	6.9	4.0	3.5	3.1	6.9	3.1	4.4
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	8.4	9.1	9.5	7.2	9.5	7.2	8.6
水銀	mg/kg	0.08	0.13	0.11	0.10	0.13	0.08	0.11
銅	mg/kg	110	120	100	110	120	100	110
ニッケル	mg/kg	10	8.0	8.5	16	16	8.0	11
亜鉛	mg/kg	580	850	650	400	850	400	620
鉄	mg/kg	1,500	1,200	1,600	1,400	1,600	1,200	1,400
マンガン	mg/kg	31	36	41	35	41	31	36
クロム	mg/kg	8.7	7.9	15	7.4	15	7.4	9.8

項 目		単 位	4/11	5/22	6/13	7/3	8/14	9/18	10/16	11/14	12/25	1/22	2/19	3/13	最大	最小	平均
一 般	採水時刻		9:25	9:45	9:45	9:30	9:45	9:45	9:55	9:40	9:45	9:25	9:35	9:40	—	—	—
	水温	℃	10.5	17.5	18.0	20.5	25.0	24.0	17.0	14.5	4.5	6.0	4.0	12.0	25.0	4.0	14.5
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
生 活 環 境 項 目	水素イオン濃度	—	7.26	7.18	7.37	7.29	7.72	7.58	7.29	7.39	7.22	7.27	7.15	7.24	7.72	7.15	7.33
	溶存酸素量	mg/L	11	9.1	9.0	8.7	8.3	8.6	9.2	9.8	12	12	12	9.7	12	8.3	10
	生物化学的酸素要求量	mg/L	1.1	1.3	1.3	1.1	1.6	1.7	1.0	0.9	1.4	1.5	2.0	1.8	2.0	0.9	1.4
	化学的酸素要求量	mg/L	2.7	3.0	2.4	2.6	3.1	3.0	2.3	2.4	2.1	2.4	2.8	3.9	3.9	2.1	2.7
	浮遊物質質量	mg/L	7.9	8.8	5.0	5.8	6.8	8.3	3.3	4.4	2.1	2.0	2.6	8.2	8.8	2.0	5.4
	大腸菌群数	個/cm ³	5	6	6	7	13	21	7	21	2	1	0	4	21	0	8
	窒素含有量	mg/L	1.70	1.68	1.39	1.49	1.47	1.58	1.77	1.89	2.07	2.52	3.03	2.39	3.03	1.39	1.92
特 殊 項 目	磷含有量	mg/L	<0.06	0.08	<0.06	0.09	0.07	<0.06	<0.06	0.10	0.06	0.07	0.14	0.09	0.14	<0.06	<0.06
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	0.32	0.37	0.46	0.23	0.41	0.35	0.32	0.44	0.59	0.88	1.43	0.79	1.43	0.23	0.55
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	0.03	<0.02	0.03	0.02	0.05	0.03	0.03	0.05	0.05	0.05	0.05	<0.02	0.03
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.24	1.12	0.90	1.05	0.92	0.97	1.18	1.37	1.37	1.40	1.39	1.31	1.40	0.90	1.19
目	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	0.05	<0.05	<0.05	0.08	<0.05	<0.05	0.11	<0.05	0.11	<0.05	<0.05

[illegible]

表 3－4 5 臭気測定結果

項 目	敷地境界		規 制 値
	令和6年8月20日	令和7年2月21日	
採取年月日	令和6年8月20日	令和7年2月21日	規 制 値
採取時刻	9:43	10:13	
臭気指数	<10	<10	13

IV 釜無川流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

釜無川流域下水道は、平成5年4月の供用開始より32年目を迎えている。

全体計画処理水量は143,380 m³/日、事業計画水量は128,749 m³/日(水洗化水量は91,644 m³/日)であり、幹線は77.0 kmが供用開始となっている。移管予定幹線を除いた管理延長は76.4 kmである。

供用開始区域内の面積は5,659.71ha、人口は183,615人となっており、流入下水量は令和6年度平均で53,027 m³/日である。

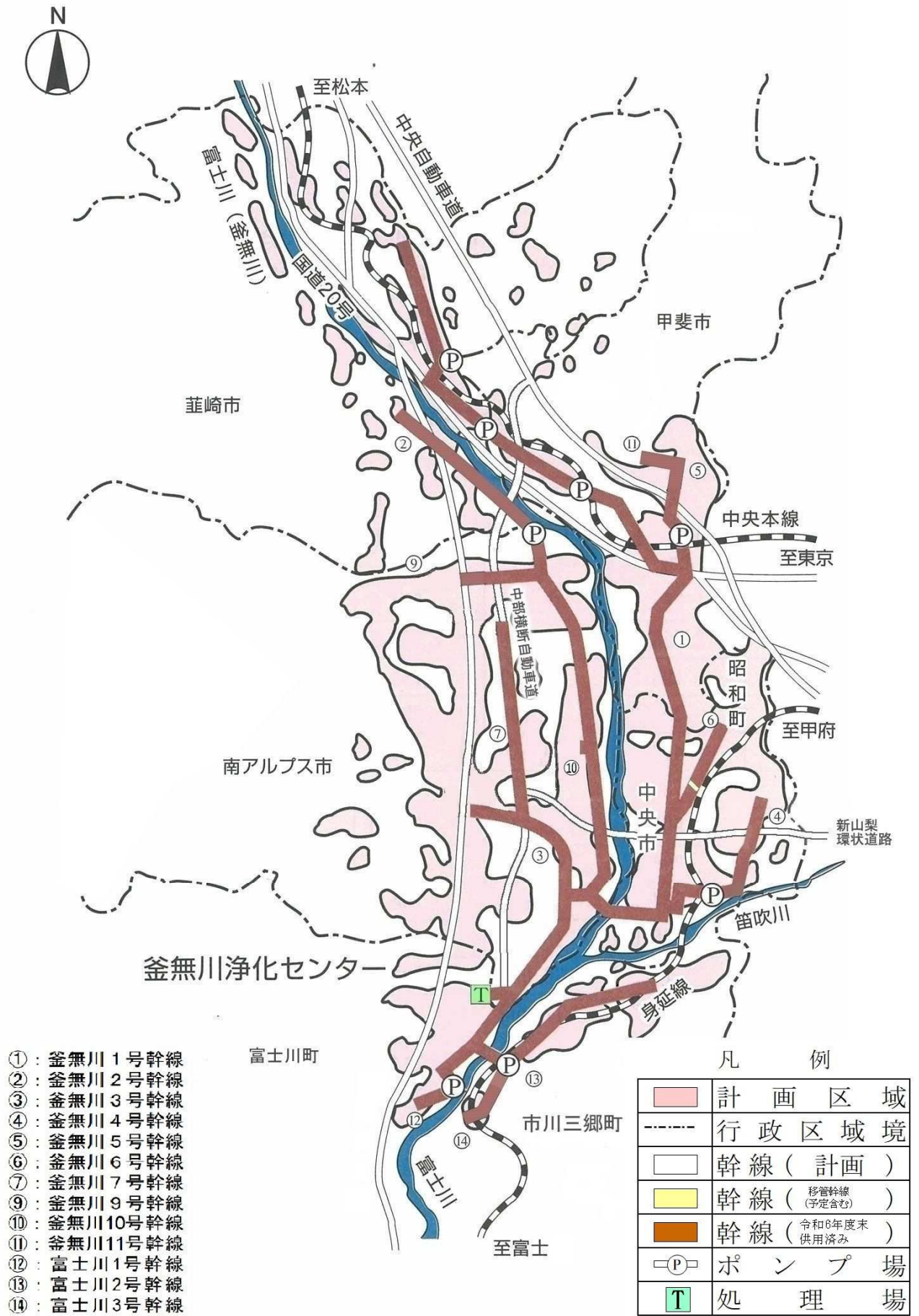
釜無川流域下水道の全体計画及び現況を表4-1に、釜無川流域下水道事業計画図を図4-1に、関連公共下水道市別水洗化状況を表4-2に、市別流入下水量を表4-3に示す。

表4-1 全体計画及び現況

市町村名 項 目	全体計画 (計画年次:昭和61年～令和17年)		事業計画 (計画年次:昭和61年～令和6年)		供用開始区域	
	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
韭 崎 市	1,254.6	21,800	1,018.8	19,700	864.72	18,913
南アルプス市	2,434.1	55,510	1,830.9	45,730	1,486.50	43,340
甲 斐 市	1,789.3	67,340	1,583.7	61,390	1,323.59	60,066
中 央 市	852.6	28,470	694.6	24,560	617.55	22,047
市 川 三 郷 町	520.2	9,810	513.2	11,340	427.17	10,464
富 士 川 町	528.1	10,030	504.1	11,080	426.67	11,300
昭 和 町	659.2	20,130	655.5	17,910	513.51	17,485
合 計	8,047.1	213,090	6,800.8	191,710	5,659.71	183,615
計画処理水量 (日最大)	143,380 m ³ ／日		128,749 m ³ ／日 (水洗化水量 91,644 m ³ ／日)		—	
下水排除方式	分流式					
処 理 方 式	標準活性汚泥法					
幹 線 延 長	77.0 km		77.0 km		管理延長 76.4 km	
ポンプ場数	8 箇所		8 箇所		8 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和7年4月1日現在の値を示す。

※供用開始区域の幹線延長は、県への管理移管を計画している公共管を含まない。



※釜無川 6 号幹線の一部は昭和町から移管予定である。

図4-1 釜無川流域下水道事業計画図

表 4－2 関連公共下水道市町別水洗化状況

市町名	項目	令和 6 年 度 末			普及率 B/A (%)	水洗化率 C/B (%)	接続戸数 累計 (戸)
		行政人口	処理区域 内人口	水洗化人口			
		A (人)	B (人)	C (人)			
韭 崎 市		27,685	18,913	17,805	68.3	94.1	8,114
南アルプス市		71,670	43,340	38,155	60.5	88.0	13,549
甲 斐 市		76,034	60,066	53,335	79.0	88.8	26,143
中 央 市		30,459	22,047	19,733	72.4	89.5	9,177
市川三郷町		11,944	10,464	9,070	87.6	86.7	3,979
富 士 川 町		13,839	11,300	10,480	81.7	92.7	4,592
昭 和 町		18,691	17,485	16,751	93.5	95.8	7,530
計		250,322	183,615	165,329	73.4	90.0	73,084

注1) 行政人口は、令和 7 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 7 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 市川三郷町の行政人口については、旧六郷町行政人口分を除いた人口を示す。

注4) 昭和町の行政人口については、甲府市公共下水道処理区域分を除いた人口を示す。

表 4－3 市町別流入下水量

(単位：m³)

市町名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
菰崎市	166, 718	178, 287	200, 182	201, 430	213, 305	181, 567	176, 296	167, 534	167, 728	163, 444	148, 500	166, 464	2, 131, 455	177, 621
南アルプス市	347, 941	359, 223	363, 109	377, 777	380, 631	364, 637	372, 280	364, 616	363, 065	350, 137	312, 113	348, 665	4, 304, 194	358, 683
甲斐市	475, 030	492, 399	515, 791	543, 232	539, 811	504, 619	520, 208	496, 647	494, 876	486, 253	424, 716	476, 032	5, 969, 614	497, 468
中央市	184, 594	202, 589	211, 385	217, 859	212, 986	205, 137	210, 118	206, 567	208, 038	198, 623	178, 223	200, 192	2, 436, 311	203, 026
市川三郷町	91, 336	95, 261	102, 965	102, 310	102, 279	94, 223	95, 283	91, 387	90, 195	88, 163	77, 794	89, 314	1, 120, 510	93, 376
富士川町	107, 999	113, 278	117, 653	124, 101	124, 744	114, 434	123, 477	116, 297	111, 359	107, 542	115, 737	112, 059	1, 388, 680	115, 723
昭和町	160, 564	168, 182	169, 376	176, 220	176, 939	167, 285	170, 947	165, 890	167, 724	164, 458	151, 161	165, 263	2, 004, 009	167, 001
合 計	1, 534, 182	1, 609, 219	1, 680, 461	1, 742, 929	1, 750, 695	1, 631, 902	1, 668, 609	1, 608, 938	1, 602, 985	1, 558, 620	1, 408, 244	1, 557, 989	19, 354, 773	1, 612, 898
日平均	51, 139	51, 910	56, 015	56, 224	56, 474	54, 397	53, 826	53, 631	51, 709	50, 278	50, 294	50, 258	年間日平均	53, 027

(2) 施設整備状況

施設整備状況については、令和 7 年 3 月までに釜無川浄化センターにおける 1 系最初沈殿池設備が更新され、供用開始している。

令和 6 年度末の状況については、以下のとおりである。

①釜無川浄化センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池 4 / 7 池、反応タンク 8 / 14 池、最終沈殿池 4 / 7 池となっており、処理能力は 74,000 m³/日である。

釜無川浄化センターの全体平面図を図 4-2 に、フローシートを図 4-3 に、建築構造物概要を表 4-4 に、水処理機械設備概要を表 4-5 に、汚泥処理機械設備概要を表 4-6 に、電気設備概要を表 4-7 に、単線結線図を図 4-4 に、システム系統図を図 4-5 に示す。

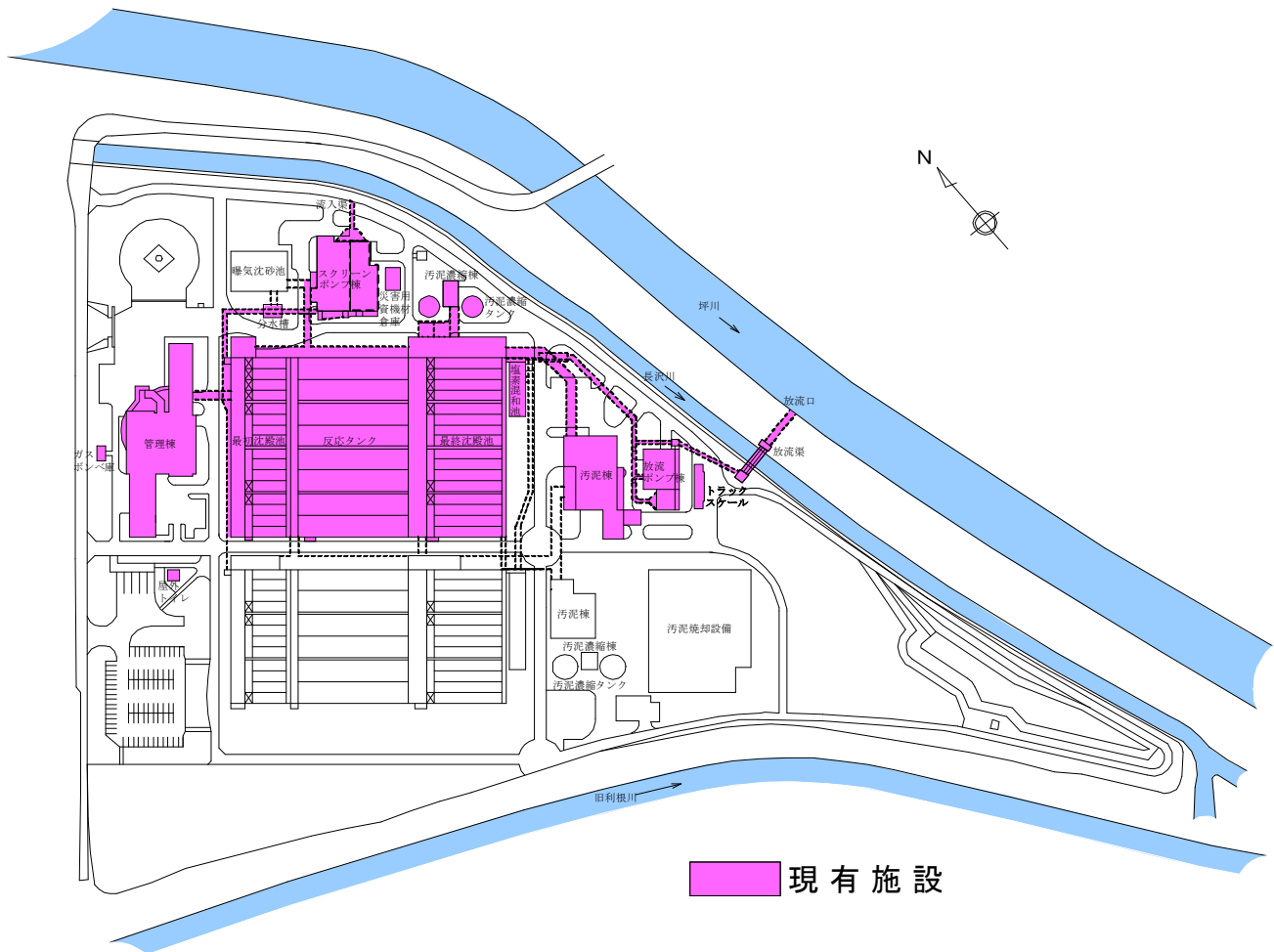


図 4-2 釜無川浄化センター全体平面図

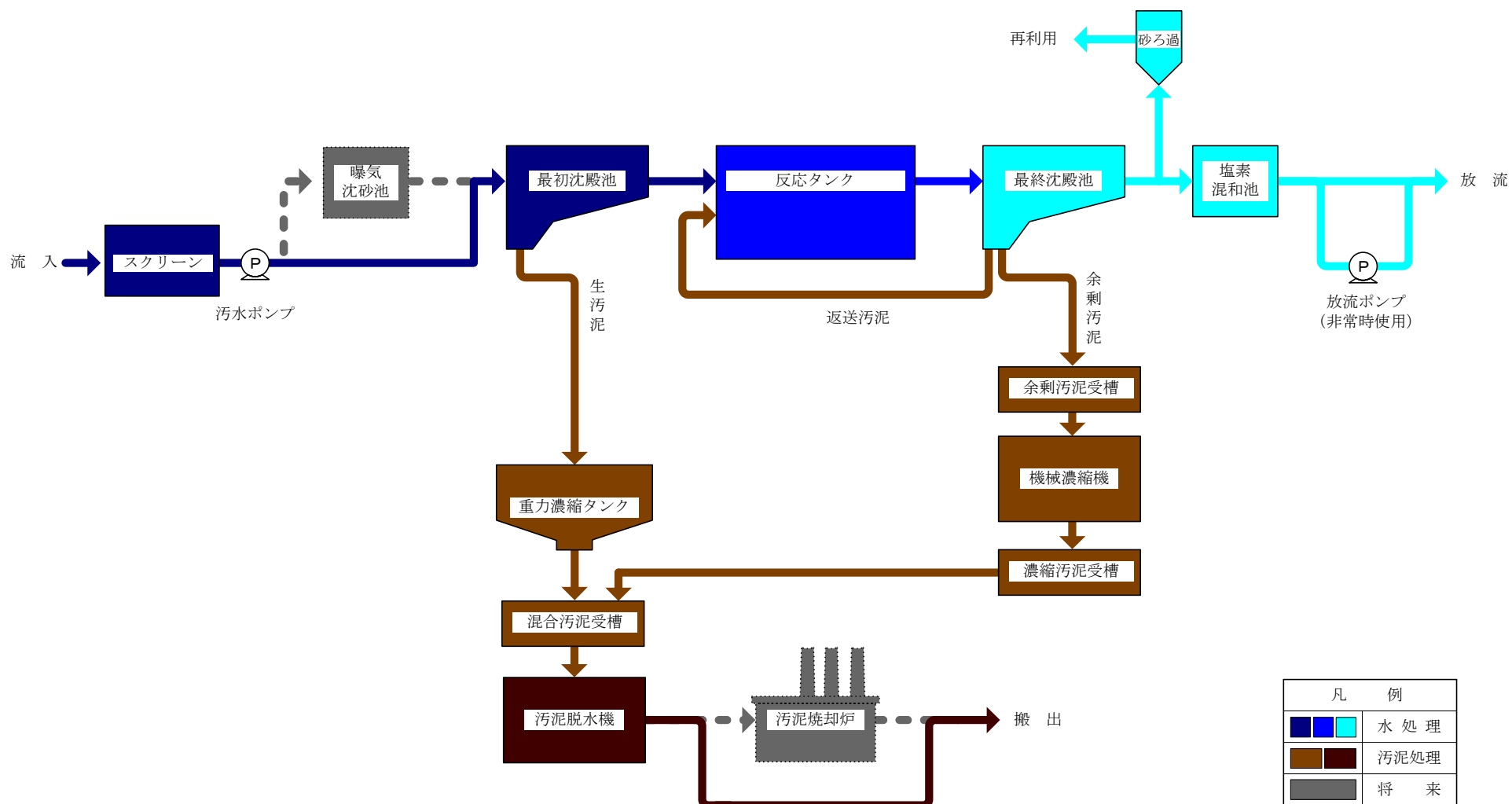


図 4 - 3 釜無川浄化センターフローシート

表 4 - 4 釜無川浄化センター建築構造物概要

項目 施設	構 造 及 び 概 要
管 理 本 館	R C 造 地下1階、地上3階 建築面積 2,184㎡ 延床面積 3,866㎡ ブロー室、自家発電機室、電気室、水質試験室、監視室、事務室、会議室、その他
ス ク リ ー ン ポ ン プ 棟	R C 造 地下2階、地上2階 建築面積 914㎡ 延床面積 2,694㎡ スクリーン機械室、ポンプ室、ポンプモーター室、脱臭機室、し渣搬出室、電気室 その他
最 初 沈 殿 池 電 気 室	R C 造 地下1階、地上2階 建築面積 156㎡ 延床面積 285㎡ 電気室、その他
最 終 沈 殿 池 搬 入 室	R C 造 地下1階、地上1階 建築面積 103㎡ 延床面積 117㎡ 搬入室、その他
最 終 沈 殿 池 電 気 室	R C 造 地下1階、地上1階 建築面積 281㎡ 延床面積 264㎡ 電気室、次亜塩注入室、その他
放流ポンプ棟	R C 造 地下1階、地上1階 建築面積 378㎡ 延床面積 370㎡ ポンプ室、電気室、その他
汚 泥 濃 縮 棟	R C 造 地下1階、地上2階 建築面積 106㎡ 延床面積 263㎡ 脱臭機室、換気ファン室、排気ファン室、ポンプ室、スクリーン室、搬出室、その他
汚 泥 棟	R C 造 地下1階、地上2階 建築面積 1,304㎡ 延床面積 3,251㎡ ポンプ室、電気室、薬品注入室、脱臭機室、濃縮機室、搬出室、監視室、脱水機室、 生物脱臭室、その他

表 4-5 釜無川浄化センター水処理機械設備概要

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
スクリーン ポンプ設備	幅 2 m×深 約 1 m×長 18.9 m (1 水路当たり)	2 水路
	スクリーン水路流入ゲート (角形外ネジ式鋳鉄製)	2 門
	幅 1.2 m×高 1.2 m×3.7 kW	
	水中サンドポンプ (揚砂用)	1 台
	φ 100/φ 80×0.5 m ³ /min×15 m×5.5 kW	
	粗目スクリーン (手掻き)	2 基
	幅 2 m×据付高 4 m×目幅 100 mm	
	細目スクリーン	2 基
	水路幅 2 m×目幅 20 mm	
	細目スクリーン自動除塵機 (回転アーム式間欠式自動除塵機)	2 基
	幅 2 m×深 4 m×1.5 kW	
	No.1 スクリーンかす搬出機 (トラフ形ベルトコンベヤ)	1 台
	幅 600 mm×長 12.3 m 輸送量 29 m ³ /h×20.5 m/min×1.5 kW	
	機上用スクリーンかす搬出機 (トラフ形ベルトコンベヤ)	1 台
	幅 600 mm×長 4.1 m×0.8 m 輸送量 29 m ³ /h×20.5 m/min×1.5 kW	
	沈砂・し渣混合洗浄装置 (横軸型側面攪拌式)	1 基
	処理能力 2 m ³ /h×槽寸法 1.2 m×2 m×1.5 m	
	初沈スカム分離機 (回転ドラム式スクリーン)	1 基
	2.8 m ³ /min ×1.5 kW	
分水槽設備	No.2 スクリーンかす搬出機 (トラフ形ベルトコンベヤ)	1 台
	幅 600 mm×長 12.9 m×2.2 m 輸送量 29 m ³ /h×20.5 m/min ×1.5 kW	
	スクリーンかす脱水機 (スクリュープレス式)	1 基
	2 t/h×7.5 kW+0.4 kW	
	No.3 スクリーンかす搬出機 (ワイヤーロープ式スキップホイスト)	1 基
	0.2 m ³ ×2.2 kW	
	スクリーンかすホッパー (角形電動開閉式)	1 基
	容量 7 m ³ ×1.5 kW×2	
	ポンプ井水中攪拌機 (フリクト水中ミキサー)	2 台
	9 m ³ /min×2 kW 攪拌能力 100 m ³	
最初沈殿池 設備	汚水ポンプ (立軸渦巻斜流ポンプ)	2 台
	φ 400×21 m ³ /min×17.5 m×90 kW	
	φ 600×41 m ³ /min×16.5 m×160 kW	2 台 (予備 1 台)
	幅 6.8 m×長 7.5 m×深 約 4.05 m 約 206.55 m ³	1 槽
	分配槽可動堰 (鋳鉄製外ネジ式可動堰)	
	幅 0.8 m×高 0.8 m (ストローク) 0.8 m	4 門
	幅 1.0 m×高 0.8 m (ストローク) 0.8 m	1 門
	幅 5 m×長 19 m×深 3 m×4 水路 1,140 m ³ (1 池当たり)	4 池
	初沈污泥掻寄機 (チェーンフライト式 (ノッチ式))	4 基
	幅 5.0 m×機長 14.7 m×0.61 m/min×0.4 kW (1 水路 1 駆動)	
最初沈殿池 設備	初沈污泥掻寄機 (メイン) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ)	
	幅 5.0 m×2×機長 14.65 m×0.6 m/min×0.75 kW (2 水路 1 駆動)	2 基
	幅 5.0 m×2×機長 14.5 m×0.6 m/min×0.75 kW (2 水路 1 駆動)	4 基
	初沈污泥掻寄機 (クロス) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ)	
	幅 3.7 m×機長 15.85 m×0.6 m/min×0.4 kW (1 水路 1 駆動)	1 基
	幅 3.7 m×機長 15.7 m×0.6 m/min×0.4 kW (1 水路 1 駆動)	2 基
	スカムスキマー (電動回転パイプスキマー)	
	φ 300×4,600 mm×0.2 kW (1 水路 1 駆動)	4 基
	φ 300×4,550 mm×0.2 kW (1 水路 1 駆動)	12 基
	生污泥ポンプ (スクリュウ型污泥ポンプ)	2 台 (予備 1 台)
最初沈殿池 設備	φ 100×1 m ³ /min×11 m×3.7 kW	

釜無川流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
反 応 タ ン ク 設 備	幅10.3m×長56.7m×深5.5m 3,116m ³ (1池当たり) (ステップエアレーション可)	8 池
	No.1-1反応タンク水中ミキサー(昇降式水中ミキサー) 2.8kW	2 台
	No.1-1反応タンク散気装置 全面式散気装置(固定式散気板) 酸素供給量2,370kg O ₂ /日・池	60 枚
	No.1-2反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量6.25Nm ³ /min×5.5kW	2 台
	全面式散気装置(固定式散気板) 散気量30~50L/min/枚	360 枚
	No.2-1反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量6.0Nm ³ /min×5.5kW	2 台
	全面式散気装置(固定式散気板) 散気量30~50L/min/枚	360 枚
	No.2-2反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量6.0Nm ³ /min×5.5kW	2 台
	全面式散気装置(固定式散気板) 散気量30~50L/min/枚	360 枚
	No.3-1~No.4-2反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量4.1Sm ³ /min×5.5kW 送風量4.0Sm ³ /min×5.5kW	1台×4池 2台×4池
	全面式散気装置(固定式散気板) 酸素供給量56kg O ₂ /h・槽	78枚×4池
	消泡水ポンプ(渦巻ポンプ) φ80/φ65×0.6m ³ /min×34m×7.5kW	2 台
	φ125/φ100×1.8m ³ /min×32m×18.5kW	1 台
送 風 機 設 備	送風機(単段増速ターボブロワ) φ250/φ200×69m ³ /min×58.7kPa×110kW φ350/φ300×140m ³ /min×63.6kPa×220kW φ350/φ300×140m ³ /min×66.6kPa×220kW	2 台 1台 (予備1台) 1台

釜無川流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
最 終 沈 殿 池 設 備	幅 5 m×長37m×深 3 m×4 水路 2, 220m ³ (1 池当たり) 終沈汚泥掻寄機 (ノッチチェーン式) 幅5. 0m×機長32. 6m×0. 3m/min×0. 4kW (1 水路 1 駆動) 終沈汚泥掻寄機(メイン) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅5. 0m×機長32. 6m×0. 3m/min×0. 4kW (1 水路 1 駆動) 幅5. 0m×2 ×機長32. 2m×0. 3m/min×0. 75kW (2 水路 1 駆動) 幅5. 0m×2 ×機長32. 7m×0. 3m/min×0. 75kW (2 水路 1 駆動) 終沈汚泥掻寄機(クロス) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅3. 7m×機長15. 25m×0. 3m/min×0. 4kW (1 水路 1 駆動) 幅3. 7m×機長15. 7m×0. 3m/min×0. 4kW (1 水路 1 駆動) スカムスキマー (電動回転パイプスキマー) φ 300×4, 550mm×0. 2kW (1 水路 1 駆動) 返送汚泥ポンプ (吸込スクルー付汚泥ポンプ) φ 150×3. 3m ³ /min×4 m×5. 5kW φ 250×6. 5m ³ /min×4 m×7. 5kW φ 250×6. 5m ³ /min×4 m×11kW 余剰汚泥ポンプ (吸込スクルー付汚泥ポンプ) φ 100×1 m ³ /min×12m×5. 5kW φ 100×1 m ³ /min×15m×5. 5kW	4 池 3 基 1 基 2 基 4 基 1 基 2 基 16 基 2 台 3 台 (予備 2 台) 4 台 (予備 2 台) 2 台 (予備 1 台) 4 台 (予備 1 台)
塩 素 滅 菌 設 備	塩素混和池 幅 4 m×53m×3 m 636m ³ (1 池当たり) 次亜塩注入ポンプ (一軸偏心ねじマグネットカップリング式ポンプ) φ 15×(0. 0181~1. 77) L/min×0. 2MPa×0. 4kW 次亜塩注入ポンプ (ダイヤフラム制御定量式) φ 25×(~2. 21) L/min×0. 5MPa×0. 2kW 砂ろ過次亜塩注入ポンプ (一軸偏心ねじマグネットカップリング式ポンプ) φ 15×(0. 0032~0. 290) L/min×0. 2MPa×0. 4kW 次亜塩貯留タンク 容量 3 m ³ 容量 10m ³	1 池 1 台 2 台 (予備 1 台) 1 台 1 基 1 基
用 水 設 備	給水系圧力給水ユニット (加圧式自動給水ポンプユニット) 最大使用量3. 0m ³ /min×使用圧力0. 33~0. 45MPa×18. 5kW×2 散水系圧力給水ユニット (加圧式自動給水ポンプユニット) 最大使用量1. 7m ³ /min×使用圧力0. 33~0. 48MPa×11kW×2 井戸ポンプ (深井戸用水中モータポンプ) φ 125×1. 5m ³ /min×10m×5. 5kW 砂ろ過水槽 幅6. 8m×長7. 95m×深 約3. 8m 約205m ³ (1 槽当たり) 砂ろ過塔 (移床式上向流連続砂ろ過器) 800m ³ /日 原水送水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ 80/φ 65×0. 84m ³ /min×15m×3. 7kW	1 台 1 台 1 台 2 槽 2 塔 3 台 (予備 1 台)
放 流 設 備	放流ポンプ (立軸斜流ポンプ) φ 400×21m ³ /min×4. 5m×30kW φ 600×41m ³ /min×4. 5m×45kW 制水門 (鋼板製スライドゲート) 幅1. 8m×高0. 9m	2 台 2 台 (予備 1 台) 2 門
脱 臭 設 備	スクリーンポンプ棟脱臭ファン (耐蝕ターボファン) φ 375×55m ³ /min×2. 5kPa×5. 5kW スクリーンポンプ棟活性炭吸着塔 (F R P 製上向流式角形吸着塔) カートリッジ式三層吸着 110m ³ /min	2 台 1 塔

表 4-6 釜無川浄化センター汚泥処理機械設備概要

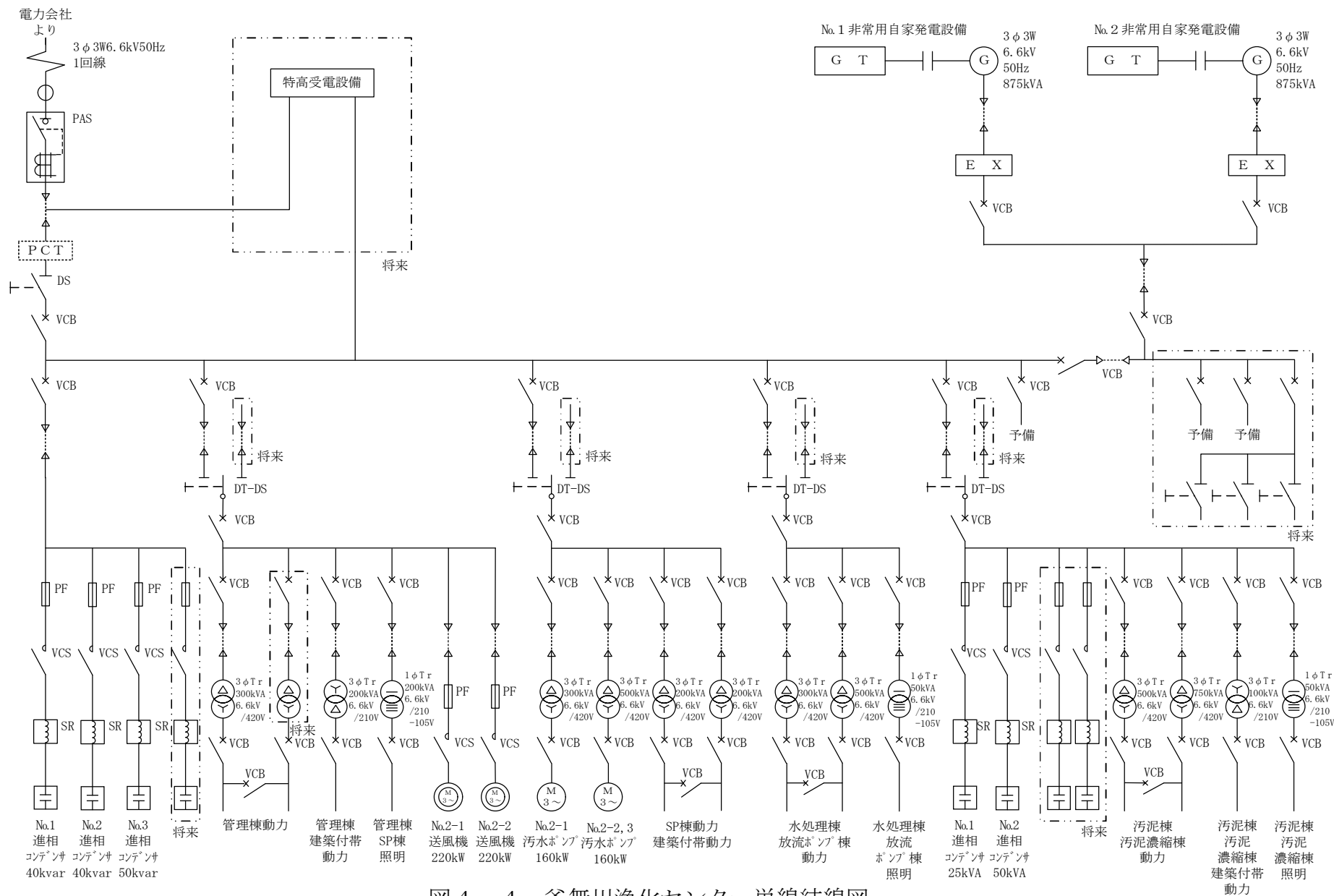
項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
重力濃縮設備	重力濃縮タンク $\phi 10\text{m} \times \text{深 約 } 4\text{m}$ 約 314m^3 (1槽当たり) 汚泥掻寄機 (円形中央駆動懸垂式) $\phi 10\text{m} \times \text{水深 } 4\text{m} \times \text{周速度 } 2.0\text{m}/\text{min} \times 0.4\text{kW}$ 汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) $1\text{m}^3/\text{min} \times 0.4\text{kW}$ スクリーンかす脱水機 (スクリュースプレス式) 処理能力 $0.25\text{t}/\text{h} \times 2.2\text{kW} + 0.4\text{kW}$ スクリーンかすホッパー (電動開閉式鋼鉄製) 容量 $2.0\text{m}^3 \times 0.75\text{kW} \times 2$ 濃縮汚泥移送ポンプ (一軸偏心ねじポンプ) $\phi 125 \times 0.4\text{m}^3/\text{min} \times 20\text{m} \times 5.5\text{kW}$	2 槽 2 基 1 基 1 基 1 基 2 台 (予備 1 台)
機械濃縮設備	汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 $120\text{m}^3/\text{h} \times 0.75\text{kW}$ スクリーンかす脱水機 (スクリュースプレス式) 処理量 $0.25\text{t}/\text{h} \times 2.2\text{kW} + 0.4\text{kW}$ スクリーンかす搬出機 (傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) $\text{幅 } 600\text{mm} \times \text{長 } 3.3\text{m} \times 0.85\text{m}$ 輸送量 $36\text{t}/\text{h} \times 20.5\text{m}/\text{min} \times 1.5\text{kW}$ 遠心濃縮機 (横軸連続遠心濃縮機) 処理能力 $25\text{m}^3/\text{h} \times 45\text{kW}/7.5\text{kW}$ 濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 150 \times (12.5 \sim 37.5)\text{m}^3/\text{h} \times 20\text{m} \times 15\text{kW}$ 濃縮汚泥移送ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 150 \times 25\text{m}^3/\text{h} \times 10\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 余剰汚泥受槽 $\text{幅 } 6\text{m} \times \text{長 } 5\text{m} \times \text{深 約 } 2.5\text{m}$ 約 75m^3 (1槽当たり) 余剰汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 5.5kW 濃縮汚泥受槽 $\text{幅 } 6\text{m} \times \text{長 } 5\text{m} \times \text{深 約 } 2.5\text{m}$ 約 75m^3 (1槽当たり) 濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 7.5kW	1 基 1 基 1 基 3 基 (予備 1 基) 3 台 (予備 1 台) 2 台 (予備 1 台) 1 槽 1 基 3 槽 3 基
脱 水 設 備	混合汚泥受槽 $\phi 5\text{m} \times \text{深 約 } 2,135\text{m}$ 約 42m^3 (1槽当たり) $\text{幅 } 6\text{m} \times \text{長 } 8\text{m} \times \text{深 約 } 2.5\text{m}$ 約 120m^3 (1槽当たり) 混合汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 5.5kW 11kW 汚泥脱水機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 100 \times (7.5 \sim 22.5)\text{m}^3/\text{h} \times 20\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 遠心汚泥脱水機 (横型遠心脱水機) 処理能力 $15\text{m}^3/\text{h} \times 55\text{kW}/22\text{kW}$ 遠心汚泥脱水機 (直胴型遠心脱水機) 処理能力 $15\text{m}^3/\text{h} \times 30\text{kW}/7.5\text{kW}$	1 槽 1 槽 1 基 1 基 2 台 (予備 1 台) 1 基 1 基

釜無川流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 水 設 備	No. 1 ケーキ搬出機（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長3.0m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No. 2 ケーキ搬出機（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長4.3m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No. 3 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長7.0m×1.1m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No. 4 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長17.5m×3.6m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No. 5 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長28.1m×5.5m 輸送量38t/h×3.7kW	1 台
	No. 6 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長3.0m×0.78m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No. 7 ケーキ搬出機（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長4.0m 輸送量36t/h×0.75kW	1 台
	脱水ケーキホッパー（鋼板製角形カットゲート） 容量 10m ³	2 基
	薬品定量供給機（容積式定量フィーダー） 1～4 L/min×0.4kW	2 台
	薬品溶解タンク（鋼板製立円筒立形） 容量 8 m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機（立軸2段プロペラ形） 3.7kW	2 台
	薬品供給ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ50×19～58 L/min×20m×1.5kW	2 台（予備1台）
脱 臭 設 備	汚泥濃縮棟 脱臭ファン（F R P製ターボファン） φ200×20m ³ /min×3.1kPa×3.7kW	1 台
	生物脱臭塔（F R P製充填式生物脱臭塔） 処理風量 20m ³ /min	1 塔
	活性炭吸着塔（F R P製上向流式角形吸着塔） 処理風量 20m ³ /min	1 塔
	汚泥棟 脱臭ファン（F R P製ターボファン） φ300×40m ³ /min×2.5kPa×3.7kW	2 台
	φ450×80m ³ /min×1.96kPa×5.5kW	1 台
	活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量 80m ³ /min	1 塔
	生物脱臭塔（F R P製充填式生物脱臭塔） 処理風量 80m ³ /min	1 塔
そ の 他 設 備	トラックスケール(マルチロードセル方式) 秤量30t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

表 4-7 釜無川浄化センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V / 50Hz×1 回線 受電設備容量 4, 668kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 プラント設備用 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×750kVA 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×500kVA 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×300kVA 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×200kVA 建築付帯動力用 3 φ 3 W×6, 600 V / 210 V×200kVA 3 φ 3 W×6, 600 V / 210 V×100kVA 電灯用 1 φ 3 W×6, 600 V / 210 V-105 V×200kVA 1 φ 3 W×6, 600 V / 210 V-105 V×50kVA	1 台 3 台 3 台 2 台 1 台 1 台 1 台 2 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W×6, 600 V×50kvar 3 φ 3 W×6, 600 V×40kvar 3 φ 3 W×6, 600 V×25kvar	2 台 2 台 1 台
直 流 電 源 装 置	管 理 本 館 100Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
交流無停電電源装置	管 理 本 館 400Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 終沈電気室 200Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 汚 泥 棟 150Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式 1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 772kW(1, 050PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×875kVA 始動用直流電源装置 500Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 500Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	2 台 1 式 1 式
中 央 監 視 設 備	場内系監視装置 場外系監視装置 プリンタ ハードコピー E N S 装置	3 台 2 台 3 台 1 台 2 台
遠 方 監 視 制 御 設 備	ポンプ場用コントローラ テレメータ・テレコントロール装置 (親局) 帯域品目3. 4kHz×4 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置 (親局) 帯域品目3. 4kHz×2 線式 保守用電話切替式 符号品目 50 b / s ×2 線式	2 台 6 台 8 台 3 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 非常放送設備 T V 共聴設備 気象観測設備 (雨量、風向風速) エレベーター設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式



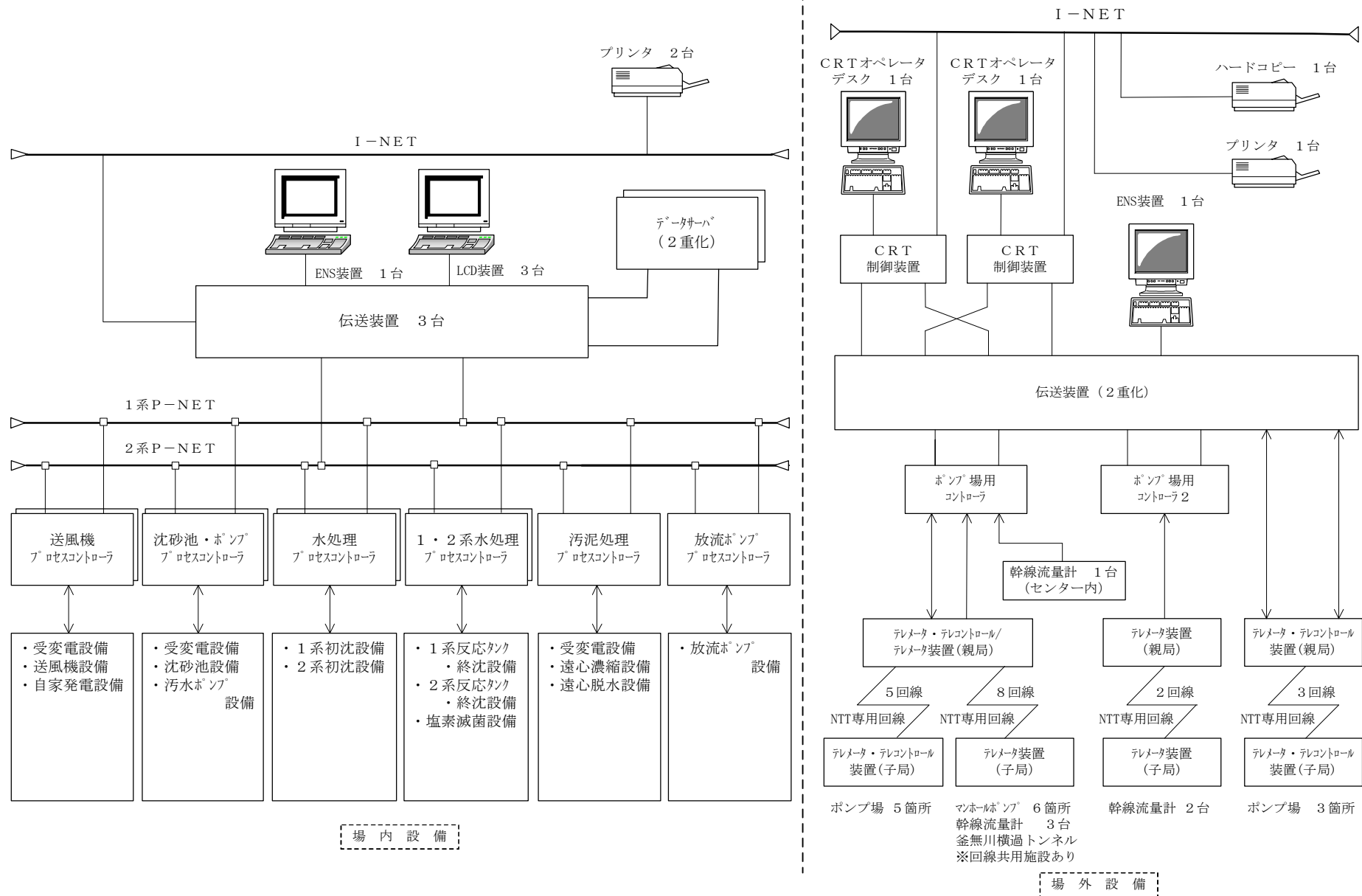
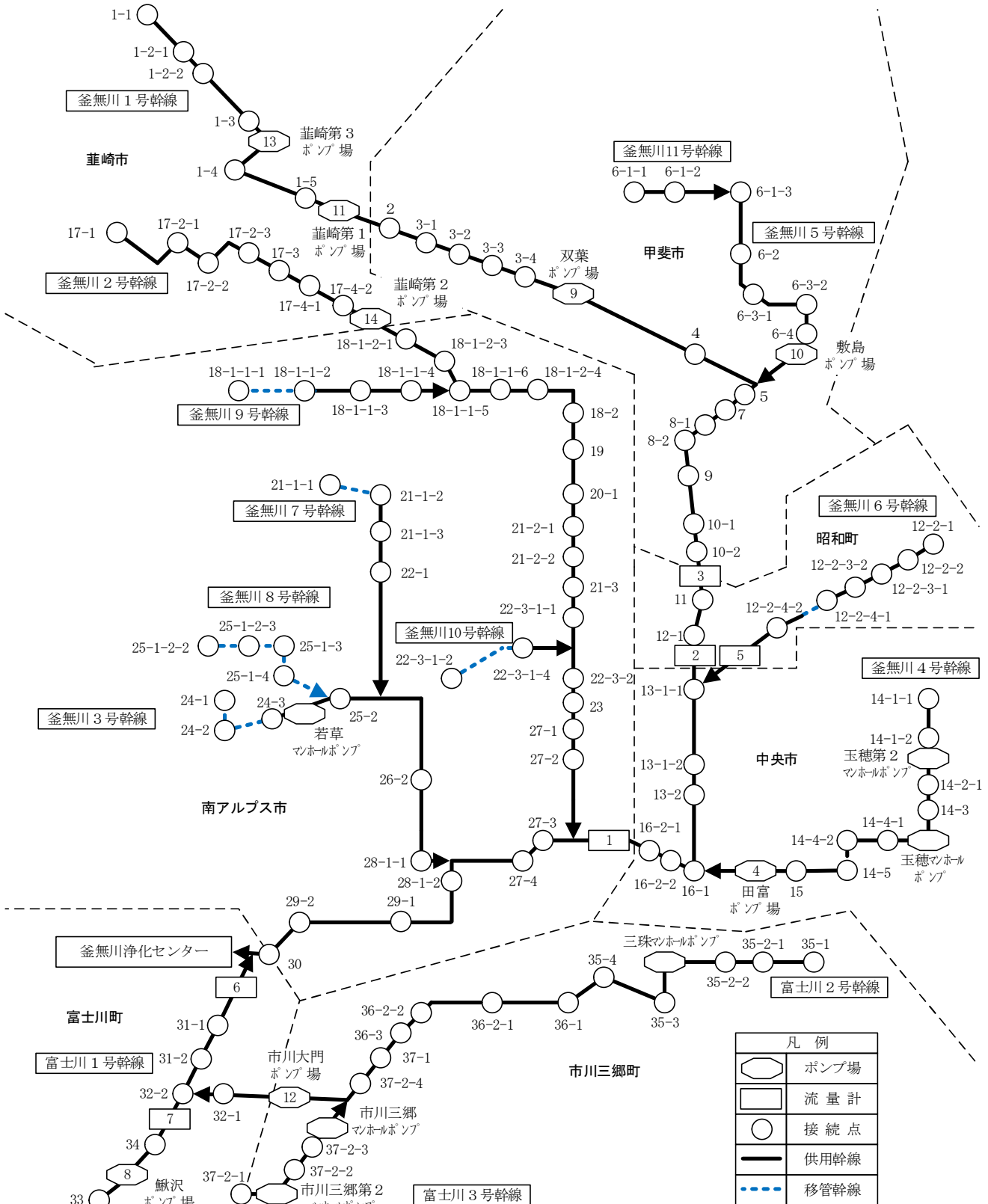


図4-5 釜無川浄化センターシステム系統図

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画8箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長77.0km全てが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は14箇所となっている。

流域幹線系統図を図4-6に、流域関連公共下水道接続概要を表4-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表4-9に、機械設備概要を表4-10に、電気設備概要を表4-11に、単線結線図を図4-7～図4-14に、幹線概要を表4-12に、幹線付帯設備概要を表4-13に、幹線流量計測設備概要を表4-14に示す。



※釜無川3号、7号、9号及び10号幹線の一部並びに釜無川8号幹線の全部は南アルプス市に移管済み、釜無川4号幹線の一部は中央市から移管済み、釜無川6号幹線の一部は昭和町から移管予定である。

図4-6 流域幹線系統図

表 4－8 流域関連公共下水道接続概要

幹線名	処理分区名	供用開始年月日	処理区域 面積 (ha)	処理区域内 人口 (人)	接続市町名
釜無川 1 号幹線	第 1－1	平成 11 年 3 月 31 日	38.36	1,072	韮崎市
	第 1－2－1		48.79	1,618	
	第 1－2－2		38.08	801	
	第 1－3	平成 8 年 4 月 1 日	82.95	1,791	
	第 1－4		229.80	4,803	
	第 1－5		73.72	1,314	
	第 2	平成 9 年 5 月 1 日	60.68	1,423	甲斐市
	第 3－1		27.31	820	
	第 3－2	平成 7 年 10 月 1 日	51.27	1,645	
	第 3－3		51.54	1,967	
	第 3－4	平成 18 年 3 月 31 日	36.79	684	
	第 4	平成 9 年 4 月 1 日	107.53	5,201	
	第 5	平成 14 年 3 月 29 日	26.95	1,199	
	第 7	平成 12 年 3 月 31 日	40.52	2,256	
	第 8－1	平成 6 年 4 月 1 日	8.47	227	
	第 8－2		129.64	5,117	
	第 9	平成 11 年 4 月 1 日	21.19	1,007	
	第 10－1	平成 5 年 4 月 1 日	228.39	11,593	
	第 10－2		122.10	5,878	
	第 11	平成 7 年 3 月 31 日	75.94	1,092	昭和町
	第 12－1－1	平成 5 年 4 月 1 日	53.30	2,823	
	第 13－1－1	平成 25 年 6 月 30 日	37.34	56	中央市
	第 13－1－2	平成 5 年 4 月 1 日	140.45	6,056	
	第 13－2	平成 6 年 4 月 1 日	15.82	539	
	第 16－1	平成 8 年 4 月 1 日	40.03	1866	
	第 16－2－1	平成 29 年 6 月 30 日	10.45	548	
	第 16－2－2	平成 16 年 3 月 17 日	33.36	1,225	南アルプス市
	第 27－3	平成 12 年 3 月 31 日	26.80	1,127	
	第 27－4	平成 11 年 4 月 1 日	24.03	823	
	第 28－1－2	平成 26 年 4 月 1 日	19.87	405	
	第 29－1	平成 17 年 3 月 31 日	46.88	1,557	
	第 29－2	平成 5 年 4 月 1 日	253.84	6,649	
	第 30	平成 11 年 4 月 1 日	5.00	29	富士川町
	第 30	平成 5 年 4 月 1 日	86.13	2,100	
釜無川 2 号幹線	第 17－1	平成 19 年 3 月 31 日	15.25	632	韮崎市
	第 17－2－1		7.23	285	
	第 17－2－2		58.44	1,454	
	第 17－2－3		22.17	418	
	第 17－3		26.90	903	
	第 17－4－1		0.20	3	
	第 17－4－2	平成 20 年 3 月 31 日	222.83	3,819	南アルプス市
	第 18－1－1－5	平成 13 年 3 月 31 日	10.31	226	
	第 18－1－1－6		2.20	8	
	第 18－1－2－1	平成 23 年 4 月 1 日	6.29	85	
	第 18－1－2－3	平成 14 年 9 月 1 日	37.00	1,322	
	第 18－1－2－4	平成 13 年 3 月 31 日	15.31	477	
	第 18－2	平成 10 年 4 月 1 日	13.84	371	
	第 19		58.71	1,746	
	第 20－1	平成 12 年 6 月 30 日	15.29	601	
	第 21－2－1	平成 16 年 3 月 31 日	36.41	1,335	
	第 21－2－2	平成 15 年 3 月 25 日	38.54	1,066	
	第 21－3	平成 14 年 3 月 31 日	23.82	307	
	第 22－3－1－1	令和 7 年 1 月 20 日	11.10	0	
	第 22－3－2	平成 24 年 4 月 1 日	30.85	1,037	
	第 23	平成 31 年 3 月 31 日	11.29	432	
	第 27－1	平成 17 年 3 月 31 日	10.99	399	
	第 27－2	平成 12 年 3 月 31 日	4.23	300	
釜無川 3 号幹線	第 24－3	平成 8 年 4 月 1 日	154.68	5,407	南アルプス市
	第 25－2	平成 8 年 4 月 1 日	142.48	3,488	
	第 26－2	平成 7 年 4 月 1 日	131.09	4,028	

釜無川流域下水道

幹線名	処理区分名	供用開始年月日	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	接続市町名
釜無川3号幹線	第28-1-1	平成8年8月1日	20.57	664	南アルプス市
釜無川4号幹線※1	第14-1-1	平成16年9月1日	42.06	1,927	昭和町
	第14-1-1	平成10年4月1日	36.97	2,189	中央市
	第14-1-2		17.48	601	
	第14-2-1	平成16年3月31日	17.82	564	
	第14-3	平成9年4月1日	15.68	8	
	第14-4-1	平成7年4月1日	5.92	78	
	第14-4-2	平成17年3月31日	104.10	3,064	
	第14-5	平成7年4月1日	49.78	316	
	第15	平成7年4月1日	82.08	4,568	
釜無川5号幹線	第6-2	平成12年3月31日	42.17	2,234	甲斐市
	第6-3-1	平成7年10月1日	34.93	1,739	
	第6-3-2		146.94	7,864	
	第6-4		8.43	558	
釜無川6号幹線※2	第12-1-2	平成5年4月1日	8.70	767	昭和町
	第12-1-2	平成5年4月1日	9.57	366	中央市
	第12-2-1	平成16年3月31日	31.26	1,554	甲斐市
	第12-2-1	平成10年10月1日	161.30	6,378	昭和町
	第12-2-2		23.82	391	
	第12-2-3-1	平成16年9月1日	35.06	643	
	第12-2-3-2	平成25年9月1日	38.04	959	甲斐市
	第12-2-3-1	平成18年3月31日	15.34	1,297	
	第12-2-4-1	令和4年8月18日	3.63	20	
釜無川7号幹線	第12-2-4-2	平成5年4月1日	71.66	2,485	昭和町
	第21-1-2	平成10年4月1日	124.13	3,018	南アルプス市
	第21-1-3		72.23	2,002	
	第22-1	平成22年4月1日	1.30	50	
釜無川9号幹線	第18-1-1-2	平成19年4月1日	43.84	1,334	南アルプス市
	第18-1-1-3	平成16年3月31日	39.94	1,416	
	第18-1-1-4	平成14年9月1日	17.04	537	
釜無川10号幹線	第22-3-1-4	平成26年4月1日	36.60	1,094	南アルプス市
釜無川11号幹線	第6-1-1	平成19年3月31日	59.18	2,270	甲斐市
	第6-1-2	平成23年3月31日	18.39	1,129	
	第6-1-3	平成19年3月31日	54.60	2,404	
富士川1号幹線	第31-1	平成5年4月1日	44.50	1,311	富士川町
	第31-2	平成6年4月1日	55.09	1,525	
	第32-2	平成8年4月1日	146.93	3,940	
	第33	平成8年6月1日	59.72	1,330	
	第34	平成7年4月1日	19.90	803	
富士川2号幹線	第32-1	平成26年3月31日	1.80	4	富士川町
	第35-1	平成20年4月1日	0.70	3	中央市
	第35-1	平成14年3月29日	79.73	936	市川三郷町
	第35-2-1	平成11年11月1日	15.50	324	
	第35-2-2		11.70	217	
	第35-3	平成10年4月1日	87.70	1,900	
	第35-4	平成11年4月1日	0.91	18	
	第36-1	平成9年11月1日	11.18	690	
	第36-2-1	平成13年3月31日	3.90	99	
	第36-2-2	平成9年11月1日	65.10	1,654	
	第36-3		72.81	2,217	
	第37-1	平成14年3月31日	35.46	1,334	
	第37-2-4	平成13年3月31日	11.68	424	
富士川3号幹線	第37-2-1	平成19年3月31日	12.60	287	富士川町
	第37-2-1	平成27年3月31日	1.80	123	市川三郷町
	第37-2-2	平成19年3月31日	20.81	355	
	第37-2-3	平成18年3月31日	8.82	173	

※処理区域内面積及び人口は、令和7年4月1日現在の値を示す。

※1 釜無川4号幹線の一部は令和7年4月1日に中央市から移管された。

※2 釜無川6号幹線の一部は昭和町から移管される予定。

表 4 - 9 中継ポンプ場建築構造物概要

施設 項目	構 造 及 び 概 要
葦 崎 第 1 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 189m ² 延床面積 657m ² 沈砂池機械室、自家発電機室、脱臭機室、ゲート室、電気室、換気機械室、その他
葦 崎 第 2 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 250m ² 延床面積 363m ² 沈砂機械室、自家発電機室、脱臭機室、電気室、換気機械室、その他
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 187m ² 延床面積 458m ² スクリーン室、自家発電機室、脱臭機室、ゲート室、電気室、その他
双 葉 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 362m ² 延床面積 673m ² ポンプ室、自家発電機室、スクリーン室、換気ファン室、電気室、その他
敷 島 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 314m ² 延床面積 507m ² ポンプ室、スクリーン室、電気室、自家発電機室、換気ファン室、その他
田 富 ポ ン プ 場	R C 造 地下 2 階、地上 1 階 建築面積 336m ² 延床面積 714m ² 沈砂池機械室、自家発電機室、ゲート室、電気室、換気機械室、その他
市 川 大 門 ポ ン プ 場	R C 造 地下 2 階、地上 2 階 建築面積 327m ² 延床面積 1,190m ² ポンプ室、沈砂池機械室、自家発電機室、ゲート室、電気室、脱臭換気機械室、換気機械室、その他

表 4 - 1 0 中継ポンプ場機械設備概要

施設	項目 構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
葦 崎 第 1 ポ ン プ 場	流入ゲート（角形外ねじ式） 0.4m×0.6m×0.75kW	2 門
	細目スクリーン自動除塵機（裏がき連続式） 幅 1 m×深2.5m×目幅20mm×3 m/min×0.4kW	1 基
	し渣搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長 7 m 輸送量20m/min×1.5kW	1 基
	し渣脱水機（スクリュープレス式） 処理能力 0.25 t/h×2.2kW+0.4kW	1 基
	揚砂ポンプ（水中ポンプ） φ 80×0.8m ³ /min×19m×7.5kW	1 台
	沈砂分離機（円筒式満流形） 処理能力 0.8m ³ /min	1 基
	汚水ポンプ（吸込スクリュール付水中汚水ポンプ） φ 200×3.9m ³ /min×14.5m×22kW φ 250×6.6m ³ /min×14.5m×30kW	2 台 1 台（予備 1 台）
	排泥ポンプ（吸込スクリュール付水中汚水ポンプ） φ 80×0.5m ³ /min×12m×3.7kW	1 台
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ 210×23m ³ /min×2.0kPa×2.2kW	1 台
	活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 23m ³ /min	1 塔
	水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 2.0kW	2 台
葦 崎 第 2 ポ ン プ 場	流入ゲート（外ねじ式） 0.4m×0.6m×0.75kW	2 門
	スクリーン 幅0.8m×深2.4m×目幅100mm 幅0.8m×深2.6m×目幅40mm	1 基 1 基
	しさ破碎机（回転スクリーン付 2 軸差動回転型破碎机） 破碎容量10.5m ³ /min×2.2kW+0.4kW	1 基
	汚水ポンプ（吸込スクリュール付水中汚水ポンプ） φ 200×4.5m ³ /min×23m×37kW φ 200×5.3m ³ /min×24.5m×45kW	2 台 1 台（予備 1 台）
	脱臭ファン（耐食性片吸込ターボファン） φ 225×11m ³ /min×2.16kPa×1.5kW	1 台
	活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 11m ³ /min	1 塔
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	流入ゲート（外ねじ式） 0.6m×0.6m×0.75kW	2 門
	粗目スクリーン 幅0.9m×深 2 m×目幅100mm	2 基
	破碎机（立形二軸差動回転式） 破碎容量3.2m ³ /min×3.7kW	1 基
	汚水ポンプ（吸込スクリュール付水中汚水ポンプ） φ 200×3.2m ³ /min×9.0m×11kW	2 台（予備 1 台）

釜無川流域下水道

施設	項目 構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
菰崎第3 ポンプ場	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ225×12m ³ /min×2.06kPa×1.5kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 12m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 0.9kW	1 台 1 塔 1 台
双葉 ポンプ場	流入ゲート（角形外ねじ式） 0.4m×0.4m 細目スクリーン除塵機（間欠式） 幅1.5m×深4.5m×目幅30mm×1.5kW スクリーンかす搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長7m 輸送量20m/min×0.75kW 揚砂ポンプ（水中ポンプ） φ80×0.5m ³ /min×20m×3.7kW 沈砂分離機（円筒式満流形） 処理能力 0.5m ³ /min スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理能力 0.3m ³ /h×2.2kW 汚水ポンプ（横軸吸込スクリュース付汚水ポンプ） φ250/φ150×5.5m ³ /min×62m×132kW φ300/φ250×10m ³ /min×62m×190kW 脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ300×22m ³ /min×2.0kPa×2.2kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 22m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 2.0kW 1.5kW	2 門 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 2 台 1 台（予備1台） 1 台 1 塔 1 台 1 台
敷島 ポンプ場	流入ゲート（角形外ねじ式） 0.4m×0.6m×0.75kW 細目スクリーン除塵機（間欠式） 幅1m×深2.2m×目幅30mm×1.5kW スクリーンかす搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長8.1m×1.5m 輸送量20.5m/min×1.5kW 揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ80×0.5m ³ /min×10m×3.7kW 沈砂・スクリーンかす洗浄機（機械攪拌式） 処理能力 0.5m ³ /h×3.7kW+0.75kW+0.75kW×2 スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理能力 0.3m ³ /h×2.2kW 汚水ポンプ（水中汚水ポンプ） φ200×3.3m ³ /min×11m×15kW φ250×6.0m ³ /min×11m×18.5kW 脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ300×24m ³ /min×2.0kPa×2.2kW	2 門 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 2 台 1 台（予備1台） 1 台

釜無川流域下水道

施設	項目	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
敷島ポンプ場		活性炭吸着塔（横型カートリッジ式） 処理風量 24m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 1.5kW 2.0kW	1 塔 1 台 1 台
田富ポンプ場		流入ゲート（外ねじ式） 0.5m×0.5m×0.75kW 粗目スクリーン 幅 1m×深1.7m×目幅75mm 自動除塵機（脱水機構付ドラム状自動スクリーン） 外径φ0.78m×長6.2m×目幅25mm×1.5kW 揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ80×0.5m ³ /min×15m×5.5kW 洗砂分離機（円筒式満流形） 処理能力 0.5m ³ /min 汚水ポンプ（吸込スクリュウ付水中汚水ポンプ） φ200×4.3m ³ /min×18m×30kW 汚水ポンプ（水中汚水ポンプ） φ250×6.3m ³ /min×30m×55kW 脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×16m ³ /min×1.96kPa×2.2kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 16m ³ /min	2 門 2 基 1 基 1 台 1 台 2 台 1 台（予備 1 台） 1 台 1 塔
鰯沢ポンプ場		汚水ポンプ（水中汚水スクリュウ渦巻ポンプ） φ150×2.4m ³ /min×23m×22kW	2 台（予備 1 台）
市川大門ポンプ場		流入ゲート（外ねじ式） 0.5m×0.75m×0.4kW 細目スクリーン除塵機（間欠式） 幅 1m×深2.3m×目幅20mm×1.5kW スクリーンかす搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長8.3m 輸送量20.5m ³ /min×1.5kW 揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ80×0.5m ³ /min×8m×2.2kW 沈砂・スクリーンかす洗浄機（機械攪拌式） 処理能力 1m ³ /h×2.2kW+1.5kW+0.75kW スクリーンかす脱水機（スクリュウプレス式） 処理能力 1m ³ /h×5.5kW+0.4kW 汚水ポンプ（横軸吸込スクリュウ付汚水ポンプ） φ250/φ200×6.2m ³ /min×29m×75kW 脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ300×25m ³ /min×2.0kPa×3.7kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 25m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 1.2kW	2 門 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 2 台（予備 1 台） 1 台 1 塔 1 台

表 4-1-1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
葦 崎 第 1 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 200kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/420V×200kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×10kVA 3 φ 3 W×420V×15kVA	1 台 1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×9セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 179kW(243PS) 3 φ 3 W×420V×200kVA 始動用直流電源装置 200Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
葦 崎 第 2 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 300kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/210V×300kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×10kvar	1 台
	交流無停電 電 源 装 置	ミニUPS 2kVA	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 221kW(301PS) 3 φ 3 W×210V×200kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

釜無川流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 100kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／210V×100kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×5 kvar	2 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 107kW(145PS) 3 φ 3 W×210V×100kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
双 葉 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 723kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／420V×500kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×20kVA	1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 662kW(900PS) 3 φ 3 W×6,600V×750kVA 始動用直流電源装置 300Ah×24セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

釜無川流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
敷 島 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 200kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/420V×200kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×10kVA	2 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×9セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 136kW(185PS) 3 φ 3 W×420V×150kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
田 富 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 200kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/210V×200kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×5kvar 3 φ 3 W×210V×10kvar	2 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル シール形据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 154kW(210PS) 3 φ 3 W×210V×150kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル シール形据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

釜無川流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
鰐 沢 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×200 V／50Hz× 1 回線（動力） 契 約 電 力 47kW 受 電 遮 断 器 M C C B 225AF／200AT	1 式
		受 電 方 式 1 φ 2 W×100 V／50Hz× 1 回線（電灯） 契 約 電 流 15A 受 電 遮 断 器 M C C B 50AF／30AT	1 式
	交 流 無 停 電 電 源 装 置	ミニUPS 1kVA	1 台
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ装置（子局） 帯域品目3.4kHz× 2 線式 保守用電話切替式	1 台
市 川 大 門 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600 V／50Hz× 1 回線 受電設備容量 500kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600 V／420 V×500kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420 V× 5 kVA	1 台
		3 φ 3 W×420 V×10kVA	1 台
		3 φ 3 W×420 V×15kVA	1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 449kW(610PS) 3 φ 3 W×420 V×500kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz× 4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

釜無川流域下水道

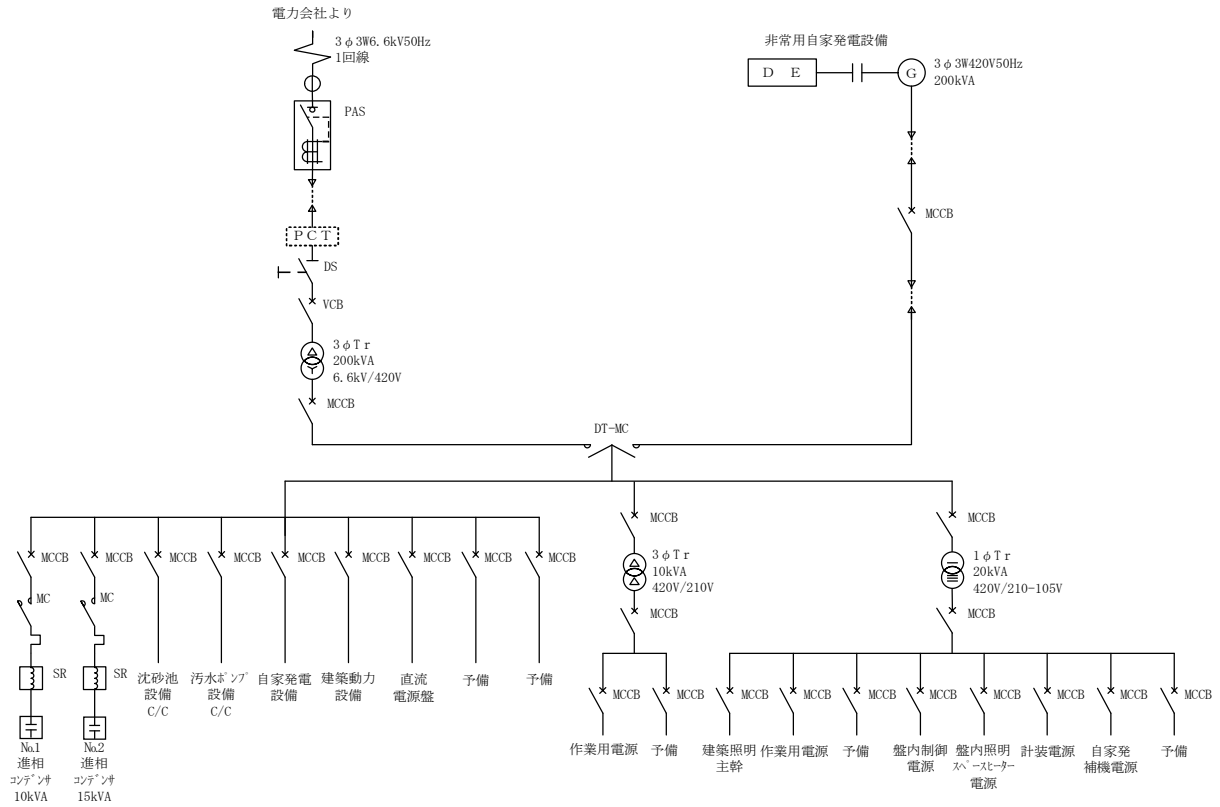


図4-7 葦崎第1ポンプ場単線結線図

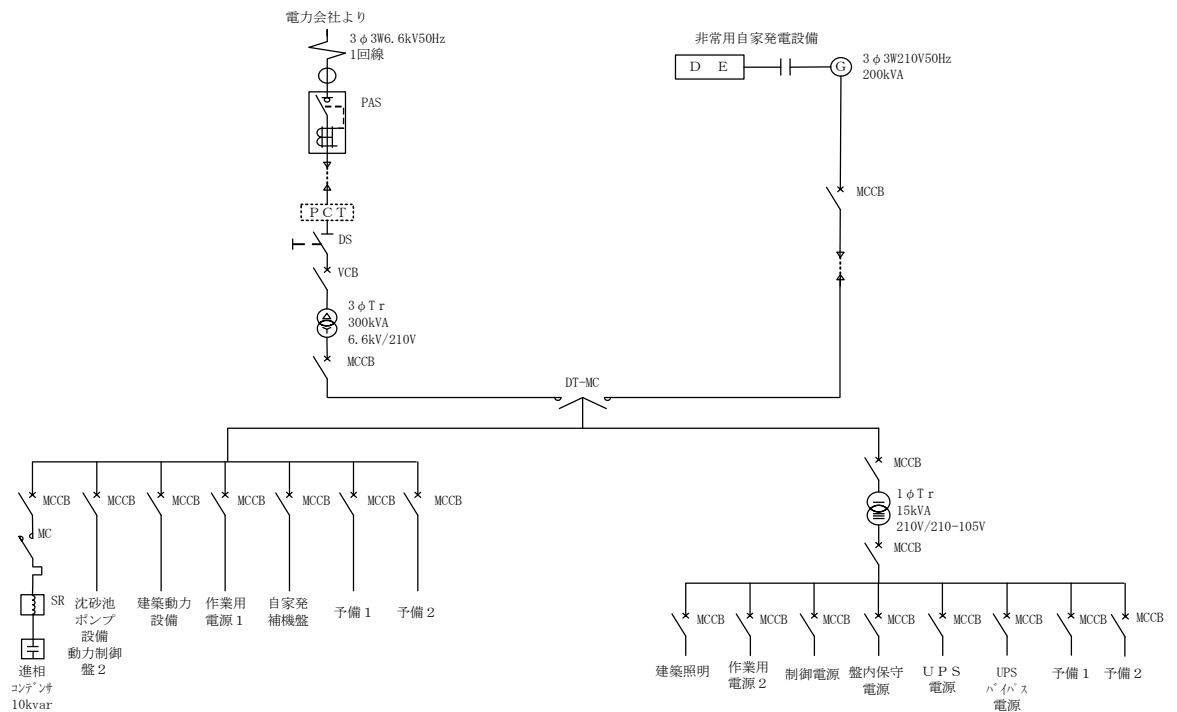


図4-8 葦崎第2ポンプ場単線結線図

釜無川流域下水道

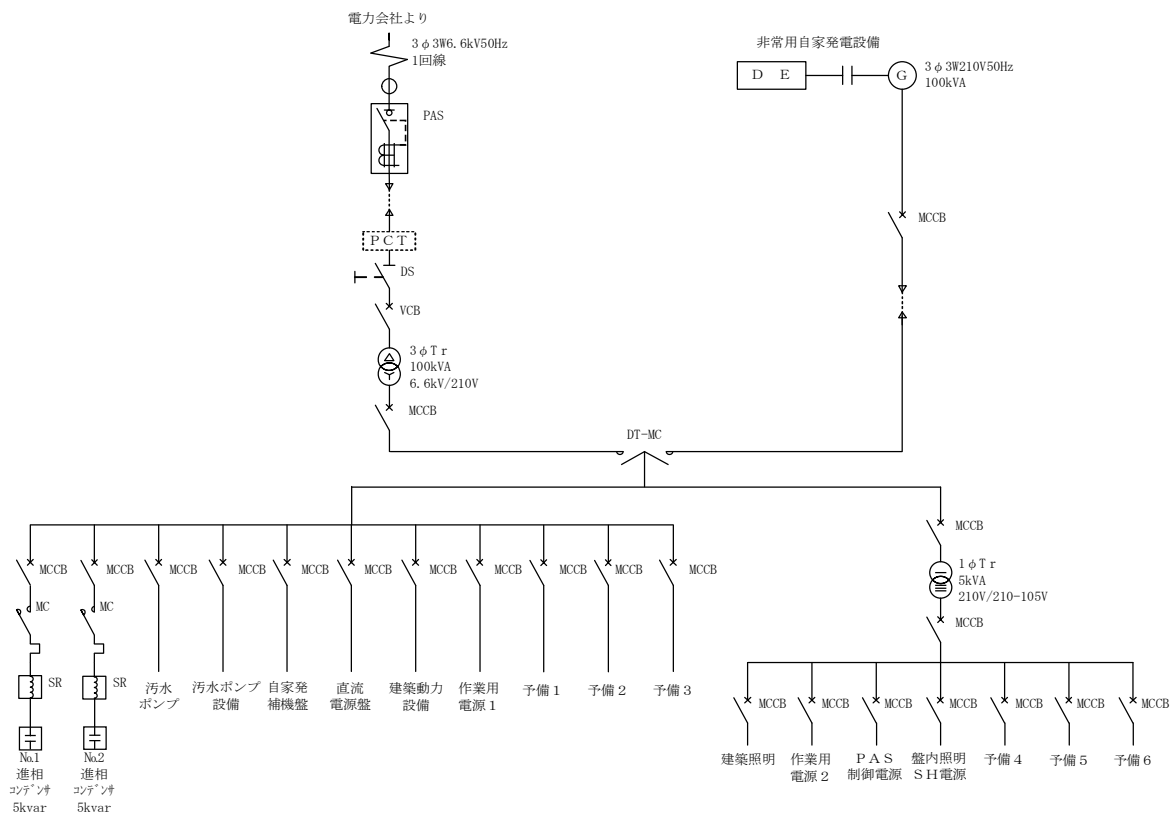


図 4-9 葦崎第 3 ポンプ場単線結線図

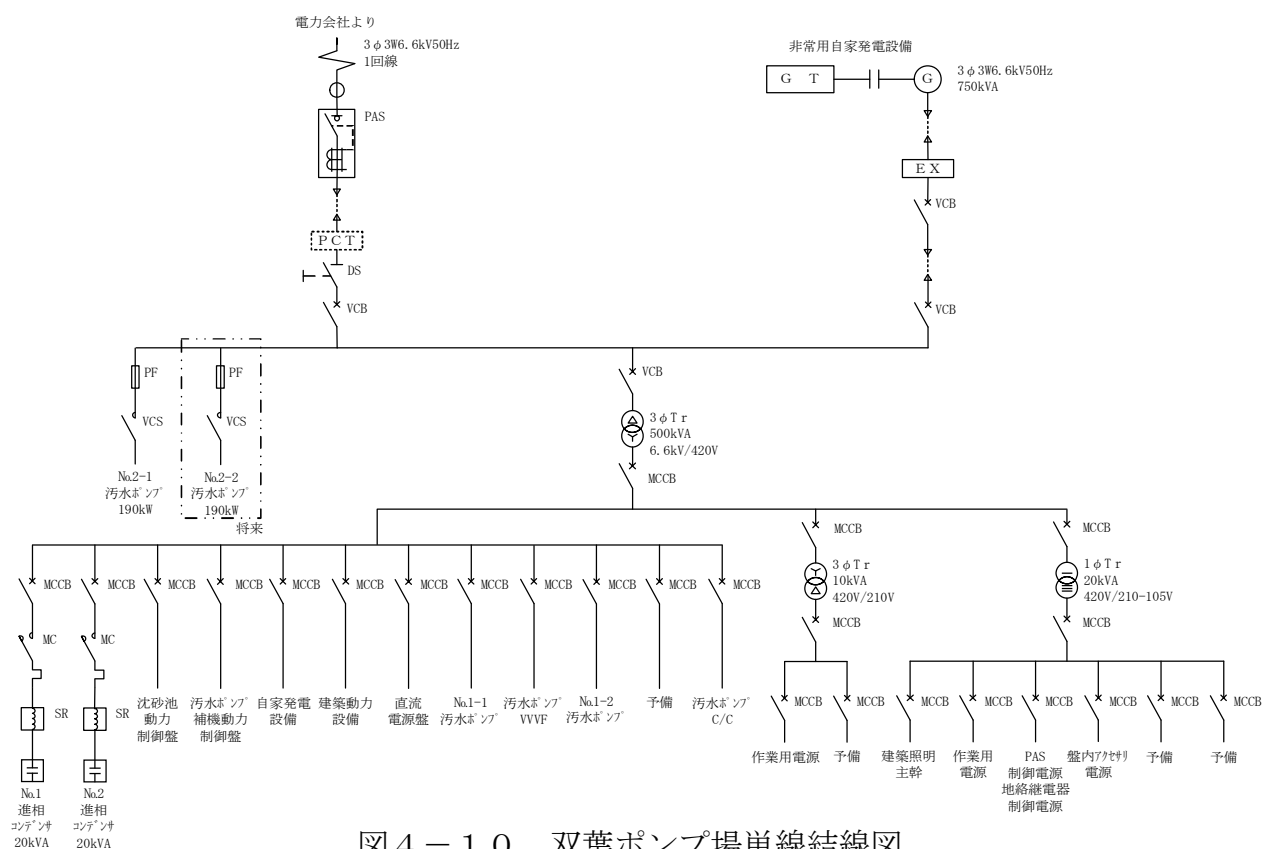


図 4-10 双葉ポンプ場単線結線図

釜無川流域下水道

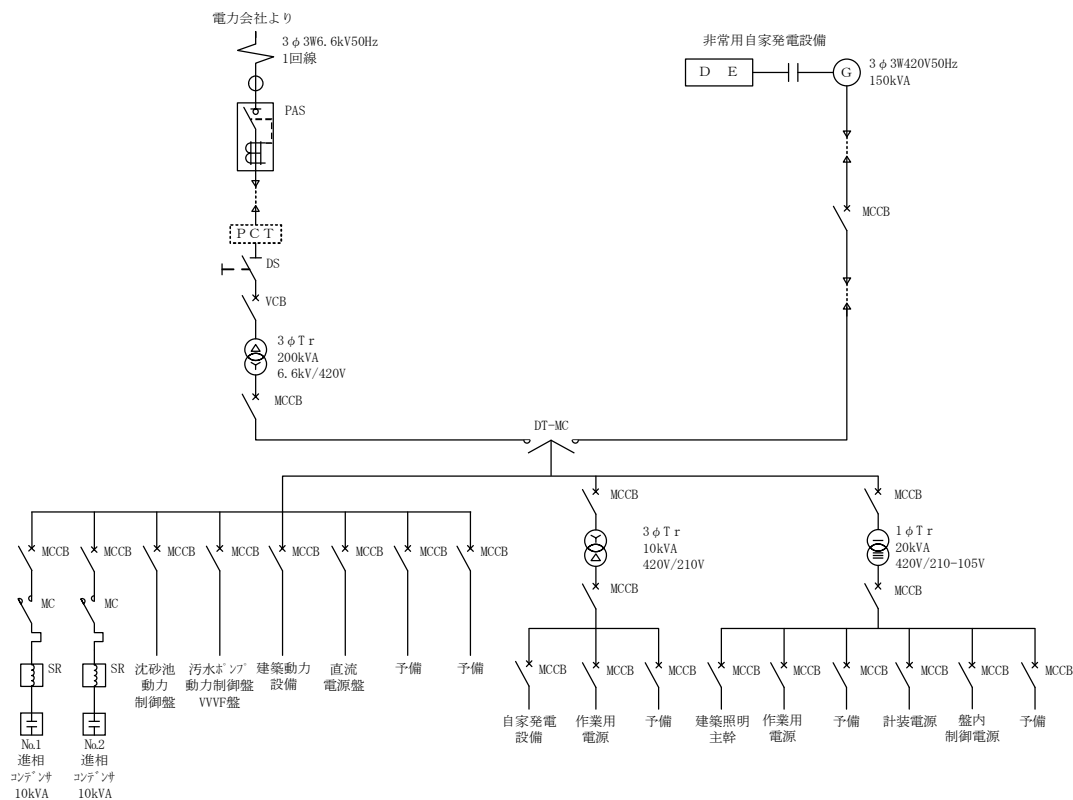


図 4-1-1 敷島ポンプ場単線結線図

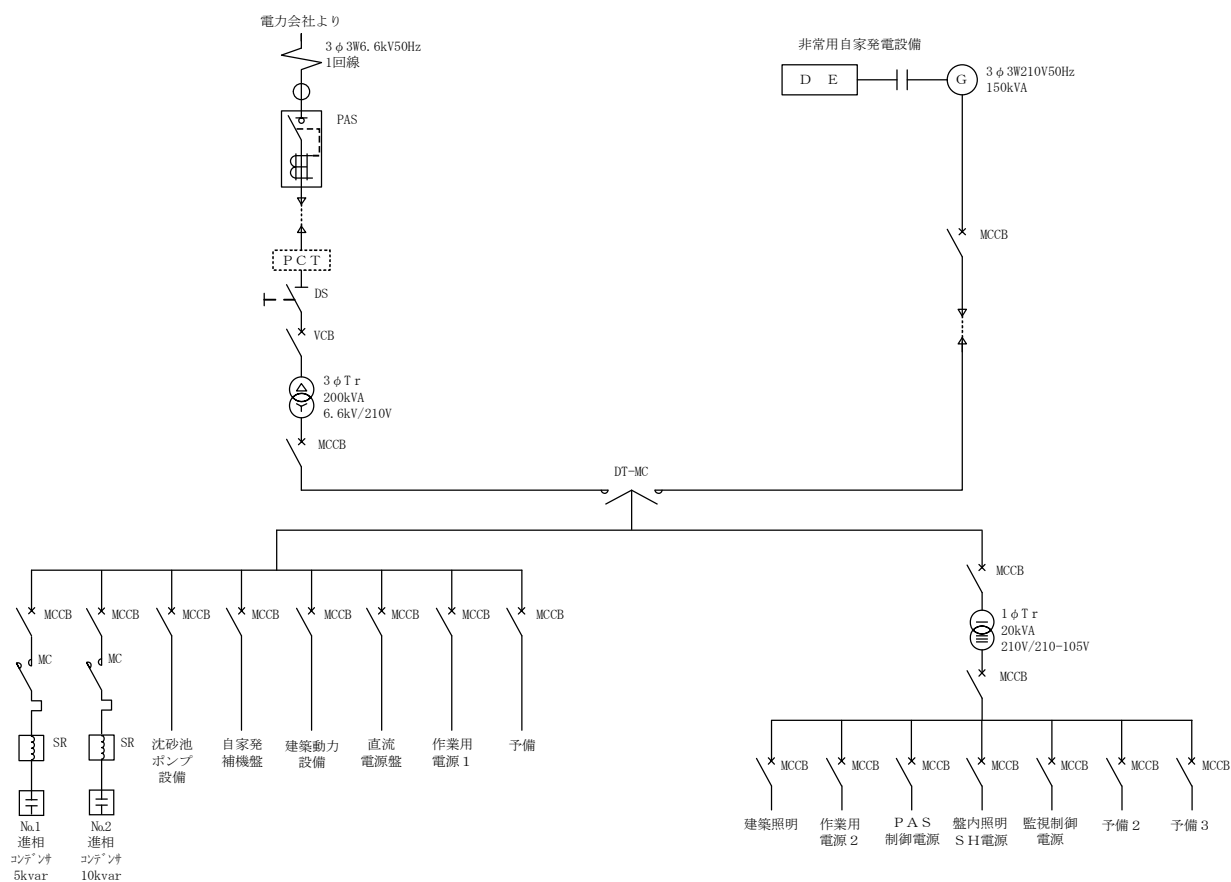


図 4-12 田富ポンプ場単線結線図

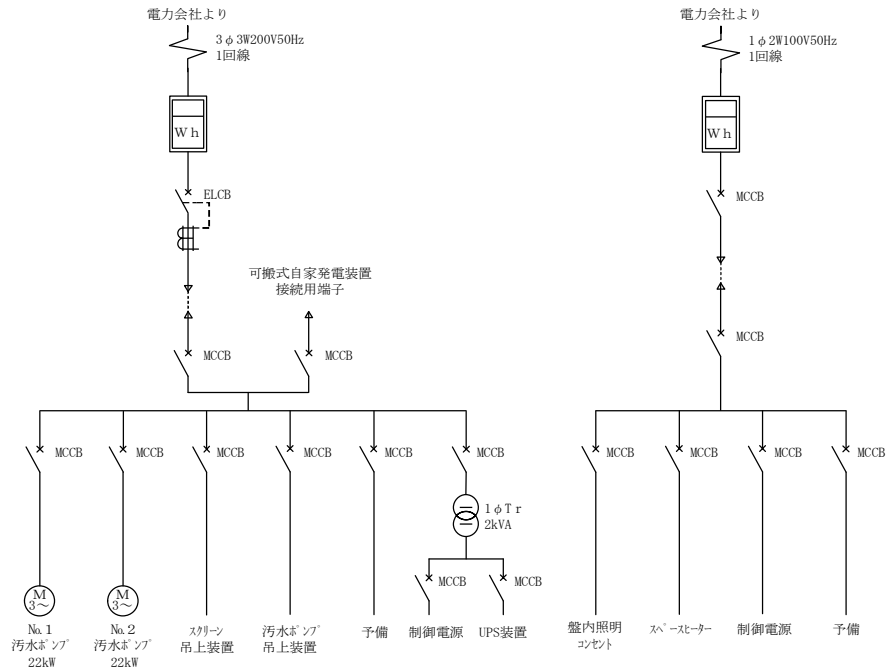


図4-13 鯉沢ポンプ場単線結線図

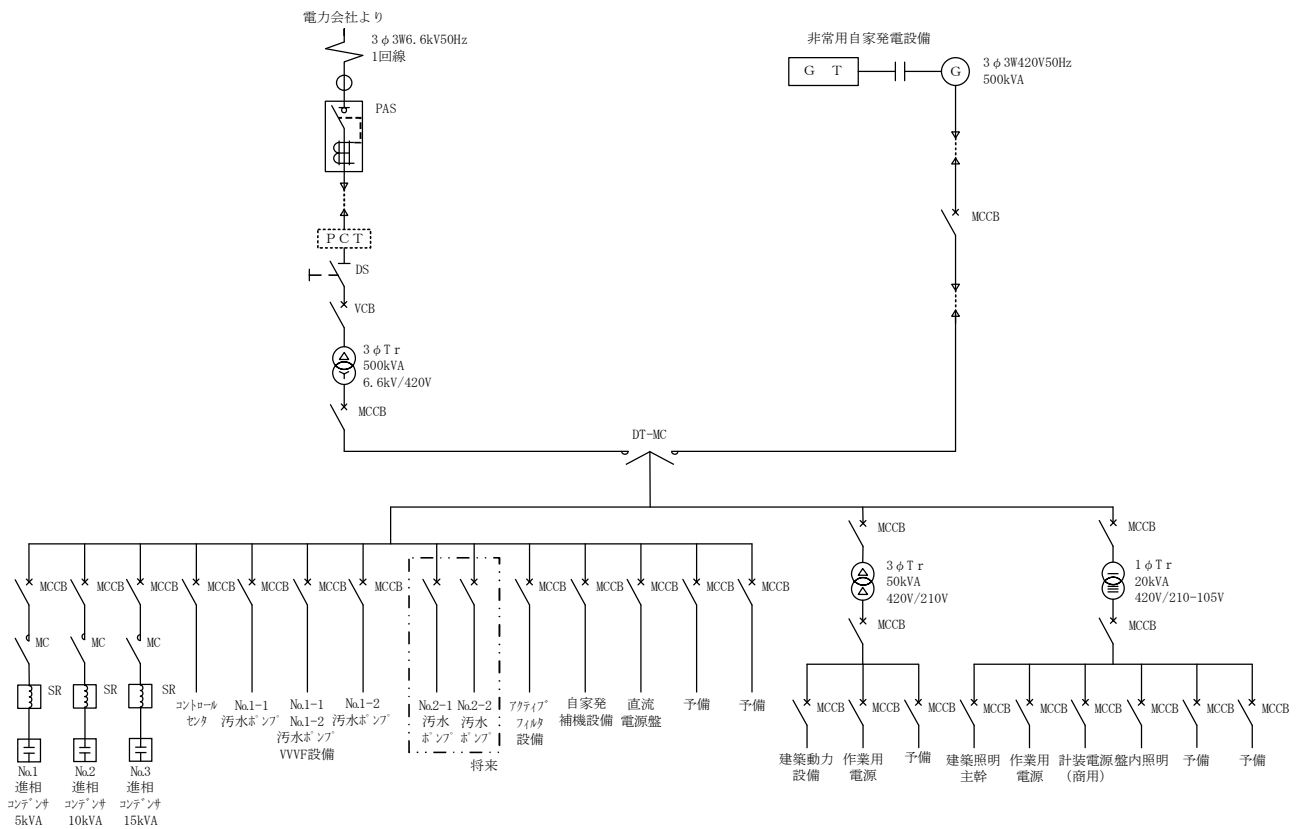


図4-14 市川大門ポンプ場単線結線図

表 4－1 2 幹線概要

幹 線 名	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
釜 無 川 1 号 幹 線	300×2 ～ 2,000	27,480
釜 無 川 2 号 幹 線	300×2 ～ 1,010	15,795
釜 無 川 3 号 幹 線	200 ～ 900	3,964
釜 無 川 4 号 幹 線	250 ～ 1,000	4,710
釜 無 川 5 号 幹 線	300×2 ～ 800	3,127
釜 無 川 6 号 幹 線	600 ～ 1,200	2,403
釜 無 川 7 号 幹 線	350 ～ 400	3,531
釜 無 川 9 号 幹 線	400	1,965
釜 無 川 10 号 幹 線	500	80
釜 無 川 11 号 幹 線	1,000	476
富 士 川 1 号 幹 線	200 ～ 1,200	4,004
富 士 川 2 号 幹 線	200 ～ 1,350	6,634
富 士 川 3 号 幹 線	150 ～ 250	2,200
合 計		76,369

※供用管径及び延長は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※供用延長は、県へ管理移管を計画している公共管を含まない。

表 4－1 3 幹線付帯設備概要

幹線名	設備名称	仕様及び形式	現有設備
釜無川 1 号幹線	黒沢川横断部水管橋	管径350mm	9.000m
	釜無川横過トンネル	一級河川富士川横断部 管径800mm×2条 照明設備 換気設備 ガス検知器設備 排水ポンプ設備 制水ゲート 富士川 右岸 幅1.65m×高1.65m 左岸 幅1.65m×高1.65m	656.853m 1式 1式 1式 1式 2門 2門
	坪川制水ゲート設備	一級河川坪川横断部 坪川 右岸 幅1.8m×高1.8m 左岸 幅1.8m×高1.8m	1門 1門
釜無川 3 号幹線	若草マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ150×3.3m ³ /min×11m×15kW	2台
	滝沢川横断部水管橋	管径200mm	50.700m
釜無川 4 号幹線	玉穂マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ200×4.26m ³ /min×10m×11kW	2台
	玉穂第2マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ150×3.0m ³ /min×6.0m×5.5kW	2台
	山王川横断部水管橋	管径250mm	31.300m
釜無川 5 号幹線	貢川横断部水管橋	管径300mm×2条	26.429m
釜無川 6 号幹線	逆流防止ゲート設備	鎌田川 左岸 幅1.02m×高0.875m	1門
富士川 1 号幹線	旧利根川制水ゲート設備	一級河川旧利根川横断部 旧利根川 右岸 幅1.2m×高1.2m 左岸 幅1.2m×高1.2m	1門 1門
	戸川横断部水管橋	管径200mm	53.000m
富士川 2 号幹線	東川伏越	管径450mm×2条	118.120m
	富士川横断部水管橋	管径450mm×2条	732.050m
	三珠マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ150×2.4m ³ /min×12m×11kW	2台
	制水ゲート設備	芦川 右岸 φ1.0m 左岸 φ1.0m	1門 1門
富士川 3 号幹線	市川三郷 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.64m ³ /min×9.3m×3.7kW	2台
	市川三郷第2 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.64m ³ /min×13.8m×5.5kW	2台

表 4－1 4 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管 径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m^3/h)	形 式
1	釜無川 1 号若草町浅原流量計	1,650	1,650	3,000	P B F、圧力式
2	釜無川 1 号田富町布施流量計	1,500	1,500	2,500	P B F、圧力式
3	釜無川 1 号昭和町築地新居流量計	1,200	1,200	4,000	P B F、圧力式
4	田富ポンプ場流量計	—	250 200	700	電磁式
5	釜無川 6 号田富町布施流量計	1,000	1,000	1,000	P B F、圧力式
6	富士川 1 号増穂町長沢流量計	1,200	1,200	1,000	P B F、圧力式
7	富士川 1 号増穂町青柳流量計	450	450	300	P B F、圧力式
8	鰯沢ポンプ場流量計	—	150	400	電磁式
9	双葉ポンプ場流量計	—	350	1,300	電磁式
1 0	敷島ポンプ場流量計	—	250	750	電磁式
1 1	葦崎第 1 ポンプ場流量計	—	250	900	電磁式
1 2	市川大門ポンプ場流量計	—	400	2,000	電磁式
1 3	葦崎第 3 ポンプ場流量計	—	200	700	電磁式
1 4	葦崎第 2 ポンプ場流量計	—	300	1,000	電磁式
備 考	流量計番号は図 4－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器運転状況を表 4-15 に、し渣及び沈砂搬出状況を表 4-16 に、薬品・給水・燃料使用状況を表 4-17 に、中継ポンプ場運転状況を表 4-18 に示す。

各設備については下記のとおり運転を行った。

ア) スクリーンポンプ設備

スクリーン設備については主として No.1 水路を使用した。細目スクリーン自動除塵機の運転は 9 回／日のタイマー運転とした。揚砂ポンプは通常は運転せず、1 箇月毎の定期点検運転のみとした。

汚水ポンプについては吐出量 2,900 m³/h を通常時の上限とし、ポンプ井水位一定制御による運転を行った。流入水量が多い時間帯については流入ゲートの開度を調整して管内貯留を行った。

汚水ポンプの運転号機は No.2 号機 (No.2-1 または No.2-2 号機) の 1 台運転を基本とし、流量の少ない時間帯は No.1 号機 (No.1-1 または No.1-2 号機) の 1 台運転とした。No.2-1, No.2-2 号機及び No.1-1, No.1-2 号機は 1 箇月毎の切替運転とした。

イ) 最初沈殿池設備

年間を通して 2 池使用とした。機器更新工事により No.1-1～No.1-4 池は使用できなかったため、No.2～4 池を切替えて使用した。

汚泥掻寄機は連続運転とし、スカムスキマーは 4 回／日のタイマー運転とした。また、生汚泥ポンプは 1 時間毎の間欠運転とした。

ウ) 反応タンク設備

4～12 月下旬は 6 池使用とし、12 月下旬～3 月は 7 池使用とした。

各槽の水中機械曝気機はコスト縮減のため 1 槽目については間欠運転とし、3 槽目は 2 台中 1 台の運転を停止させて運用した。その他の水中機械曝気機については連続運転を行った。

送風機の運転は吐出圧一定制御の連続運転を行い、また、曝気風量は風量調節弁にて 1 系では DO 一定制御を行い、2 系では OR 制御を行った。運転号機は No.2 号機 (No.2-1 または No.2-2 号機) の 1 台運転を基本とし、風量不足時は No.1 号機 (No.1-1 または No.1-2 号機) の 1 台を追加で運転した。また、No.2 号機 (No.2-1 または No.2-2 号機) は、夏季に能力が高めの No.2-2 号機を主機とし、その他の季節及び No.1 号機は 1 箇月毎の切替運転を基本とした。

エ) 最終沈殿池設備

年間を通して、4 池使用とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、スカムスキマーは 4 回／日のタイマー運転とした。また、返送汚泥ポンプは比率制御により返送率 50% の連続運転とした。余剰汚泥ポンプは汚泥の発生状況にあわせ 1 時間毎の間欠運転を行った。

オ) 塩素滅菌設備

次亜塩注入ポンプは No.2 号機を主機とした 1 台運転で、注入率一定制御により連続運転を行った。

カ) 放流ポンプ設備

放流河川水位が上昇したときの非常設備であり、通常はバイパスさせ自然流下による放流を行った。本年度は河川水位上昇に伴う放流ポンプの強制放流はなかった。

キ) 機械汚泥濃縮設備

遠心濃縮機は余剰汚泥のみの処理で、濃度一定制御による自動運転とした。運転台数は1台を24時間連続運転とし、2台目は夜間を中心として追加運転を行うことを基本とした。また、凝集剤を添加することによりボウルの回転数を下げて運転を行い、使用電力量の低減を図った。

ク) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により重力濃縮を行った。

4～12月中旬はNo.2タンクを使用し、12月中旬～3月はNo.1タンクを使用した。汚泥掻寄機の運転は連続運転とした。

ケ) 汚泥脱水設備

汚泥脱水機はいずれも遠心脱水機であり、コンベアの搬送トルクを指標とした制御による自動運転を行った。No.2号機を主機とし、毎日1～2台運転で24時間／日程度運転を行った。

コ) 脱臭設備

スクリーンポンプ棟、汚泥濃縮棟、汚泥棟のいずれの脱臭設備も連続運転とした。

サ) 関連中継ポンプ場

市川大門ポンプ場、田富ポンプ場、双葉ポンプ場、葦崎第3ポンプ場については、ポンプの可変速運転によりポンプ井水位一定制御の運転を行い、その他のポンプ場、マンホールポンプの汚水ポンプについては、ポンプ井水位制御による運転を行った。

シ) 伏越設備

釜無川横過トンネルは、4～1月はNo.2水路を使用し、2月～3月はNo.1水路を使用した。なお、滞泥防止対策としてゲートの開閉により毎週2回のフラッシングを実施した。

②未使用機器の保守

未使用機器は、定期点検時に保守運転を行い、予備機のある機器については、基本的に月1回の切替運転を行った。

マンホールポンプの運転号機については交互切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表4-19に示す。

釜無川流域下水道

表４－１５ 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
No.1-1 汚水ポンプ	0.5	54.0	1.3	250.1	144.7	131.3	0.5	55.9	22.3	22.6	19.5	7.4	710.1
No.1-2 汚水ポンプ	65.2	12.9	194.3	62.3	303.3	10.6	165.0	71.6	106.3	8.7	21.5	18.9	1,040.6
No.2-1 汚水ポンプ	34.1	501.8	87.5	635.1	139.8	653.1	58.0	558.3	101.9	591.0	436.1	276.9	4,073.6
No.2-2 汚水ポンプ	681.3	225.3	625.0	105.3	594.4	58.0	681.8	152.9	626.4	126.8	202.3	450.9	4,530.4
No.1-1 生汚泥ポンプ	26.3	408.7	0.0	87.0	13.6	140.6	0.8	4.9	1.8	7.2	2.3	389.2	1,082.4
No.1-2 生汚泥ポンプ	569.1	210.6	581.5	523.0	59.5	446.5	607.0	578.1	597.9	606.4	553.5	230.0	6,095.1
No.1-1 送風機	7.4	0.9	13.8	34.7	1.0	15.8	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	4.0	81.5
No.1-2 送風機	24.4	0.5	11.5	78.3	210.6	93.1	0.7	22.8	5.1	0.9	0.6	13.9	462.4
No.2-1 送風機	105.7	541.8	159.0	452.2	167.4	156.2	45.9	418.6	245.8	350.3	318.8	492.4	3,454.1
No.2-2 送風機	613.7	201.6	558.0	291.3	571.3	561.1	697.4	296.9	489.1	390.5	347.6	244.1	5,262.6
No.1-1 返送汚泥ポンプ	24.2	730.0	94.7	727.8	57.8	678.8	49.5	621.7	88.4	597.3	68.8	683.0	4,422.0
No.1-2 返送汚泥ポンプ	703.9	13.3	657.0	16.9	727.1	41.4	728.8	150.4	694.6	154.0	412.2	210.1	4,509.7
No.1-3 返送汚泥ポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No.2-1 返送汚泥ポンプ	20.8	730.1	97.1	728.0	53.8	678.9	37.8	611.6	40.9	587.7	239.4	506.0	4,332.1
No.2-2 返送汚泥ポンプ	704.2	13.5	653.9	16.1	727.0	41.1	728.0	120.8	693.9	153.7	603.7	56.3	4,512.2
No.3-1 返送汚泥ポンプ	15.7	730.0	62.8	726.9	32.5	678.6	15.6	600.8	40.6	587.6	67.3	684.0	4,242.4
No.3-2 返送汚泥ポンプ	704.2	13.7	654.0	16.9	726.9	41.4	728.2	117.7	694.0	153.8	602.6	56.1	4,509.5
No.4-1 返送汚泥ポンプ	15.9	728.6	63.5	728.5	136.4	679.3	37.8	593.7	41.9	586.0	68.7	684.6	4,364.9
No.4-2 返送汚泥ポンプ	704.1	14.8	653.4	15.4	602.5	40.6	706.0	122.1	692.5	155.4	596.8	55.5	4,359.1
No.1-1 余剰汚泥ポンプ	3.2	113.2	10.2	122.2	1.3	135.4	2.7	121.8	4.8	93.2	8.3	146.6	762.9
No.1-2 余剰汚泥ポンプ	121.6	2.5	114.4	2.7	101.1	19.2	83.9	15.5	116.5	29.1	71.1	6.8	684.4
No.2-1 余剰汚泥ポンプ	2.5	121.6	10.0	130.7	18.3	111.2	2.3	96.0	5.2	82.5	7.2	33.7	621.2
No.2-2 余剰汚泥ポンプ	111.0	2.3	108.0	2.6	104.5	4.8	176.6	20.1	93.1	26.5	65.7	6.4	721.6
No.3 余剰汚泥ポンプ	118.4	137.3	124.7	153.5	150.7	126.3	124.5	109.6	136.0	119.3	80.4	136.8	1,517.5
No.4 余剰汚泥ポンプ	124.2	140.6	131.8	151.5	157.7	132.1	138.5	134.3	144.5	120.8	82.0	143.6	1,601.6
No.2 次亜塩素酸ナトリウムポンプ	719.5	737.3	716.6	743.7	738.2	719.6	743.6	715.4	734.0	740.8	665.5	739.9	8,714.1
No.3 次亜塩素酸ナトリウムポンプ	0.1	6.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	7.1
No.4 次亜塩素酸ナトリウムポンプ	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.4	0.1	2.1
No.1-1 放流ポンプ	0.2	0.1	0.1	0.9	0.7	0.5	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	5.2
No.1-2 放流ポンプ	0.2	0.1	0.1	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.4	0.3	0.5	0.5	4.9
No.2-1 放流ポンプ	0.2	0.1	0.1	0.7	0.5	0.7	0.6	1.0	0.6	0.7	0.5	0.8	6.5
No.2-2 放流ポンプ	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	0.5	0.5	0.4	0.7	0.6	6.7
No.1 連心濃縮機	451.9	571.0	48.9	0.0	0.0	0.0	138.9	0.0	0.0	13.3	277.1	577.1	2,078.2
No.2 連心濃縮機	312.5	211.6	639.2	689.6	674.4	647.6	636.0	611.1	557.9	227.8	228.3	5,964.7	
No.3 連心濃縮機	420.5	487.5	549.1	689.7	672.7	643.7	658.5	585.3	615.5	559.2	247.7	323.8	6,453.2
No.1 連心脱水機	213.6	225.8	124.6	40.3	37.4	64.7	41.9	45.2	62.5	435.5	507.3	193.9	1,992.7
No.2 連心脱水機	632.0	672.5	599.4	700.9	688.1	634.4	692.9	662.1	665.5	319.9	144.0	608.3	7,020.0
No.1 非常用発電機	0.1	0.1	1.1	0.0	1.1	0.2	0.1	0.2	1.1	0.1	0.2	1.1	5.4
No.2 非常用発電機	0.1	0.1	1.2	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.1	3.6

表４－１６ し渣及び沈砂搬出状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
し渣搬出量(水処理系) (kg)	1,850	1,891	1,897	2,096	1,713	1,911	1,763	1,879	2,081	2,148	1,882	2,260	23,371
し渣搬出量(汚泥処理系) (kg)	3,496	910	880	1,142	683	1,259	835	1,721	1,991	2,619	2,023	679	18,238
沈砂搬出量 (kg)	1,466	501	560	517	509	424	1,034	648	489	584	551	557	7,840

表４－１７ 薬品・給水・燃料使用状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬品	固形塩素剤 (kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次亜塩素酸ナトリウム (L)	13,780	14,270	14,680	15,210	15,310	14,530	14,800	14,160	14,290	14,000	12,540	171,720
	高分子凝集剤 (kg)	2,172.2	2,248.4	2,014.0	2,071.6	2,035.2	1,949.0	2,041.4	1,930.2	2,026.0	2,868.2	3,131.2	26,946.2
	消臭剤(重力濃縮系) (L)	4,020	4,560	4,520	4,620	4,560	4,800	4,080	3,840	3,880	4,160	3,120	50,080
	消臭剤(脱水機系) (L)	2,110	2,220	2,320	2,080	2,310	2,050	2,170	1,970	1,970	2,350	1,760	25,530
給水	上水 (m³)	118	124	100	124	122	137	164	199	161	156	144	1,705
	砂ろ過水 (m³)	24,700	26,624	25,603	26,807	26,060	25,198	25,444	24,445	24,244	26,539	22,828	306,810
	井戸水 (m³)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料	重油 (L)	35	36	553	21	428	49	27	37	319	57	60	2,181

表４－１８ 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
釜崎第1ポンプ場	No.1-1 汚水ポンプ	44.6	219.7	80.7	355.2	94.5	254.9	75.3	216.3	75.9	208.0	68.3	275.9	1,969.3
	No.1-2 汚水ポンプ	301.4	82.7	290.8	104.7	288.4	104.7	306.5	82.2	278.8	80.7	216.5	71.4	2,208.8
	No.2-1 汚水ポンプ	5.0	4.4	5.5	6.4	8.5	9.6	4.3	4.5	5.6	4.3	3.6	4.4	66.1
	非常用発電機	0.1	0.0	1.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	1.0	0.0	0.2	0.0	2.7
	No.1 汚水ポンプ	18.9	93.2	36.3	130.7	31.9	93.6	30.7	96.0	34.1	96.1	37.7	124.3	823.5
釜崎第2ポンプ場	No.2 汚水ポンプ	133.5	38.3	103.6	37.9	101.1	37.8	135.8	37.1	128.7	37.5	94.4	33.4	919.1
	No.3 汚水ポンプ	0.5	0.5	0.5	0.6	1.4	0.5	0.5	0.4	1.0	0.7	0.5	0.7	7.8
	非常用発電機	1.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	1.1	0.0	3.6	0.0	0.1	0.0	6.0
	No.1 汚水ポンプ	39.4	201.0	92.2	354.4	97.6	253.8	69.3	212.7	305.8	263.9	255.4	272.1	2,417.6
	No.2 汚水ポンプ	283.0	79.3	284.9	105.0	313.4	115.0	288.9	73.3	0.0	0.0	0.0	47.3	1,590.1
釜崎第3ポンプ場	非常用発電機	0.0	1.1	0.0	0.1	2.1	0.1	0.1	1.1	0.0	0.1	0.0	0.1	4.8
	No.1-1 汚水ポンプ	48.5	278.5	112.5	427.8	110.4	335.2	94.6	249.6	97.9	331.4	17.2	358.7	2,462.3
	No.1-2 汚水ポンプ	404.8	95.4	332.7	124.0	332.3	181.2	282.4	134.6	370.6	88.6	305.6	71.8	2,724.0
	No.2-1 汚水ポンプ	0.3	0.2	2.5	0.2	6.9	4.9	3.7	0.9	1.5	5.8	0.1	0.3	27.3
	非常用発電機	0.0	0.1	0.0	1.1	1.4	0.2	0.1	0.2	0.1	1.0	0.0	1.2	5.4
敷島ポンプ場	No.1-1 汚水ポンプ	0.2	0.0	0.2	0.1	3.1	0.2	0.1	281.6	527.3	406.5	421.0	0.1	1,640.4
	No.1-2 汚水ポンプ	0.2	0.1	0.6	0.1	3.4	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	243.2	248.1
	No.2-1 汚水ポンプ	320.8	278.0	320.4	425.8	334.3	414.7	304.2	103.0	3.7	7.8	19.0	181.1	2,712.8
	非常用発電機	0.0	1.1	0.0	0.1	0.3	0.5	0.1	1.1	0.0	0.6	0.0	0.3	4.1
	No.1-1 汚水ポンプ	127.6	585.6	161.4	463.3	160.8	476.0	160.2	463.5	161.3	460.9	134.4	551.2	3,906.2
田富ポンプ場	No.1-2 汚水ポンプ	382.1	137.4	356.9	114.7	271.8	0.9	483.0	131.5	376.8	286.8	386.1	8.0	2,936.0
	No.2-1 汚水ポンプ	78.2	43.6	83.9	47.2	179.0	90.0	113.7	35.8	71.3	40.6	84.0	46.3	913.6
	非常用発電機	0.1	0.0	1.1	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	1.1	0.0	0.2	0.0	3.0
	No.1 汚水ポンプ	37.3	44.9	36.3	35.3	43.2	34.4	34.6	43.8	35.6	45.6	35.8	44.2	471.0
	No.2 汚水ポンプ	37.7	45.4	36.7	35.9	43.7	34.6	34.9	44.3	36.4	46.3	36.1	43.4	475.4
市川大門ポンプ場	No.1-1 汚水ポンプ	69.1	267.2	67.9	202.5	62.5	189.4	61.2	249.6	60.6	166.6	55.5	226.9	1,679.0
	No.1-2 汚水ポンプ	176.8	40.9	197.9	70.3	256.8	73.7	182.8	59.9	170.5	117.1	167.5	66.5	1,580.7
	非常用発電機	0.0	0.3	0.1	1.1	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	1.2	0.0	0.3	3.5

表 4－19 機器故障状況（機械関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
スクリーンポンプ棟 No.1 脱臭ファン	Vベルトプーリーのキーが外れ、空回りし、プーリーと羽根車シャフトが異常摩耗した。 原因は経年劣化によるものであった。	羽根車シャフト、軸受、Vベルトプーリーの交換を実施した。
水処理施設 散水系給水ユニット	No.2 ポンプの能力が低下した。また、逆止弁のシール面が損傷し、止水できない状況となった。 原因は経年劣化によるものであった。	ポンプ及び逆止弁の交換を実施した。
スクリーンポンプ棟 No.1 水中攪拌機	絶縁抵抗値が異常に低下した。また、プロペラ軸にガタ付きが見られた。 原因は経年劣化によるものであった。	攪拌機の分解整備を実施した。
スクリーンポンプ棟 No.2 水中攪拌機	絶縁抵抗値が異常に低下した。また、オイル室への水浸入も確認された。 原因は経年劣化によるものであった。	攪拌機の分解整備を実施した。
汚泥棟 No.1 濃縮機給泥ポンプ	ポンプが吐出しなくなった。ポンプ内のローターカップリング部が摩耗し、空回りしていた。 原因は経年劣化によるものであった。	ローターカップリング部の部品交換を実施した。
水処理施設 No.1 砂ろ過塔	塔の胴体部において、内側からの摩耗により穴が開き、漏水、および砂が漏れる状態となった。 原因は経年劣化によるものであった。	F R P シートによる補修を実施した。

注) 令和6年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、釜無川浄化センター、葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富及び市川大門ポンプ場は高圧6,600V、鰯沢ポンプ場、若草、玉穂、玉穂第2、三珠、市川三郷及び市川三郷第2マンホールポンプは低圧200V（動力）及び100V（照明）である。

釜無川浄化センター、葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富、鰯沢及び市川大門ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表4-20～表4-28、図4-15～図4-23に示す。

浄化センターの使用電力量は、371～450kWh／月の間で推移し、年間として4,946kWh／年となり昨年度と比較して約1.0%の減少となった。

これは、水処理施設に関する建設工事に伴う反応タンクの使用池数の制限により、水処理に関わる電力が減少したことによるものである。

浄化センターの原単位電力量と最大需要電力の表とグラフをそれぞれ表4-29、図4-24、図4-25に示す。

原単位電力量は0.242～0.265kWh／m³の間で推移した。

最大需要電力は636～686kWの間で推移した。

浄化センターの契約電力は、電力会社との協議による契約電力決定方式により、年間を通じて701kWとなった。

ポンプ場の契約電力は、葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富及び市川大門ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、それぞれ25～73kW、20～54kW、11～26kW、128～369kW、24～59kW、42～101kW、46～69kWの間で推移した。また、鰯沢ポンプ場は設備容量による契約電力決定方式により47kWであった。

マンホールポンプの契約電力は、若草、玉穂、玉穂第2、三珠、市川三郷及び市川三郷第2マンホールポンプは、設備容量による契約電力決定方式により、それぞれ33kW、25kW、14kW、25kW、9kW及び13kWであった。

②非常用発電設備運転状況

浄化センターでは、保守点検として、1箇月に1回約5分間の無負荷運転（別途起動スイッチによる起動点検を1年に1回）と6箇月に1回約1時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は860kWhであった。また、8月にNo.2発電機始動渋滞の原因調査による運転（停電なし、発電機運転5分間）、1月にNo.2発電機始動用蓄電池交換後の起動確認による運転（停電なし、発電機運転7分間）を実施した。

なお、停電としては、8月に送電事故に伴う商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転52分間、発電電力量100kWh）、3月に送電事故に伴う商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転59分間、発電電力量440kWh）を実施した。

葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富及び市川大門ポンプ場では、保守点検として、2箇月に1回（葦崎第1、双葉、敷島、市川大門は別途起動スイッチによる起動点検を1年に1回）約5分間の無負荷運転と6箇月に1回約1時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量はそれぞれ34kWh、27kWh、35kWh、201kWh、42kWh、61kWh及び80kWhであった。また、葦崎第2ポンプ場では、12月に受変電設備精密点検に伴う商用側給電停止による運転（停電3時間20分、発電機運転3時間6分、発電電力量37kWh）、葦崎第3ポンプ場では、8月に発電機切替不良の原因調査による運転（停電6分間、発電機運転12分間、発電電力量1kWh）、双葉ポンプ場では、12月に受変電設備精密点検に伴う商用側給電停止による運転（停電19分間、発電機運転7分間、発電電力量0kWh未満）、敷島が

ンプ場では、1月に燃料流量計不具合の原因調査による運転（停電なし、発電機運転10分間）、田富ポンプ場では、2月に始動用直流電源装置部品交換後の起動確認による運転（停電なし、発電機運転1分未満、発電電力量1kWh未満）を実施した。

なお、停電としては、葦崎第1ポンプ場では、8月に原因不明の商用受電停電による運転（停電9分間、発電機運転10分間、発電電力量1kWh）、10月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転3分間、発電電力量1kWh未満）、3月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転2分間、発電電力量1kWh未満）、葦崎第3ポンプ場では、8月に原因不明の商用受電停電による運転（停電9分間、発電機運転1時間52分、発電電力量21kWh）、10月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転4分間、発電電力量1kWh未満）、3月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転4分間、発電電力量1kWh未満）、双葉ポンプ場では、8月に原因不明の商用受電停電による運転（停電14分間、発電機運転1時間21分、発電電力量111kWh）、10月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分間、発電機運転4分間、発電電力量1kWh未満）、3月に送電事故に伴う商用受電停電による運転（停電8分間、発電機運転57分間、発電電力量74kWh）、原因不明の商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転4分間、発電電力量1kWh未満）、敷島ポンプ場では、8月に原因不明の商用受電停電による運転（停電9分間、発電機運転11分間、発電電力量2kWh）、10月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分未満、発電機運転3分間、発電電力量1kWh未満）、市川大門ポンプ場では、6月に原因不明の商用受電停電による運転（停電1分間、発電機運転4分間、発電電力量1kWh未満）を実施した。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表4-30に示す。

釜無川流域下水道

表 4-20 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

(単位:上段 kWh,下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	406,776	416,472	406,584	439,104	450,360	420,480	412,728	397,344	403,608	413,328	371,304	408,336	4,946,424	412,202
流入下水量	1,534,182	1,609,219	1,680,461	1,742,929	1,750,695	1,631,902	1,668,609	1,608,938	1,602,985	1,558,620	1,408,244	1,557,989	19,354,773	1,612,898

表 4-21 使用電力量と流入下水量（荏崎第1ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	11,549	13,005	13,431	13,377	14,036	12,344	11,427	10,362	10,728	10,480	9,743	10,619	141,101	11,758
流入下水量	110,464	118,830	138,141	138,701	149,100	124,879	117,012	110,733	110,022	106,492	97,079	108,616	1,430,069	119,172

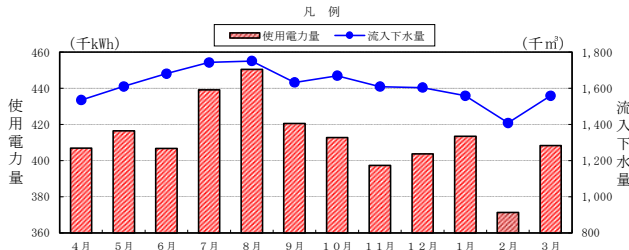


図 4-15 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

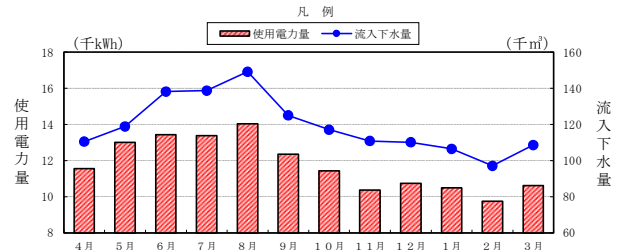


図 4-16 使用電力量と流入下水量（荏崎第1ポンプ場）

表 4-22 使用電力量と流入下水量（荏崎第2ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	8,146	7,556	8,123	8,610	8,965	9,054	7,858	8,000	7,891	8,203	8,190	7,399	97,995	8,166
流入下水量	56,254	59,457	62,041	62,729	64,205	56,688	59,284	56,801	57,706	56,952	51,421	57,848	701,386	58,449

表 4-23 使用電力量と流入下水量（荏崎第3ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	5,087	5,425	6,228	6,124	6,742	5,849	5,385	4,995	5,169	5,196	4,854	5,378	66,432	5,536
流入下水量	49,446	53,877	68,357	67,387	76,642	59,962	52,149	49,049	48,644	47,515	43,006	48,509	664,543	55,379

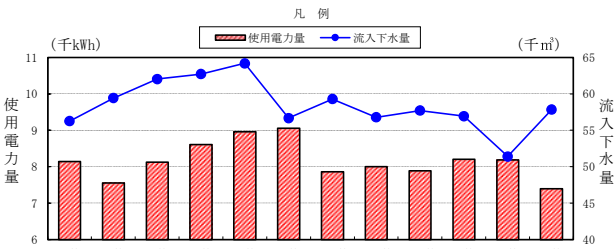


図 4-17 使用電力量と流入下水量（荏崎第2ポンプ場）

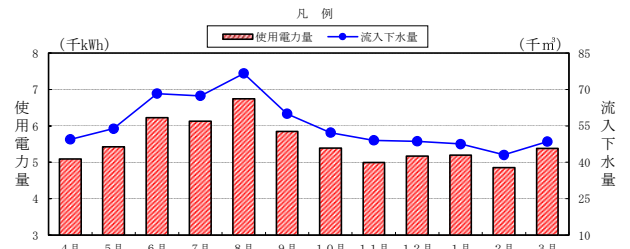


図 4-18 使用電力量と流入下水量（荏崎第3ポンプ場）

表 4-24 使用電力量と流入下水量（双葉ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	46,589	43,183	49,746	51,590	50,972	51,554	43,438	45,261	42,554	42,902	42,791	39,085	549,665	45,805
流入下水量	175,299	186,309	209,166	205,523	215,647	188,353	183,733	174,828	172,157	169,250	153,787	172,562	2,206,614	183,885

表 4-25 使用電力量と流入下水量（敷島ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	10,125	10,149	11,712	11,962	12,461	12,240	11,222	11,357	11,416	11,774	11,817	10,289	136,524	11,377
流入下水量	129,137	139,998	152,511	164,171	164,556	151,334	146,057	138,347	139,228	133,252	120,382	132,307	1,711,280	142,607

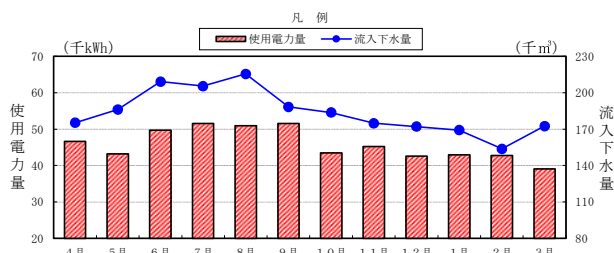


図 4-19 使用電力量と流入下水量（双葉ポンプ場）

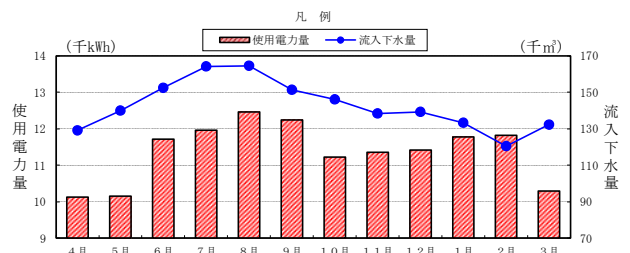


図 4-20 使用電力量と流入下水量（敷島ポンプ場）

釜無川流域下水道

表4-26 使用電力量と流入下水量（田富ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	14,146	13,034	16,172	14,471	18,297	13,798	16,079	12,044	14,875	13,373	14,304	13,244	173,837	14,486
流入下水量	138,340	142,130	145,447	150,114	158,555	145,077	149,937	140,602	142,764	142,416	128,686	145,041	1,729,109	144,092

表4-27 使用電力量と流入下水量（鰺沢ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	1,819	1,922	1,828	1,924	1,728	1,780	1,847	1,771	1,678	2,012	1,816	1,830	21,955	1,830
流入下水量	12,553	12,936	12,678	12,874	13,160	12,319	13,042	12,402	12,853	12,691	11,581	13,077	152,166	12,681

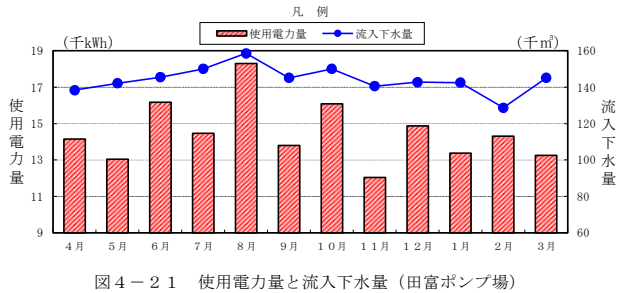


図4-2-1 使用電力量と流入下水量（田富ポンプ場）

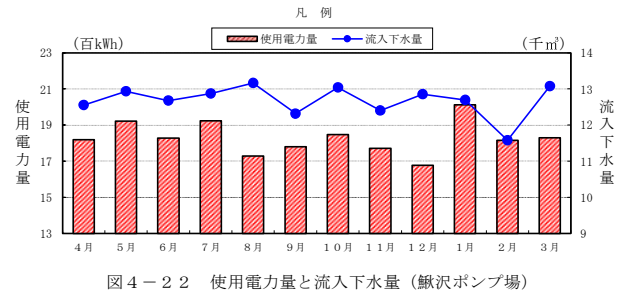


図4-2-2 使用電力量と流入下水量（鰺沢ポンプ場）

表4-28 使用電力量と流入下水量（市川大門ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	16,138	15,635	17,294	17,192	17,011	17,395	15,862	16,064	15,226	15,756	15,157	13,988	192,718	16,060
流入下水量	94,552	98,490	105,925	105,396	105,480	97,369	98,279	94,378	93,059	90,994	81,025	92,320	1,157,267	96,439

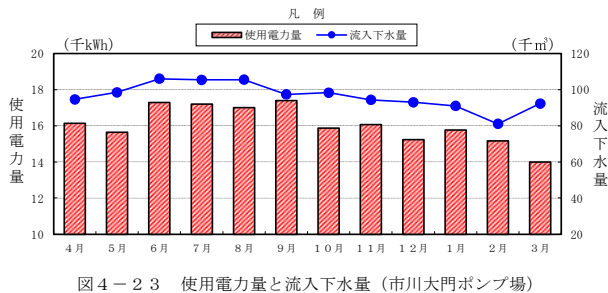


図4-2-3 使用電力量と流入下水量（市川大門ポンプ場）

表4-29 原単位電力量と最大需要電力（浄化センター）

(単位:上段 kWh/m³,下段 kW)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
原単位電力量	0.265	0.259	0.242	0.252	0.257	0.258	0.247	0.247	0.252	0.265	0.264	0.262	0.256
最大需要電力	660	662	660	672	686	677	636	670	670	648	638	665	662

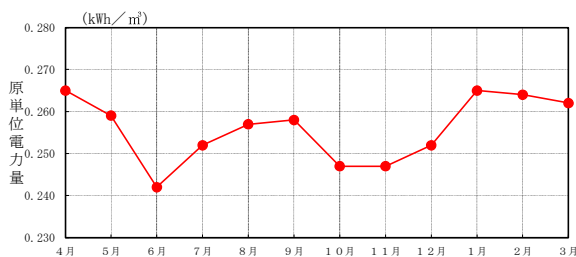


図4-2-4 原単位電力量（浄化センター）

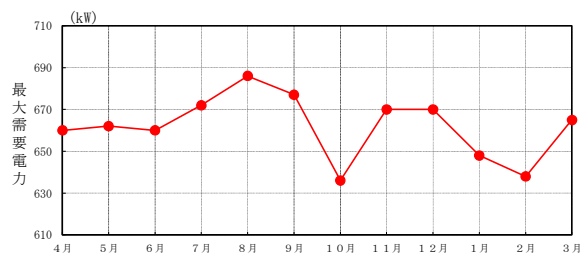


図4-2-5 最大需要電力（浄化センター）

表 4 - 3 0 機器故障状況（電気関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
水処理施設 No.2 終沈（3） 補助継電器盤	No.3-1 及びNo.3-2 各終沈汚泥掻寄機及びNo.3 終沈汚泥掻寄機（クロス）の各運転確認タイマーから異音が発生する状態となった。 原因はタイマーの経年劣化によるものであった。	タイマーの交換を実施した。
釜無川横過トンネル No.1 受電操作盤 No.2 受電操作盤 No.1 制水ゲート操作盤	No.1 及びNo.2 の受電操作盤／直流盤電源故障及び制水ゲート操作盤電源故障の警報が発生し、No.1 制水ゲート操作盤の電圧計指示値が0Vとなった。 原因は落雷の影響によるNo.1 及びNo.2 各受電操作盤内の無停電電源装置送り用MCCBのトリップ、No.1 制水ゲート操作盤内の電圧指示計用ヒューズ切れ及び電圧検出リレーの焼損によるものであった。	No.1 及びNo.2 各受電操作盤内の無停電電源装置送り用MCCBを投入し、No.1 制水ゲート操作盤内の電圧指示計用ヒューズ及び電圧検出リレーの交換を実施した。
管理本館 直流電源装置 蓄電池盤	蓄電池の内部抵抗値が異常に上昇し、寿命値を大幅に超過する状態となった。 原因は蓄電池の経年劣化によるものであった。	蓄電池の交換を実施した。
韭崎第1ポンプ場 防犯設備	防犯キースイッチの解除が機能しない状態となった。 原因は防犯キースイッチの経年劣化によるものであった。	防犯キースイッチの交換を実施した。
管理本館 No.2 乾式 エアフィルター操作盤	操作盤内の自動運転タイマー画面に「E2」（メモリ異常）のエラーが表示し、使用不能となった。 原因はタイマーの経年劣化によるものであった。	タイマーの交換を実施した。
敷島ポンプ場 防犯設備	侵入警報が発報しない状態となった。 原因は防犯装置本体の経年劣化によるものであった。	防犯装置本体の交換を実施した。
釜無川横過トンネル No.1 受電操作盤	200V電圧計の内部温度が異常に高い状態となった。 原因は電圧計の経年劣化によるものであった。	電圧計の交換を実施した。
双葉ポンプ場 貯油槽油面計	油面計の計測値が不安定な状態となった。 原因は油面計の発信器トランスミッターの経年劣化によるものであった。	発信器トランスミッターの交換を実施した。
管理本館 No.2 始動用直流電源盤	No.2 自家発電機の1回目の始動が失敗する状態となった。 原因は蓄電池の経年劣化によるものであった。	蓄電池の交換を実施した。
汚泥棟 No.3 遠心濃縮機制御盤	給泥ポンプ流量手動設定器の表示が全て消灯して異音が生じ、流量制御が異常な状態となった。 原因は手動設定器の経年劣化によるものであった。	手動設定器の交換を実施した。
水処理施設 No.2 水処理流入流量計	レベル／流量変換器の表示が異常となり、流量変換信号を出力しない状態となった。 原因はレベル／流量変換器の経年劣化によるものであった。	レベル／流量変換器の交換を実施した。
水処理施設 No.3 終沈（3） 補助継電器盤	反応タンク2及び終沈2各床排水ポンプの自動及び手動制御が機能しない状態となった。 補助継電器盤内の反応タンク2及び終沈2各床排水ポンプ共通電源確認タイマーの経年劣化によるものであった。	タイマーの交換を実施した。
放流ポンプ棟 トラックスケール 表示記録装置	無停電電源装置のバッテリー交換表示ランプが点灯し、ブザーが鳴動する状態となった。 原因は蓄電池の経年劣化によるものであった。	蓄電池の交換を実施した。
水処理施設 No.1-1 反応タンク DO計	コンプレッサーから異音が発生する状態となった。 原因はコンプレッサーの経年劣化によるものであった。	コンプレッサーの交換を実施した。

注）令和6年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質日常試験及び精密試験結果を表4-31～表4-34、図4-26～図4-27に示す。

流入水は、年間平均BODが160mg/L、SSが200mg/Lであった。流入水の汚濁濃度は概ね安定していた。

放流水は、10月から12月にかけて活性汚泥の凝集性が低下したことにより、微細なフロックが多く見られ、透視度が悪化した。また、場内工事のため脱水機の運転が制限されたことから3月上旬から中旬にかけてMLSS濃度が高い値で推移したこと及び気温が急激に変化したことから終沈の汚泥の巻き上がりが発生して透視度がやや悪化した。概ね年間を通じて良好な水質であった。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表4-35に示す。

地点⑦、⑧で溶解性鉄含有量が検出されたが、下水道排除基準を超過することはなかった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表4-36～表4-39に、反応タンクの管理状況を図4-28～図4-29に示す。

反応タンクは水温低下に伴う処理能力の低下に対応するため12月下旬以降から最初沈殿池の工事による使用制限が始まる1月下旬までの期間及び工事が終了した2月下旬以降から3月末日までの期間においては7池を使用し、それ以外は6池の使用とした。また、硝化抑制運転により処理を行い、さらにバルキング抑制を目的として年間を通して単段式嫌気好気法により運転を行った。

MLSSは、流入負荷や窒素処理の状況等を考慮し、1,500～1,800mg/Lの範囲で目標値を設定した。このような中で、MLSSは、1,280～2,390mg/Lの間を推移し、年間平均で1,640mg/Lとなった。

SVIは、120～190mL/gの間を推移した。沈降性は年間を通し概ね良好であった。

BOD-SS負荷は月間平均で0.10～0.22kg/kg・日、SRTは月間平均で4.6～8.0日で推移した。

活性汚泥中の微生物は、年間を通して活性汚泥性生物数の総数に変動があったが、割合については高く推移した。

④通日試験結果

通日試験結果を表4-40～表4-43、図4-30～図4-45に示す。

流入負荷は、概ね12:00前後と24:00前後に2回のピークが見られた。負荷が最も少ない時間帯は、朝方の6:00～8:00頃であった。

放流水は、11月に実施した際にはピークの24:00前後に若干水質が悪化した。概ね安定した良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表4-44に、汚泥試験測定結果を表4-45～表4-47に示す。

生汚泥については重力濃縮槽、余剰汚泥については遠心濃縮機により処理を行った。

重力濃縮槽については、汚泥性状に合わせ、運用上支障がない範囲で高濃度の汚泥となるよう界面管理を行った。この結果、重力濃縮汚泥濃度は年間平均で2.83%となった。

遠心濃縮機は、目標濃度を 4.5%に設定し、1 台の 24 時間連続運転を基本として、余剰汚泥発生量に応じて 1 台を追加運転した。なお、追加運転はピーク電力に配慮し運転を行った。この結果、機械濃縮汚泥濃度は 4.50%となった。

脱水は、年間平均 3.69%の脱水機供給汚泥を高効率型の No 2 脱水機を基本とした運転により処理を行った。高分子凝集剤は高カチオン系を使用し、脱水ケーキや分離液の状況により薬注率の調整を行った。この結果、脱水ケーキの年間発生量は 15,039.91 t、含水率は年間平均値で 73.7%となった。

なお、脱水ケーキは、51%をセメントの原料、49%を肥料原料として全量有効利用した。

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表 4-48～表 4-49 に示す。

放流口上流の坪川橋採水地点と比較し、放流口下流の笹口橋採水地点では全窒素中に占めるアンモニア性窒素の割合が高い状況であった。坪川は年間を通して水量が少なく、河川水に占める放流水の割合が高いため、硝化抑制運転の影響を受けたためと考えられる。

②臭気測定結果

臭気測定結果（敷地境界）を表 4-50 に示す。

敷地境界においては、規制値以下の結果であった。

釜無川流域下水道

表 4－3 1 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.5	21.5	23.0	25.0	26.5	26.5	25.5	23.0	20.5	18.0	17.5	19.0	26.5
	最小	18.0	20.0	21.5	23.0	25.5	25.0	23.5	21.0	18.5	17.5	17.0	17.0	17.0
	平均	19.2	20.8	22.6	24.0	25.9	25.9	24.5	22.1	19.5	17.6	17.2	17.7	21.4
水素イオン濃度	最大	7.29	7.23	7.16	7.15	7.20	7.15	7.16	7.19	7.20	7.24	7.25	7.23	7.29
	最小	7.05	7.05	7.09	7.04	7.02	7.00	7.03	7.03	7.03	7.02	7.03	7.04	7.00
	平均	7.18	7.16	7.12	7.09	7.08	7.08	7.09	7.12	7.12	7.15	7.15	7.16	7.13
透 視 度 (cm)	最大	5.0	5.0	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	5.5
	最小	4.0	4.0	4.5	4.5	4.0	4.5	4.5	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	3.5
	平均	4.2	4.5	5.0	5.0	4.9	4.9	4.7	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	4.5
浮遊物質質量 (mg/L)	最大	240	220	210	200	200	200	220	220	220	240	230	230	240
	最小	180	180	150	170	160	160	160	170	180	180	180	190	150
	平均	210	200	180	180	180	170	190	200	200	210	210	210	200
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	200	180	150	150	180	150	150	170	200	200	180	170	200
	最小	140	150	140	130	130	130	120	140	150	160	160	160	120
	平均	170	160	150	140	140	140	140	160	170	180	170	160	160
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	120	100	100	95	92	96	100	110	110	110	110	110	120
	最小	94	90	80	80	80	80	79	87	89	92	100	92	79
	平均	100	97	91	88	86	88	92	98	98	100	110	100	96
大腸菌群数 (千個/cm ³)	最大	480	440	360	470	310	360	550	370	370	200	270	500	550
	最小	51	88	61	120	41	97	85	140	100	47	60	70	41
	平均	240	280	240	290	230	210	270	250	210	130	190	300	240

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 4－3 2 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.5	22.5	24.0	26.0	27.0	27.5	26.5	24.0	21.0	18.0	18.0	20.0	27.5
	最小	19.0	21.0	22.5	24.0	26.5	26.0	24.0	21.5	19.0	17.5	17.5	18.0	17.5
	平均	20.2	21.6	23.5	24.9	26.7	26.7	25.2	22.7	20.1	17.9	17.9	18.5	22.2
水素イオン濃度	最大	7.05	7.05	7.03	7.07	7.06	7.03	7.02	7.02	6.97	6.95	6.92	6.98	7.07
	最小	6.86	6.81	6.89	6.89	6.80	6.92	6.89	6.83	6.80	6.84	6.73	6.83	6.73
	平均	6.95	6.98	6.99	7.00	6.96	6.98	6.95	6.92	6.86	6.89	6.84	6.90	6.94
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	65	>100	>100	>100	>100	75	70	70	70	80	>100	75	65
	平均	89	>100	>100	>100	>100	92	85	84	81	99	>100	93	94
浮遊物質質量 (mg/L)	最大	5.9	4.3	4.0	3.6	3.3	4.0	4.9	5.2	5.3	4.0	4.4	4.9	5.9
	最小	3.2	2.0	1.9	2.0	1.8	2.5	2.9	3.2	2.9	2.4	2.2	3.2	1.8
	平均	4.3	3.1	2.6	2.7	2.7	3.2	3.8	4.1	3.8	3.2	3.2	4.0	3.4
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	3.3	3.0	2.8	3.0	3.5	3.1	3.5	3.3	3.4	2.5	2.6	3.3	3.5
	最小	1.7	1.8	1.8	1.6	1.8	2.2	2.0	1.8	2.0	2.3	1.9	2.4	1.6
	平均	2.7	2.4	2.3	2.4	2.4	2.8	2.6	2.7	2.8	2.4	2.3	2.9	2.6
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	13	11	10	9.8	9.9	11	12	13	13	12	11	12	13
	最小	11	9.2	8.9	8.7	8.1	9.5	9.1	10	11	10	9.9	10	8.1
	平均	11	10	9.4	9.2	9.4	10	11	12	12	11	10	11	11
大腸菌群数 (個/cm ³)	最大	1	4	2	2	6	1	2	2	0	0	1	2	6
	最小	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	平均	0	2	1	1	1	0	1	2	0	0	1	1	1

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

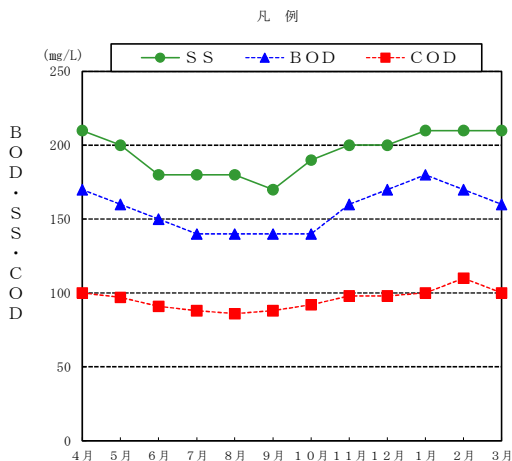


図 4－2 6 流入水の水質変化

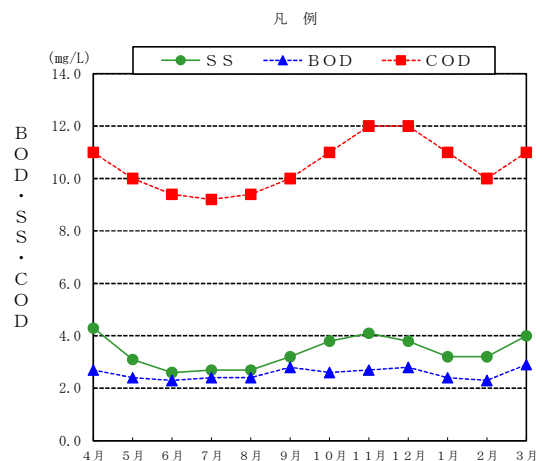


図 4－2 7 放流水の水質変化

釜無川流域下水道

表 4－3 3 （１） 精密試験分析結果（流入水－１）

測 定 項 目	単位	４ 月		５ 月		６ 月		７ 月		８ 月		９ 月		１ ０ 月	
実施日	—	4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃	18.0	20.0	20.5	20.5	22.0	23.0	23.5	24.0	25.5	26.0	26.0	26.5	25.5	24.5
透視度	c m	4.0	4.0	5.0	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	4.5	4.0	5.5	4.5	5.0	5.0
水素イオン濃度	—	7.23	7.24	7.22	7.15	7.12	7.13	7.13	7.05	7.17	7.03	7.14	7.10	7.08	7.14
蒸発残留物	mg/L	580	600	540	510	520	470	480	540	510	520	520	510	490	510
強熱残留物	mg/L	250	280	220	220	240	230	210	240	230	200	210	200	220	240
溶解性物質	mg/L	340	370	330	330	310	310	330	340	290	290	340	330	320	320
浮遊物質量	mg/L	220	190	190	200	180	160	170	170	200	160	160	170	180	170
アルカリ度	mg/L	190	200	185	190	182	175	185	178	178	175	180	188	188	191
生物化学的酸素要求量	mg/L	200	170	160	180	150	150	150	130	180	150	130	150	140	150
化学的酸素要求量	mg/L	110	100	100	100	90	84	90	84	92	87	80	87	91	92
アンモニア性窒素含有量	mg/L	24.3	24.7	24.1	22.9	21.2	19.6	19.9	19.4	19.9	22.2	16.1	20.3	24.3	22.4
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.58	0.53	0.56	0.57	0.42	0.51	0.52	0.31	0.23	0.62	0.35	0.43	0.40	0.30
有機性窒素含有量	mg/L	16.2	16.3	15.0	15.2	15.4	13.3	14.3	14.3	13.3	12.2	13.0	12.6	9.84	13.7
窒素含有量	mg/L	41.0	41.5	39.7	38.8	36.9	33.4	34.7	34.0	33.4	35.0	29.4	33.2	34.5	36.4
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	3.58	2.94	3.37	4.11	3.63	2.82	2.69	3.18	3.60	3.59	2.60	3.01	3.45	3.44
燐含有量	mg/L	6.80	5.69	6.17	6.87	6.18	4.84	5.05	5.32	4.61	6.26	4.13	3.64	6.51	5.75
大腸菌群数	千個/cm ³	51	56	88	110	360	61	470	120	280	41	140	97	85	95
よう素消費量	mg/L	23	31	18	27	24	23	23	31	28	33	21	23	33	22
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	14	26	20	22	21	19	17	19	19	17	17	18	18	18
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.18	0.25	0.20	0.17	0.18	0.17	0.12	0.12	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	0.17	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	—	—	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	24.9	25.2	24.7	23.5	21.6	20.1	20.4	19.7	20.1	22.8	16.4	20.7	24.7	22.7
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

釜無川流域下水道

表 4-33 (2) 精密試験分析結果 (流入水-2)

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃	23.0	22.0	20.5	19.0	18.0	17.5	17.5	17.0	17.0	17.5	26.5	17.0	21.4
透視度	c m	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.5	4.0	5.5	4.0	4.5
水素イオン濃度	—	7.12	7.17	7.16	7.10	7.10	7.23	7.25	7.21	7.22	7.12	7.25	7.03	7.15
蒸発残留物	mg/L	480	520	490	510	510	550	540	540	480	550	600	470	520
強熱残留物	mg/L	230	230	200	220	260	210	230	200	230	240	280	200	230
溶解性物質	mg/L	270	310	250	320	310	330	340	280	300	340	370	250	320
浮遊物質量	mg/L	190	210	200	200	210	210	210	220	200	210	220	160	190
アルカリ度	mg/L	185	188	190	185	185	195	192	195	188	188	200	175	187
生物化学的酸素要求量	mg/L	160	170	200	190	180	200	180	160	160	160	200	130	160
化学的酸素要求量	mg/L	97	94	100	110	100	110	100	110	99	98	110	80	96
アンモニア性窒素含有量	mg/L	21.3	23.3	22.0	22.5	22.8	23.5	22.2	23.0	22.1	22.0	24.7	16.1	21.9
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.19	0.40	0.51	0.49	0.40	0.47	0.45	0.58	0.40	0.43	0.62	0.19	0.44
有機性窒素含有量	mg/L	13.1	15.3	13.7	15.6	16.6	16.7	17.6	19.7	14.3	18.5	19.7	9.84	14.8
窒素含有量	mg/L	34.6	39.0	36.2	38.6	39.8	40.7	40.2	43.2	36.8	40.9	43.2	29.4	37.2
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	3.06	3.91	3.45	3.81	3.66	3.34	3.30	3.55	3.03	3.56	4.11	2.60	3.36
燐含有量	mg/L	6.08	6.94	6.15	6.95	6.38	6.18	6.25	6.85	5.55	6.96	6.96	3.64	5.92
大腸菌群数	千個/cm ³	210	140	100	130	100	47	60	260	70	350	470	41	150
よう素消費量	mg/L	34	25	23	26	23	25	29	25	18	20	34	18	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	14	21	13	18	21	20	26	24	13	21	26	13	19
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.14	0.16	0.16	0.24	0.28	0.27	0.26	0.19	0.22	0.30	0.30	<0.10	0.16
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.13	0.15	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.15	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.41	0.25	<0.10	<0.10	<0.10	0.41	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	21.5	23.7	22.5	23.0	23.2	24.0	22.6	23.6	22.5	22.4	25.2	16.4	22.4
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

釜無川流域下水道

表 4－3 4 （1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃		19.0	21.0	21.5	21.5	23.0	24.0	24.5	25.0	26.5	27.0	26.5	27.5	26.5	25.5
透視度	c m		75	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	90	90	85
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.94	7.05	6.98	6.99	7.00	6.91	7.05	6.93	7.04	6.87	6.92	7.01	6.95	6.95
蒸発残留物	mg/L		300	310	270	260	270	220	260	270	240	270	290	250	250	260
強熱残留物	mg/L		220	250	200	200	240	200	210	220	220	200	200	180	190	220
溶解性物質	mg/L		290	300	270	250	260	220	250	270	230	240	280	240	240	250
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	5.4	4.2	3.6	3.3	2.8	3.1	2.1	3.5	2.7	2.3	2.7	4.0	3.9	4.3
アルカリ度	mg/L		178	196	178	180	178	162	173	162	166	162	170	174	172	175
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	2.9	1.7	1.8	1.9	2.3	1.8	3.0	1.6	1.8	1.8	3.0	2.2	2.0	2.0
化学的酸素要求量	mg/L		13	11	11	11	9.7	9.0	9.3	9.1	9.4	9.7	9.5	11	10	11
アンモニア性窒素含有量	mg/L		22.4	22.3	22.4	20.9	19.8	17.2	18.0	17.1	17.1	18.1	20.4	14.9	18.0	21.1
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.07	0.07	0.07	0.05	0.07	0.05	0.04	0.02	0.11	0.49	0.35	0.36	0.20	0.13
硝酸性窒素含有量	mg/L		<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.40	0.29	<0.16	0.22	0.86
有機性窒素含有量	mg/L		0.74	1.82	1.41	1.26	1.22	0.89	1.06	1.25	1.65	1.28	1.52	1.40	2.51	1.69
窒素含有量	mg/L		23.3	24.1	24.0	22.4	21.2	18.3	19.2	18.4	19.0	20.3	22.5	16.8	20.9	23.8
磷酸イオン態燐含有量	mg/L		0.34	0.37	0.37	0.37	0.30	0.38	0.49	0.44	0.31	0.21	0.47	0.25	0.43	0.49
燐含有量	mg/L		0.68	0.56	0.58	0.60	0.47	0.53	0.64	0.60	0.59	0.35	0.56	0.49	0.69	0.73
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	0	0	0	0	1	1	2	0	0	6	0	0	1	1
よう素消費量	mg/L		<5	8	<5	<5	<5	7	<5	7	<5	<5	<5	7	7	6
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	9.03	8.99	9.03	8.41	7.99	6.93	7.24	6.86	6.95	8.13	8.80	6.32	7.62	9.43
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

釜無川流域下水道

表4－34（2） 精密試験分析結果（放流水－2）

測定項目	単位	水質基準	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—		7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃		23.5	22.5	21.0	19.5	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	27.5	18.0	22.2
透視度	c m		>100	80	90	95	>100	>100	>100	>100	90	>100	>100	75	96
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.92	6.87	6.89	6.91	6.94	6.95	6.89	6.92	6.85	6.95	7.05	6.85	6.95
蒸発残留物	mg/L		230	250	230	240	230	260	280	250	290	280	310	220	260
強熱残留物	mg/L		210	220	200	200	200	190	180	170	200	190	250	170	200
溶解性物質	mg/L		220	240	210	230	220	250	270	240	280	270	300	210	250
浮遊物質量	mg/L	40(30)	4.0	5.0	4.4	4.0	3.4	3.7	3.6	2.9	4.3	4.0	5.4	2.1	3.6
アルカリ度	mg/L		170	170	175	178	178	185	183	178	182	178	196	162	175
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	1.8	2.5	2.0	2.6	2.3	2.3	2.0	1.9	2.4	2.6	3.0	1.6	2.2
化学的酸素要求量	mg/L		11	12	12	12	11	11	10	10	11	11	13	9.0	11
アンモニア性窒素含有量	mg/L		19.4	21.4	19.3	21.2	22.5	23.4	21.2	22.9	22.0	21.8	23.4	14.9	20.2
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.26	0.47	0.17	0.05	<0.02	0.02	<0.02	0.05	0.12	0.16	0.49	<0.02	0.14
硝酸性窒素含有量	mg/L		<0.16	0.21	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.21	<0.16	<0.16	<0.16	0.86	<0.16	<0.16
有機性窒素含有量	mg/L		1.58	1.27	1.04	1.27	0.92	0.52	0.67	0.73	0.81	0.58	2.51	0.52	1.21
窒素含有量	mg/L		21.4	23.4	20.6	22.4	22.5	23.9	22.0	23.6	23.0	22.5	24.1	16.8	21.6
磷酸イオン態燐含有量	mg/L		0.31	0.44	0.25	0.40	0.35	0.41	0.46	0.38	0.34	0.33	0.49	0.21	0.37
燐含有量	mg/L		0.54	0.55	0.48	0.62	0.56	0.68	0.64	0.64	0.59	0.66	0.73	0.35	0.58
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	2	2	0	0	0	0	1	0	2	1	6	0	1
よう素消費量	mg/L		6	6	7	7	<5	7	9	<5	<5	<5	9	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	8.02	9.24	7.89	8.53	9.00	9.38	8.69	9.21	8.92	8.88	9.43	6.32	8.31
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

釜無川流域下水道

表 4－3 5 （ 1 ） 幹線調査分析結果－ 1

測定項目		単位	排除基準	①	②	③	④	⑤	⑥
	採水月日			5月8日			5月8日	5月8日	
	採水時刻			9:40			10:20	10:50	
政 令 処 理 定 規 め 難 る 物 質 質 量 条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 質 量 そ の 他 備 考	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001			<0.001	<0.001	
	シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	有機燐化合物	mg/L	不検出	<0.1			<0.1	<0.1	
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01			<0.01	<0.01	
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005			<0.005	<0.005	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002			<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02			<0.02	<0.02	
	四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002			<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004			<0.004	<0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02			<0.02	<0.02	
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04			<0.04	<0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001			<0.001	<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006			<0.006	<0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002			<0.002	<0.002	
	チウラム	mg/L	0.06	<0.006			<0.006	<0.006	
	シマジン	mg/L	0.03	<0.003			<0.003	<0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02			<0.02	<0.02	
	ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0			<1.0	<1.0	
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05			<0.05	<0.05	
	フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50			<0.50	<0.50	
	銅含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05			<0.05	<0.05	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 質 量	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	33.6			36.0	34.5	
	生物化学的酸素要求量	mg/L	600	260			190	190	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 質 量	浮遊物質質量	mg/L	600	300			230	240	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	30			20	21	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 質 量	水素イオン濃度	—	5～9	7.06			7.10	7.04	
	水温	℃	45	20.0			21.0	21.0	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 質 量	よう素消費量	mg/L	220	34			28	30	
	色	—		微黄濁			微黄濁	微黄濁	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 質 量	化学的酸素要求量	mg/L		150			120	120	
	備考	番号 幹線名 上流市町名 ① 釜無川1号幹線 菰崎市 ② 釜無川1号幹線 (欠番) ③ 釜無川5号幹線 (欠番) ④ 釜無川1号幹線 菰崎市、甲斐市 ⑤ 釜無川1号幹線 菰崎市、甲斐市、昭和町 ⑥ 釜無川4号幹線 (欠番) ※②、③、⑥は、市町村合併により欠番としている。							

釜無川流域下水道

表 4－3 5（2） 幹線調査分析結果－2

測定項目				単位	排除基準	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
採水月日						5月9日	5月9日	5月9日		5月9日		5月8日
採水時刻						9:50	9:10	8:40		10:20		9:10
政 令 処 理 定 規 め 難 る 物 質 質 量 条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 そ の 他 備 考	カドミウム及びその化合物 シアン化合物 有機燐化合物 鉛及びその化合物 六価クロム化合物 砒素及びその化合物 水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物 アルキル水銀化合物 ポリ塩化ビフェニル トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン及びその化合物 ほう素及びその化合物 ふっ素及びその化合物 1,4-ジオキサン フェノール類含有量 銅含有量 亜鉛含有量 溶解性鉄含有量 溶解性マンガン含有量 クロム含有量 アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量 生物化学的酸素要求量 浮遊物質質量 ノルマルヘキサン抽出物質含有量 水素イオン濃度 水温 よう素消費量 色 化学的酸素要求量	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001		<0.001		
		mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		
		mg/L	不検出	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1		<0.1		
		mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		
		mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		
		mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005		<0.005		
		mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		
		mg/L	不検出	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		
		mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		
		mg/L	0.1	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002		<0.002		
		mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		
		mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02		<0.02		
		mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002		<0.002		
		mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004		<0.004		
		mg/L	1	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02		<0.02		
		mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04		<0.04		
		mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001		<0.001		
		mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006		<0.006		<0.006		
		mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002		<0.002		
		mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006		<0.006		<0.006		
		mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003		<0.003		<0.003		
		mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02		<0.02		
		mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		
		mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		
		mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0		<1.0		<1.0		
		mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		
		mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05		<0.05		<0.05		
		mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50		<0.50		<0.50		
		mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		
		mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		
		mg/L	1	0.20	0.22	<0.10		<0.10		<0.10		
		mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		
		mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05		<0.05		<0.05		
mg/L	380	30.1	31.2	26.7		32.3		30.6				
mg/L	600	190	150	120		200		270				
mg/L	600	250	180	150		270		370				
mg/L	30	22	13	14		20		32				
—	5～9	7.28	7.26	7.27		7.46		7.13				
℃	45	20.5	20.0	19.0		19.0		19.0				
mg/L	220	27	22	16		24		36				
—		微黄濁	微黄濁	微黄濁		微黄濁		微黄濁				
mg/L		130	97	73		130		180				
番号 幹線名				上流市町名								
⑦ 釜無川1号幹線				菰崎市、甲斐市、昭和町、中央市								
⑧ 釜無川1号幹線				菰崎市、甲斐市、昭和町、中央市、南アルプス市、富士川町								
⑨ 富士川1号幹線				市川三郷町、富士川町								
⑩ 富士川1号幹線				(欠番)								
⑪ 富士川2号幹線				市川三郷町								
⑫ 富士川2号幹線				(欠番)								
⑬ 釜無川2号幹線				菰崎市								
※⑩、⑫は、市町村合併により欠番としている。												

表 4-36 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	59,028	58,210	66,725	62,152	78,687	64,488	71,458	60,075	56,940	54,120	55,945	52,745	78,687
	最小	47,608	47,076	50,556	53,975	51,345	49,485	50,472	49,507	48,344	46,458	44,927	46,440	44,927
	平均	51,139	51,910	56,015	56,224	56,474	54,397	53,826	53,631	51,709	50,278	50,294	50,258	53,027
	最大	62,390	61,740	70,190	65,800	82,030	67,990	75,050	63,560	60,180	57,550	58,650	56,030	82,030
	最小	51,020	50,560	53,980	57,690	54,060	53,060	53,920	52,870	51,330	49,690	47,570	48,790	47,570
	平均	54,511	55,327	59,470	59,794	59,981	57,885	57,337	57,060	55,019	53,489	53,119	53,434	56,386
	最大	30,371	30,324	34,655	32,179	39,950	33,035	37,790	31,999	30,746	28,959	29,651	28,291	39,950
	最小	25,827	25,931	27,193	28,830	26,477	26,984	27,353	27,841	26,185	26,235	24,903	24,946	24,903
	平均	27,204	27,637	29,416	29,762	29,887	28,907	28,881	29,053	28,117	27,430	27,422	27,266	28,421
	最大	50.8	51.3	50.4	50.3	50.7	50.9	51.1	52.7	51.8	53.2	53.2	52.2	53.2
	最小	48.7	49.1	48.7	48.9	47.9	48.6	49.2	49.9	50.2	50.3	49.8	50.3	47.9
	平均	49.9	50.0	49.5	49.8	49.8	49.9	50.4	50.9	51.1	51.3	51.6	51.0	50.4
	最大	1,184	1,184	1,300	1,416	1,416	1,416	1,269	1,213	1,213	1,213	865	1,213	1,416
	最小	1,036	1,039	652	856	772	1,155	1,063	822	916	720	511	597	511
	平均	1,114	1,168	1,166	1,276	1,229	1,224	1,209	1,149	1,118	1,036	753	1,020	1,124
	最大	153,400	148,400	138,800	141,100	159,100	152,900	139,400	157,100	154,100	145,600	154,300	161,300	161,300
	最小	128,300	115,200	112,400	123,000	126,500	132,600	117,800	117,100	118,600	109,100	130,900	119,000	109,100
	平均	140,283	131,665	128,697	132,229	141,935	142,077	131,119	139,567	131,729	132,903	141,939	134,929	135,684
送 風 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	2.9	2.8	2.6	2.4	2.7	2.7	2.5	2.9	2.6	2.8	2.9	3.0	3.0
	最小	2.1	1.9	1.7	1.9	1.5	2.0	1.6	2.0	2.2	2.1	2.4	2.2	1.5
	平均	2.6	2.4	2.2	2.2	2.4	2.5	2.3	2.4	2.4	2.5	2.7	2.5	2.4
送 風 倍 率 (倍)	最大	8.8	8.9	8.3	7.8	8.3	8.5	8.3	8.5	10.2	10.5	10.4	10.7	10.7
	最小	7.2	7.3	6.4	6.8	5.5	6.6	6.0	7.1	7.7	8.2	7.7	9.3	5.5
	平均	8.2	8.1	7.5	7.5	7.5	7.8	7.8	7.9	8.2	8.4	8.4	8.4	8.0

釜無川流域下水道

表4-37 反応タンク試験結果(1)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均	
水 温 (℃)	最大	21.5	22.5	24.0	26.0	27.0	27.5	26.5	24.0	21.0	18.5	18.5	20.0	27.5	
	最小	19.0	21.0	22.5	24.0	26.5	26.0	24.0	21.5	19.0	18.0	17.5	18.0	17.5	
	平均	20.2	21.7	23.5	24.9	26.7	26.7	25.2	22.9	20.2	18.1	18.0	18.5	22.2	
p H	ML	最大	6.86	6.84	6.82	6.83	6.82	6.82	6.81	6.78	6.78	6.81	6.80	6.91	6.91
		最小	6.69	6.68	6.72	6.72	6.63	6.69	6.70	6.66	6.62	6.60	6.62	6.68	6.60
		平均	6.78	6.78	6.78	6.78	6.77	6.75	6.75	6.72	6.70	6.72	6.71	6.77	6.75
	RS	最大	6.86	6.84	6.76	6.77	6.79	6.72	6.73	6.71	6.69	6.78	6.71	6.84	6.86
		最小	6.57	6.63	6.62	6.62	6.55	6.58	6.60	6.56	6.55	6.52	6.51	6.57	6.51
		平均	6.74	6.72	6.71	6.69	6.67	6.67	6.66	6.64	6.61	6.65	6.62	6.68	6.67
D O (mg/L)	最大	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.8	1.2	0.9	1.0	0.9	1.2	
	最小	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6	0.8	0.8	0.7	0.4	
	平均	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7	0.9	0.9	0.8	0.7	
ML S S (mg/L)	最大	1,850	1,710	1,730	1,730	1,740	1,470	1,570	1,710	1,640	2,090	2,390	2,200	2,390	
	最小	1,530	1,410	1,400	1,430	1,380	1,280	1,360	1,470	1,470	1,470	2,010	1,510	1,280	
	平均	1,670	1,540	1,540	1,570	1,580	1,410	1,500	1,550	1,560	1,740	2,220	1,830	1,640	
ML V S S (mg/L)	最大	1,460	1,380	1,340	1,380	1,380	1,180	1,240	1,350	1,310	1,630	1,900	1,730	1,900	
	最小	1,210	1,110	1,110	1,140	1,080	1,020	1,070	1,140	1,170	1,150	1,590	1,190	1,020	
	平均	1,320	1,220	1,210	1,250	1,250	1,120	1,180	1,210	1,230	1,370	1,750	1,440	1,300	
MLVSS/MLSS (%)	最大	80.6	80.7	80.2	81.9	81.7	81.0	80.1	79.2	80.1	80.6	80.6	80.9	81.9	
	最小	77.9	76.8	76.9	78.0	77.8	67.7	76.6	77.2	77.3	78.0	77.5	77.0	67.7	
	平均	79.0	79.0	78.5	79.5	79.2	78.5	78.4	78.2	78.9	78.9	78.8	78.8	78.8	
S V 3 0 (%)	ML	最大	24	24	25	26	29	27	29	29	28	32	35	32	35
		最小	20	20	20	22	22	22	25	25	23	24	29	24	20
		平均	22	22	22	25	26	25	27	27	26	27	33	29	26
	RS	最大	95	95	93	96	96	98	98	98	99	98	99	99	99
		最小	78	77	79	89	91	90	94	90	91	93	95	93	77
		平均	89	90	88	92	94	94	96	95	95	96	97	97	94
S V I (mL/g)	ML	最大	140	160	160	180	190	190	190	190	180	170	160	170	190
		最小	120	130	130	140	150	170	170	160	150	150	140	140	120
		平均	130	140	150	160	170	180	180	170	170	160	150	160	160
	RS	最大	250	290	270	260	280	320	310	320	290	250	190	300	320
		最小	160	180	180	190	200	210	180	160	150	160	130	130	130
		平均	220	230	220	230	240	260	250	240	230	210	160	190	220
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.20	0.21	0.21	0.19	0.20	0.18	0.20	0.22	0.21	0.20	0.16	0.15	0.22	
	最小	0.19	0.17	0.16	0.16	0.14	0.17	0.16	0.15	0.16	0.14	0.10	0.13	0.10	
	平均	0.19	0.19	0.19	0.18	0.16	0.17	0.18	0.20	0.19	0.17	0.13	0.14	0.17	
S R T(日)	平均	5.1	4.9	5.3	4.6	5.1	4.7	4.6	4.9	5.4	6.1	8.0	6.1	5.4	

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表4-38 反応タンク試験結果(2)

項 目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
酸素利用速度 Rr (mg/L・H)	—	24.8	22.8	22.6	19.0	18.4	23.3	25.0	22.4	25.0	24.7	22.3	24.2	26.3	19.6	23.1	25.1	20.6	21.1	19.9	23.0	18.2	23.8	16.0	16.2	26.3	16.0	22.0
	ATU	21.4	20.6	18.9	15.5	13.3	18.5	20.9	17.9	18.4	21.5	15.8	16.0	22.1	14.2	17.9	14.7	16.4	15.5	16.7	22.1	16.0	21.9	14.9	12.5	22.1	12.5	17.7
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・H)	—	15.3	14.1	12.7	13.0	14.0	16.3	14.5	14.0	15.9	15.5	15.1	15.5	16.9	13.6	13.5	15.7	13.8	14.7	11.4	13.4	9.0	9.8	6.8	10.7	16.9	6.8	13.6
	ATU	13.2	12.7	10.7	10.6	10.1	12.9	12.1	11.2	11.7	13.5	10.7	10.2	14.2	9.8	10.5	9.2	11.0	10.9	9.6	12.9	7.9	9.0	6.3	8.3	14.2	6.3	10.8
備 考		A T U添加量10mg/L、酸素利用速度係数はMLSSによる。																										

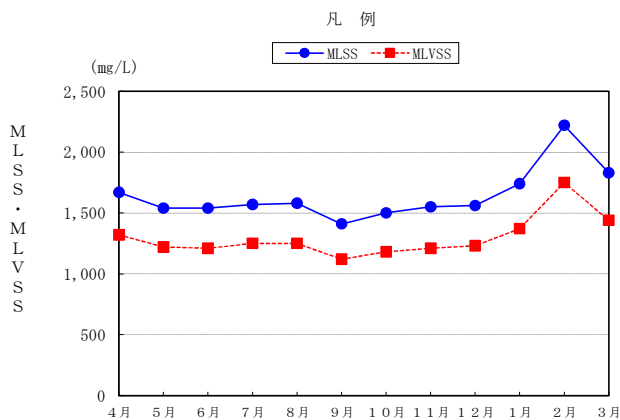


図4-28 反応タンクの管理状況(1)

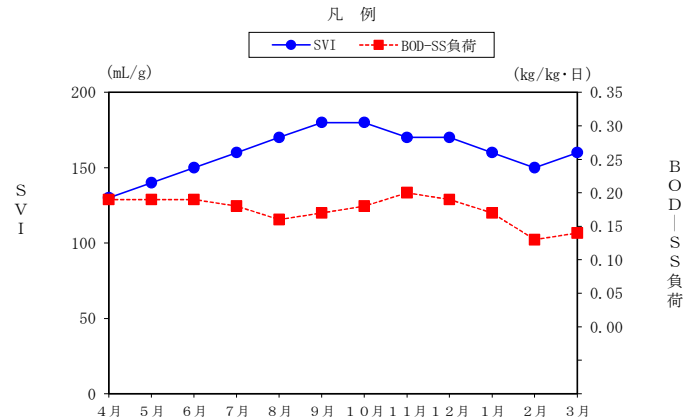


図4-29 反応タンクの管理状況(2)

表 4-39 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分 類 及 び 生 物 名				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
原	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas	60	50	40	50	60	100	70	80	60	150	110	210	210	40	87
		植物性	Peranema	140	60	50	90	30	100	110	90	250	130	150	210	250	30	118
			Entoshiphon	40			10		20		30		50	110	40	110	0	25
生	纖毛虫類	異毛目	Spirostomum	310	290	170	40	150	590	210	60	100	170	430	750	750	40	273
		裸口目	Trachelophyllum	80	170	70	40	50	40	120	260	320	160	50	130	320	40	124
			Litonotus	70	100	50	40	70	30	40	200	190	90	50	230	230	30	97
		下毛目	Aspidisca	270	340	580	400	270	460	320	410	340	520	290	630	630	270	403
			Euplotes								10	20	20		20	0	4	
		Chaetospira				20		20	20	30	100	50	60	100	0	25		
	ナシ目	Drepanomonas		10	50	30		20						50	0	9		
	縁毛虫類	Vorticella	700	610	390	290	210	380	320	230	480	560	360	1,070	1,070	210	467	
		Epistylis	1,830	2,820	3,030	1,710	850	1,650	2,030	1,430	1,650	1,640	1,860	1,480	3,030	850	1,832	
		Opercuralia									50	50		50	0	8		
吸管虫目	Tokophrya	40	30		10	20	30	30	20	30	20	40	10	40	0	23		
物	根足虫類	有 殻	Arcella	1,220	2,030	300	230	460	520	600	660	2,920	1,440	1,610	1,620	2,920	230	1,134
			Pyxidicula	370	590	770	630	580	820	340	490	1,200	1,230	730	1,270	1,270	340	752
		無 殻	Amoeba	240	460	400	180	80	290	260	660	310	280	580	970	970	80	393
後 動 生 物	輪虫類	Lepadella	130	140	100	110	160	180	40	50	70	40	50	110	180	40	98	
		Rotaria	20		20	20		40	10		20	10	30	10	40	0	15	
	腹毛類	Chaetonotus		280	200	60	160	260	80	70	40	50	60	210	280	0	123	
そ の 他 の 生 物 数															0	0	0	
総 生 物 数				5,520	7,980	6,220	3,960	3,150	5,510	4,620	4,760	8,020	6,710	6,630	9,010	9,010	3,150	6,008
活 性 汚 泥 生 物 数				4,930	7,140	5,610	3,560	2,860	4,950	4,020	3,470	6,890	5,900	5,690	7,260	7,260	2,860	5,190
活 性 汚 泥 性 生 物(%)				89.3	89.5	90.2	89.9	90.8	89.8	87.0	72.9	85.9	87.9	85.8	80.6	90.8	72.9	86.6

釜無川流域下水道

表 4-40 流入水及び放流水の経時変化(4/15~4/17)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/15 10:00	4,400	210	924	290	1,276	140	616
12:00	6,060	220	1,333	300	1,818	150	909
14:00	4,970	180	895	230	1,143	120	596
16:00	3,910	160	626	200	782	110	430
18:00	3,700	160	592	210	777	100	370
20:00	4,040	160	646	210	848	110	444
22:00	5,770	170	981	200	1,154	100	577
4/16 0:00	6,740	160	1,078	180	1,213	96	647
2:00	5,830	130	758	160	933	91	531
4:00	3,760	130	489	160	602	89	335
6:00	2,490	140	349	150	374	84	209
8:00	2,240	160	358	180	403	96	215

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/16 10:00	4,270	3.3	14.1	3.5	14.9	11	47.0
12:00	5,730	3.5	20.1	4.1	23.5	11	63.0
14:00	4,730	3.4	16.1	3.4	16.1	11	52.0
16:00	4,110	3.6	14.8	3.8	15.6	11	45.2
18:00	3,670	3.7	13.6	3.2	11.7	12	44.0
20:00	4,050	3.7	15.0	4.0	16.2	12	48.6
22:00	5,690	4.0	22.8	3.6	20.5	12	68.3
4/17 0:00	6,840	4.5	30.8	5.6	38.3	13	88.9
2:00	5,970	4.3	25.7	5.6	33.4	12	71.6
4:00	3,960	2.5	9.9	4.4	17.4	12	47.5
6:00	2,460	3.7	9.1	4.8	11.8	12	29.5
8:00	2,330	3.6	8.4	4.0	9.3	11	25.6

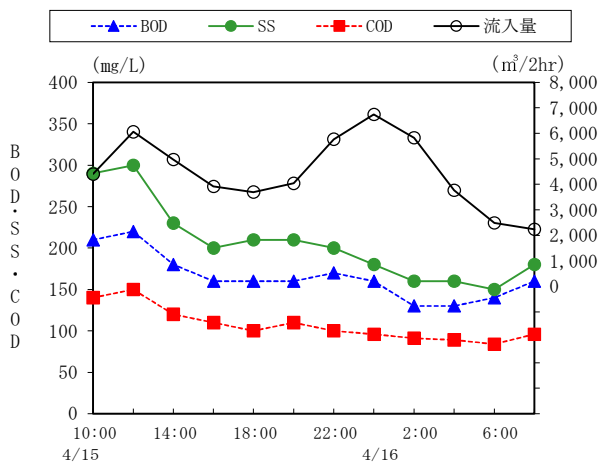


図 4-30 流入水濃度の経時変化 (4/15~4/16)

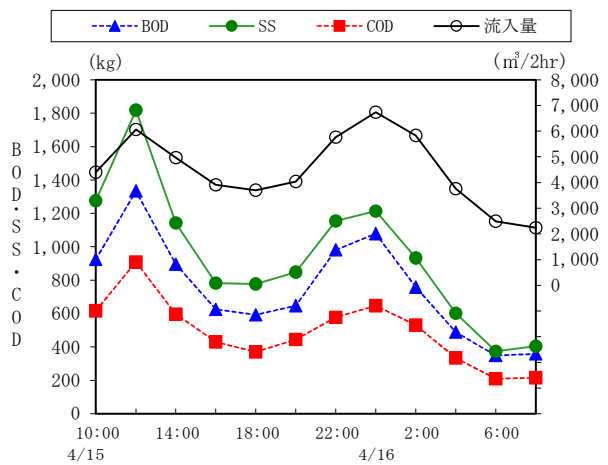


図 4-31 流入水負荷量の経時変化 (4/15~4/16)

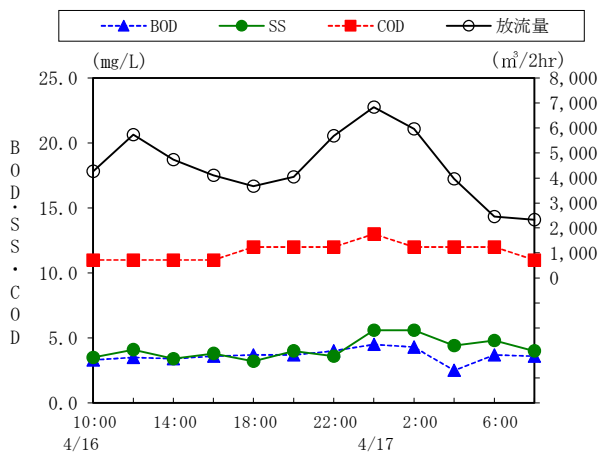


図 4-32 放流水濃度の経時変化 (4/16~4/17)

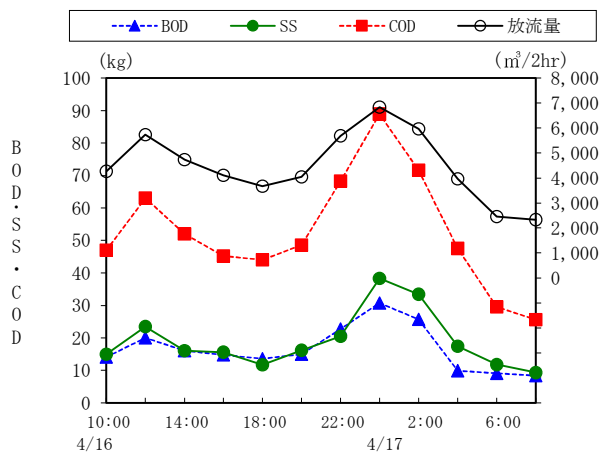


図 4-33 放流水負荷量の経時変化 (4/16~4/17)

釜無川流域下水道

表 4-4 1 流入水及び放流水の経時変化(8/27~8/29)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/27 10:00	4,770	160	763	210	1,002	100	477
12:00	5,660	170	962	230	1,302	120	679
14:00	4,890	150	734	180	880	100	489
16:00	4,260	170	724	240	1,022	110	469
18:00	4,200	170	714	190	798	99	416
20:00	4,940	150	741	200	988	93	459
22:00	6,820	140	955	190	1,296	89	607
8/28 0:00	7,390	130	961	150	1,109	81	599
2:00	6,520	120	782	150	978	79	515
4:00	5,260	100	526	120	631	65	342
6:00	3,950	110	435	120	474	63	249
8:00	4,020	120	482	130	523	70	281

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/28 10:00	5,620	3.1	17.4	3.3	18.5	9.7	54.5
12:00	6,560	3.3	21.6	3.3	21.6	9.4	61.7
14:00	5,500	3.0	16.5	3.2	17.6	9.7	53.4
16:00	4,780	3.3	15.8	3.3	15.8	9.2	44.0
18:00	4,510	3.4	15.3	2.4	10.8	10	45.1
20:00	4,890	3.4	16.6	3.2	15.6	10	48.9
22:00	6,450	3.4	21.9	3.6	23.2	11	71.0
8/29 0:00	7,360	3.8	28.0	4.4	32.4	11	81.0
2:00	6,500	3.8	24.7	4.0	26.0	11	71.5
4:00	4,410	3.8	16.8	4.0	17.6	10	44.1
6:00	2,800	3.1	8.7	3.6	10.1	10	28.0
8:00	2,990	3.2	9.6	3.2	9.6	9.8	29.3

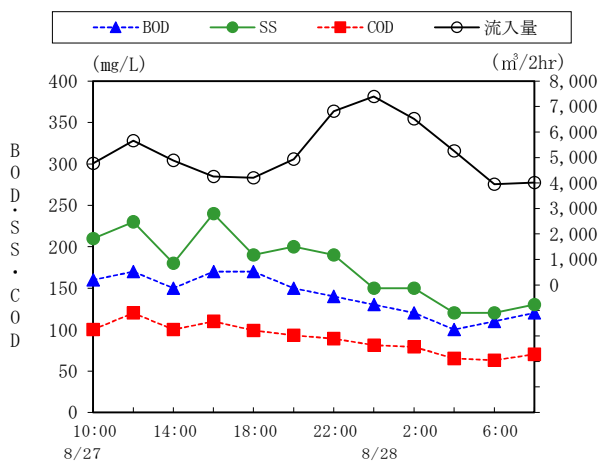


図 4-3 4 流入水濃度の経時変化 (8/27~8/28)

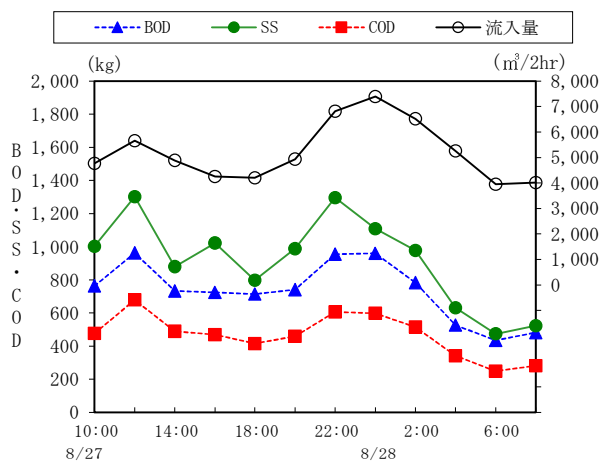


図 4-3 5 流入水負荷量の経時変化 (8/27~8/28)

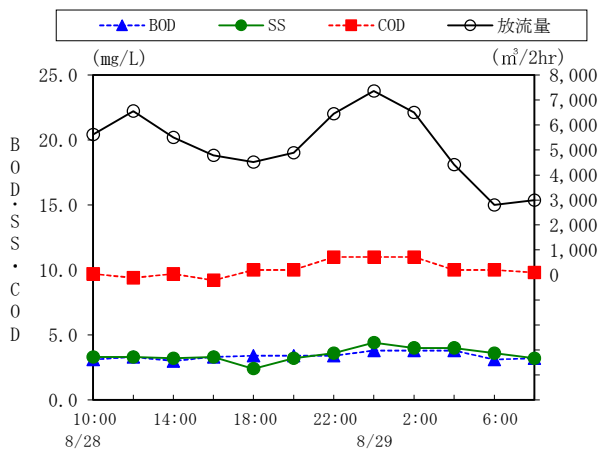


図 4-3 6 放流水濃度の経時変化 (8/28~8/29)

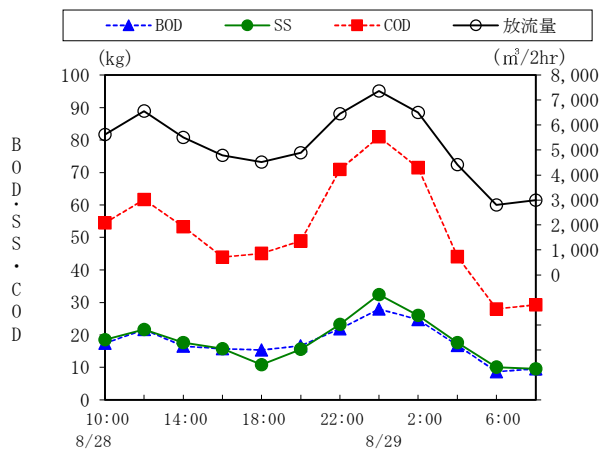


図 4-3 7 放流水負荷量の経時変化 (8/28~8/29)

釜無川流域下水道

表 4-4 2 流入水及び放流水の経時変化(11/12～11/14)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	4,600	130	598	200	920	98	451
12:00	6,100	160	976	230	1,403	120	732
14:00	5,180	160	829	210	1,088	110	570
16:00	4,110	180	740	230	945	120	493
18:00	3,780	190	718	220	832	110	416
20:00	4,390	200	878	240	1,054	110	483
22:00	6,140	170	1,044	200	1,228	100	614
11/13 0:00	7,060	150	1,059	200	1,412	93	657
2:00	6,180	140	865	170	1,051	91	562
4:00	4,200	170	714	220	924	98	412
6:00	2,530	170	430	220	557	92	233
8:00	2,600	150	390	210	546	99	257

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/13 10:00	4,630	3.9	18.1	4.8	22.2	12	55.6
12:00	6,360	3.6	22.9	5.5	35.0	12	76.3
14:00	5,060	3.9	19.7	5.5	27.8	12	60.7
16:00	4,080	3.6	14.7	5.5	22.4	12	49.0
18:00	3,910	4.0	15.6	5.6	21.9	13	50.8
20:00	4,450	3.6	16.0	4.8	21.4	13	57.9
22:00	5,990	4.2	25.2	6.8	40.7	13	77.9
11/14 0:00	7,120	4.8	34.2	7.2	51.3	14	99.7
2:00	6,120	4.8	29.4	7.2	44.1	14	85.7
4:00	4,020	4.4	17.7	6.8	27.3	13	52.3
6:00	2,770	3.5	9.7	6.4	17.7	12	33.2
8:00	2,470	3.8	9.4	6.4	15.8	12	29.6

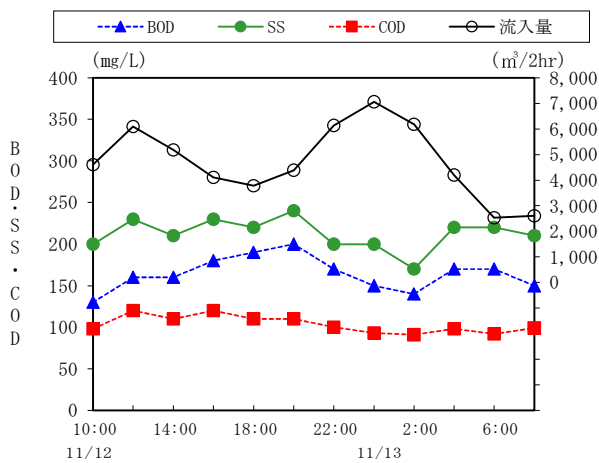


図 4-3 8 流入水濃度の経時変化 (11/12～11/13)

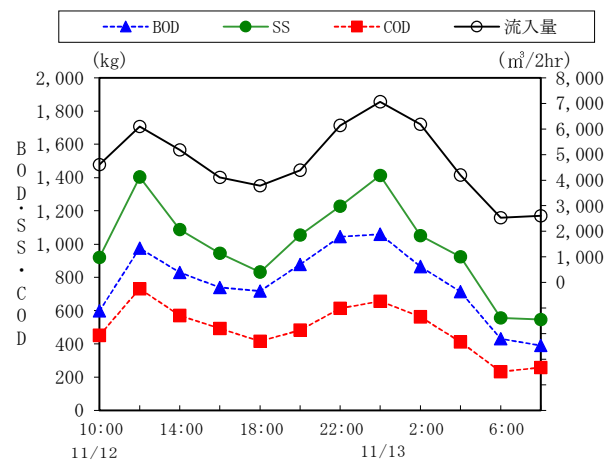


図 4-3 9 流入水負荷量の経時変化 (11/12～11/13)

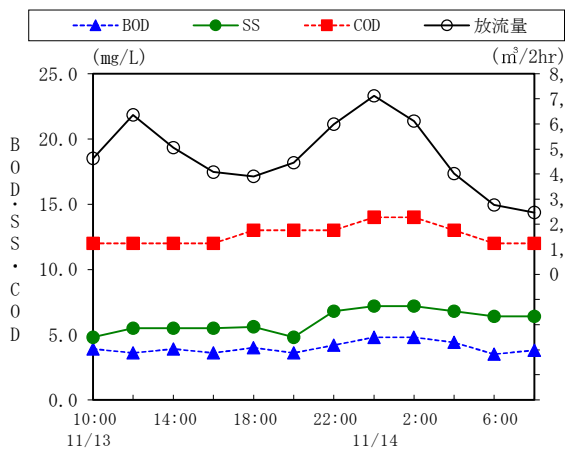


図 4-4 0 放流水濃度の経時変化 (11/13～11/14)

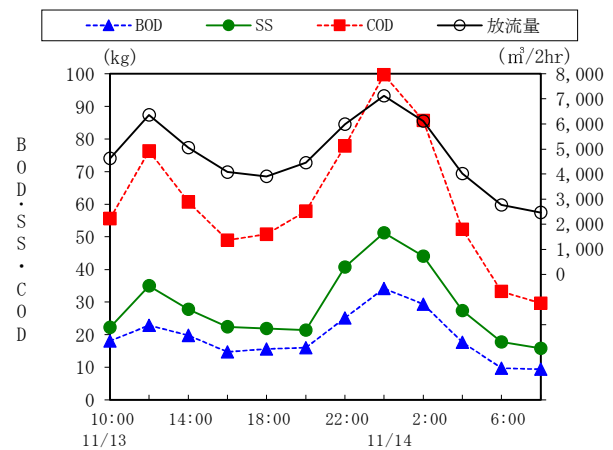


図 4-4 1 放流水負荷量の経時変化 (11/13～11/14)

釜無川流域下水道

表 4-4 3 流入水及び放流水の経時変化(2/25~2/27)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/25 10:00	4,090	150	614	180	736	110	450
12:00	5,700	190	1,083	240	1,368	140	798
14:00	4,770	180	859	230	1,097	120	572
16:00	3,940	170	670	220	867	120	473
18:00	3,650	240	876	320	1,168	140	511
20:00	3,990	190	758	240	958	130	519
22:00	5,540	190	1,053	230	1,274	120	665
2/26 0:00	6,950	150	1,043	170	1,182	110	765
2:00	5,900	140	826	160	944	99	584
4:00	3,970	140	556	180	715	93	369
6:00	2,270	170	386	220	499	110	250
8:00	2,210	170	376	200	442	110	243

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/26 10:00	3,920	2.7	10.6	3.4	13.3	11	43.1
12:00	5,710	2.8	16.0	3.7	21.1	11	62.8
14:00	4,940	2.6	12.8	3.0	14.8	10	49.4
16:00	3,960	2.6	10.3	2.9	11.5	11	43.6
18:00	3,540	3.1	11.0	2.4	8.5	11	38.9
20:00	4,060	2.8	11.4	2.4	9.7	11	44.7
22:00	5,710	3.0	17.1	3.2	18.3	11	62.8
2/27 0:00	6,840	3.5	23.9	5.2	35.6	12	82.1
2:00	5,970	3.3	19.7	5.6	33.4	12	71.6
4:00	3,720	3.6	13.4	4.8	17.9	12	44.6
6:00	2,550	3.8	9.7	5.6	14.3	12	30.6
8:00	2,100	3.8	8.0	4.0	8.4	12	25.2

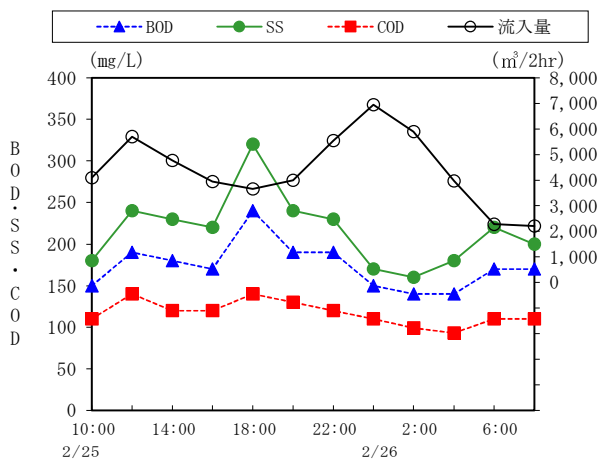


図 4-4 2 流入水濃度の経時変化 (2/25~2/26)

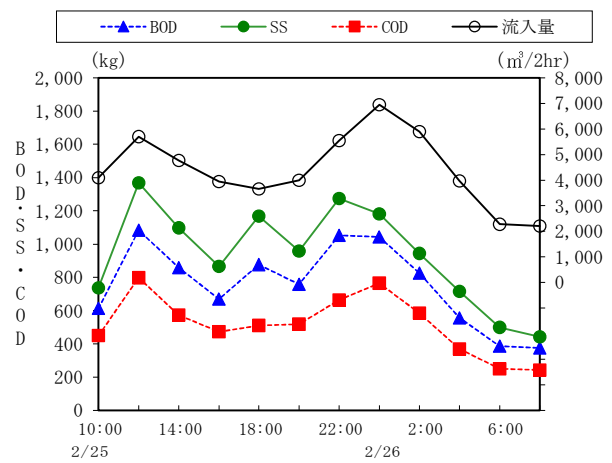


図 4-4 3 流入水負荷量の経時変化 (2/25~2/26)

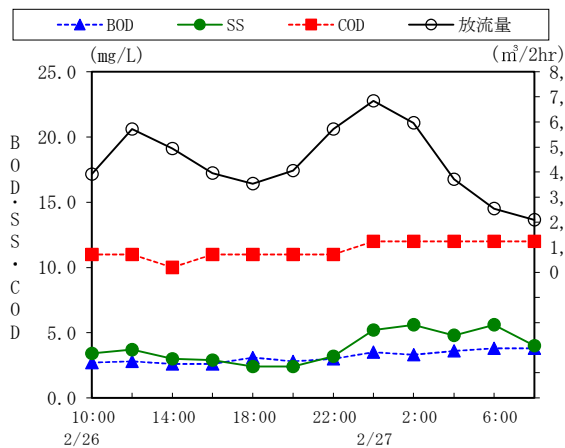


図 4-4 4 放流水濃度の経時変化 (2/26~2/27)

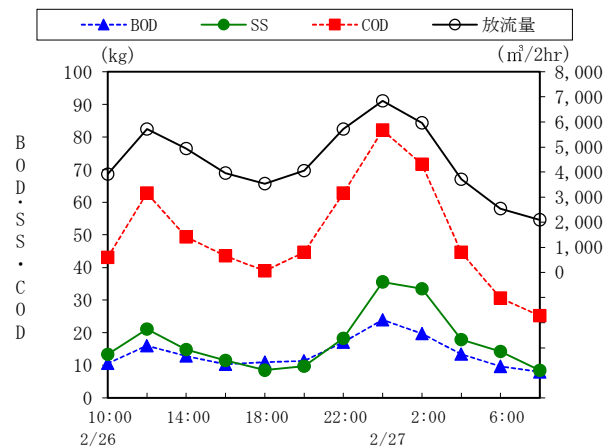


図 4-4 5 放流水負荷量の経時変化 (2/26~2/27)

表 4－4 4 汚泥処理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生汚泥	固 形 分 (%)	0.81	0.85	0.75	0.78	0.72	0.73	0.70	0.75	0.74	0.76	0.89	0.96	0.96	0.70	0.79	—
	引 拔 量 (m³)	26,275	25,426	26,113	26,868	27,586	25,830	28,271	26,919	26,401	26,812	22,576	22,726	28,271	22,576	25,984	311,803
	固形物量 (kg)	211,522	215,759	196,280	210,132	199,136	189,007	197,417	202,191	195,036	202,493	201,721	217,250	217,250	189,007	203,162	2,437,944
重縮力汚濃泥	固 形 分 (%)	2.67	2.75	2.69	2.90	2.84	2.80	2.86	3.02	2.78	2.74	3.24	2.66	3.24	2.66	2.83	—
	引 拔 量 (m³)	7,732.1	7,643.1	7,097.1	7,071.6	6,822.6	6,572.6	6,687.8	6,514.7	6,855.5	7,076.8	6,088.9	7,995.2	7,995.2	6,088.9	7,013.2	84,158.0
	固形物量 (kg)	206,516	210,424	190,955	204,787	193,530	183,807	191,590	196,886	190,345	197,756	197,435	212,831	212,831	183,807	198,072	2,376,862
余剰汚泥	固 形 分 (%)	0.44	0.48	0.49	0.49	0.48	0.45	0.49	0.54	0.50	0.57	0.70	0.64	0.70	0.44	0.52	—
	引 拔 量 (m³)	33,422	36,211	34,992	39,554	38,100	36,713	37,476	34,460	34,655	32,115	21,093	31,635	39,554	21,093	34,202	410,426
	固形物量 (kg)	147,077	174,591	171,563	193,436	182,344	163,692	184,922	171,398	173,777	182,217	147,660	203,622	203,622	147,077	174,692	2,096,299
機械汚濃泥	固 形 分 (%)	4.68	4.32	4.35	4.31	4.34	4.52	4.31	4.58	4.69	4.71	4.46	4.69	4.71	4.31	4.50	—
	引 拔 量 (m³)	3,415.0	3,743.2	3,691.8	4,140.3	3,919.2	3,317.5	3,780.2	3,309.5	3,332.0	3,471.8	3,014.1	3,966.8	4,140.3	3,014.1	3,591.8	43,101.4
	固形物量 (kg)	159,673	161,604	160,608	178,562	170,039	150,000	163,020	151,461	156,236	163,599	134,281	185,914	185,914	134,281	161,250	1,934,997
脱水機供給汚泥	固 形 分 (%)	3.67	3.65	3.70	3.66	3.61	3.60	3.62	3.73	3.68	3.82	3.89	3.67	3.89	3.60	3.69	—
	供 給 量 (m³)	9,983.8	10,199.6	9,489.4	10,481.9	10,064.1	9,282.5	9,783.0	9,337.9	9,415.1	9,471.4	8,528.8	10,856.5	10,856.5	8,528.8	9,741.2	116,894.0
	固形物量 (kg)	366,189	372,028	351,563	383,349	363,569	333,807	354,610	348,348	346,582	361,355	331,716	398,745	398,745	331,716	359,322	4,311,861
高凝分子集剤	濃 度 (%)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	—
	供 給 量 (m³)	1,086.1	1,124.2	1,007.0	1,035.8	1,017.6	974.5	1,020.7	965.1	1,013.0	1,434.1	1,565.6	1,229.4	1,565.6	965.1	1,122.8	13,473.1
	薬注率(%)No.1脱水機	0.72	0.77	0.78	0.73	0.77	0.72	0.72	0.76	0.78	0.94	1.07	1.01	1.07	0.72	0.81	—
	薬注率(%)No.2脱水機	0.56	0.56	0.54	0.53	0.55	0.57	0.57	0.54	0.57	0.55	0.45	0.51	0.57	0.45	0.54	—
脱水ケーキ	含 水 率 (%)	73.3	73.4	73.5	73.5	72.6	72.6	72.8	72.9	74.0	74.9	76.3	74.9	76.3	72.6	73.7	—
	ケーキ量(t)	1,244.84	1,296.10	1,221.19	1,317.79	1,214.46	1,112.43	1,183.79	1,161.95	1,229.43	1,338.21	1,272.56	1,447.16	1,447.16	1,112.43	1,253.33	15,039.91
	固形物量 (kg)	332,372	344,763	323,615	349,214	332,762	304,806	321,991	314,888	319,652	335,891	301,597	363,237	363,237	301,597	328,732	3,944,788

表 4－4 5 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.82	5.71	5.50	5.68	5.43	5.45	5.50	5.61	5.73	5.67	5.56	5.69	5.82	5.43	5.61
		固形分 (%)	3.03	3.42	3.53	3.40	3.21	3.33	3.29	3.30	3.14	3.50	3.56	3.44	3.56	3.03	3.35
		有機分 (%)	93.4	93.0	93.3	93.1	89.2	93.0	93.0	93.0	93.3	89.0	89.6	93.8	93.8	89.0	92.2
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.45	6.45	6.40	6.54	6.61	6.53	6.52	6.54	6.36	6.55	6.40	6.48	6.61	6.36	6.49
		固形分 (%)	4.58	4.25	4.52	4.37	4.26	4.41	4.19	4.52	4.69	4.59	4.36	4.72	4.72	4.19	4.46
		有機分 (%)	74.8	74.2	74.3	75.1	76.0	75.0	74.7	72.9	75.5	76.5	75.1	75.2	76.5	72.9	74.9
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	6.05	6.02	5.87	6.05	5.98	5.96	5.82	5.96	6.00	5.94	5.86	6.14	6.14	5.82	5.97
		固形分 (%)	3.65	3.63	3.92	3.62	3.74	3.61	3.64	3.83	3.67	3.80	3.87	3.80	3.92	3.61	3.73
		有機分 (%)	89.7	88.6	88.6	88.2	86.2	89.2	89.1	88.6	89.1	87.6	87.1	88.0	89.7	86.2	88.3
	脱水ケーキ	含水率 (%)	71.7	72.2	70.8	73.8	72.8	71.6	71.9	72.1	72.0	74.8	75.0	74.6	75.0	70.8	72.8
		有機分 (%)	91.9	91.6	91.8	91.2	89.0	92.1	91.8	91.0	91.6	89.9	89.2	90.2	92.1	89.0	90.9
汚泥返流水試験	重力分離濃縮	水素イオン濃度	6.64	6.68	6.67	6.70	6.76	6.63	6.58	6.58	6.64	6.64	6.57	6.61	6.76	6.57	6.64
		アルカリ度 (mg/L)	196	198	213	189	164	189	185	185	189	178	165	175	213	164	186
		浮遊物質 (mg/L)	270	300	290	270	270	270	270	260	240	240	260	300	300	240	270
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	350	350	350	370	320	410	380	350	340	320	290	350	410	290	350
		化学的酸素要求量 (mg/L)	180	170	160	170	160	180	170	170	160	160	170	170	180	160	170
	機械分離濃縮	水素イオン濃度	7.41	7.42	7.42	7.52	7.31	7.35	7.34	7.23	7.40	7.48	7.34	7.39	7.52	7.23	7.38
		アルカリ度 (mg/L)	178	169	160	155	141	150	156	168	171	180	185	175	185	141	166
		浮遊物質 (mg/L)	480	410	350	420	370	410	650	650	560	650	750	640	750	350	530
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	310	270	230	270	270	280	390	390	320	360	380	370	390	230	320
		化学的酸素要求量 (mg/L)	190	150	140	160	160	170	220	240	200	250	280	250	280	140	200
	脱水分離濃縮	水素イオン濃度	6.29	6.41	6.31	6.33	6.25	6.41	6.20	6.27	6.27	6.23	6.09	6.23	6.41	6.09	6.27
		アルカリ度 (mg/L)	366	373	364	359	390	340	360	364	330	339	296	313	390	296	350
		浮遊物質 (mg/L)	780	610	620	800	750	820	850	830	930	540	730	620	930	540	740
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1,200	870	980	1,100	1,300	1,200	1,300	1,200	1,200	1,100	870	850	1,300	850	1,100
		化学的酸素要求量 (mg/L)	650	520	540	630	660	660	660	690	690	610	650	550	690	520	630

表 4－4 6 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機リン化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	<0.005	0.010	0.006	0.010	0.010	<0.005	0.007
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.29	0.25	0.43	0.46	0.46	0.25	0.36
鉄	mg/L	0.47	0.53	0.59	0.23	0.59	0.23	0.46
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	0.10	<0.10	0.10	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 4－4 7 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.35	0.24	0.28	0.21	0.35	0.21	0.27
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	2.5	2.3	3.2	0.45	3.2	0.45	2.1
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ヒ素	mg/kg	1.4	0.76	1.1	0.45	1.40	0.45	0.93
水銀	mg/kg	0.08	0.10	0.05	0.07	0.10	0.05	0.08
銅	mg/kg	100	62	82	130	130	62	94
ニッケル	mg/kg	4.0	2.6	3.1	5.0	5.0	2.6	3.7
亜鉛	mg/kg	430	250	330	510	510	250	380
鉄	mg/kg	530	290	800	1,600	1,600	290	810
マンガン	mg/kg	47	19	32	43	47	19	35
クロム	mg/kg	2.4	3.6	4.5	7.8	7.8	2.4	4.6

項 目		単 位	4/11	5/15	6/13	7/11	8/14	9/12	10/11	11/14	12/12	1/16	2/13	3/13	最 大	最 小	平 均
一般	採水時刻		8:55	8:55	8:55	8:55	8:50	8:55	8:55	8:55	9:00	8:55	8:55	8:55	—	—	—
	水温	℃	15.5	20.5	22.5	23.0	26.5	26.0	20.5	20.0	16.5	13.5	15.0	17.0	26.5	13.5	19.7
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	7.12	7.18	6.99	7.00	6.86	7.01	7.21	7.01	7.02	7.08	6.99	6.96	7.21	6.86	7.04
生活環境項目	溶存酸素量	mg/L	8.3	6.8	5.6	4.8	6.4	6.3	6.6	6.5	6.7	6.5	7.1	6.6	8.3	4.8	6.5
	生物化学的酸素要求量	mg/L	1.8	1.7	1.6	1.5	1.6	1.8	1.3	2.2	2.5	1.5	1.8	2.4	2.5	1.3	1.8
	化学的酸素要求量	mg/L	7.4	8.0	8.2	7.4	8.0	8.1	6.5	8.7	10	9.4	8.9	10	10	6.5	8.4
	浮遊物質量	mg/L	4.0	3.3	2.5	3.9	4.6	4.4	4.4	4.2	5.1	2.8	3.1	3.9	5.1	2.5	3.8
項目	大腸菌群数	個/cm ³	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	2	2	0	1
	窒素含有量	mg/L	17.7	15.1	17.0	14.7	13.3	16.5	10.6	15.5	18.4	19.1	17.9	21.4	21.4	10.6	16.4
	磷含有量	mg/L	0.34	0.53	0.37	0.47	0.22	0.25	0.39	0.46	0.55	0.42	0.53	0.57	0.57	0.22	0.43
特殊項目	アンモニア性窒素含有量	mg/L	14.4	12.2	14.2	10.3	9.73	11.7	7.78	12.7	15.1	18.0	16.1	19.7	19.7	7.78	13.5
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.10	0.16	0.14	0.23	0.18	0.11	0.21	0.33	0.16	0.17	0.18	0.26	0.33	0.10	0.19
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.69	0.78	0.61	1.08	0.96	0.98	0.91	0.94	0.47	0.49	0.43	0.44	1.69	0.43	0.82
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	0.14	0.30	0.27	0.33	0.14	0.20	0.30	0.31	0.34	0.26	0.40	0.37	0.40	0.14	0.28

[illegible]

表 4－50 臭気測定結果

項 目	敷地境界		規 制 値
採取年月日	令和6年8月13日	令和7年2月6日	
採取時刻	13:25	13:45	
臭気指数	<10	<10	13

V 桂川流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

桂川流域下水道は、平成16年4月の供用開始より21年目を迎えている。

全体計画処理水量は23,759 m³/日、事業計画水量は17,116 m³/日であり、幹線は44.3 kmが供用開始となっている。

供用開始区域内の面積は856.18ha、人口は26,967人となっており、流入下水量は処理区域の拡大、水洗化の進捗に伴い増加傾向を示し、令和6年度平均で7,405 m³/日である。

桂川流域下水道の全体計画及び現況を表5-1に、桂川流域下水道事業計画図を図5-1に、関連公共下水道市別水洗化状況を表5-2に、市別流入下水量を表5-3に示す。

表5-1 全体計画及び現況

市町村名	項 目	全 体 計 画 (計画年次:平成5年～令和13年)		事 業 計 画 (計画年次:平成5年～令和7年)		供 用 開 始 区 域	
		計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
富 士 吉 田 市		106.90	3,230	47.08	1,440	36.02	1,362
都 留 市		553.10	14,950	320.00	9,260	257.39	8,289
大 月 市		423.80	9,040	271.80	6,270	173.09	4,191
上 野 原 市		507.80	13,100	360.00	11,030	316.03	10,885
西 桂 町		101.00	2,940	100.43	3,120	73.65	2,240
合 計		1,692.60	43,260	1,099.31	31,120	856.18	26,967
計画処理水量 (日最大)	23,759 m ³ ／日			17,116 m ³ ／日		－	
下水排除方式	分 流 式						
処 理 方 式	標 準 活 性 汚 泥 法						
幹 線 延 長	47.9 km			46.6 km		管理延長 44.3 km	
ポンプ場数	2 箇所			2 箇所		2 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和7年4月1日現在の値を示す。

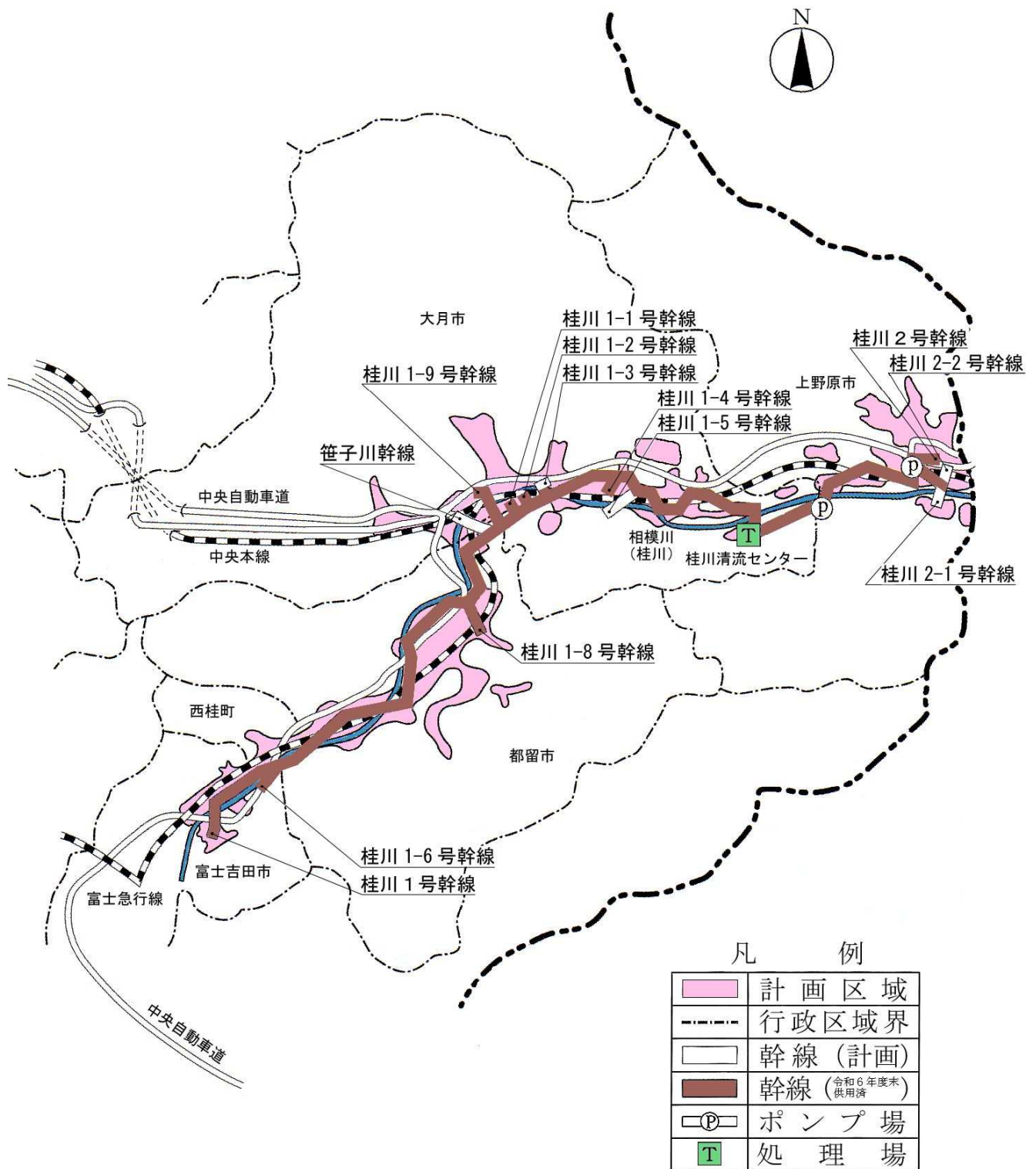


図 5 - 1 桂川流域下水道事業計画図

表 5－2 関連公共下水道市町別水洗化状況

市町名	項目	令和 6 年 度 末			普及率 B/A (%)	水洗化率 C/B (%)	接続戸数 累計 (戸)
		行政 人口 A (人)	処理区域 内人口 B (人)	水洗化 人口 C (人)			
富 士 吉 田 市		6,765	1,362	876	20.1	64.3	420
都 留 市		28,046	8,289	5,222	29.6	63.0	2,607
大 月 市		21,153	4,191	2,846	19.8	67.9	1,184
上 野 原 市		21,036	10,885	9,077	51.7	83.4	4,162
西 桂 町		3,844	2,240	1,725	58.3	77.0	692
計		80,844	26,967	19,746	33.4	73.2	9,065

注1) 行政人口は、令和 7 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 7 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 富士吉田市の行政人口については、富士北麓流域分を除いた人口を示す。

表 5－3 市町別流入下水量

(単位：m³)

市町名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
富士吉田市	15, 317	15, 706	15, 692	15, 702	15, 277	14, 861	16, 678	16, 226	18, 652	18, 813	16, 564	16, 804	196, 292	16, 358
都留市	68, 635	70, 151	67, 872	68, 832	66, 296	64, 730	69, 395	67, 086	69, 589	70, 583	67, 478	69, 139	819, 786	68, 316
大月市	24, 395	26, 553	26, 970	27, 046	26, 207	26, 254	27, 872	26, 182	28, 078	28, 979	26, 558	26, 419	321, 513	26, 793
上野原市	95, 775	98, 934	101, 821	99, 902	102, 028	95, 975	99, 679	96, 095	95, 808	94, 915	85, 968	97, 255	1, 164, 155	97, 013
西桂町	17, 661	16, 934	16, 982	16, 954	16, 263	15, 795	17, 142	16, 335	17, 199	16, 043	14, 387	19, 524	201, 219	16, 768
合 計	221, 783	228, 278	229, 337	228, 436	226, 071	217, 615	230, 766	221, 924	229, 326	229, 333	210, 955	229, 141	2, 702, 965	225, 247
日平均	7, 393	7, 364	7, 645	7, 369	7, 293	7, 254	7, 444	7, 397	7, 398	7, 398	7, 534	7, 392	年間日平均	7, 405

(2) 施設整備状況

令和6年度末の状況については、以下のとおりである。

① 桂川清流センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池1／2池、反応タンク1／2池、最終沈殿池1／2池となっており、処理能力は15,000 m³／日である。

桂川清流センターの全体平面図を図5-2に、フローシートを図5-3に、建築構造物概要を表5-4に、水処理機械設備概要を表5-5に、汚泥処理機械設備概要を表5-6に、電気設備概要を表5-7に、単線結線図を図5-4に、システム系統図を図5-5に示す。

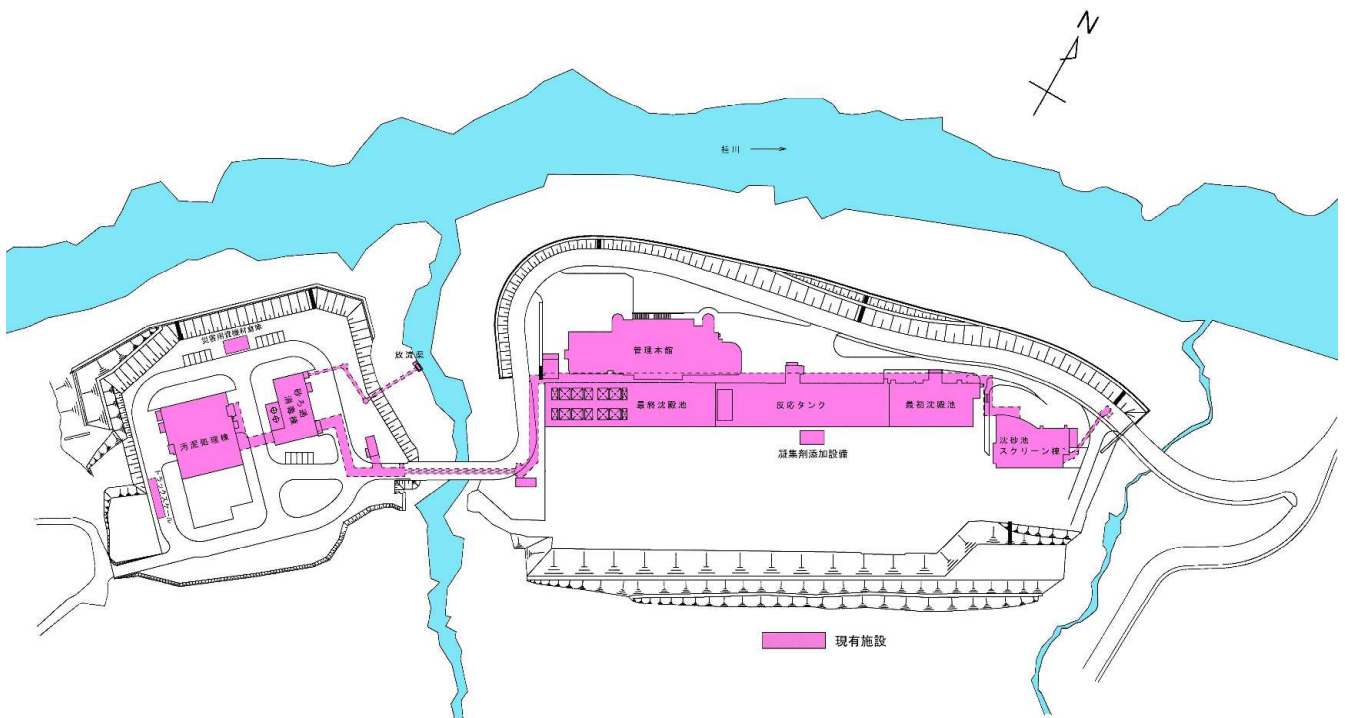


図5-2 桂川清流センター全体平面図

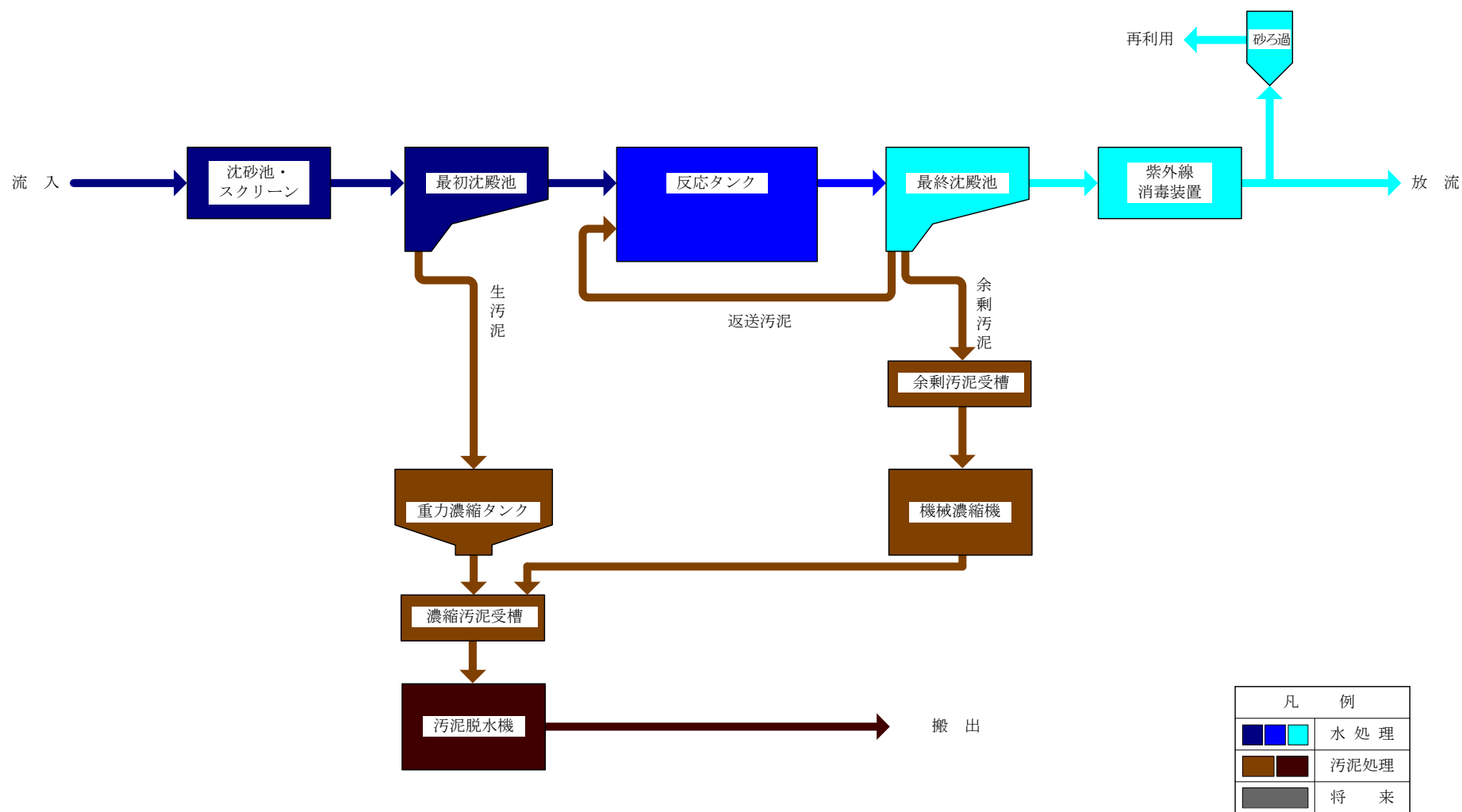


図 5 - 3 桂川清流センターフローシート

表 5 - 4 桂川清流センター建築構造物概要

項目 施設	構 造 及 び 概 要
管 理 本 館	R C 造 地下 1 階、地上 3 階 建築面積 1,545m ² 延床面積 4,621m ² 自家発電機室、ブロワー室、中央試験室、事務室、会議室、食堂、展示ホール、電気室、中央管理室、その他
沈 砂 池 スクリーン棟	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 625m ² 延床面積 1,175m ² ポンプ室・脱臭機室、スクリーン室・搬出作業室、電気室、その他
水 処 理	R C 造 地上 2 階 建築面積 307m ² 延床面積 246m ² 階段室、電気室、換気ファン室
砂ろ過・消毒棟	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 433m ² 延床面積 637m ² 滅菌機室、UV 動力盤室、電気室、その他
汚 泥 処 理 棟	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 975m ² 延床面積 2,514m ² ポンプ室、電気室、薬品注入機室、脱臭機スペース、遠心濃縮機室、搬出作業室、脱水機室、ホッパー室、その他

表5-5 桂川清流センター水処理機械設備概要

項目 設備	構造及び能力	現有設備
沈砂スクリーン設備	幅1.5m×深3.0m×長2.3m(1水路当たり) 流入ゲート(角形外ネジ式鉄製) 幅0.8m×高0.8m 粗目スクリーン(バースクリーン) 幅1.5m×据付高3.3m×目幅75mm 揚砂装置(ジェットポンプ式) $\phi 100 \times 1.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 15 \text{ m}$ 集砂装置(ジェットノズル式) $\phi 32 \text{ A} \times 300 \text{ L} / \text{min} \cdot \text{個} \times 12 \text{ 個} \times 0.98 \text{ MPa}$ 加圧水ポンプ(横軸多段渦巻ポンプ) $\phi 150 \times 3.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 85 \text{ m} \times 75 \text{ kW}$ 沈砂分離機(スクリュコンベヤ形受水槽付) 槽容量6.4 m^3 コンベヤ機長7.5m×3.7kW 沈砂ホッパー(電動開閉式) 容量 7 $\text{m}^3 \times 2.2 \text{ kW} \times 2$ 細目自動除塵機(単一レーキ間欠式自動除塵機) 幅1.5m×深3.5m×目幅20mm×1.5kW No.1し渣搬出機(傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長10.2m 輸送量36 $\text{m}^3 / \text{h} \times 20 \text{ m} / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ No.2し渣搬出機(傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長10.8m 輸送量36 $\text{m}^3 / \text{h} \times 20 \text{ m} / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ し渣洗浄機(機械攪拌式) 処理能力1 $\text{m}^3 / \text{h} \times \text{槽寸法} 0.85 \text{ m} \times 3.4 \text{ m} \times 1.5 \text{ m}$ No.3し渣搬出機(傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長3.9m 輸送量36 $\text{m}^3 / \text{h} \times 20 \text{ m} / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ 初沈スカム分離機(回転ドラム式スクリーン) 1.5 $\text{m}^3 / \text{min} \times 0.75 \text{ kW}$ し渣脱水機(スクリュプレス式) 1 $\text{m}^3 / \text{h} \times 5.5 \text{ kW} + 0.4 \text{ kW}$ No.4し渣搬出機(コルゲートサイド形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長5.8m×6.6m×10m/min×1.5kW し渣ホッパー(電動開閉式) 容量 5 $\text{m}^3 \times 0.75 \text{ kW} \times 2$	1水路 2門(予備1門) 2基(予備1基) 1基 1基 2台(予備1台) 1台 1基 1基 1台 1台 1基 1台 1基 1基 1台 1基
最初沈殿池設備	幅4.1m×長25.7m×深3m×2水路 632 m^3 (1池当たり) 初沈污泥掻寄機(フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅4.1m×機長22m×0.62m/min×0.4kW(1水路1駆動) 初沈污泥掻寄機(ノッチチェーン式) 幅4.1m×機長22m×0.63m/min×0.4kW(1水路1駆動) 初沈スカムスキマー(電動回転式パイプスキマー) $\phi 300 \times 4,300 \text{ mm} \times 0.2 \text{ kW}$ (1水路1駆動) 生污泥ポンプ(吸込スクリュ付污泥ポンプ) $\phi 100 \times 1 \text{ m}^3 / \text{min} \times 9 \text{ m} \times 3.7 \text{ kW}$ 初沈スカム移送ポンプ(無閉塞スクリュ渦巻水中ポンプ) $\phi 150 \times 1.5 \text{ m}^3 / \text{min} \times 12 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$	1池 1基 1基 2基 2台(予備1台) 1台

桂川流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
反 応 タ ン ク 設 備	幅8.6m×長60.4m×深10m 5,049m ³ （1池当たり） （ステップエアレーション可） No.1-1反応タンク散気装置 曝気装置（軸流オープン型機械攪拌式） 送風量10.4～11.4Nm ³ /min×11kW 送風量13.1～14.0Nm ³ /min×15kW 消泡水ポンプ（片吸込渦巻ポンプ） φ150／φ100×2.0m ³ /min×30m×18.5kW	1 池 3 台 2 台 2台（予備1台）
凝 集 剤 添 加 設 備	凝集剤貯留槽（立型円筒型貯留槽） 容量 10m ³ 凝集剤注入ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ15×0.092～0.888L/min×0.2MPa×0.4kW アルカリ剤貯留槽（立型円筒型貯留槽） 容量 4m ³ アルカリ剤注入ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ15×0.046～0.446L/min×0.2MPa×0.4kW	1 基 2台（予備1台） 1 基 2台（予備1台）
送 風 機 設 備	送風機（歯車増速式単段ターボブロワ） φ250／φ200×61m ³ /min×60.8kPa×100kW	2台（予備1台）
最 終 沈 殿 池 設 備	幅4.1m×長（上層50.3m＋下層64.0m）×深3.5m×2水路 3,279m ³ （1池当たり） 終沈汚泥掻寄機（上層階用）（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅4.1m×機長46.3m×0.3m/min×0.4kW（1水路1駆動） 終沈汚泥掻寄機（下層階用）（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅4.1m×機長66.0m×0.3m/min×0.75kW（1水路1駆動） 終沈スカムスキマー（上層階用）（電動回転式パイプスキマー） φ300×4,300mm×0.2kW（1水路1駆動） 終沈スカムスキマー（下層階用）（電動回転式パイプスキマー） φ300×2,400mm×0.2kW（1水路1駆動） 返送汚泥ポンプ（吸込スクリュウ付汚泥ポンプ） φ300／φ250×10.6m ³ /min×10m×30kW 余剰汚泥ポンプ（吸込スクリュウ付汚泥ポンプ） φ100×1m ³ /min×10m×5.5kW 終沈スカム移送ポンプ（無閉塞スクリュウ渦巻水中ポンプ） φ150×1.5m ³ /min×15m×7.5kW	1 池 2 基 2 基 2 基 2 基 2台（予備1台） 2台（予備1台） 1 台
紫 外 線 消 毒 設 備	幅0.5m×長1.8m×深1.2m 1.1m ³ （1水路当たり） 紫外線消毒装置（低圧水銀ランプ） 処理水量 15,000m ³ /日 φ29mm×U字型ランプ長1.29m×1.3kW/本×18本	2水路 2基（予備1基）
用 水 設 備	砂ろ過棟給水ユニット（圧力式給水ユニット） 最大使用量1.7m ³ /min×使用圧力0.49～0.57MPa×15kW×2 水処理系給水ユニット（圧力式給水ユニット） 最大使用量1.4m ³ /min×使用圧力0.49～0.74MPa×11kW×2	1 台 1 台

桂川流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
用 水 設 備	砂ろ過水槽 幅2.7m×長5.6m×深約3.0m 約45m ³ （1槽当たり）	2 槽
	機械用水槽 幅3.4m×長3.5m×深約3.8m 約45m ³ （1槽当たり）	2 槽
	砂ろ過塔（移動式上向流連続砂ろ過塔） 800～1,200m ³ /日	1 塔
	原水ポンプ（片吸込渦巻ポンプ） φ100/φ80×0.9m ³ /min×14m×3.7kW	2台（予備1台）
	ろ過水移送ポンプ（横軸斜流渦巻きポンプ） φ150/φ100×2.3m ³ /min×21m×15kW	2台（予備1台）
脱 臭 設 備	沈砂池スクリーン棟脱臭ファン（FRP製片吸込ターボファン） φ375×60m ³ /min×2.16kPa×5.5kW	1 台
	沈砂池スクリーン棟活性炭吸着塔（FRP製上向流式角形吸着塔）	1 塔
	カートリッジ式三層吸着 60m ³ /min	

表 5-6 桂川清流センター汚泥処理機械設備概要

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
重力濃縮設備	生汚泥スクリーン（回転ドラム式スクリーン） 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	生汚泥スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理能力 0.25 t/h×(2.2+0.4)kW	1 基
	汚泥スクリーンかすホッパー（電動開閉式鋼鉄製） 容量 3.0m ³ ×0.75kW×2	1 基
	重力濃縮タンク φ 7 m×深 4 m 154m ³ （1 槽当たり）	1 槽
	汚泥掻寄機（円形中央駆動懸垂式） φ 7 m×水深 4 m×0.4kW	1 基
	重力濃縮汚泥移送ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ 100×3.7~11.2m ³ /h×10m×3.7kW	2 台（予備 1 台）
機械濃縮設備	余剰汚泥スクリーン（回転ドラム式スクリーン） 処理能力 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	余剰汚泥スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理量 0.25 t/h×(2.2+0.4)kW	1 基
	余剰汚泥受槽 幅 5 m×長 5.1m×深約 3 m 約 77m ³ （1 槽当たり）	1 槽
	幅 5.2m×長 5.1m×深約 3 m 約 80m ³ （1 槽当たり）	1 槽
	余剰汚泥受槽攪拌機（立軸 2 段パドル形） 5.5kW	2 基
	遠心濃縮機給泥ポンプ（機械濃縮機共用）（一軸ネジ式ポンプ） φ 125×(5~30)m ³ /h×40m×11kW	2 台
	遠心濃縮機（横軸遠心濃縮機）	1 基
	処理能力 10m ³ /h×(11+0.09+0.4)kW	
	機械濃縮機（ベルト型ろ過濃縮機） 処理能力 10m ³ /h×(0.4+0.2+0.4+1.1+0.75)kW	1 基
	凝集剤溶解タンク（鋼板製円筒立形） 容量 1 m ³	2 基
	凝集剤供給機（容積式定量フィーダー） 0.05~0.2L/min×0.2kW	1 台
	凝集剤溶解タンク攪拌機（立軸 2 段プロペラ形） 0.75kW	1 台
	凝集剤移送ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ 65×0.1m ³ /min×0.04MPa×1.5kW	2 台（予備 1 台）
	凝集剤注入ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ 20×2.0L/min×0.1MPa×0.2kW	2 台（予備 1 台）

桂川流域下水道

項目 設備	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 水 設 備	濃縮汚泥受槽 幅 5 m×長5.1m×深約 3 m 約77m ³ (1槽当たり) 幅5.2m×長5.1m×深約 3 m 約80m ³ (1槽当たり) 濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 7.5kW	1 槽 1 槽 2 基
	汚泥脱水機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) φ 75×(2.5~7.5) m ³ /h×30m×3.7kW	2 台
	遠心脱水機 (高効率型横型遠心脱水機) 5 m ³ /h 動力(22+7.5+0.4)kW	1 基
	汚泥脱水機 (二重円筒加圧脱水機) 77.0kg-DS/m ² ・h 総合動力8.7kW	1 基
	No.1 脱水ケーキ搬出機 (水平無軸スクリーコンベヤ) φ 365×17.5m×5.5kW	1 台
	No.2 脱水ケーキ搬出機 (水平無軸スクリーコンベヤ) φ 365×3.15m×3.7kW	1 台
	No.3 脱水ケーキ搬出機 (垂直無軸スクリーコンベヤ) φ 365×10.0m×11kW	1 台
	No.4 脱水ケーキ搬出機 (水平無軸スクリーコンベヤ) φ 365×16.5m×5.5kW	1 台
	脱水ケーキホッパー (鋼板製電動カットゲート) 容量 10m ³	2 基
	薬品溶解タンク (鋼板製円筒立形) 容量 6 m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機 (立軸 2 段プロペラ形) 3.7kW	2 台
	薬品供給ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) φ 32×(7.2~22)L/min×40m×0.75kW	2 台
	定量フィーダー (容積式定量フィーダー) (0.68~2.0)L/min×0.4kW	2 台
脱 臭 設 備	生物脱臭塔 (充填塔式生物脱臭塔) 処理風量 40m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン (F R P 製ターボファン) φ 250×40m ³ /min×4.31kPa×7.5kW	1 台
	活性炭吸着塔 (三層吸着カートリッジ式) 処理風量 40m ³ /min	1 塔
そ の 他 設 備	返流水槽 幅3.7m×長5.0m×深約4m 約74m ³ (1槽当たり)	2 槽
	返流水槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 7.5kW	2 基
	返流水ポンプ (スクリー遠心汚泥ポンプ) φ 200×3.0m ³ /min×32m×37kW	2 台 (予備 1 台)
	トラックスケール (マルチロードセル方式) 秤量30 t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

表5-7 桂川清流センター電気設備概要

設備名称	形式及び仕様	現有設備
受電設備	受電方式 3φ3W×6,600V/50Hz×1回線 受電設備容量 2,300kVA 受電遮断器 VCB 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1式
変電設備	モールド形乾式変圧器 動力用 3φ3W×6,600V/420V×750kVA 3φ3W×6,600V/420V×500kVA 電灯用 1φ3W×6,600V/210V-105V×150kVA	2台 1台 2台
高圧進相コンデンサ	3φ3W×6,600V×26.6kvar 3φ3W×6,600V×53.2kvar 3φ3W×6,600V×106.4kvar 3φ3W×6,600V×16.0kvar 3φ3W×6,600V×31.9kvar	1台 1台 1台 1台 1台
直流電源装置	管理本館制御用 50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池 管理本館非常照明用 100Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池 汚泥処理棟非常照明用 50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1式 1式 1式
交流無停電電源装置	管理本館 600Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池 汚泥処理棟 100Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1式 1式
非常用発電設備	ガスタービン発電機 545kW(741PS) 3φ3W×6,600V×625kVA 始動用直流電源装置 300Ah×24セル 制御弁式鉛蓄電池	1台 1式
中央監視設備	LCD装置 大型ディスプレイ プリンタ ロガーコントローラ プラントデータサーバ	3台 2式 2台 1台 1台
遠方監視制御設備	場外設備プロセスコントローラ ゲートウェイ装置 テレメータ・テレコントロール装置(親局) 帯域品目3.4kHz×4線式 保守用電話切替式 テレメータ装置(親局) 帯域品目3.4kHz×2線式 保守用電話切替式	1台 1台 4台 6台
付帯設備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 非常放送設備 TV共聴設備 エレベーター設備	1式 1式 1式 1式 1式 1式

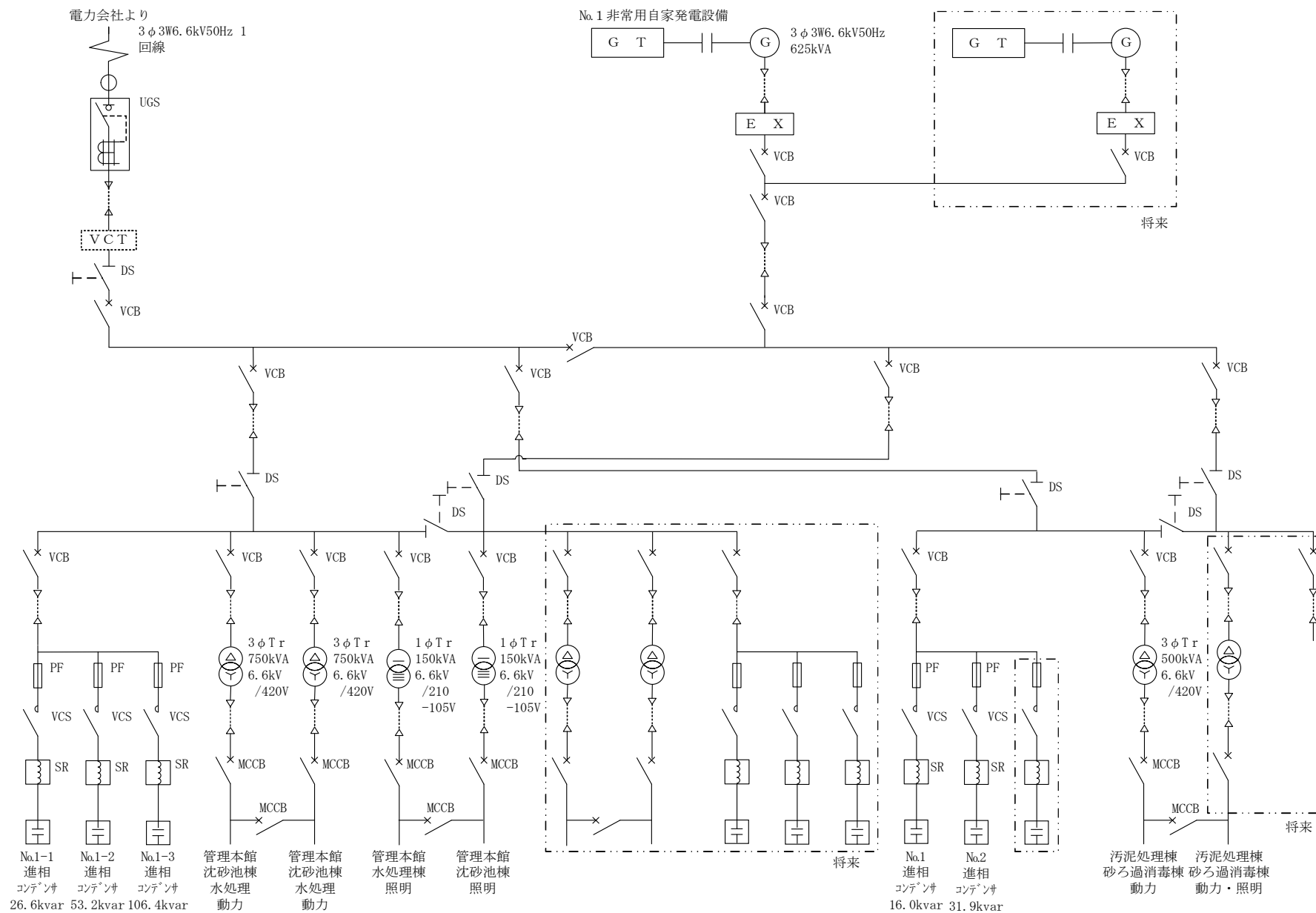


図5-4 桂川清流センター単線結線図

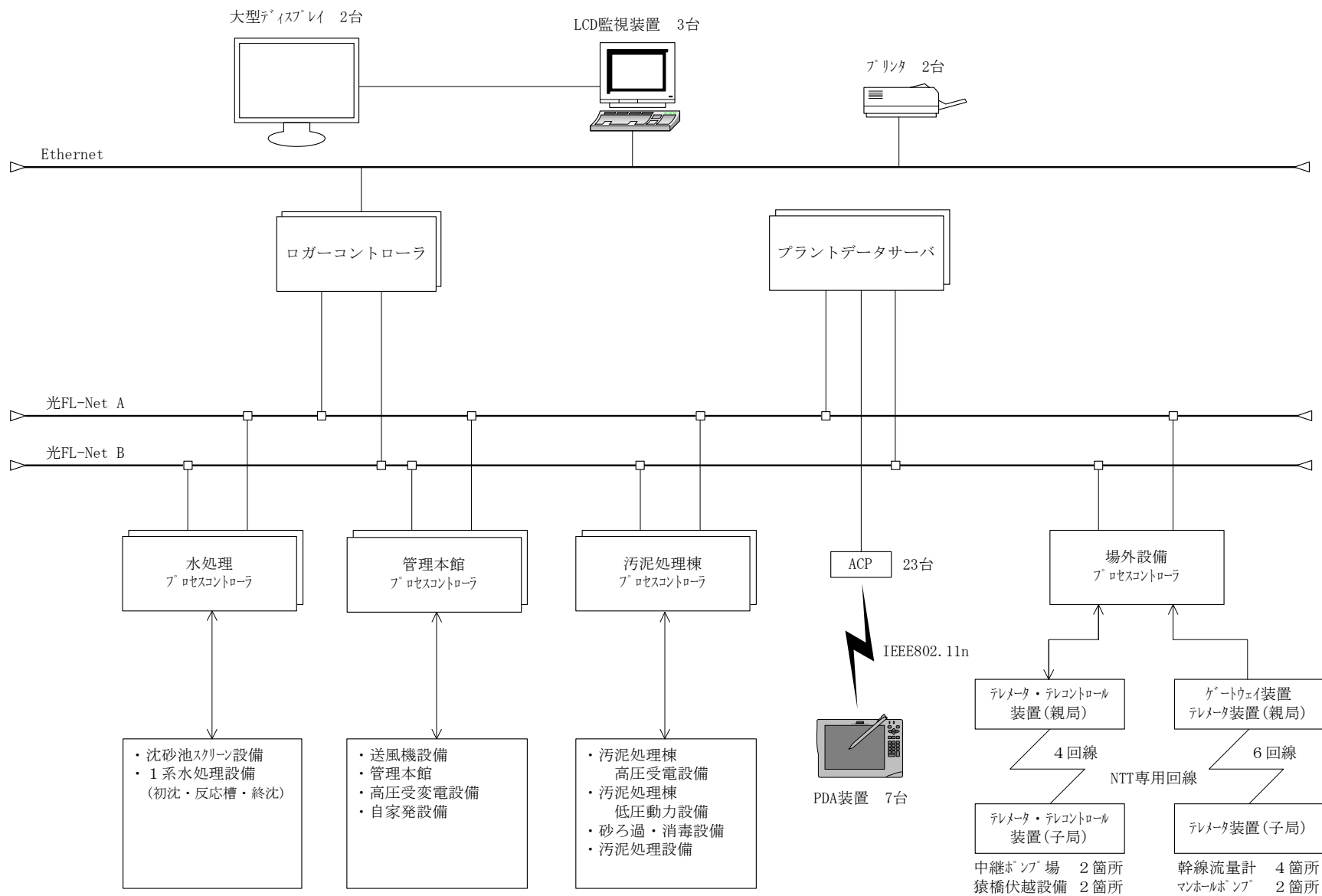


図5-5 桂川清流センターシステム系統図

桂川流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画2箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長47.9kmの内44.3kmが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は7箇所となっている。

流域幹線系統図を図5-6に、流域関連公共下水道接続概要を表5-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表5-9に、機械設備概要を表5-10に、電気設備概要を表5-11に、松留中継ポンプ場単線結線図を図5-7に、川合中継ポンプ場単線結線図を図5-8に、幹線概要を表5-12に、幹線付帯設備概要を表5-13に、幹線流量計測設備概要を表5-14に示す。

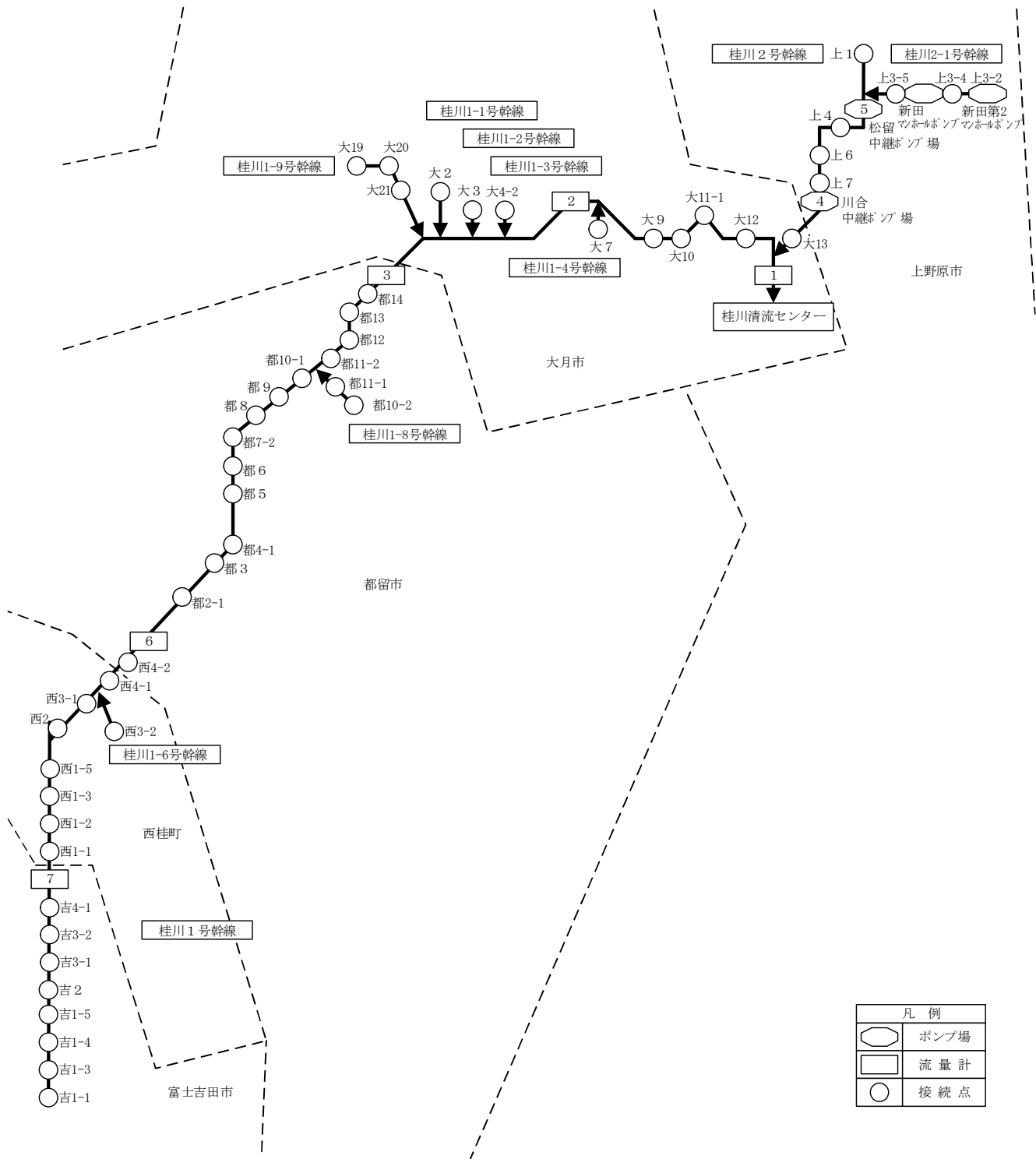


図5-6 流域幹線系統図

表 5－8 流域関連公共下水道接続概要

幹線名	処理区分名	供用開始年月日	処 理 区 域 面 積 (ha)	処 理 区 域 内 人 口 (人)	接続市町名
桂川 1 号幹線	吉 1－1	平成 2 7 年 4 月 1 日	6.41	178	富士吉田市
	吉 1－3	平成 2 5 年 4 月 1 日	4.78	103	
	吉 1－4	平成 2 5 年 4 月 1 日	2.89	0	
	吉 1－5	平成 2 8 年 4 月 1 日	8.03	321	
	吉 2	平成 2 0 年 4 月 1 日	7.38	518	
	吉 3－1	平成 2 3 年 4 月 1 日	2.38	14	
	吉 3－2	平成 1 7 年 4 月 1 日	3.25	160	
	吉 4－1	平成 1 7 年 4 月 1 日	0.90	68	
	都 2－1	平成 2 2 年 4 月 1 日	2.50	85	都留市
	都 3	平成 1 6 年 4 月 1 日	12.23	483	
	都 4－1	平成 1 6 年 4 月 1 日	39.02	1,264	
	都 5	平成 1 6 年 4 月 1 日	4.46	146	
	都 6	平成 2 4 年 4 月 1 日	6.96	241	
	都 7－2	平成 2 3 年 4 月 1 日	6.98	381	
	都 8	平成 1 9 年 4 月 1 日	31.50	1,053	
	都 9	平成 1 6 年 4 月 1 日	19.11	689	
	都 1 0－1	令和 4 年 4 月 1 日	1.61	145	
	都 1 1－2	平成 1 6 年 4 月 1 日	0.30	3	
	都 1 2	平成 1 6 年 4 月 1 日	3.20	175	
	都 1 3	平成 1 6 年 4 月 1 日	31.33	905	大月市
	都 1 4	平成 1 6 年 4 月 1 日	39.09	1,251	
	大 9	平成 1 6 年 4 月 1 日	13.50	329	
	大 1 0	平成 1 6 年 4 月 1 日	1.50	44	
	大 1 1－1	平成 1 8 年 4 月 1 日	2.58	53	
	大 1 2	平成 2 1 年 4 月 1 日	2.69	68	
	西 1－1	平成 1 8 年 4 月 1 日	0.30	63	西桂町
	西 1－2	平成 1 7 年 4 月 1 日	2.80	0	
	西 1－3	平成 1 7 年 4 月 1 日	9.20	383	
	西 1－5	平成 2 2 年 4 月 1 日	0.20	1	
	西 2	平成 2 5 年 4 月 1 日	13.05	565	
	西 3－1	平成 1 7 年 4 月 1 日	3.50	170	
	西 4－1	平成 1 7 年 4 月 1 日	20.42	418	
	西 4－2	平成 1 6 年 4 月 1 日	7.40	50	
桂川1-1号幹線	大 2	平成 1 6 年 4 月 1 日	8.63	229	大月市
桂川1-2号幹線	大 3	平成 1 6 年 4 月 1 日	44.99	1,760	大月市
桂川1-3号幹線	大 4－2	令和 6 年 1 0 月 3 日	0.84	0	大月市
桂川1-4号幹線	大 7	平成 1 9 年 4 月 1 日	47.09	83	大月市
桂川1-6号幹線	西 3－2	平成 1 7 年 4 月 1 日	16.78	590	西桂町
桂川1-8号幹線	都 1 0－2	平成 2 8 年 7 月 1 日	23.64	330	都留市
	都 1 1－1	平成 1 6 年 4 月 1 日	35.46	1,138	
桂川1-9号幹線	大 1 9	平成 1 6 年 4 月 1 日	23.66	973	大月市
	大 2 0	平成 1 6 年 4 月 1 日	6.02	163	
	大 2 1	平成 1 6 年 4 月 1 日	9.50	286	
桂川 2 号幹線	大 1 3	平成 1 6 年 4 月 1 日	12.09	203	大月市
	上 1	平成 1 6 年 4 月 1 日	160.25	6,267	上野原市
	上 4	平成 1 9 年 1 2 月 1 日	54.00	3,327	
	上 6	平成 1 8 年 4 月 1 日	5.20	176	
	上 7	平成 1 6 年 4 月 1 日	10.60	118	

桂川流域下水道

幹線名	処理分区名	供用開始年月日	処 理 区 域 面 積 (ha)	処 理 区 域 内 人 口 (人)	接続市町名
桂川2-1号幹線	上 3 - 2	令和 2 年 6 月 1 日	1.81	13	上野原市
	上 3 - 4	平成 3 0 年 3 月 1 日	6.17	110	
	上 3 - 5	平成 1 6 年 4 月 1 日	78.00	874	

※処理区域内面積及び人口は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 5－9 中継ポンプ場建築構造物概要

施設	項目	構 造 及 び 概 要
松 留 中継ポンプ場		R C 造 地下 1 階、地上 3 階
		建築面積 646㎡
		延床面積 1,333㎡
		ポンプ室、スクリーン室、ゲート室、自家発電機室、電気室、その他 (酸素発生機室)
		R C 造 地上 1 階
		建築面積 39㎡
		延床面積 39㎡
		酸素発生機室
川 合 中継ポンプ場		R C 造 地下 1 階、地上 3 階
		建築面積 280㎡
		延床面積 678㎡
		ポンプ室、流入機械室、発電機室、電気室、その他

表 5－10 中継ポンプ場機械設備概要

施設	項目	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
松 留 中継ポンプ場		流入ゲート（角形外ネジ式鉄製） 0.6m×0.6m	2 門
		粗目スクリーン（手掻式バースクリーン） 水路幅 1.2m×水路深 2.0m×目幅 30mm	1 基
		細目自動除塵機（間欠式自動除塵機） 水路幅 1.2m×水路深 2.0m×目幅 30mm×1.5kW	1 基
		No.1 し渣搬出機（トラフ型ベルトコンベヤ） 幅 500mm×長 6.0m ベルト速度 21m/min×0.75kW	1 台
		No.2 し渣搬出機（トラフ型ベルトコンベヤ） 幅 500mm×長 4.6m ベルト速度 21m/min×0.75kW	1 台
		揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ80×0.5m ³ /min×8.8m×3.7kW	1 台
		沈砂・し渣洗浄機（機械攪拌式） 処理能力 0.5m ³ /h	1 基
		し渣脱水機（スクリー式） 処理能力 0.5m ³ /h×3.7kW	1 基
		ポンプ井水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 2.0kW	4 台
		汚水ポンプ（横軸片吸込スクリー付無閉塞型渦巻ポンプ） φ200/φ150×3.7m ³ /min×48m×75kW×2台（段）	3 組（予備 1 組）
		酸素注入設備（吸着分離方式(PAS方式)） 酸素注入量 15Nm ³ /h	1 式
		脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ300×34m ³ /min×2.3kPa×3.7kW	1 台
		活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 34m ³ /min	1 塔

桂川流域下水道

施設	項目 構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
川 合 中継ポンプ場	流入ゲート（角形外ネジ式鋳鉄製） 0.4m×0.4m	2 門
	細目自動除塵機（裏がき式連続自動除塵機） 水路幅 0.8m×水路深 3.9m×目幅 20mm×0.75kW	1 基
	し渣搬出機（スクリーコンベヤ式） φ300mm×長 5.0m 輸送量 2.58m ³ /h×0.75kW	1 台
	し渣脱水機（二軸対向スクリー式） 処理能力 100L/h×0.75kW	1 基
	ポンプ井水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 0.9kW	2 台
	汚水ポンプ（横軸片吸込スクリー付無閉塞型渦巻ポンプ） φ200/φ150×5.1m ³ /min×35m×55kW×2台（段）	3 組（予備1組）
	酸素注入設備（吸着分離方式(PAS方式)） 酸素注入量 12Nm ³ /h	1 式
	脱臭ファン（片吸込ターボファン） φ225×14m ³ /min×1.96kPa×1.5kW	1 台
	活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 14m ³ /min	1 塔

表 5 - 1 1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
松 留 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V / 50Hz×1 回線 受電設備容量 1, 000kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×500kVA	2 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420 V×31. 9kvar 3 φ 3 W×420 V×21. 3kvar 3 φ 3 W×420 V×53. 2kvar	1 台 1 台 1 台
	交流無停電 電 源 装 置	50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 390kW(530PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×375kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池（長寿命形）	2 台 1 式 1 式
		遠 方 監 視 制 御 設 備	1 台
		付 帯 設 備	1 式 1 式 1 式
川 合 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V / 50Hz×1 回線 受電設備容量 1, 000kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×500kVA	2 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420 V×10. 6kvar	3 台
	交流無停電 電 源 装 置	50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 353kW(480PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×300kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池（長寿命形）	2 台 1 式 1 式
		遠 方 監 視 制 御 設 備	1 台
		付 帯 設 備	1 式 1 式 1 式

桂川流域下水道

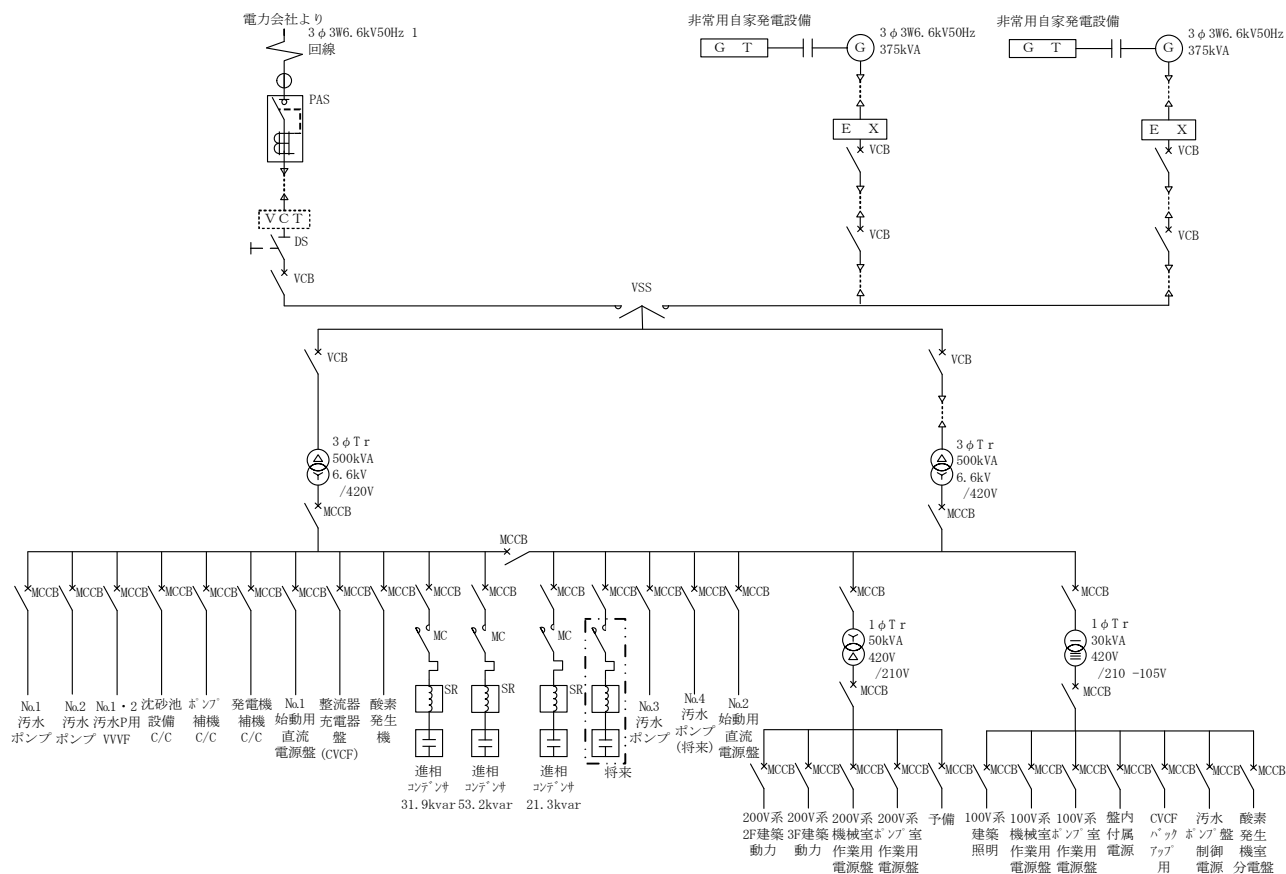


図 5-7 松留中継ポンプ場単線結線図

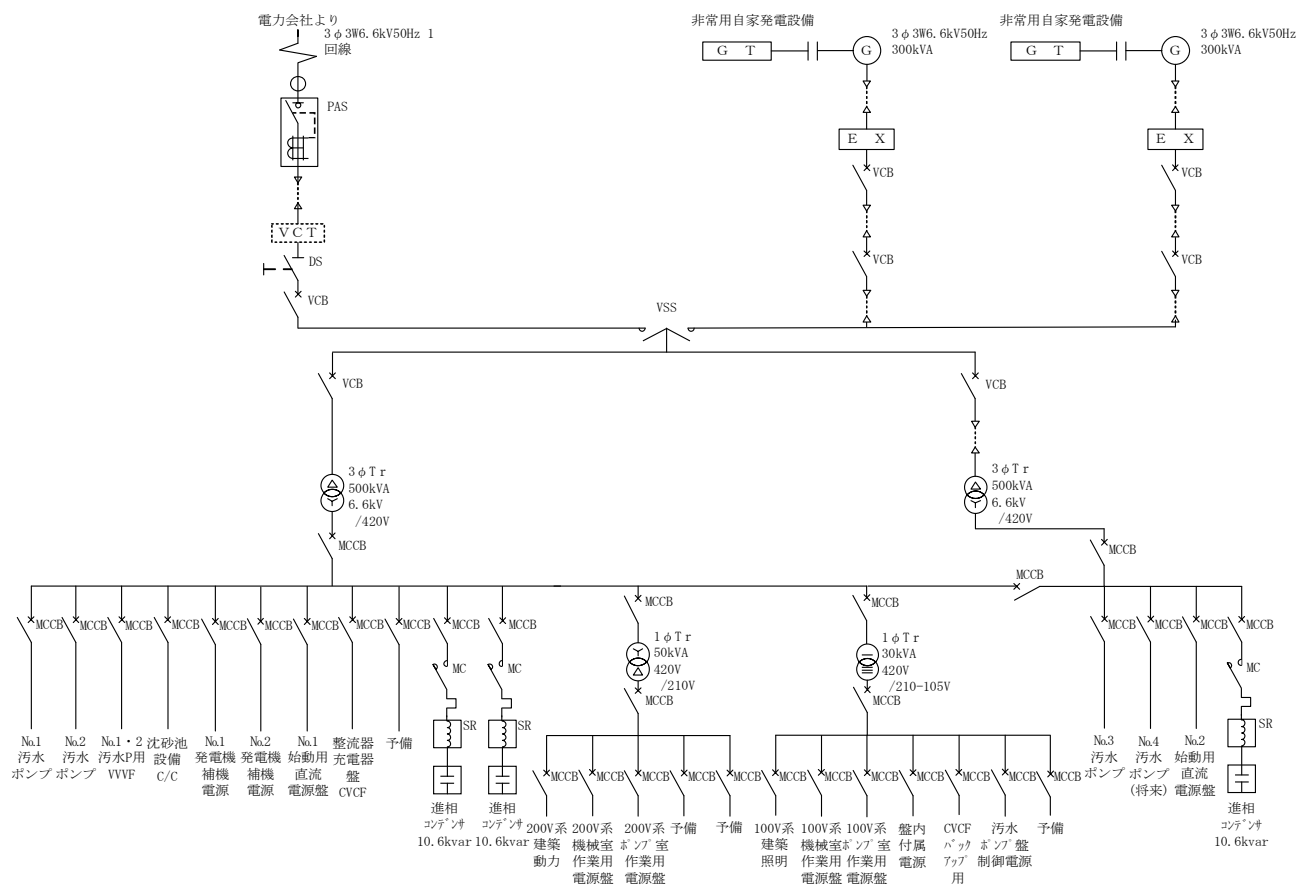


図 5-8 川合中継ポンプ場単線結線図

表 5－1 2 幹線概要

幹 線 名	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
桂川 1 号幹線	300 ～ 1,800	33,159
桂川 1-1号幹線	1,800	286
桂川 1-2号幹線	1,800	191
桂川 1-3号幹線	1,800	209
桂川 1-4号幹線	1,800	167
桂川 1-6号幹線	250 ～ 800	107
桂川 1-8号幹線	800	74
桂川 1-9号幹線	1,350 ～ 1,800	1,119
桂川 2 号幹線	250 ～ 900	7,661
桂川 2-1号幹線	150 ～ 700	1,360
合 計		44,333

※供用管径及び延長は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 5－1 3 幹線付帯設備概要

幹 線 名	設 備 名 称	仕 様 及 び 形 式	現 有 設 備	
桂 川 1 号 幹 線	東橋水管橋	管径 900mm× 2 条	55.0m	
	金畑橋水管橋	桂川横断部 管径 800mm× 2 条	127.5m	
	猿橋伏越	桂川横断部 管径 700mm× 2 条 300mm× 1 条（初期用） 照明設備 換気・脱臭設備 ガス検知器設備 排水ポンプ設備 制水バルブ設備	205.8m 一式 一式 一式 一式 一式	
		佐伯水管橋	桂川横断部 管径 600mm× 1 条	54.7m
		滝入川水管橋	滝入川横断部 管径 600mm× 1 条	17.8m
		小明見水管橋	小佐野川横断部 管径 350mm× 1 条	15.5m
桂 川 2 号 幹 線	金畑橋水管橋	管径 500mm× 1 条	15.0m	
	境橋水管橋	管径 500mm× 1 条	24.5m	
	大瀧橋水管橋	大保呂川横断部 管径 500mm× 1 条	40.0m	
	川合下村橋水管橋	管径 500mm× 1 条	11.8m	
	川合橋水管橋	桂川横断部 管径 600mm× 1 条	60.5m	
	松留橋水管橋	東電放水路横断部 管径 500mm× 1 条	15.1m	
	鶴川伏越	鶴川横断部 管径 250mm× 2 条	148.3m	
桂 川 2 - 1 号 幹 線	新巖島橋水管橋	鶴川横断部 管径 150mm× 1 条	85.0m	
	新田マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ 100×1.482m ³ ／min×24.6m×15kW	2 台	
	新田第 2 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ 65×0.504m ³ ／min×7.3m×2.2kW	2 台	

※現有設備は、令和 7 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 5－14 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管 径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m^3/h)	形 式
1	桂川清流センター流入流量計	1,000	600	1,000	P B F、圧力式
2	猿橋伏越流量計	1,800 (馬蹄形)	1,800 (馬蹄形)	1,000	超音波、圧力式
3	都留市流量計	1,800	450 (初期対応)	500	P B F、圧力式
4	川合中継ポンプ場流量計	—	300	900	電磁式
5	松留中継ポンプ場流量計	—	250	600	電磁式
6	西桂町流量計	1,350	300 (初期対応)	200	P B F、圧力式
7	富士吉田市流量計	600	250 (初期対応)	100	P B F、圧力式
備 考	流量計番号は図 5－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器運転状況を表 5-15 に、し渣及び沈砂搬出状況を表 5-16 に、薬品・給水・燃料使用状況を表 5-17 に示す。また、中継ポンプ場運転状況を表 5-18 に示す。

各設備については、下記のとおり運転を行った。

ア) 沈砂池スクリーン設備

沈砂池、スクリーン設備については機械設備の整っている No.3 水路を使用した。除砂設備は週 1 回の運転とし、細目自動除塵機は 1 日 1 回の運転とした。

イ) 最初沈殿池設備

使用池数は No.1-1-1 又は No.1-1-2 (0.5 池) の使用を基本とした。

汚泥掻寄機は 24 時間連続運転とした。スカムスキマーは 1 日 1 回の運転とした。生汚泥ポンプは汚泥の発生量に合わせ間欠運転とし、重力濃縮タンクへ移送した。

ウ) 反応タンク設備

使用池数は機械設備の整っている No.1-1 (1 池) の使用とした。水処理は 1 日 3 回の間欠運転とし、反応タンクの DO 値、水質の状況等により運転時間の調整を行った。

曝気装置の運転は、第 1 槽目及び第 3 槽目は嫌気槽として攪拌のみとした。また、第 1 槽目の曝気装置のみ 24 時間連続運転とし、その他の槽は水処理の時間帯に合わせて間欠運転とした。

送風機の運転は吸込風量一定制御とし、水処理の時間帯に合わせて運転を行った。なお、夏季(7 月～9 月)及び冬季(12 月～3 月)の間の電力抑制目的を含め、吐出量を絞やすい No.1-1 号機のための運転とし、月毎の使用号機の切替はしなかった。

凝集剤注入ポンプ及びアルカリ剤注入ポンプは 24 時間連続運転とし、磷除去の状況等により薬注率の調整を行った。

エ) 最終沈殿池設備

使用池数は機械設備の整っている No.1-1-1、No.1-1-2 の 2 水路 (1 池) の使用とした。

汚泥掻寄機は 24 時間連続運転とした。返送汚泥ポンプは水処理の運転に合わせ 1 日 3 回の間欠運転とした。返送汚泥ポンプは流入負荷変動に合わせて比率制御による運転とした。余剰汚泥ポンプは汚泥の発生状況に合わせ間欠運転を行った。スカムスキマーは 1 日 2 回の運転とした。

オ) 紫外線消毒設備

機械設備の整っている 2 水路 6 ユニットのうち 1 水路 2 ユニットを使用し、高出力で 24 時間連続運転とした。また、3 箇月毎に使用水路の切替を行った。

カ) 機械汚泥濃縮設備

No.2 ベルト濃縮機を主に運転し、余剰汚泥を処理量 $10 \text{ m}^3/\text{h}$ (定格 $10 \text{ m}^3/\text{h}$) で、汚泥の発生状況に合わせて間欠運転を行った。No.1 遠心濃縮機は週 1 回の管理運転 (低速洗浄) を基本とし、月 1 回の頻度で実負荷運転を行った。

キ) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により重力濃縮を行った。汚泥掻寄機の運転は連続運転とした。

ク) 汚泥脱水設備

No.2 二重円筒加圧脱水機を主に運転し、圧入圧一定制御により処理量 $4 \sim 7 \text{ m}^3/\text{h}$ (定格 $5 \text{ m}^3/\text{h}$) で、汚泥の発生量に合わせて間欠運転を行った。No.1 遠心脱水機は夏季に隔週 1 回の管理運転 (実負荷運転) とし、トルク一定制御により処理量 $5 \text{ m}^3/\text{h}$ (定格 $5 \text{ m}^3/\text{h}$) で、汚泥の発生量に合わせて間欠運転を行った。その他季については、1 週間毎に実負荷運転と洗浄運転を交互に行った。

ケ) 脱臭設備

沈砂池スクリーン棟及び汚泥処理棟の脱臭設備については 24 時間連続運転とした。

コ) 関連中継ポンプ場

松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場については、直列 2 段ポンプのうち後段ポンプのみ可変速運転で、ポンプ井水位による間欠運転を行った。

各マンホールポンプについては、ポンプ井水位による間欠運転を行った。

サ) 伏越設備

猿橋伏越設備は初期用 $\phi 300\text{mm}$ の管 1 条のみの使用とした。なお、管路内の滞泥防止対策として、1 日 1 回のフラッシングを行った。ドライアップポンプは月 1 回の保守運転を行った。

②未使用機器の保守

未使用機器は定期点検時にあるいは週 1 回の保守運転を実施した。予備機のある機器については 1 週間毎ないし 1 箇月毎の交互切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 5-19 に示す。

桂川流域下水道

表 5－1 5 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
No. 1 生活污水ポンプ	2. 6	222. 4	18. 8	218. 9	2. 3	212. 3	2. 3	216. 6	9. 6	188. 0	16. 6	206. 2	1, 316. 6
No. 2 生活污水ポンプ	215. 4	3. 8	193. 7	3. 7	222. 1	10. 6	223. 4	2. 5	214. 2	38. 5	185. 1	17. 1	1, 330. 1
No. 1-1 送風機	10. 5	0. 5	233. 7	539. 8	539. 6	522. 2	45. 4	0. 5	461. 4	540. 4	489. 2	540. 3	3, 923. 5
No. 1-2 送風機	514. 4	541. 9	288. 9	0. 6	0. 6	0. 7	495. 9	523. 6	79. 6	0. 5	0. 5	0. 6	2, 447. 8
No. 1-1 返送汚泥ポンプ	9. 2	576. 6	50. 4	577. 3	11. 6	539. 1	8. 6	559. 7	30. 7	482. 8	47. 6	539. 3	3, 432. 9
No. 1-2 返送汚泥ポンプ	559. 9	11. 8	518. 1	11. 7	576. 9	30. 6	579. 9	11. 7	558. 5	106. 4	485. 2	49. 9	3, 500. 6
No. 1 余剰汚泥ポンプ	0. 7	36. 3	2. 9	35. 9	0. 7	31. 1	0. 7	39. 9	1. 9	30. 2	3. 4	40. 3	224. 0
No. 2 余剰汚泥ポンプ	40. 3	0. 8	33. 7	0. 7	39. 8	1. 8	35. 9	0. 9	40. 4	7. 1	35. 2	3. 3	239. 9
No. 1 紫外線消毒装置	370. 6	744. 0	720. 0	275. 1	15. 6	0. 1	222. 9	685. 8	744. 0	398. 2	0. 1	0. 1	4, 176. 5
No. 2 紫外線消毒装置	349. 8	0. 2	0. 1	469. 0	743. 8	720. 0	521. 3	34. 5	0. 2	346. 0	669. 0	744. 0	4, 597. 9
No. 1 遠心濃縮機	10. 3	9. 0	12. 3	9. 5	10. 4	8. 7	3. 2	3. 2	10. 7	9. 9	2. 1	0. 0	89. 3
No. 2 機械濃縮機	175. 9	172. 1	159. 3	173. 6	175. 1	157. 3	173. 9	183. 8	183. 2	161. 1	171. 8	190. 4	2, 077. 5
No. 1 遠心脱水機	23. 4	23. 3	41. 6	48. 4	10. 2	32. 1	24. 7	20. 1	28. 7	19. 5	21. 3	31. 0	324. 3
No. 2 汚泥脱水機	225. 8	218. 8	194. 6	230. 7	236. 1	236. 2	235. 4	198. 5	196. 4	198. 8	203. 1	212. 5	2, 586. 9
No. 1 非常用発電機	0. 2	0. 2	1. 1	1. 4	2. 4	1. 1	0. 2	0. 2	1. 1	0. 2	0. 7	1. 1	9. 9

表 5－1 6 し 渣及び沈砂搬出状況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
し 渣搬出量(水処理系) (kg)	883. 1	0. 0	0. 0	0. 0	822. 6	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	1, 176. 4	0. 0	0. 0	2, 882. 1
し 渣搬出量(汚泥処理系) (kg)	544. 5	0. 0	0. 0	0. 0	367. 4	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	407. 8	0. 0	0. 0	1, 319. 7
沈砂搬出量 (kg)	686. 4	0. 0	0. 0	0. 0	794. 2	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	419. 8	0. 0	0. 0	1, 900. 4

表 5－1 7 薬品・給水・燃料使用状況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬品	高分子凝集剤(機械濃縮系) (kg)	40. 0	38. 0	38. 0	40. 0	36. 0	34. 0	38. 0	44. 0	42. 0	38. 0	34. 0	460. 0
	高分子凝集剤(脱水機系) (kg)	396. 0	378. 0	378. 0	504. 0	396. 0	378. 0	360. 0	342. 0	414. 0	360. 0	396. 0	4, 662. 0
	消臭剤(機械濃縮系) (L)	375	415	375	400	395	390	425	375	365	380	355	4, 630
	消臭剤(脱水機系) (L)	230	240	205	420	395	420	395	290	85	75	70	2, 905
	PAC (L)	8, 236	8, 417	8, 227	8, 174	9, 391	7, 992	9, 061	8, 325	7, 709	8, 045	7, 638	99, 330
	苛性ソーダ (L)	3, 356	3, 435	3, 353	3, 344	3, 817	3, 252	3, 686	3, 388	3, 154	3, 283	3, 110	40, 504
給水	上水 (m³)	64	71	62	60	57	54	60	77	54	51	58	722
	砂ろ過水 (m³)	5, 773	5, 926	6, 013	5, 802	5, 293	5, 552	5, 014	4, 759	5, 236	4, 889	4, 448	63, 933
燃料	重油 (L)	33	32	182	247	501	201	32	33	203	33	119	1, 822

表 5－1 8 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名	項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
松留 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	19. 8	367. 3	52. 3	435. 6	80. 0	409. 9	5. 4	385. 0	32. 4	350. 5	46. 8	397. 5	2, 582. 5
	No. 1-2 汚水ポンプ	19. 6	362. 9	51. 5	430. 6	79. 2	405. 0	5. 3	381. 9	32. 0	346. 6	46. 1	392. 8	2, 553. 5
	No. 2-1 汚水ポンプ	415. 7	86. 1	403. 8	20. 9	371. 3	40. 4	465. 9	66. 4	408. 6	76. 6	341. 0	46. 0	2, 742. 7
	No. 2-2 汚水ポンプ	410. 9	84. 9	400. 1	20. 7	367. 4	40. 0	461. 0	65. 6	404. 7	75. 2	336. 4	45. 4	2, 712. 3
	No. 3-1 汚水ポンプ	0. 5	0. 4	0. 4	3. 0	2. 3	0. 4	0. 6	1. 1	0. 4	0. 4	0. 5	1. 1	11. 1
	No. 3-2 汚水ポンプ	0. 5	0. 4	0. 4	2. 8	2. 3	0. 4	0. 6	1. 1	0. 4	0. 4	0. 5	1. 1	10. 9
	No.1非常用発電機	0. 2	0. 3	0. 2	1. 1	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	1. 1	0. 2	0. 2	4. 3
	No.2非常用発電機	0. 2	0. 3	0. 2	1. 1	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	1. 1	0. 2	0. 2	4. 3
川合 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	22. 5	398. 9	56. 2	473. 7	86. 3	443. 6	103. 5	0. 0	0. 0	0. 0	0. 2	401. 6	1, 986. 5
	No. 1-2 汚水ポンプ	22. 4	398. 3	56. 1	472. 2	86. 0	442. 3	103. 1	0. 0	0. 0	0. 0	0. 2	400. 0	1, 980. 6
	No. 2-1 汚水ポンプ	469. 3	105. 0	455. 5	25. 0	418. 8	47. 5	416. 1	503. 1	502. 9	501. 0	455. 5	54. 7	3, 954. 4
	No. 2-2 汚水ポンプ	467. 9	104. 9	454. 5	24. 9	417. 5	47. 3	415. 4	501. 9	501. 7	500. 0	454. 4	54. 4	3, 944. 8
	No. 3-1 汚水ポンプ	0. 5	0. 4	0. 4	3. 6	3. 4	0. 4	0. 5	0. 4	0. 4	0. 9	3. 1	1. 0	15. 0
	No. 3-2 汚水ポンプ	0. 5	0. 4	0. 4	3. 6	3. 4	0. 4	0. 5	0. 4	0. 4	0. 9	3. 1	1. 0	15. 0
	No.1非常用発電機	0. 2	0. 2	0. 2	1. 1	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	1. 2	0. 6	0. 2	4. 7
	No.2非常用発電機	0. 2	0. 2	0. 2	1. 1	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	1. 2	0. 6	0. 2	4. 7

表 5－19 機器故障状況（機械関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
汚泥処理棟 RIB 盤用空気圧縮機	通常停止圧力で停止しない状況が確認された。 原因は圧力開閉器の故障によるものであった。	空気圧縮機本体の交換を実施した。
沈砂池スクリーン棟 No.2 給水ポンプ	圧力計の指示値不良が確認された。 原因は圧力計の故障によるものであった。	圧力計の交換を実施した。
管理本館 ACP-2 中央監視室系統 空調機	室外ユニット・熱源ユニット・インバータと室外制御 ユニット間伝送異常の警報が発生した。 原因は室外機の基板等の故障によるものであった。	基板等故障部品の交換を実施した。
汚泥処理棟 No.2 薬品溶解タンク 定量フィーダ	減圧弁及びミストセパレータからの空気漏れが確認された。 原因は減圧弁及びミストセパレータの経年劣化によるものであった。	減圧弁及びミストセパレータの交換を実施した。
砂ろ過・消毒棟 No.1 乾燥空気ポンプ	運転時に異音が確認された。 原因は機器内部軸受の破損によるものであった。	乾燥空気ポンプ本体の交換を実施した。
管理本館 ACP-3 水質試験室系統 空調機	室内ユニットドレン水位系異常の警報が確認された。 原因はドレンポンプ及びフロートスイッチの故障によるものであった。	ドレンポンプ及びフロートスイッチの交換を実施した。
汚泥処理棟 生汚泥スクリーンかす 脱水機	洗浄水バルブの破損が確認された。 原因は経年劣化によるものであった。	バルブの交換を実施した。
砂ろ過・消毒棟 No.1 紫外線消毒装置	温度設定器の表示の消灯が確認された。 原因は温度設定器の故障によるものであった。	温度設定器の交換を実施した。
沈砂池スクリーン棟 No.1 給水ポンプ	内部部品の破損や摩耗が確認された。 原因は経年劣化によるものであった。	不良部品の交換を実施した。
水処理施設 No.1-1-5 曝気装置	絶縁抵抗値の低下が確認された。 原因はケーブル等の劣化によるものであった。	ケーブル等の交換を実施した。
水処理施設 池上散水栓バルブ	バルブの破損が確認された。 原因は経年劣化によるものであった。	バルブの交換を実施した。
汚泥処理棟 No.2 汚泥脱水機	洗浄水配管フレキシブルホースからの漏水が確認された。 原因は経年劣化によるものであった。	フレキシブルホースの交換を実施した。

注）令和6年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、桂川清流センター、松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場とも高圧 6,600 V、新田及び新田第 2 マンホールポンプは低圧 200 V（動力）及び 100 V（照明）である。

桂川清流センター、松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表 5-20～表 5-22、図 5-9～図 5-11 に示す。

桂川清流センターの使用電力量は、132～150 千 kWh／月の間で推移し、年間として 1,691 千 kWh／年となり昨年度と比較して約 1.0％の増加となっている。

これは、省電力型污泥脱水機の主機運用や夏期・冬期の電力需給対策により電力使用の抑制に努めているものの、流入下水量や污泥処理量の増加に伴い、水処理及び污泥処理関連機器の運転時間が増加したことが主な要因である。

桂川清流センターの原単位電力量と最大需要電力の表とグラフをそれぞれ表 5-23、図 5-12、図 5-13 に示す。

原単位電力量は 0.588～0.658kWh／m³の間で推移した。

最大需要電力は 250～259kW の間で推移した。

桂川清流センターの契約電力は、実量制による契約電力決定方式により、257～259kW で推移した。

また、電気料金のコスト縮減対策として、蓄熱空調機及び蓄熱温水器に係る産業用蓄熱調整契約を通年、蓄熱空調機に係るピーク時間調整契約を 6 月～9 月の間締結した。

ポンプ場の契約電力は、松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、それぞれ 230～274kW、222～233kW で推移した。

マンホールポンプの契約電力は、設備容量による契約電力決定方式により、新田及び新田第 2 マンホールポンプは、それぞれ 33kW 及び 6 kW である。

②非常用発電設備運転状況

桂川清流センターでは、保守点検として、1 箇月に 1 回約 12 分間の無負荷運転と 3 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 600kWh であった。また No.1 非常用発電機分解点検に伴う試験運転として 2 月に 30 分間の無負荷運転を実施した。

松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場では、保守点検として、1 箇月に 1 回約 12 分間の無負荷運転と 6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量はそれぞれ、210kWh 及び 250kWh であった。

また、停電による運転として、桂川清流センターでは 7 月と 8 月にそれぞれ 1 時間 9 分と 2 時間 13 分の実負荷運転を実施し、発電電力量は 180kWh と 360kWh であった。松留中継ポンプ場では 5 月に 8 分の実負荷運転を実施し、発電電力量は 0 kWh であった。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 5-24 に示す。

桂川流域下水道

表５－２０ 使用電力量と流入下水量（清流センター）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	139,296	142,560	137,400	150,336	147,816	137,304	135,648	136,512	144,360	144,312	131,664	143,544	1,690,752	140,896
流入下水量	221,783	228,278	229,337	228,436	226,071	217,615	230,766	221,924	229,326	229,333	210,955	229,141	2,702,965	225,247

表５－２１ 使用電力量と流入下水量（松留中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	53,629	55,285	57,641	60,564	62,587	62,106	63,493	59,780	54,420	52,879	48,167	55,948	686,499	57,208
流入下水量	66,619	68,800	70,567	69,773	71,300	66,880	69,540	66,794	66,369	65,889	60,427	68,143	811,101	67,592

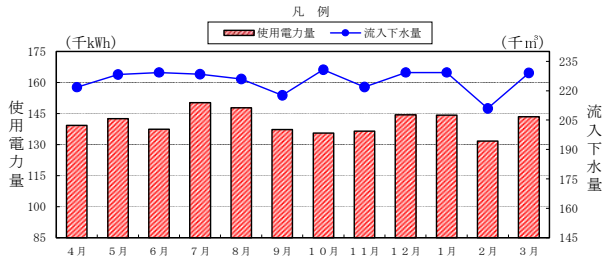


図５－９ 使用電力量と流入下水量（清流センター）

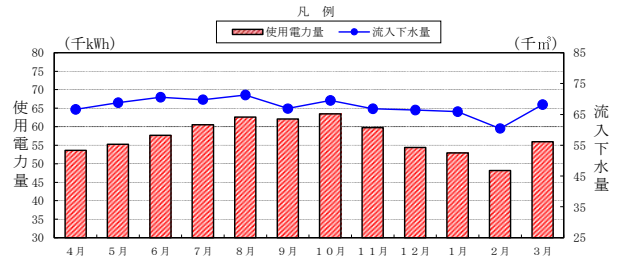


図５－１０ 使用電力量と流入下水量（松留中継ポンプ場）

表５－２２ 使用電力量と流入下水量（川合中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	55,435	55,506	56,997	54,323	58,899	53,522	56,993	54,584	54,920	56,822	51,262	44,130	653,393	54,449
流入下水量	95,775	98,934	101,821	99,902	102,028	95,975	99,679	96,095	95,808	94,915	85,968	97,255	1,164,155	97,013

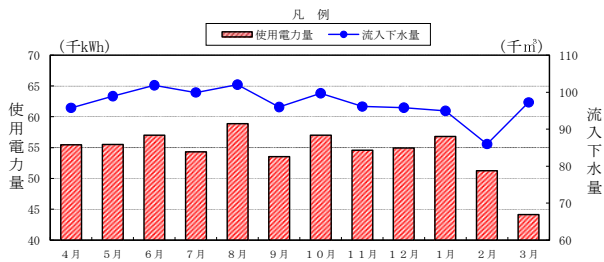


図５－１１ 使用電力量と流入下水量（川合中継ポンプ場）

表５－２３ 原単位電力量と最大需要電力（清流センター）

(単位: 上段 kWh/m³, 下段 kW)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
原単位電力量	0.628	0.625	0.599	0.658	0.654	0.631	0.588	0.615	0.629	0.629	0.624	0.626	0.626
最大需要電力	257	259	257	254	250	250	254	259	254	254	254	254	255

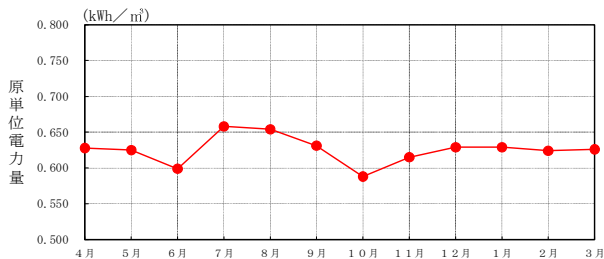


図５－１２ 原単位電力量（清流センター）

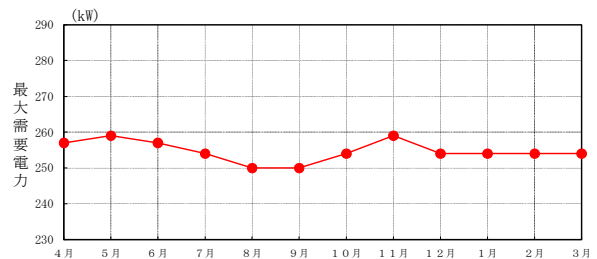


図５－１３ 最大需要電力（清流センター）

表 5－2 4 機器故障状況（電気関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
水処理施設 終沈 pH 計	変換器のタッチパネル操作が不可能となった。 原因は LCD モジュールの不良によるものであった。	LCD モジュールの交換を実施した。
新田マンホールポンプ 水位検知用 レベルスイッチ	水位異常高の警報が復帰しない状況となった。 原因はレベルスイッチの不良によるものであった。	レベルスイッチの交換を実施した。
汚泥処理棟 汚泥濃縮設備 コントロールセンタ	No. 1 濃縮汚泥受槽攪拌機の欠相警報が発生した。 原因はコントロールセンタユニット内の電磁接触器の不良によるものであった。	電磁接触器の交換を実施した。
川合中継ポンプ場 No. 3－2 汚水ポンプ設備 コントロールセンタ	No. 3－2 汚水ポンプの欠相警報が発生した。 原因はスターデルタ回路の電磁接触器の不良によるものであった。	電磁接触器の交換を実施した。

注）令和 6 年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質日常試験及び精密試験結果を表5-25～表5-28、図5-14～図5-15に示す。

流入水は、年間平均BODが170mg/L、SSについては200mg/Lであった。

放流水は、年間を通じて安定して良好な水質で推移した。磷含有量は年間平均で0.56mg/Lであった。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表5-29に示す。

地点①、②、③、⑤でふっ素及びその化合物が、地点①及び地点⑤で亜鉛含有量が、地点④で溶解性鉄含有量が検出されたが、下水道排除基準を超過することはなかった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表5-30～表5-33に、反応タンクの管理状況を図5-16～図5-17に示す。

反応タンクは、脱窒による汚泥浮上対策を目的として第1槽目を嫌気とした運転を行った。また、窒素除去を目的として第3槽目を無酸素とした嫌気硝化内生脱窒法による運転を行った。

SVIは130～220mL/gの間で推移し、沈降性悪化による障害は認められなかった。

BOD-SS負荷は年間を通じて、0.05～0.11kg/kg・日の間で推移した。

活性汚泥生物は、微生物の種類についても多く、活性汚泥性生物の割合についても高く良好な状態であった。

④通日試験結果

通日試験結果を表5-34～表5-37、図5-18～図5-33に示す。

流入負荷については、流入水量が少ないため、ポンプ場からの流入及び汚泥処理施設からの返流水の影響を受け、一時的に負荷が高くなる傾向を示した。

放流水は、水質変動が小さく安定した良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表5-38に、汚泥試験測定結果を表5-39～表5-41に示す。

汚泥処理については、最初沈殿池で発生する生汚泥は重力濃縮槽へ投入、最終沈殿池で発生する余剰汚泥は機械濃縮機に投入して濃縮を行い、混合濃縮汚泥は8月から10月にかけて低い値で推移したが、年間平均で3.6%程度の濃度となった。

脱水はNo.2二重円筒加圧脱水機を主機として使用し、週6～7日の運転により処理を行った。

脱水ケーキの発生量は、年間1,649.58t、含水率は年間平均値で68.3%となった。なお、脱水ケーキは、セメント原料として全量有効利用した。

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表5-42～表5-43に示す。

清流センター放流口の上流にあたる塩瀬橋地点、下流にあたる金畑橋地点ともに、ほぼ同等の水質であった。

②臭気測定結果

臭気測定結果を表 5－44 に示す。

敷地境界及び放流水においては、規制値以下の結果であった。

桂川流域下水道

表 5－2 5 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.0	22.0	23.0	25.0	26.5	26.0	25.0	23.0	20.0	17.0	17.0	18.0	26.5
	最小	17.5	19.5	21.5	22.0	24.5	25.0	23.0	20.5	17.5	16.5	16.0	16.0	16.0
	平均	18.8	20.9	22.3	23.9	25.5	25.6	24.0	21.7	19.0	16.9	16.4	16.7	21.0
水素イオン濃度	最大	6.86	7.00	6.99	6.93	7.02	7.02	6.97	6.98	6.92	7.01	7.00	7.01	7.02
	最小	6.70	6.78	6.75	6.72	6.82	6.67	6.78	6.80	6.80	6.80	6.84	6.80	6.67
	平均	6.79	6.88	6.83	6.80	6.91	6.87	6.87	6.88	6.86	6.91	6.93	6.90	6.87
透 視 度 (cm)	最大	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	8.0	8.0	7.0	7.0	7.0	6.0	7.0	8.0
	最小	5.0	5.0	5.0	3.0	5.0	3.0	6.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	3.0
	平均	5.6	5.9	6.1	5.5	6.3	5.7	6.5	6.0	6.2	5.6	5.4	5.7	5.9
浮遊物質質量 (mg/L)	最大	240	250	280	420	230	410	220	220	220	220	260	220	420
	最小	180	190	170	150	160	140	150	150	140	160	160	170	140
	平均	210	220	210	240	180	220	180	180	180	190	200	190	200
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	200	200	170	240	180	240	140	170	170	170	220	220	240
	最小	150	150	130	190	140	160	120	130	150	140	170	150	120
	平均	170	170	150	220	150	190	130	160	160	160	190	170	170
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	120	120	180	180	100	170	110	100	110	110	130	110	180
	最小	86	89	84	86	75	70	75	77	85	85	91	87	70
	平均	100	100	97	110	91	110	90	92	95	96	100	97	98
大腸菌群数 (千個/cm ³)	最大	50	56	80	110	100	85	47	30	55	40	38	56	110
	最小	20	49	45	22	21	20	21	20	22	14	20	29	14
	平均	36	51	59	65	59	56	33	25	33	23	26	37	42

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 5－2 6 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.0	22.0	23.0	25.0	26.0	25.5	25.0	22.5	20.0	17.5	17.0	18.5	26.0
	最小	18.0	20.0	21.5	23.0	25.0	24.5	23.0	20.5	18.0	16.5	16.5	16.5	16.5
	平均	19.0	20.9	22.2	24.0	25.5	25.2	23.8	21.5	19.0	17.1	16.8	17.3	21.0
水素イオン濃度	最大	6.58	6.54	6.70	6.60	6.56	6.78	6.80	6.61	6.65	6.55	6.52	6.57	6.80
	最小	6.33	6.39	6.35	6.40	6.41	6.43	6.39	6.42	6.36	6.37	6.40	6.36	6.33
	平均	6.44	6.46	6.47	6.51	6.49	6.60	6.67	6.53	6.52	6.45	6.47	6.47	6.51
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	平均	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
浮遊物質質量 (mg/L)	最大	3.2	2.3	2.9	2.6	3.9	1.9	2.2	2.1	2.2	1.9	2.3	2.5	3.9
	最小	1.3	1.7	1.6	1.4	<1.0	1.3	1.4	1.1	1.4	1.0	1.2	1.5	<1.0
	平均	2.2	1.9	2.2	2.0	1.6	1.6	1.9	1.7	1.7	1.6	1.7	1.9	1.8
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	1.8	1.9	2.1	2.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.5	2.1	1.8	2.6
	最小	1.6	1.3	1.2	1.3	1.0	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3	1.5	1.0
	平均	1.7	1.7	1.6	1.7	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.7	1.6
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	8.4	7.6	7.7	8.0	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6	7.3	7.7	8.1	8.4
	最小	6.9	6.9	6.4	6.5	6.5	4.7	6.7	6.4	6.5	6.4	6.7	6.8	4.7
	平均	7.6	7.2	7.1	7.2	7.0	6.8	7.2	7.1	7.2	6.9	7.2	7.3	7.2
大腸菌群数 (個/cm ³)	最大	16	17	17	11	8	13	9	7	6	3	3	4	17
	最小	4	8	4	4	3	4	2	1	1	1	1	2	1
	平均	8	13	12	8	6	7	5	4	3	2	2	3	6

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

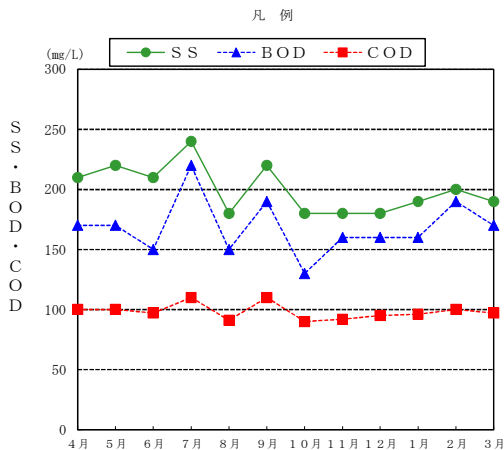


図 5－1 4 流入水の水質変化

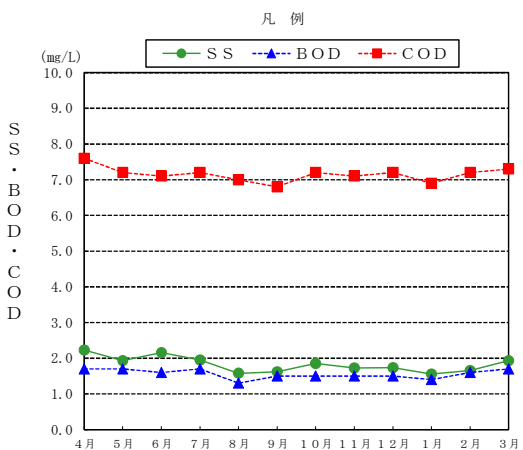


図 5－1 5 放流水の水質変化

桂川流域下水道

表 5－2 7 （ 1 ） 精密試験分析結果（流入水－1）

測 定 項 目	単位	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—	4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0	22.5	23.0	24.0	25.0	25.0	25.5	26.0	25.0	24.0
透視度	c m	5.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0	6.0	6.0	7.0	6.0	6.0	5.0	7.0	7.0
水素イオン濃度	—	6.81	6.81	6.97	6.88	6.80	6.99	6.90	6.80	6.87	7.02	6.94	6.84	6.97	6.84
蒸発残留物	mg/L	560	550	450	480	460	470	560	630	520	440	460	530	500	500
強熱残留物	mg/L	260	260	230	240	240	230	240	220	240	180	240	260	250	250
溶解性物質	mg/L	350	310	250	310	300	290	310	330	320	270	290	310	330	320
浮遊物質量	mg/L	180	210	210	210	180	210	180	310	230	190	150	240	160	170
アルカリ度	mg/L	145	147	141	143	142	137	142	140	147	156	139	140	150	144
生物化学的酸素要求量	mg/L	150	200	160	150	130	140	190	210	180	150	160	180	130	140
化学的酸素要求量	mg/L	100	110	94	97	86	91	110	120	75	89	81	110	84	100
アンモニア性窒素含有量	mg/L	21.1	19.2	21.7	21.1	17.8	12.5	18.6	19.0	21.2	20.7	18.4	17.6	19.4	20.8
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.37	0.37	0.34	0.31	0.24	0.28	0.34	0.43	0.53	0.28	0.29	0.42	0.30	0.37
有機性窒素含有量	mg/L	14.7	16.9	11.4	9.81	7.29	12.1	12.9	16.0	13.9	10.3	11.9	16.8	10.7	13.7
窒素含有量	mg/L	36.2	36.5	33.5	31.3	25.5	25.0	31.9	35.5	35.6	31.4	30.6	34.8	30.5	34.8
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	2.36	2.37	1.78	1.82	1.56	1.74	2.12	2.08	2.70	2.15	1.92	2.04	1.86	2.00
燐含有量	mg/L	5.25	5.30	4.57	4.61	3.97	4.00	5.01	6.12	5.39	4.39	3.91	4.39	4.23	4.70
大腸菌群数	千個/cm ³	34	50	56	50	45	80	48	110	100	21	20	47	47	40
よう素消費量	mg/L	9	10	10	11	13	10	11	15	18	18	11	13	11	14
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5	6	5	<5	<5	5	6	<5	<5	<5	<5	6	7	8
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.12	<0.10	0.94	0.17	0.12	0.15	0.21	0.34	0.25	0.23	0.26	0.22	0.14	0.17
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	0.13	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	0.29	<0.10	0.10	0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	0.12	0.11	<0.10	<0.10	0.12	0.20	0.13	<0.10	<0.10	0.14	<0.10	0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	<0.004	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	—	—	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.13	0.12	<0.10	0.12	<0.10	<0.10	0.15	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	21.5	19.6	22.0	21.4	18.2	12.8	18.9	19.4	21.7	21.0	18.7	18.0	19.7	21.2
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

桂川流域下水道

表 5－27（2） 精密試験分析結果（流入水－2）

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃	22.5	21.5	20.0	18.5	17.0	17.0	16.5	16.5	16.5	16.5	26.0	16.5	20.9
透視度	c m	7.0	6.0	6.0	5.0	6.0	5.0	4.0	6.0	6.0	5.0	7.0	4.0	6.0
水素イオン濃度	—	6.91	6.92	6.91	6.90	7.01	6.96	6.97	6.92	6.87	7.01	7.02	6.80	6.91
蒸発残留物	mg/L	490	480	510	500	480	520	570	520	500	550	630	440	510
強熱残留物	mg/L	250	250	270	250	250	260	250	250	240	240	270	180	240
溶解性物質	mg/L	300	320	320	320	330	320	280	320	330	320	350	250	310
浮遊物質量	mg/L	170	190	190	210	160	210	260	180	170	220	310	150	200
アルカリ度	mg/L	144	150	144	149	145	147	148	143	139	147	156	137	145
生物化学的酸素要求量	mg/L	130	160	170	150	160	160	220	170	150	220	220	130	170
化学的酸素要求量	mg/L	91	94	94	110	86	95	130	100	88	110	130	75	98
アンモニア性窒素含有量	mg/L	18.7	21.6	18.6	18.9	19.3	22.0	16.6	16.8	18.6	17.7	22.0	12.5	19.1
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	0.13	0.11	0.04	0.15	0.04	0.10	0.09	<0.02	0.15	<0.02	0.03
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.37	0.39	0.41	0.33	0.71	0.42	0.45	0.22	0.41	0.36	0.71	0.22	0.37
有機性窒素含有量	mg/L	10.0	12.2	13.9	5.78	2.78	9.76	16.9	10.3	1.48	12.0	16.9	1.48	11.4
窒素含有量	mg/L	29.1	34.2	33.1	25.2	22.9	32.3	33.9	27.5	20.6	30.0	36.5	20.6	30.9
燐酸イオン態燐含有量	mg/L	2.01	1.98	1.93	2.03	1.88	1.88	1.88	1.87	1.60	1.84	2.70	1.56	1.98
燐含有量	mg/L	3.76	4.08	4.29	4.11	4.16	4.10	5.04	3.93	3.61	4.74	6.12	3.61	4.49
大腸菌群数	千個/cm ³	30	29	27	26	19	40	38	22	30	56	110	19	44
よう素消費量	mg/L	11	11	11	11	11	11	10	10	12	8	18	8	12
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	<5	<5	<5	5	<5	<5	7	5	5	15	15	<5	<5
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.15	0.15	0.23	0.23	0.42	0.16	0.28	0.28	0.24	0.48	0.94	<0.10	0.25
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	0.12	<0.10	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	0.13	0.29	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	0.12	<0.10	<0.10	0.23	0.15	<0.10	<0.10	0.23	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機燐化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	<0.01	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	0.14	<0.10	<0.10	0.14	0.11	0.13	<0.10	0.15	<0.10	<0.10
アモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	19.1	22.0	19.1	19.3	20.0	22.6	17.1	17.1	19.1	18.1	22.6	12.8	19.5
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

桂川流域下水道

表 5－28（1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		4	18	2	16	6	20	4	18	1	15	5	19	3	17
水温	℃		18.5	19.5	20.0	21.0	21.5	22.5	23.0	24.0	25.0	25.0	25.0	25.5	24.5	23.5
透視度	c m		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.47	6.41	6.44	6.50	6.40	6.47	6.53	6.60	6.51	6.50	6.47	6.78	6.74	6.78
蒸発残留物	mg/L		350	300	270	300	340	290	340	340	290	260	300	300	320	310
強熱残留物	mg/L		230	230	230	230	230	200	220	170	230	180	220	230	230	260
溶解性物質	mg/L		350	290	250	290	340	280	330	320	290	250	280	300	310	300
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	3.0	1.8	1.7	2.2	1.6	1.7	2.1	2.0	1.5	1.7	1.3	1.7	1.6	2.1
アルカリ度	mg/L		54	48	47	43	40	46	49	53	48	49	45	70	64	73
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	1.7	1.8	1.9	1.9	1.2	1.3	1.3	1.6	1.0	1.4	1.3	1.3	1.3	1.7
化学的酸素要求量	mg/L		7.9	7.2	7.4	7.4	6.5	7.0	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	7.1	7.2	7.3
アンモニア性窒素含有量	mg/L		2.46	1.50	2.61	1.05	0.51	0.73	0.93	1.64	1.06	0.54	0.64	2.50	2.44	4.39
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.09	0.07	0.08	0.06	0.04	0.06	0.07	0.08	0.09	0.07	0.05	0.12	0.14	0.15
硝酸性窒素含有量	mg/L		7.98	7.51	8.83	8.28	7.93	4.74	7.29	6.69	8.10	7.77	8.75	3.47	5.25	3.94
有機性窒素含有量	mg/L		1.33	0.65	0.30	0.53	0.64	0.61	0.81	0.65	0.71	0.74	0.57	0.82	0.70	0.73
窒素含有量	mg/L	120(60)	11.9	9.72	11.8	9.92	9.13	6.14	9.11	9.06	9.96	9.12	10.0	6.92	8.54	9.20
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.31	0.44	0.46	0.30	0.25	0.34	0.22	0.93	1.18	0.35	0.51	0.05	0.73	0.41
磷含有量	mg/L	16(8)	0.42	0.53	0.56	0.40	0.33	0.42	0.29	1.05	1.27	0.42	0.56	0.07	0.81	0.49
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	4	16	17	11	4	12	11	4	3	8	4	5	3	9
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機磷化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	9.05	8.18	9.95	8.76	8.17	5.09	7.73	7.43	8.61	8.06	9.06	4.59	6.37	5.85
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

桂川流域下水道

表5-28 (2) 精密試験分析結果(放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—		7	21	5	19	9	23	5	20	6	19	—	—	—
水温	℃		22.0	21.0	20.0	18.0	17.0	16.5	17.0	16.5	17.0	17.0	25.5	16.5	20.9
透視度	c m		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.59	6.52	6.53	6.48	6.48	6.50	6.49	6.52	6.48	6.44	6.78	6.40	6.53
蒸発残留物	mg/L		330	310	310	300	360	300	300	320	360	310	360	260	310
強熱残留物	mg/L		250	240	250	240	240	230	250	250	240	220	260	170	230
溶解性物質	mg/L		330	310	310	290	280	300	290	310	360	300	360	250	300
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	1.6	1.5	1.5	2.2	1.2	1.9	2.3	1.2	1.7	2.2	3.0	1.2	1.8
アルカリ度	mg/L		48	55	60	54	41	53	53	49	45	52	73	40	52
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	1.4	1.3	1.3	1.7	1.4	1.5	2.1	1.3	1.5	1.8	2.1	1.0	1.5
化学的酸素要求量	mg/L		7.1	7.1	7.5	7.6	6.5	7.1	7.3	7.1	7.4	7.2	7.9	6.5	7.1
アンモニア性窒素含有量	mg/L		1.95	2.38	2.64	1.53	1.10	1.84	1.76	1.25	1.27	1.58	4.39	0.51	1.68
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.09	0.15	0.17	0.13	0.07	0.09	0.08	0.07	0.07	0.09	0.17	0.04	0.09
硝酸性窒素含有量	mg/L		8.46	7.77	6.11	4.31	7.05	6.92	6.17	4.24	7.51	6.65	8.83	3.47	6.74
有機性窒素含有量	mg/L		0.60	0.69	0.30	0.26	0.28	0.81	0.34	0.53	0.20	1.00	1.33	0.20	0.62
窒素含有量	mg/L	120(60)	11.1	11.0	9.22	6.22	8.50	9.66	8.35	6.09	9.05	9.31	11.9	6.09	9.13
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.79	0.38	0.57	0.45	0.62	0.21	0.47	0.51	0.55	0.38	1.18	0.05	0.48
磷含有量	mg/L	16(8)	0.87	0.46	0.66	0.53	0.69	0.28	0.56	0.58	0.63	0.49	1.27	0.07	0.56
大腸菌群数	個/cm ³	1,000	7	1	2	6	2	3	3	1	2	4	17	1	6
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.10	<0.10	0.12	<0.10	<0.10	0.12	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機機化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	9.33	8.87	7.34	5.05	7.56	7.75	6.95	4.81	8.09	7.37	9.95	4.59	7.50
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

桂川流域下水道

表 5 - 2 9 幹線調査分析結果

		測定項目	単位	排除基準	①	②	③	④	⑤
		採水月日			5月8日	5月8日	5月8日	5月8日	5月8日
		採水時刻			10:00	10:45	11:30	11:40	9:25
政 令 で 定 め る 物 質	処 理 困 難 物 質	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
		シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		有機リン化合物	mg/L	不検出	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
		1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
		1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
		1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
		1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		チウラム	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
		シマジン	mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
		ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.20	0.12	0.11	<0.10	0.14
		1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
		フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
		銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
		亜鉛含有量	mg/L	1	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	0.12
		溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	<0.10
		溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
		クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
条 例 で 定 め る 物 質	処 理 可 能 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	16.1	19.8	20.4	20.4	14.2
		生物化学的酸素要求量	mg/L	600	220	190	78	160	480
		浮遊物質	mg/L	600	320	240	100	190	360
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	12	9	<5	9	15
		水素イオン濃度	—	5~9	7.00	6.83	6.90	6.67	6.98
		水温	℃	45	18.0	19.0	19.0	21.0	19.0
		よう素消費量	mg/L	220	12	13	9	11	12
そ の 他		色	—		白濁	白濁	微白濁	白濁	白濁
		化学的酸素要求量	mg/L		130	120	51	110	180
備 考		番号 幹線名	上流市町村名						
		① 桂川 1 号幹線	西桂町、富士吉田市						
		② 桂川 1 号幹線	都留市、西桂町、富士吉田市						
		③ 桂川 1 号幹線	大月市、都留市、西桂町、富士吉田市						
		④ 桂川 2 号幹線	上野原市						
		⑤ 桂川 1 号幹線	富士吉田市						

表 5－3 0 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	8,496	8,112	9,825	8,095	12,319	8,036	8,783	7,989	7,700	7,809	7,937	7,934	12,319
	最小	6,717	6,528	6,559	6,548	6,498	6,457	6,631	6,574	6,842	6,551	6,768	6,795	6,457
	平均	7,393	7,364	7,645	7,369	7,293	7,254	7,444	7,397	7,398	7,398	7,534	7,392	7,405
反応タンク 流入水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	9,096	8,721	10,429	8,783	12,899	8,680	9,360	8,544	8,291	8,405	8,528	8,517	12,899
	最小	7,341	7,118	7,200	7,177	7,073	7,046	7,248	7,149	7,427	7,119	7,378	7,430	7,046
	平均	8,004	7,970	8,248	7,965	7,878	7,842	8,039	7,969	7,977	7,964	8,110	7,979	7,994
返 送 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	3,259	3,166	3,781	3,221	4,546	3,156	3,361	3,113	3,023	3,079	3,142	3,140	4,546
	最小	2,783	2,693	2,782	2,750	2,685	2,742	2,761	2,725	2,763	2,732	2,811	2,789	2,685
	平均	2,949	2,945	3,024	2,951	2,936	2,923	2,968	2,935	2,935	2,932	2,986	2,978	2,955
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	38.4	38.5	38.6	38.3	39.3	38.9	38.7	38.2	38.1	38.6	38.5	38.2	39.3
	最小	35.8	36.1	35.3	35.6	34.8	35.6	35.9	36.3	36.0	35.0	36.4	35.7	34.8
	平均	36.9	37.0	36.7	37.1	37.3	37.3	37.1	36.9	36.8	36.8	36.8	37.3	37.0
余 剩 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	63	56	61	60	61	54	63	60	61	64	60	61	64
	最小	54	44	19	49	44	38	33	44	44	24	45	49	19
	平均	57	53	50	52	54	48	51	58	58	51	58	58	54
送 風 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	26,770	25,160	24,861	25,064	23,476	24,959	24,778	25,604	26,736	27,276	27,400	26,443	27,400
	最小	22,758	22,228	21,790	22,439	19,609	18,849	22,205	21,158	24,798	23,550	22,791	23,579	18,849
	平均	24,738	23,789	23,040	23,565	21,565	22,346	24,194	23,539	25,775	25,255	25,750	25,083	24,046
送 風 倍 率 (倍)	最大	3.4	3.2	3.1	3.2	3.2	3.5	3.4	3.4	3.4	3.8	3.4	3.5	3.8
	最小	2.8	2.7	2.4	2.7	1.7	2.2	2.5	2.6	3.1	2.9	3.0	2.9	1.7
	平均	3.1	3.0	2.8	3.0	2.8	2.9	3.0	3.0	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0
滞 留 時 間 (H r)	最大	16.5	17.0	16.8	16.9	17.1	17.2	16.7	17.0	16.3	17.0	16.4	16.3	17.2
	最小	13.3	13.9	11.6	13.8	9.4	14.0	12.9	14.2	14.6	14.4	14.2	14.2	9.4
	平均	15.2	15.2	14.8	15.2	15.6	15.5	15.2	15.2	15.2	15.3	15.0	15.2	15.2

桂川流域下水道

表5-31 反応タンク試験結果(1)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.0	22.0	23.0	25.0	25.5	25.5	24.5	22.5	20.0	17.5	17.0	18.5	25.5
	最小	18.0	20.0	21.5	23.0	25.0	24.5	22.5	20.5	18.0	17.0	16.5	16.5	16.5
	平均	19.0	21.0	22.2	23.8	25.2	25.1	23.7	21.6	19.2	17.1	16.9	17.3	21.0
p H	ML	最大	6.22	6.16	6.21	6.25	6.25	6.37	6.46	6.21	6.21	6.16	6.17	6.46
		最小	5.93	5.99	5.99	5.91	6.10	6.09	6.16	6.03	6.05	6.00	6.00	5.91
		平均	6.08	6.08	6.09	6.13	6.18	6.23	6.36	6.13	6.13	6.05	6.08	6.14
	RS	最大	6.39	6.40	6.38	6.42	6.44	6.49	6.58	6.40	6.41	6.39	6.42	6.58
		最小	6.20	6.29	6.25	6.21	6.31	6.31	6.31	6.29	6.24	6.25	6.30	6.20
		平均	6.31	6.33	6.31	6.36	6.36	6.40	6.46	6.34	6.34	6.33	6.37	6.36
D O (mg/L)	最大	1.4	1.6	1.7	1.5	1.8	2.0	1.2	1.7	1.5	1.6	1.6	1.7	2.0
	最小	0.8	1.1	1.0	0.9	1.1	0.6	0.7	0.7	0.6	1.0	1.1	1.1	0.6
	平均	1.2	1.3	1.4	1.2	1.5	1.1	0.8	1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	1.2
MLSS (mg/L)	最大	2,500	2,360	2,210	2,370	2,290	2,360	2,350	2,310	2,400	2,390	2,320	2,300	2,500
	最小	2,170	1,990	2,020	2,120	1,460	1,940	2,070	1,700	1,950	2,110	2,120	2,060	1,460
	平均	2,330	2,150	2,110	2,240	2,050	2,150	2,210	2,120	2,250	2,220	2,210	2,200	2,190
MLVSS (mg/L)	最大	1,920	1,790	1,640	1,800	1,720	1,750	1,770	1,740	1,870	1,830	1,810	1,780	1,920
	最小	1,650	1,500	1,520	1,590	1,090	1,420	1,550	1,280	1,490	1,610	1,620	1,590	1,090
	平均	1,790	1,630	1,580	1,690	1,530	1,600	1,650	1,600	1,720	1,700	1,700	1,690	1,660
MLVSS/MLSS (%)	最大	77.4	76.6	76.2	77.3	75.7	75.2	75.7	76.1	80.3	78.2	78.0	77.8	80.3
	最小	75.7	74.9	74.2	74.7	73.7	73.1	73.3	73.9	74.7	75.7	75.0	75.3	73.1
	平均	76.4	75.9	75.1	75.5	74.8	74.3	74.6	75.4	76.3	76.6	76.8	76.7	75.7
SV30 (%)	ML	最大	40	36	38	34	34	40	42	44	46	50	46	50
		最小	32	28	28	30	28	34	36	34	36	42	42	28
		平均	36	32	30	32	33	36	39	40	43	45	43	37
	RS	最大	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99
		最小	96	96	96	97	93	97	97	97	97	99	98	93
		平均	99	99	98	99	98	99	99	99	99	99	99	99
SVI (mL/g)	ML	最大	170	170	180	150	190	180	200	200	220	220	200	220
		最小	140	140	130	130	140	150	170	180	180	190	170	130
		平均	150	150	140	140	160	170	180	190	200	200	180	170
	RS	最大	200	180	180	180	220	210	190	190	190	170	190	220
		最小	87	91	100	100	110	110	100	100	99	91	99	87
		平均	130	130	140	140	150	140	140	150	140	130	140	140
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.07	0.08	0.07	0.08	0.07	0.09	0.07	0.11	0.09	0.08	0.10	0.10	0.11
	最小	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.07	0.06	0.07	0.07	0.07	0.05
	平均	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06	0.07	0.06	0.09	0.08	0.07	0.08	0.08	0.07
SRT(日)	平均	26.7	25.6	29.5	29.4	29.4	32.1	29.3	24.8	29.6	30.3	24.5	25.3	28.0

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表5-32 反応タンク試験結果(2)

項 目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
酸素利用速度 Rr(mg/L・H)	—	34.2	7.2	7.9	14.0	8.3	10.5	9.7	8.9	9.3	8.9	7.4	9.3	10.3	27.0	6.0	7.8	31.9	6.1	5.1	6.6	6.6	7.9	8.9	6.8	34.2	5.1	11.1
	ATU	13.7	2.9	3.6	6.3	3.9	4.9	4.2	4.0	4.3	4.2	3.7	4.0	4.8	11.8	2.8	3.5	13.4	2.6	2.2	2.9	2.9	3.4	3.9	3.2	13.7	2.2	4.9
酸素利用速度 係数Kr(mg/g・H)	—	16.8	6.7	7.4	9.9	8.0	10.4	8.9	8.3	8.1	8.6	6.9	7.8	7.4	15.8	5.6	6.7	14.6	5.8	4.9	6.1	6.5	7.3	7.9	6.3	16.8	4.9	8.4
	ATU	6.7	2.7	3.4	4.5	3.7	4.8	3.9	3.7	3.8	4.0	3.5	3.4	3.4	6.9	2.5	3.0	6.1	2.5	2.2	2.7	2.9	3.1	3.5	2.9	6.9	2.2	3.7
備 考		A T U添加量10mg/L、酸素利用速度係数はM L S Sによる。																										

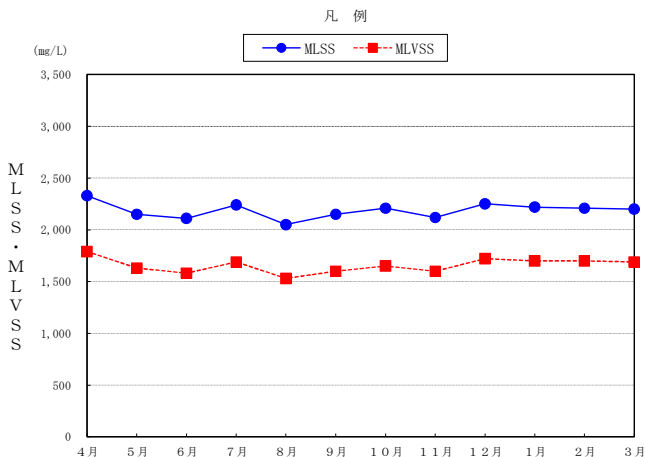


図5-16 反応タンクの管理状況(1)

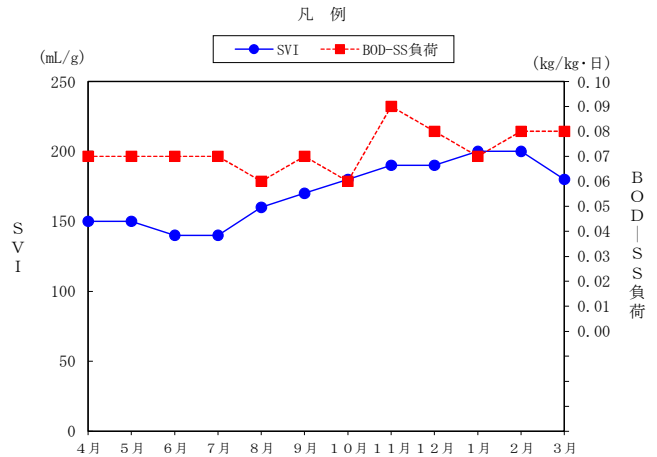


図5-17 反応タンクの管理状況(2)

表 5 - 3 3 反応タンク生物試験結果

(単位: 個/cm³)

分類及び生物名			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	最大	最小	平均	
原	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas	660	1,210	1,450	1,370	1,400	1,400	780	1,000	810	750	1,120	680	1,450	660	1,053
			Peranema	160	160	120		40	40	50	80	60	10	370	20	370	0	93
		植物性	Entoshiphon	70	280	160	90	160	90	210	200	130	60	840	120	840	60	201
			Poteriodendron					60								60	0	5
生	織	原口目	Prorodon	670	300	600	320	430	250	490	780	300	160	520	330	780	160	429
		異毛目	Spirostomum	40	110	250		50	130	140	80	20	80	140		250	0	87
			Metopus	60							30					60	0	8
	裸口目	Chilodonella	10	60	80	70	10	70	30	50	130	140	70	80	140	10	67	
		Amphileptus	30	50		10		20	30	20	40		20	170	170	0	33	
		Trachelophyllum	20								10	80	40		80	0	13	
		Litonotus		10	50	50	10	10		20	10	50	140	30	140	0	32	
	下毛目	Aspidisca	3,310	5,030	3,650	2,050	2,170	1,650	2,940	2,890	4,020	2,960	5,020	2,580	5,030	1,650	3,189	
		Euplotes					20	10		40	220	30	10	40	220	0	31	
		Chaetospira			20			90		40	120		10		120	0	23	
	縁毛目	Vorticella	1,370	380	570	1,070	430	780	1,190	670	1,230	570	890	2,330	2,330	380	957	
		Opercularia	880	1,760	690	900	580	690	320	2,230	2,780	1,410	3,420	2,300	3,420	320	1,497	
Vaginicola							10						20	20	0	3		
類		Tokophrya		10	30	60	40				10			30	60	0	15	
	吸管目	Podophrya			10							70			70	0	7	
		Acineta	200	80	50	20	80	70	100	20	150	80	70	20	200	20	78	
物	根足虫類	有殻	Arcella	860	2,730	2,850	2,510	2,750	1,140	1,080	1,050	1,250	730	1,170	1,080	2,850	730	1,600
			Euglypha	120	60	40		160	150	80	40	50		10	160	0	59	
			Pyxidicula	290	350	570	320	120	440	250	450	410	140	60	30	570	30	286
			Difflugia		20											20	0	2
	無殻	Amoeba	30	70	60	30	30	30	10	20	40			10	70	0	28	
後動生物	輪虫類	Lecane			120						10		10		120	0	12	
		Colurella	90	240	340	80			50	30	10	50	80	20	340	0	83	
		Lepadella												40	40	0	3	
		Rotaria	170	120	120	90	200	20	120	100	100	60	50	90	200	20	103	
		Philodina	10	80	40		60	20	90	50	10		50	30	90	0	37	
	腹毛類	Chaetonotus	130		110	40	310	190	50	80	110	110	80	100	310	0	109	
	線虫類	Dyplogaster			10								10		10	0	2	
その他の生物数					10									10	0	1		
総生物数			9,180	13,110	12,000	9,080	9,110	7,300	8,010	9,970	12,030	7,540	14,190	10,160	14,190	7,300	10,140	
活性汚泥生物数			8,460	11,760	10,340	7,560	7,660	5,790	7,190	8,880	11,030	6,520	12,810	9,360	12,810	5,790	8,947	
活性汚泥性生物(%)			92.2	89.7	86.2	83.3	84.1	79.3	89.8	89.1	91.7	86.5	90.3	92.1	92.2	79.3	87.8	

桂川流域下水道

表 5-3 4 流入水及び放流水の経時変化(4/9~4/11)

流入水							
採水時間	流入量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/9 10:00	707	130	92	170	120	80	57
12:00	835	200	167	270	225	110	92
14:00	935	130	122	170	159	79	74
16:00	761	170	129	230	175	98	75
18:00	782	210	164	310	242	120	94
20:00	833	120	100	160	133	79	66
22:00	854	130	111	170	145	78	67
4/10 0:00	868	140	122	180	156	75	65
2:00	821	150	123	210	172	94	77
4:00	585	180	105	240	140	100	59
6:00	525	120	63	140	74	73	38
8:00	684	110	75	120	82	68	47

放流水							
採水時間	放流量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/10 10:00	603	2.0	1.2	1.6	1.0	7.9	4.8
12:00	690	2.0	1.4	2.0	1.4	7.6	5.2
14:00	773	1.7	1.3	2.0	1.5	7.7	6.0
16:00	621	1.9	1.2	2.2	1.4	7.7	4.8
18:00	793	2.0	1.6	1.2	1.0	7.4	5.9
20:00	752	1.8	1.4	1.2	0.9	7.4	5.6
22:00	827	1.9	1.6	1.2	1.0	7.5	6.2
4/11 0:00	834	1.8	1.5	1.0	0.8	7.7	6.4
2:00	754	1.9	1.4	1.6	1.2	7.7	5.8
4:00	557	2.0	1.1	1.8	1.0	7.9	4.4
6:00	484	2.0	1.0	1.4	0.7	7.7	3.7
8:00	634	1.9	1.2	1.6	1.0	7.9	5.0

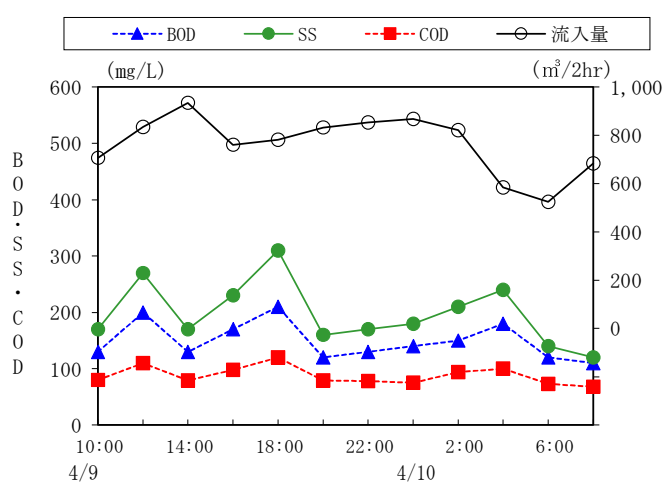


図 5-18 流入水濃度の経時変化 (4/9~4/10)

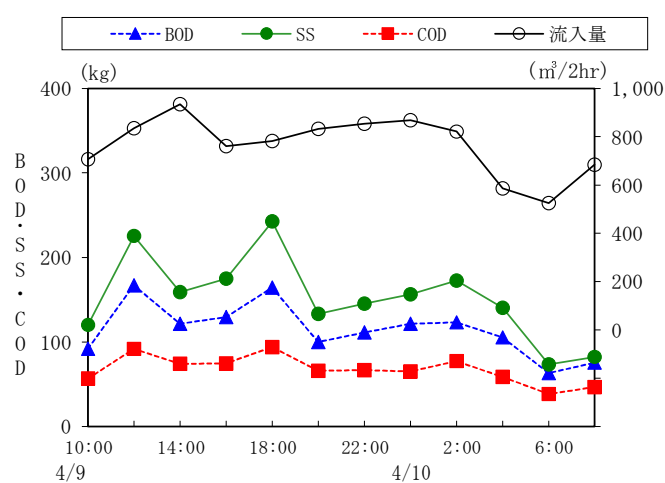


図 5-19 流入水負荷量の経時変化 (4/9~4/10)

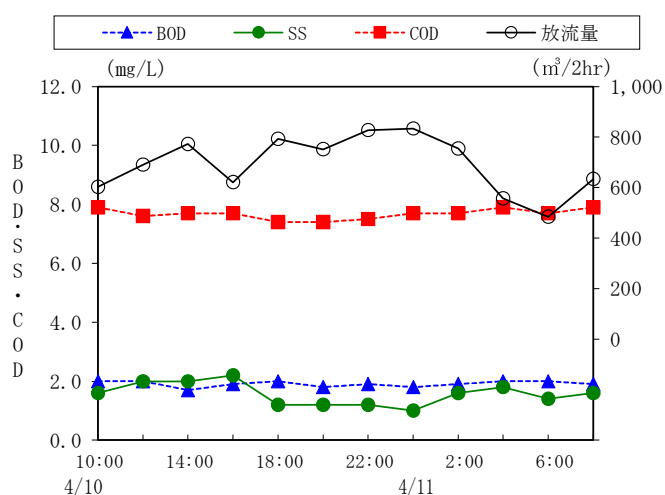


図 5-20 放流水濃度の経時変化 (4/10~4/11)

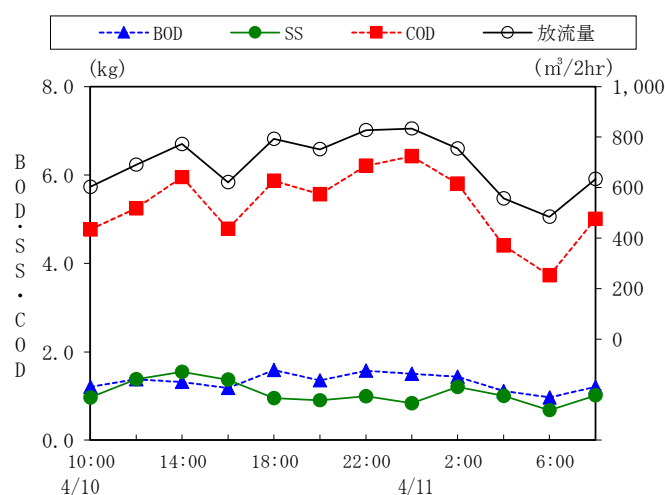


図 5-21 放流水負荷量の経時変化 (4/10~4/11)

桂川流域下水道

表 5-3 5 流入水及び放流水の経時変化(8/6～8/8)

流 入 水							
採 水 時 間	流入量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/6 10:00	567	140	79	170	96	91	52
12:00	655	180	118	230	151	110	72
14:00	674	190	128	200	135	98	66
16:00	608	160	97	210	128	120	73
18:00	721	220	159	300	216	140	101
20:00	704	110	77	110	77	78	55
22:00	799	170	136	190	152	94	75
8/7 0:00	755	160	121	170	128	91	69
2:00	684	170	116	200	137	95	65
4:00	524	140	73	150	79	85	45
6:00	464	130	60	160	74	93	43
8:00	609	110	67	150	91	80	49

放 流 水							
採 水 時 間	放流量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/7 10:00	513	1.6	0.8	1.6	0.8	7.1	3.6
12:00	556	1.9	1.1	1.4	0.8	7.2	4.0
14:00	655	1.5	1.0	1.2	0.8	7.3	4.8
16:00	520	1.3	0.7	1.6	0.8	7.4	3.8
18:00	612	1.6	1.0	1.6	1.0	7.2	4.4
20:00	715	1.5	1.1	1.6	1.1	7.4	5.3
22:00	806	1.4	1.1	1.2	1.0	7.1	5.7
8/8 0:00	734	1.3	1.0	1.4	1.0	7.3	5.4
2:00	654	1.7	1.1	0.6	0.4	7.5	4.9
4:00	488	1.8	0.9	1.8	0.9	7.6	3.7
6:00	435	1.6	0.7	1.8	0.8	7.6	3.3
8:00	563	1.8	1.0	0.8	0.5	7.5	4.2

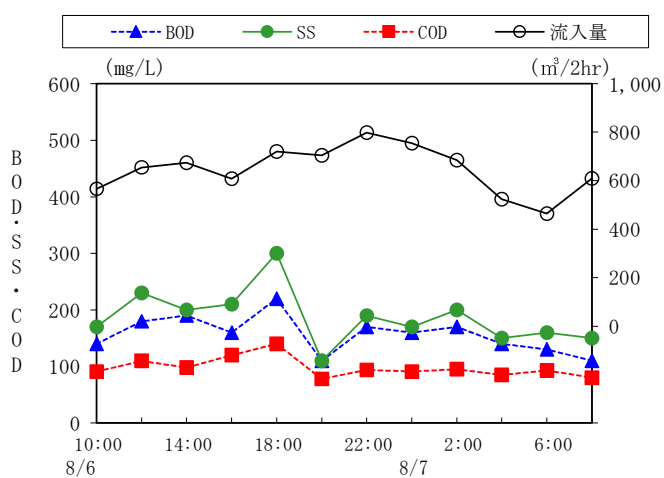


図 5-2-2 流入水濃度の経時変化 (8/6～8/7)

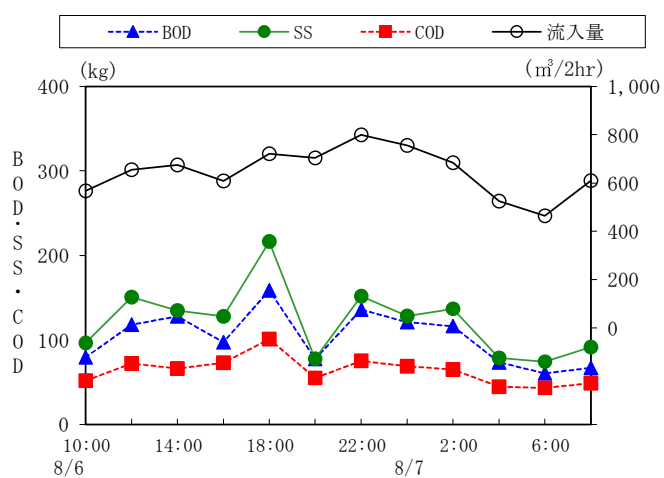


図 5-2-3 流入水負荷量の経時変化 (8/6～8/7)

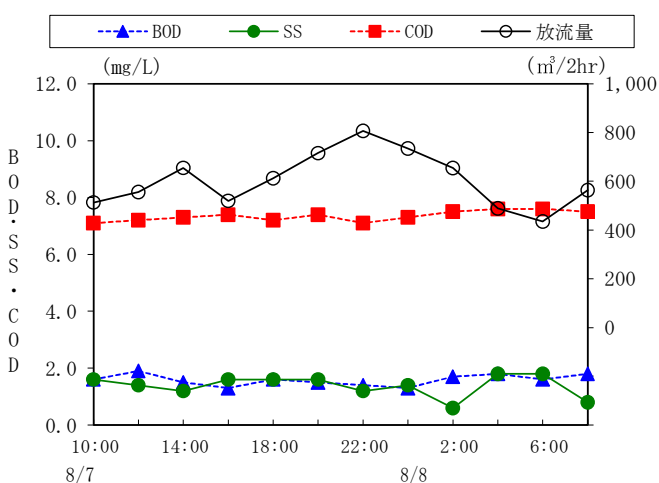


図 5-2-4 放流水濃度の経時変化 (8/7～8/8)

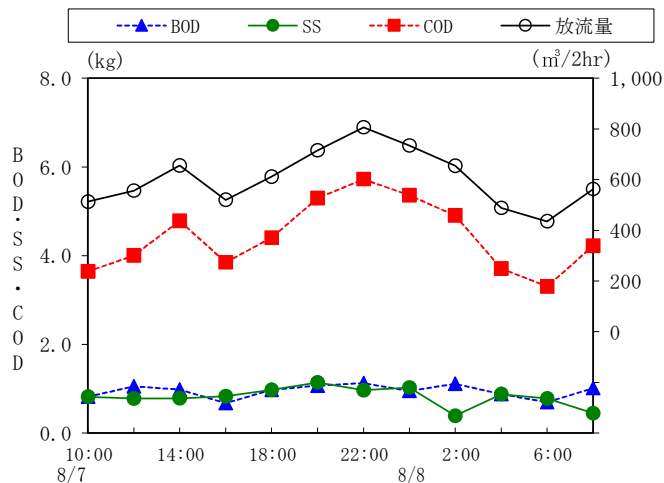


図 5-2-5 放流水負荷量の経時変化 (8/7～8/8)

桂川流域下水道

表 5-3 6 流入水及び放流水の経時変化(11/12~11/14)

採 水 時 間	流 入 水						
	流入量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	526	110	58	120	63	69	36
12:00	639	100	64	120	77	68	43
14:00	732	130	95	140	102	81	59
16:00	685	120	82	140	96	77	53
18:00	679	130	88	190	129	89	60
20:00	788	150	118	210	165	98	77
22:00	835	150	125	180	150	87	73
11/13 0:00	811	120	97	170	138	80	65
2:00	703	140	98	170	120	84	59
4:00	549	140	77	190	104	92	51
6:00	468	130	61	160	75	81	38
8:00	650	100	65	130	85	70	46

採 水 時 間	放 流 水						
	放流量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/13 10:00	606	1.7	1.0	2.0	1.2	6.5	3.9
12:00	565	1.9	1.1	1.8	1.0	6.5	3.7
14:00	677	1.9	1.3	1.8	1.2	6.7	4.5
16:00	684	1.8	1.2	1.6	1.1	6.6	4.5
18:00	738	1.8	1.3	2.2	1.6	6.7	4.9
20:00	731	1.8	1.3	2.2	1.6	6.3	4.6
22:00	829	1.7	1.4	1.8	1.5	6.3	5.2
11/14 0:00	879	2.1	1.8	2.4	2.1	6.6	5.8
2:00	548	2.0	1.1	3.8	2.1	7.2	3.9
4:00	399	2.0	0.8	2.4	1.0	6.9	2.8
6:00	565	2.1	1.2	1.8	1.0	6.9	3.9
8:00	688	2.1	1.4	2.2	1.5	7.0	4.8

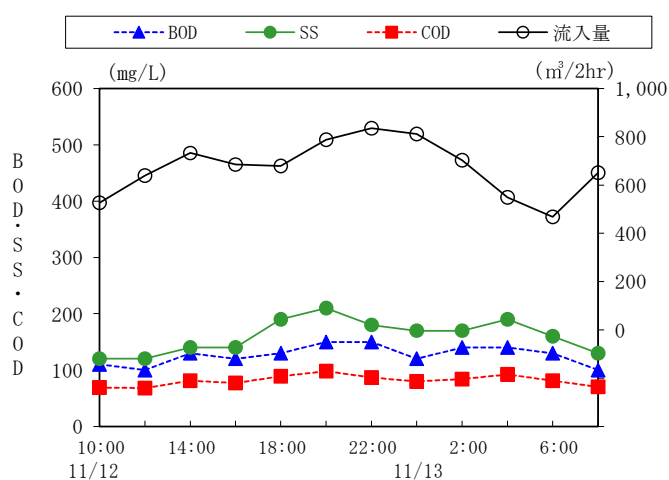


図 5-2 6 流入水濃度の経時変化 (11/12~11/13)

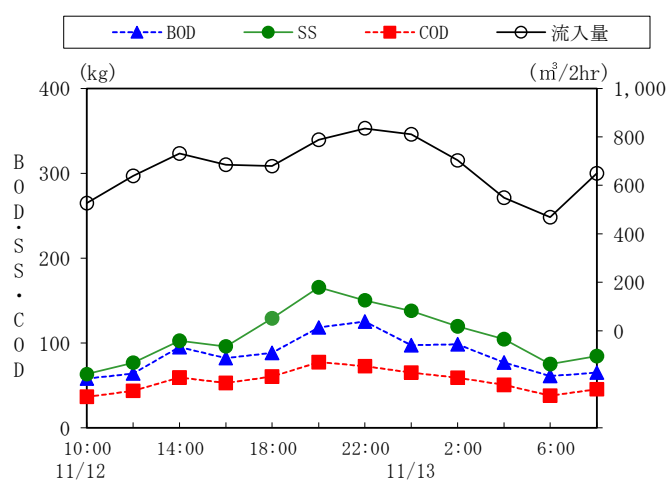


図 5-2 7 流入水負荷量の経時変化 (11/12~11/13)

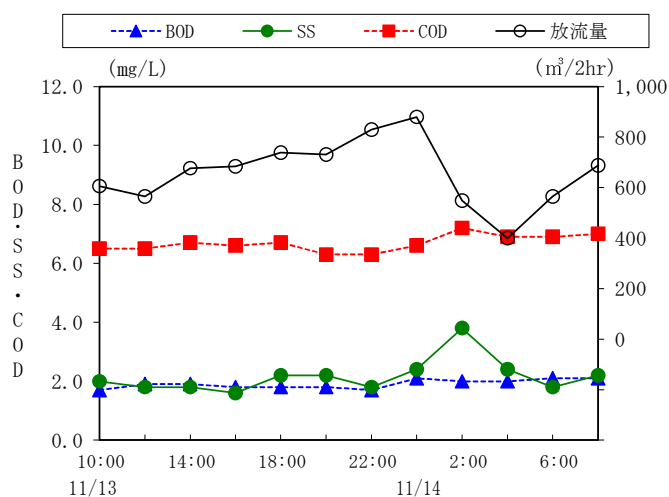


図 5-2 8 放流水濃度の経時変化 (11/13~11/14)

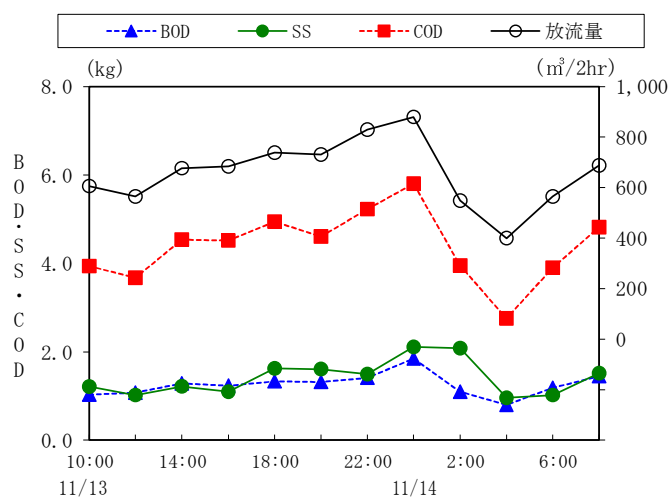


図 5-2 9 放流水負荷量の経時変化 (11/13~11/14)

桂川流域下水道

表 5-3 7 流入水及び放流水の経時変化(2/25~2/27)

採水時間	流入量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	流入水					
		BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/25 10:00	617	100	62	140	86	78	48
12:00	679	170	115	200	136	110	75
14:00	771	150	116	180	139	95	73
16:00	735	170	125	270	198	120	88
18:00	663	160	106	210	139	110	73
20:00	808	320	259	490	396	170	137
22:00	854	150	128	180	154	100	85
2/26 0:00	820	130	107	170	139	95	78
2:00	745	170	127	210	156	98	73
4:00	539	110	59	140	75	83	45
6:00	520	78	41	80	42	56	29
8:00	641	120	77	120	77	82	53

採水時間	放流量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	放流水					
		BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/26 10:00	570	1.4	0.8	1.8	1.0	7.1	4.0
12:00	621	1.4	0.9	1.2	0.7	7.3	4.5
14:00	635	1.3	0.8	1.4	0.9	7.4	4.7
16:00	600	1.3	0.8	1.2	0.7	7.2	4.3
18:00	640	1.2	0.8	1.0	0.6	7.2	4.6
20:00	659	1.4	0.9	1.6	1.1	7.3	4.8
22:00	784	1.3	1.0	1.8	1.4	7.3	5.7
2/27 0:00	771	1.3	1.0	1.6	1.2	7.0	5.4
2:00	663	1.3	0.9	1.4	0.9	7.2	4.8
4:00	465	1.3	0.6	1.0	0.5	7.5	3.5
6:00	408	1.4	0.6	1.6	0.7	7.4	3.0
8:00	544	1.4	0.8	2.2	1.2	7.3	4.0

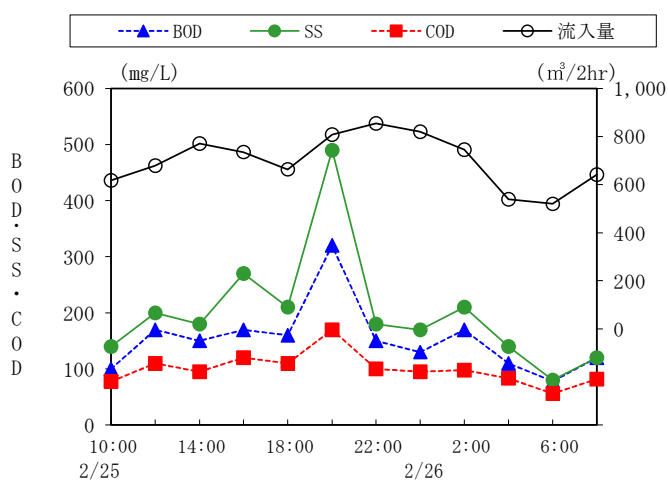


図 5-3 0 流入水濃度の経時変化 (2/25~2/26)

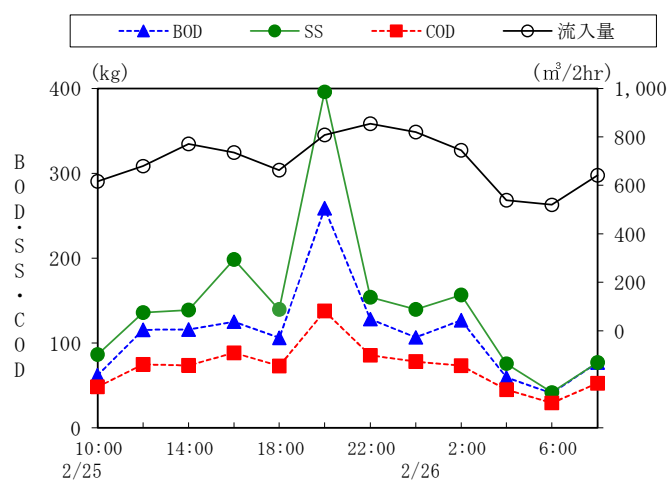


図 5-3 1 流入水負荷量の経時変化 (2/25~2/26)

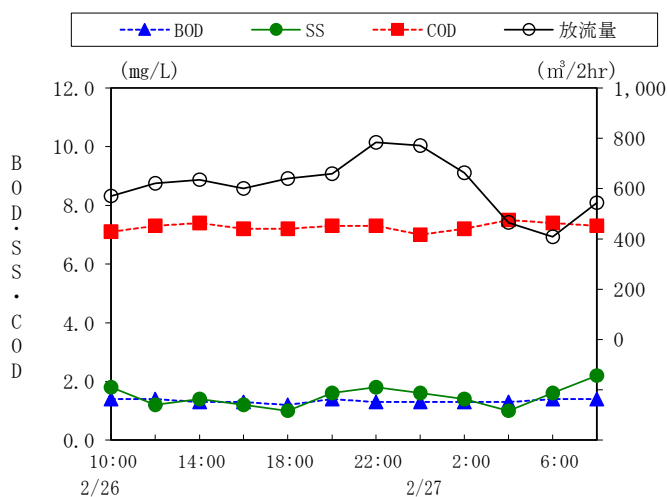


図 5-3 2 放流水濃度の経時変化 (2/26~2/27)

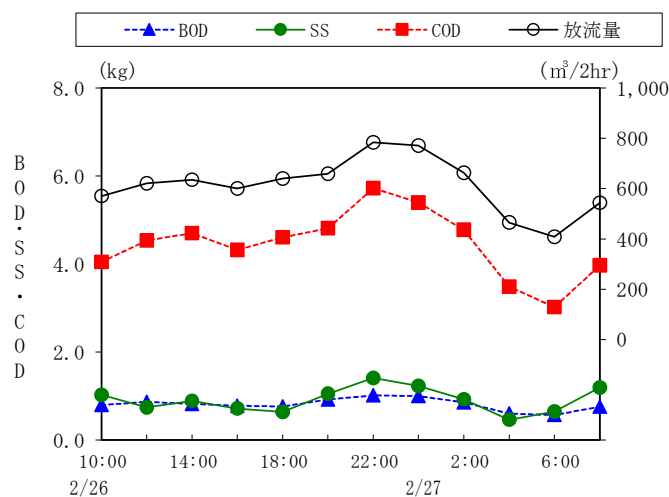


図 5-3 3 放流水負荷量の経時変化 (2/26~2/27)

表 5－3 8 汚泥処理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生汚泥	固 形 分 (%)	0.53	0.52	0.53	0.62	0.43	0.55	0.40	0.40	0.41	0.48	0.48	0.48	0.62	0.40	0.49	—
	引 抜 量 (m³)	9,330	9,642	9,026	9,528	9,641	9,265	9,640	9,330	9,611	9,640	8,678	9,611	9,642	8,678	9,412	112,942
	固形物量 (kg)	49,419	50,482	47,768	58,986	41,585	50,980	38,256	37,479	39,870	46,154	42,001	46,125	58,986	37,479	45,759	549,105
重縮力汚濃泥	固 形 分 (%)	4.44	3.95	3.80	2.92	2.84	2.54	3.07	3.52	4.06	4.85	4.97	4.81	4.97	2.54	3.82	—
	引 抜 量 (m³)	898.7	970.8	914.5	1,216.5	1,199.3	1,143.5	1,028.6	912.5	859.6	708.7	684.3	775.5	1,216.5	684.3	942.7	11,312.5
	固形物量 (kg)	39,911	38,376	34,738	35,578	34,097	29,081	31,609	32,100	34,919	34,399	33,988	37,289	39,911	29,081	34,674	416,085
余剰汚泥	固 形 分 (%)	1.09	1.00	0.93	0.91	0.82	0.88	0.92	0.94	1.09	1.07	1.04	1.02	1.09	0.82	0.98	—
	引 抜 量 (m³)	1,714	1,650	1,510	1,626	1,675	1,439	1,588	1,729	1,802	1,568	1,632	1,808	1,808	1,439	1,645	19,741
	固形物量 (kg)	18,724	16,429	14,039	14,760	13,743	12,663	14,579	16,249	19,707	16,824	16,966	18,438	19,707	12,663	16,093	193,121
濃縮機供給汚泥	固 形 分 (%)	1.11	1.00	1.00	0.97	0.85	0.89	0.97	0.99	1.04	1.08	1.09	1.01	1.11	0.85	1.00	—
	供 給 量 (m³)	1,736	1,681	1,541	1,661	1,716	1,476	1,626	1,761	1,821	1,586	1,656	1,836	1,836	1,476	1,674	20,093
	固形物量 (kg)	19,295	16,864	15,360	16,115	14,641	13,119	15,815	17,435	19,016	17,063	18,105	18,545	19,295	13,119	16,781	201,373
高分子凝集剤(濃縮)	濃 度 (%)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	—
	供 給 量 (m³)	22.99	22.77	20.80	23.73	21.30	20.59	23.08	24.08	24.16	19.77	19.52	21.44	24.16	19.52	22.02	264.23
	薬 注 率 (%)	0.25	0.28	0.28	0.31	0.30	0.32	0.29	0.28	0.26	0.24	0.22	0.23	0.32	0.22	0.27	—
脱水機供給汚泥	固 形 分 (%)	4.15	3.85	3.77	3.26	3.01	2.68	2.92	3.23	3.49	4.09	4.22	4.31	4.31	2.68	3.58	—
	供 給 量 (m³)	1,260.3	1,285.5	1,203.1	1,539.3	1,481.7	1,421.9	1,403.3	1,260.2	1,225.8	1,069.1	1,048.2	1,144.2	1,539.3	1,048.2	1,278.6	15,342.6
	固形物量 (kg)	52,288	49,543	45,321	50,196	44,604	38,157	41,036	40,726	42,816	43,702	44,227	49,284	52,288	38,157	45,158	541,900
高分子凝集剤(脱水)	濃 度 (%)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	—
	供 給 量 (m³)	127.4	125.2	123.8	162.8	131.0	119.3	112.8	113.5	131.1	117.2	115.4	131.3	162.8	112.8	125.9	1,510.8
	薬 注 率 (%)	0.73	0.76	0.82	0.97	0.88	0.94	0.82	0.84	0.92	0.80	0.78	0.80	0.97	0.73	0.84	—
脱水ケーキ	含 水 率 (%)	68.0	68.4	68.9	69.1	67.5	69.0	67.7	68.3	68.6	68.3	68.2	68.1	69.1	67.5	68.3	—
	ケーキ量(t)	152.94	144.06	134.68	145.76	134.73	114.41	125.66	127.64	140.36	140.72	140.74	147.88	152.94	114.41	137.47	1,649.58
	固形物量 (kg)	48,941	45,523	41,885	45,040	43,787	35,467	40,588	40,462	44,073	44,608	44,755	47,174	48,941	35,467	43,525	522,304

表 5－39 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	4.80	4.79	4.79	5.04	5.04	4.87	4.99	5.02	4.94	5.10	5.12	5.14	5.14	4.79	4.97
		固形分 (%)	3.97	3.50	3.65	3.22	2.76	2.42	3.01	3.15	3.55	5.11	4.67	4.40	5.11	2.42	3.62
		有機分 (%)	91.6	91.0	90.3	90.2	91.0	89.1	90.9	91.0	91.0	91.7	91.9	91.3	91.9	89.1	90.9
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.38	6.46	6.40	6.44	6.49	6.50	6.52	6.42	6.39	6.40	6.43	6.44	6.52	6.38	6.44
		固形分 (%)	3.98	3.95	3.97	3.87	4.30	3.57	3.38	3.75	3.89	3.61	3.85	3.84	4.30	3.38	3.83
		有機分 (%)	76.5	76.1	74.6	74.7	75.9	74.1	74.8	75.3	76.5	76.9	76.7	76.5	76.9	74.1	75.7
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	5.07	4.99	4.88	5.20	5.02	5.01	5.18	5.08	5.13	5.25	5.25	5.32	5.32	4.88	5.12
		固形分 (%)	3.98	3.58	3.64	3.30	2.90	2.64	2.98	3.25	3.53	4.16	4.22	4.14	4.22	2.64	3.53
		有機分 (%)	86.3	86.1	85.2	85.1	85.5	84.1	85.4	85.3	85.6	86.5	87.1	86.1	87.1	84.1	85.7
	脱水ケーキ	含水率 (%)	66.8	69.5	68.0	68.2	67.4	68.6	67.8	68.4	68.6	67.7	68.8	67.1	69.5	66.8	68.1
		有機分 (%)	87.7	87.1	86.6	86.1	86.7	85.2	86.7	86.6	86.9	87.8	88.3	87.4	88.3	85.2	86.9
汚泥返流水試験	重力分離濃縮	水素イオン濃度	5.90	5.93	5.68	5.61	5.93	5.67	5.96	6.03	6.06	6.06	6.10	6.16	6.16	5.61	5.92
		アルカリ度 (mg/L)	138	139	130	138	164	168	161	153	146	148	161	160	168	130	151
		浮遊物質 (mg/L)	460	430	490	540	380	410	310	270	300	310	310	240	540	240	370
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	790	810	820	930	630	730	510	530	560	550	550	490	930	490	660
		化学的酸素要求量 (mg/L)	270	230	240	360	230	240	190	190	200	200	180	170	360	170	230
	機械分離濃縮	水素イオン濃度	6.49	6.48	6.47	6.46	6.50	6.52	6.47	6.57	6.42	6.43	6.43	6.44	6.57	6.42	6.47
		アルカリ度 (mg/L)	64	59	59	71	74	72	83	65	66	59	54	53	83	53	65
		浮遊物質 (mg/L)	170	220	190	210	200	230	290	190	100	160	94	51	290	51	180
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	130	140	110	130	120	150	150	97	94	100	44	36	150	36	110
		化学的酸素要求量 (mg/L)	67	82	69	83	79	100	110	83	69	71	39	27	110	27	73
	脱水分離濃縮	水素イオン濃度	4.95	4.93	4.81	5.12	5.00	4.97	5.06	4.98	5.03	5.10	5.10	5.21	5.21	4.81	5.02
		アルカリ度 (mg/L)	118	70	72	187	100	68	121	147	145	213	182	275	275	68	142
		浮遊物質 (mg/L)	920	830	1,500	670	2,400	450	1,400	620	670	820	570	600	2,400	450	950
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	3,500	3,600	3,700	2,100	1,600	1,600	1,900	2,100	2,200	3,000	3,800	3,600	3,800	1,600	2,700
		化学的酸素要求量 (mg/L)	780	740	950	600	540	490	510	580	590	700	720	820	950	490	670

表 5－4 0 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機燐化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	0.007	0.013	<0.005	0.019	0.019	<0.005	0.010
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	0.11	<0.10	0.11	0.15	0.15	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	1.9	0.90	1.6	6.7	6.7	0.90	2.8
鉄	mg/L	0.72	0.87	1.5	0.49	1.5	0.49	0.90
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 5－4 1 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.38	0.42	0.33	0.21	0.42	0.21	0.34
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	3.4	5.5	3.8	3.0	5.5	3.0	3.9
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	2.1	2.4	1.9	1.6	2.4	1.6	2.0
水銀	mg/kg	0.07	0.11	0.10	0.09	0.11	0.07	0.09
銅	mg/kg	250	160	150	180	250	150	190
ニッケル	mg/kg	28	7.8	7.0	9.0	28	7.0	13
亜鉛	mg/kg	2,500	2,700	2,400	4,500	4,500	2,400	3,000
鉄	mg/kg	1,900	1,300	1,400	1,100	1,900	1,100	1,400
マンガン	mg/kg	21	18	19	17	21	17	19
クロム	mg/kg	84	16	12	24	84	12	34

表 5-42 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 金畑橋〔放流口下流約450m〕）

[illegible]

表 5-43 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 塩瀬橋[放流口上流約350m]）

[illegible]

表 5－4 4 臭気測定結果

項 目	敷地境界		規 制 値
採取年月日	令和6年8月23日	令和7年2月13日	
採取時刻	10:17	11:08	
臭気指数	<10	<10	15

項 目	放流口排水	規 制 値
採取年月日	令和6年8月23日	
採取時刻	10:30～10:32	
臭気指数	14	31

参 考 資 料

水質試験等実施要領

1. 水質試験等実施内容

1) 水質関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
日常試験	毎日	流入下水 最初沈殿池流出水 最終沈殿池流出水 放流水	水温、水素イオン濃度、 透視度、浮遊物質、 化学的酸素要求量、アルカリ度、 残留塩素（放流水のみ）
中試験	1回／週	日常試験に同じ	日常試験と同様の項目、 生物化学的酸素要求量、 大腸菌群数
精密試験	2回／月	流入下水 放流水	日常試験・中試験と同様の項目、 栄養塩類項目(ア)、健康項目(イ)、 生活環境項目(ウ)、蒸発残留物、 強熱残留物、溶解性物質、 よう素消費量
幹線調査	1回／年	幹線行政境において採取した 下水	水温、よう素消費量、 健康項目(イ)、生活環境項目(ウ)
通日試験	4回／年	流入下水 放流水 (2時間おきの24時間採水)	水素イオン濃度、浮遊物質、 生物化学的酸素要求量、 化学的酸素要求量、 大腸菌群数（放流水のみ）

※精密試験は、検出状況等により試験回数を減らしている項目がある。

2) 反応タンク関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
日常試験	毎日	反応タンク混合液（出口） 返送汚泥	水温、水素イオン濃度、 MLSS、MLVSS、SV30、 SVI
中試験	2回／月	反応タンク混合液（出口）	酸素利用速度、生物定量試験

3) 汚泥関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
日常試験	毎日（ただし、脱水機稼働日に限る。）	脱水機供給汚泥 脱水ケーキ	固形分（含水率）
中試験	2回／月	重力濃縮汚泥 機械濃縮汚泥 脱水機供給汚泥 脱水ケーキ	水素イオン濃度（脱水ケーキを除く）、固形分（含水率）、有機分
返流水試験	2回／月	重力濃縮分離液 機械濃縮分離液 脱水分離液	水素イオン濃度、浮遊物質、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、アルカリ度
精密試験	4回／年	脱水ケーキ	含有試験(エ)、溶出試験(オ)

4) 環境調査関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
放流河川	1回／月	放流河川等の上流、下流水	水温、透視度、溶存酸素、栄養塩類項目(ア)、生活環境項目(ウ)の一部
臭気測定	2回／年	敷地境界	臭気指数
臭気測定	1回／年 (桂川清流センターのみ)	放流水	臭気指数

- ア) 栄養塩類項目 : 窒素含有量、有機性窒素含有量、アンモニア性窒素含有量、
硝酸性窒素含有量、亜硝酸性窒素含有量、燐含有量、燐酸イオン態燐含有量
- イ) 健康項目 : カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機燐化合物、
六価クロム化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、(アルキル水銀化合物)、
ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、
ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、
シス 1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、
1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、
セレン及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物、1,4-ジオキサン
- ウ) 生活環境項目 : 水素イオン濃度、浮遊物質質量、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、
ノルマルヘキサン抽出物質含有量、大腸菌群数、フェノール類含有量、
銅含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガン含有量、クロム含有量、
窒素含有量、燐含有量
- エ) 含有試験 : シアン化合物、鉄、マンガン、亜鉛、ニッケル、銅、鉛、カドミウム、
クロム、六価クロム、ひ素、水銀、含水率
- オ) 溶出試験 : シアン化合物、鉄、マンガン、亜鉛又はその化合物、銅又はその化合物、
鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、六価クロム化合物、
砒素又はその化合物、水銀又はその化合物、アルキル水銀化合物、
有機燐化合物、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、
テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、
1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、
1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、
チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物、1,4-ジオキサン

2. 水質試験等実施方法

1) 水質試験

(1/2)

試 験 項 目	試 験 方 法
水温	JIS K0102(2019) 7. 2
透視度	JIS K0102(2019) 9
水素イオン濃度	JIS K0102(2019) 12. 1 ガラス電極法
蒸発残留物	JIS K0102(2019) 14. 2
強熱残留物	JIS K0102(2019) 14. 4
溶解性物質	JIS K0102(2019) 14. 3 溶解性蒸発残留物
浮遊物質量	S46 環境庁告示 59 付表 9
アルカリ度	JIS K0102(2019) 15. 1 酸消費量(pH4. 8)
生物化学的酸素要求量	JIS K0102(2019) 21
化学的酸素要求量	JIS K0102(2019) 17 100℃における過マンガン酸法
アンモニア性窒素含有量	JIS K0102(2019) 42. 2 インドフェノール青吸光光度法
亜硝酸性窒素含有量	JIS K0102(2019) 43. 1. 1 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法
硝酸性窒素含有量	JIS K0102(2019) 43. 2. 1 還元-蒸留インドフェノール青吸光光度法
有機性窒素含有量	JIS K0102(2019) 44. 2 インドフェノール青吸光光度法
窒素含有量	JIS K0102(2019) 45. 1 総和法
磷酸イオン態リン含有量	JIS K0102(2019) 46. 1. 1 モリブデン青吸光光度法
リン含有量	JIS K0102(2019) 46. 3. 1 ペルオキシ二硫酸カリウム分解法
大腸菌群数	S37 厚・建令 1 号別表 1
よう素消費量	S37 厚・建令 1 号別表 2 チオ硫酸ナトリウム法
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	S49 環境庁告示 64 付表 4
シアン化合物	JIS K0102(2019) 38. 3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法
フェノール類含有量	JIS K0102(2019) 28. 1. 2 4-アミノアンチピリン吸光光度法
鉄含有量	JIS K0102(2019) 57. 2 硝酸・塩酸による分解後フレイム原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 57. 4 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
溶解性鉄含有量	JIS K0102(2019) 57. 2 ろ過後塩酸酸性でフレイム原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 57. 4 ろ過後硝酸酸性で ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
マンガン含有量	JIS K0102(2019) 56. 2 硝酸・塩酸による分解後フレイム原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 56. 4 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
溶解性マンガン含有量	JIS K0102(2019) 56. 2 ろ過後塩酸酸性でフレイム原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 56. 4 ろ過後硝酸酸性で ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
亜鉛含有量	JIS K0102(2019) 53. 1 硝酸・塩酸による分解後フレイム原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 53. 3 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
銅含有量	JIS K0102(2019) 52. 2 硝酸・塩酸による分解後フレイム原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 52. 4 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
鉛及びその化合物	JIS K0102(2019) 54. 2 硝酸による分解後電気加熱原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 54. 3 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2025. 2～)
カドミウム及びその化合物	JIS K0102(2019) 55. 2 硝酸による分解後電気加熱原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 55. 3 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2025. 2～)
クロム含有量	JIS K0102(2019) 65. 1. 3 硝酸による分解後電気加熱原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 65. 1. 4 硝酸による分解後 ICP 発光分光分析法(峡東※2025. 2～)
六価クロム化合物	JIS K0102(2019) 65. 2. 3 電気加熱原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 65. 2. 4 ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
砒素及びその化合物	JIS K0102(2019) 61. 2 水素化物発生原子吸光光度法 JIS K0102(2019) 61. 3 水素化物発生 ICP 発光分光分析法(峡東※2024. 12～)
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	S46 環境庁告示 59 付表 2 還元気化原子吸光光度法
トリクロロエチレン	JIS K0125(2016) 5. 5 溶媒抽出ガスクロマトグラフ法(峡東、釜無) JIS K0125(2016) 5. 4. 1 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ法(ECD)(北麓、桂川)
テトラクロロエチレン	JIS K0125(2016) 5. 5 溶媒抽出ガスクロマトグラフ法(峡東、釜無) JIS K0125(2016) 5. 4. 1 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ法(ECD)(北麓、桂川)

試 験 項 目	試 験 方 法
アルキル水銀化合物	S46 環境庁告示 59 付表 3 ガスクロマトグラフ法(ECD)
有機燐化合物	S49 環境庁告示 64 付表 1 ガスクロマトグラフ法(FPD)
ポリ塩化ビフェニル	S46 環境庁告示 59 付表 4 ガスクロマトグラフ法(ECD)
ジクロロメタン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
四塩化炭素	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
1,2-ジクロロエタン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
1,1-ジクロロエチレン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
シス 1,2-ジクロロエチレン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
1,3-ジクロロプロペン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
チウラム	S46 環境庁告示 59 付表 5 固相抽出・高速液体クロマトグラフ法
シマジン	S46 環境庁告示 59 付表 6 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法
チオベンカルブ	S46 環境庁告示 59 付表 6 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法
ベンゼン	JIS K0125(2016)5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
セレン及びその化合物	JIS K0102(2019)67.2 水素化合物発生原子吸光光度法
ほう素及びその化合物	JIS K0102(2019)47.2 アゾメチンH吸光光度法 JIS K0102(2019)47.3 ICP 発光分光分析法(峡東※2024.12～)
ふっ素及びその化合物	JIS K0102(2019)34.1 ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	JIS K0102(2019)42.2 インドフェノール青吸光光度法 JIS K0102(2019)43.2.1 還元-蒸留インドフェノール青吸光光度法
1,4-ジオキサン	S46 環境庁告示 59 付表 8 第 3 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ質量分析法
溶存酸素	JIS K0102(2019)32.3 隔膜電極法(北麓、釜無、桂川) JIS K0102(2019)32.4 光学式センサ法(峡東)
残留塩素	JIS K0102(2019)33.2 DPD比色法
MLSS	下水試験方法(2012)4.1.6 遠心分離法
MLVSS	下水試験方法(2012)4.1.7

2) 汚泥試験

含 有 試 験		
試 験 項 目	試 験 方 法	
カドミウム	下水汚泥分析方法(2007) 9. 6. 1	9. 6. 2(峡東※2025. 2～)
シアン化合物	下水試験方法(2012) 5. 1. 25	
鉛	下水汚泥分析方法(2007) 9. 23. 1	9. 23. 2(峡東※2025. 2～)
六価クロム	下水試験方法(2012) 3. 2. 4	
ひ素	下水汚泥分析方法(2007) 9. 2. 2	9. 2. 3(峡東※2025. 2～)
水銀	下水汚泥分析方法(2007) 9. 14. 1	
銅	下水汚泥分析方法(2007) 9. 11. 1	9. 11. 2(峡東※2025. 2～)
ニッケル	下水汚泥分析方法(2007) 9. 21. 1	9. 21. 2(峡東※2025. 2～)
亜鉛	下水汚泥分析方法(2007) 9. 30. 1	9. 30. 2(峡東※2025. 2～)
鉄	下水汚泥分析方法(2007) 9. 13. 2	9. 13. 3(峡東※2025. 2～)
マンガン	下水汚泥分析方法(2007) 9. 17. 1	9. 17. 2(峡東※2025. 2～)
クロム	下水汚泥分析方法(2007) 9. 9. 1	9. 9. 2(峡東※2025. 2～)
含水率	下水試験方法(2012) 5. 1. 6	
溶 出 試 験		
試 験 項 目	試 験 方 法	
カドミウム又はその化合物	JIS K0102(2019) 55. 2	55. 3(峡東※2025. 2～)
シアン化合物	JIS K0102(2019) 38. 3	
有機燐化合物	S49 環境庁告示 64 付表 1	
鉛又はその化合物	JIS K0102(2019) 54. 2	54. 3(峡東※2025. 2～)
六価クロム化合物	JIS K0102(2019) 65. 2. 3	65. 2. 4(峡東※2025. 2～)
砒素又はその化合物	JIS K0102(2019) 61. 2	61. 3(峡東※2025. 2～)
水銀又はその化合物	S46 環境庁告示 59 付表 2	
アルキル水銀化合物	S46 環境庁告示 59 付表 3	
ポリ塩化ビフェニル	S46 環境庁告示 59 付表 4	
銅又はその化合物	JIS K0102(2019) 52. 2	52. 4(峡東※2025. 2～)
亜鉛又はその化合物	JIS K0102(2019) 53. 1	53. 3(峡東※2025. 2～)
鉄	JIS K0102(2019) 57. 2	57. 4(峡東※2025. 2～)
マンガン	JIS K0102(2019) 56. 2	56. 4(峡東※2025. 2～)
トリクロロエチレン	JIS K0125(2016) 5. 5(峡東、釜無)	5. 4. 1(北麓、桂川)
テトラクロロエチレン	JIS K0125(2016) 5. 5(峡東、釜無)	5. 4. 1(北麓、桂川)
ジクロロメタン	JIS K0125(2016) 5. 2	
四塩化炭素	JIS K0125(2016) 5. 2	
1, 2-ジクロロエタン	JIS K0125(2016) 5. 2	
1, 1-ジクロロエチレン	JIS K0125(2016) 5. 2	
シス-1, 2-ジクロロエチレン	JIS K0125(2016) 5. 2	
1, 1, 1-トリクロロエタン	JIS K0125(2016) 5. 2	
1, 1, 2-トリクロロエタン	JIS K0125(2016) 5. 2	
1, 3-ジクロロプロペン	JIS K0125(2016) 5. 2	
チウラム	S46 環境庁告示 59 付表 5	
シマジン	S46 環境庁告示 59 付表 6	
チオベンカルブ	S46 環境庁告示 59 付表 6	
ベンゼン	JIS K0125(2016) 5. 2	
セレン又はその化合物	JIS K0102(2019) 67. 2	
1, 4-ジオキサン	S46 環境庁告示 59 付表 8 第 3	

3) 臭気測定

分 析 項 目	分 析 方 法
臭気指数（敷地境界）	H7 環境庁告示第 63 号別表 三点比較式臭袋法
臭気指数（放流口排出水）	H7 環境庁告示第 63 号別表 三点比較式フラスコ法

維持管理年報（令和 6 年度版）

令和 7 年 9 月発行
公益財団法人 山梨県下水道公社

事務局・峡東浄化センター

〒406-0046 山梨県笛吹市石和町東油川字北畑 4 1 7 番地
電話 055-263-2738 FAX 055-263-2738

富士北麓浄化センター

〒403-0008 山梨県富士吉田市下吉田東四丁目 2 6 番 1 号
電話 0555-22-2259 FAX 0555-22-2188

釜無川浄化センター

〒400-0505 山梨県南巨摩郡富士川町長澤 1 7 9 0 番地
電話 0556-22-8511 FAX 0556-22-8513

桂川清流センター

〒409-0505 山梨県大月市梁川町塩瀬 8 0 0 番地
電話 0554-26-3401 FAX 0554-26-3403

ホームページアドレス <https://www.yamanashi-swc.or.jp/>
電子メールアドレス webmaster@yamanashi-swc.or.jp